

第4回札幌市介護保険事業計画推進委員会

(第9期)

説明資料等

○	札幌市高齢者支援計画2024の進捗状況等について	
資料	1 介護保険被保険者数と要介護等認定者数	1
資料	2 要介護等認定率（要介護度別）	2
資料	3 要介護度別サービス利用状況（令和7年2月～5月利用分）	3
資料	4 サービス別利用者数（令和7年2月～5月利用分）	4
資料	5 地域密着型サービス事業者の指定状況 （令和7年6月～10月）	5
○	次期計画策定に向けたアンケート調査の実施について	
資料	6 高齢社会に関する意識調査 調査票案	7
資料	7 要介護（支援）認定者意向調査 調査票案	17
資料	8・9 介護保険サービス提供事業者調査 調査項目案	22

介護保険被保険者数と要介護等認定者数

1 被保険者数

単位：人

	R7.4.1 実績値	R7.10.1 実績値	R7.10.1 計画値
第1号被保険者	560,617	563,838	569,358
65～74歳	251,095	248,359	248,375
75歳以上	309,522	315,479	320,983
75～84歳	211,054	215,233	
85歳以上	98,468	100,246	
第2号被保険者数 (40～64歳住民基本台帳人口)	693,401	694,700	693,684

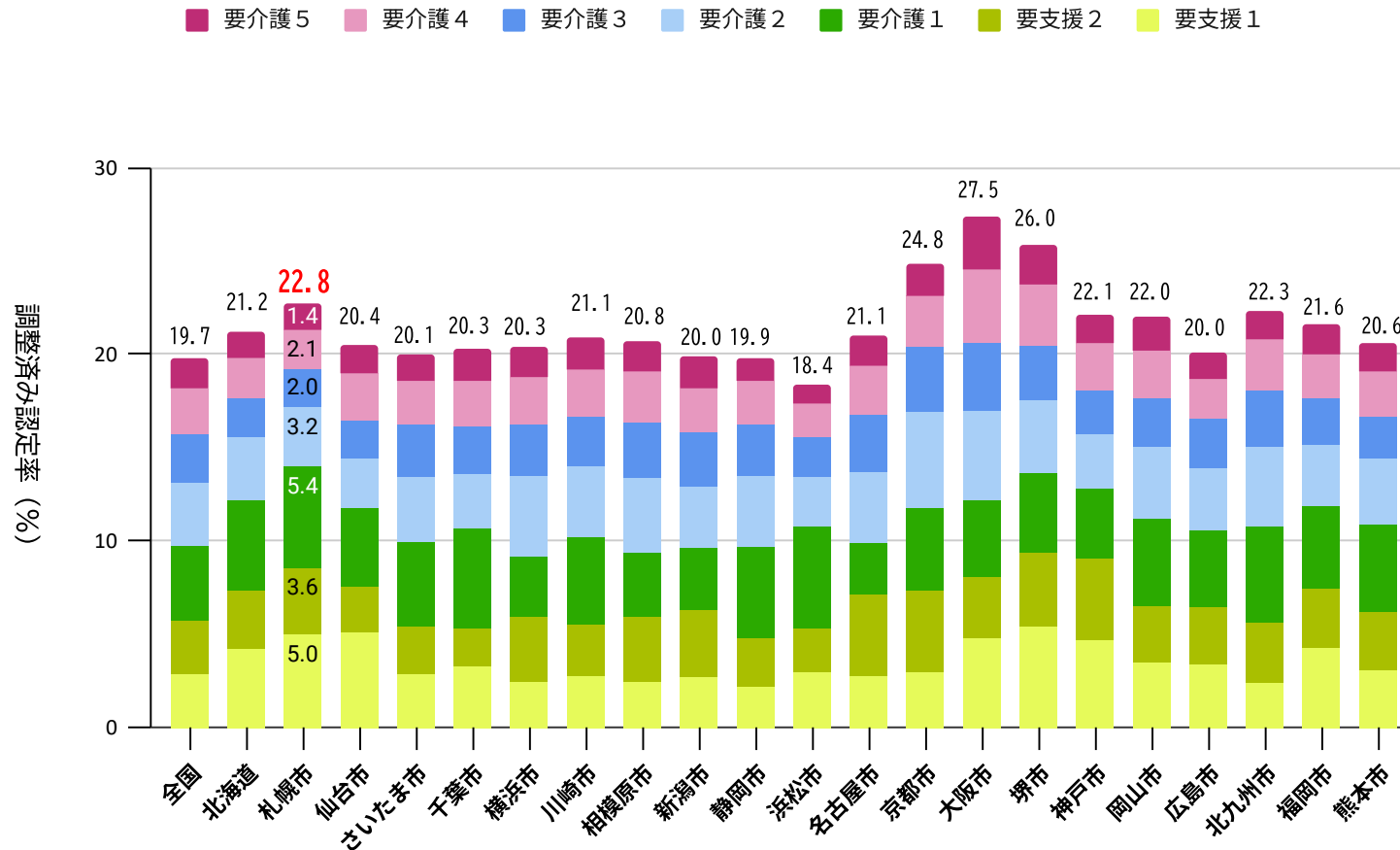
2 要介護等認定者数

単位：人

	R7.4.1 実績値	R7.10.1 実績値	R7.10.1 計画値
要介護等認定者数	125,773	127,699	127,098
第1号被保険者の認定者数	123,754	125,669	124,990
要支援1	26,992	27,675	26,121
要支援2	19,631	19,590	19,681
要介護1	29,457	29,910	29,224
要介護2	17,457	17,641	17,976
要介護3	10,896	11,091	11,591
要介護4	11,768	12,126	12,421
要介護5	7,553	7,636	7,976
第2号被保険者の認定者数	2,019	2,030	2,108
要支援1	243	248	238
要支援2	381	382	356
要介護1	392	386	442
要介護2	385	390	392
要介護3	219	231	218
要介護4	212	204	240
要介護5	187	189	222

要介護等認定率（要介護度別）

資料2



（時点）令和6年（2024年）

（出典）厚生労働省「介護保険事業状況報告」月報および総務省「住民基本台帳人口・世帯数」

※調整済み認定率・・・認定率の多寡に大きな影響を及ぼす、「第1号被保険者の性・年齢構成」の影響を除外した認定率。

※※小数点以下の処理の都合により、各項目と合計が一致しない。

要介護度別サービス利用状況（令和7年2月～5月利用分）

1 サービス利用者数（月平均） 単位：人（合計上段：実績値、下段：計画値）

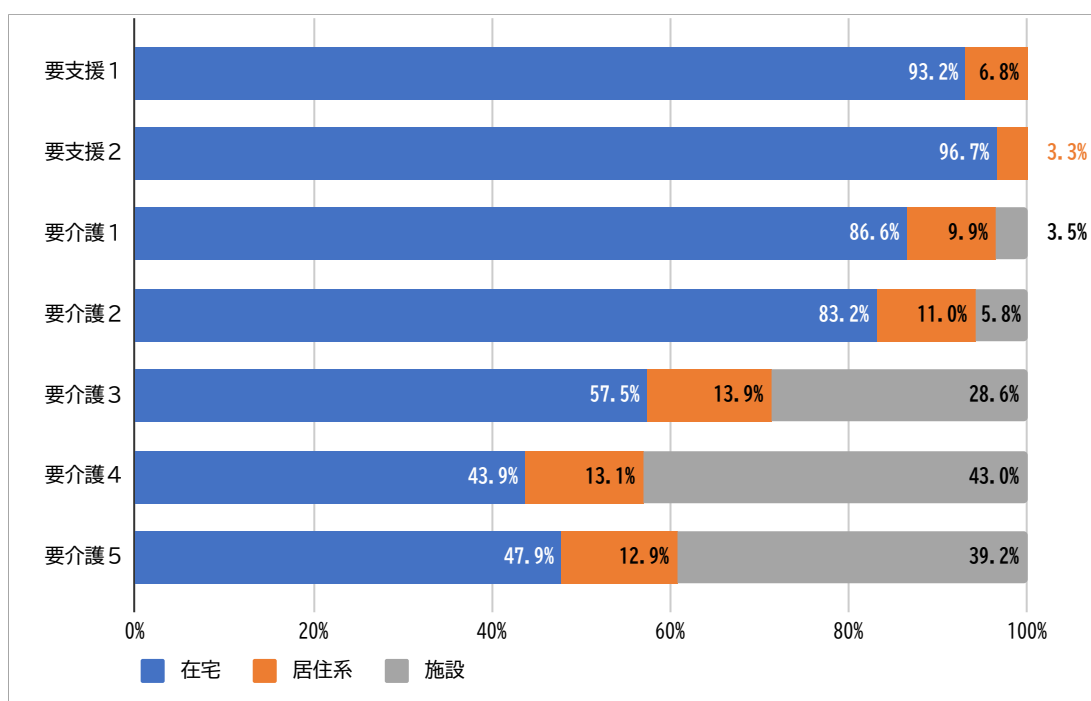
サービス種別	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合 計
在 宅※1	5,373	8,042	20,687	12,868	5,589	4,392	2,868	59,819 61,925
居住系※2	392	277	2,373	1,705	1,349	1,315	773	8,184 8,610
施 設※3	0	0	831	897	2,783	4,308	2,348	11,167 11,289
合 計	5,765	8,319	23,891	15,470	9,721	10,015	5,989	79,170 81,824

<厚生労働省「介護保険事業状況報告」月報>

- ※1 介護予防支援・居宅介護支援、小規模多機能型居宅介護、看護小規模多機能型居宅介護の利用者数の合計を概数として使用。
- ※2 特定施設入居者生活介護（地域密着型と介護予防を含む。）、認知症対応型共同生活介護（介護予防を含む。）の利用者数。
- ※3 介護老人福祉施設（地域密着型を含む。）、介護老人保健施設、介護医療院、療養型医療施設の利用者数。

注 小数点以下の処理の都合により、各項目と合計が一致しない場合がある。

2 サービス利用者数の構成割合



注 小数点以下の処理の都合により、合計が100%に一致しない場合がある。

資料 4

サービス別利用者数（令和7年2月～5月利用分）

利用月	2月	3月	4月	5月	平均	計画値	計画比
居宅サービス							
訪問介護	15,684	15,867	15,922	16,034	15,877	16,113	98.54%
訪問入浴介護	659	679	687	706	683	701	97.43%
訪問看護	14,206	14,476	14,582	14,797	14,515	15,003	96.75%
訪問リハビリテーション	2,320	2,386	2,357	2,377	2,360	2,580	91.47%
通所介護	14,449	14,645	14,791	14,831	14,679	15,915	92.23%
通所リハビリテーション	4,860	4,882	4,864	5,048	4,914	5,187	94.74%
短期入所サービス							
短期入所生活介護	1,969	2,083	2,143	2,203	2,100	2,250	93.33%
短期入所療養介護	452	490	504	575	505	631	80.03%
特定施設入居者生活介護	3,114	3,119	3,088	3,056	3,094	3,377	91.62%
居宅療養管理指導	25,399	25,874	25,923	26,155	25,838	26,410	97.83%
福祉用具貸与	30,213	30,497	30,649	31,107	30,617	32,115	95.34%
特定福祉用具販売	396	427	396	398	404	386	104.66%
住宅改修	277	276	354	308	304	359	84.68%
居宅介護支援	41,572	41,962	42,264	42,586	42,096	44,200	95.24%
地域密着型サービス							
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	4,358	4,372	4,354	4,427	4,378	4,678	93.59%
夜間対応型訪問介護	26	28	29	30	28	52	53.85%
地域密着型通所介護	5,710	5,716	5,786	5,809	5,755	5,705	100.88%
認知症対応型通所介護	558	539	557	563	554	660	83.94%
小規模多機能型居宅介護	3,270	3,288	3,249	3,296	3,276	3,310	98.97%
認知症対応型共同生活介護	4,357	4,445	4,403	4,424	4,407	4,535	97.18%
地域密着型特定施設入居者生活介護	13	13	14	12	13	14	92.86%
地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	253	261	262	266	261	278	93.88%
看護小規模多機能型居宅介護	1,024	1,038	1,043	1,025	1,033	1,190	86.81%
施設サービス							
介護老人福祉施設	6,377	6,417	6,445	6,516	6,439	6,560	98.16%
介護老人保健施設	3,857	3,825	3,791	3,767	3,810	3,863	98.63%
介護医療院	683	677	832	685	719	588	122.28%
介護予防サービス							
介護予防訪問入浴介護	1	3	2	1	2	0	
介護予防訪問看護	2,571	2,596	2,623	2,642	2,608	2,286	114.09%
介護予防訪問リハビリテーション	517	534	522	542	529	558	94.80%
介護予防通所リハビリテーション	2,461	2,480	2,445	2,498	2,471	2,433	101.56%
介護予防短期入所サービス							
短期入所生活介護	76	88	88	92	86	105	81.90%
短期入所療養介護	5	8	7	11	8	25	32.00%
介護予防特定施設入居者生活介護	661	663	662	656	661	673	98.22%
介護予防居宅療養管理指導	1,907	1,953	1,955	1,971	1,947	1,701	114.46%
介護予防福祉用具貸与	9,394	9,491	9,778	9,997	9,665	9,696	99.68%
介護予防特定福祉用具販売	221	220	207	203	213	223	95.52%
介護予防住宅改修	241	223	261	278	251	309	81.23%
介護予防支援	12,893	13,031	13,305	13,525	13,189	13,028	101.24%
地域密着型介護予防サービス							
認知症対応型通所介護	2	1	2	3	2	4	50.00%
小規模多機能型居宅介護	229	231	221	225	227	197	115.23%
認知症対応型共同生活介護	7	7	7	11	8	11	72.73%

※ 「平均」は小数点第一位を四捨五入

地域密着型サービス事業者の指定状況（令和7年6月～令和7年10月）

資料5

新規指定事業所(令和7年6月1日) 3事業所

(1) 定期巡回・随時対応型訪問介護看護

サービス種類	申請者	代表者		事業所名称	所在地	定員等	併設介護サービス	併設施設
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	マイラシーライフサポート株式会社	代表取締役	戸井 宣夫	定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所 マイラシー南郷	札幌市白石区南郷通14丁目北3番20号			
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	株式会社Regional Creation Care	代表取締役	鈴木 裕一	定期巡回 メディケアさっぽろ	札幌市手稲区西宮の沢5条1丁目22-8ミーサ・ハギナカ201号室			
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	株式会社学研ココファン	代表取締役	森 猛	学研ココファン創成川イーストヘルパーセンター24	札幌市中央区南3条東3丁目13番地			

新規指定事業所(令和7年7月1日) 5事業所

(1) 定期巡回・随時対応型訪問介護看護

サービス種類	申請者	代表者		事業所名称	所在地	定員等	併設介護サービス	併設施設
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	サクシード株式会社	代表取締役	佐々木 史子	サポート24清田	札幌市清田区清田3条2丁目7番4号			
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	株式会社悠ライフ	代表取締役	中元 秀昭	定期巡回・随時訪問介護看護スマイリンク新琴似	札幌市北区新琴似1条8丁目22-14			

(2) 地域密着型通所介護

サービス種類	申請者	代表者		事業所名称	所在地	定員等	併設介護サービス	併設施設
地域密着型通所介護 第1号通所事業	株式会社CDFグループ	代表取締役	村上 金光	リハビリ&コンディショニングセンターZERO月寒	札幌市豊平区月寒東2条19丁目9番8号 月寒東2-19（福山）テナント1F	10名		

(3) 認知症対応型通所介護

サービス種類	申請者	代表者		事業所名称	所在地	定員等	併設介護サービス	併設施設
認知症対応型通所介護 介護予防認知症対応型通所介護	株式会社悠ライフ	代表取締役	中元 秀昭	認知症対応型デイサービス さくら新琴似	札幌市北区新琴似1条8丁目22-14	12名		

(4) 小規模多機能型居宅介護

サービス種類	申請者	代表者		事業所名称	所在地	定員等	併設介護サービス	併設施設
--------	-----	-----	--	-------	-----	-----	----------	------

小規模多機能型居宅介護 介護予防小規模多機能型居宅介護	社会福祉法人豊生会	理事長	星野 豊	小規模多機能型居宅介護事業所 サテライトひかりの	札幌市東区東苗穂8条2丁目1-13	登録18人 通い9人 宿泊3人		
--------------------------------	-----------	-----	------	-----------------------------	-------------------	-----------------------	--	--

新規指定事業所(令和7年8月1日) 4事業所

(1) 地域密着型通所介護

サービス種類	申請者	代表者		事業所名称	所在地	定員等	併設介護サービス	併設施設
地域密着型通所介護 第1号通所事業	ワンダーストレージ株式会 社	代表取締役	佐藤 恵輔	明日も行きたくなるデイサービス うるおい福住	札幌市豊平区月寒西1条11丁目 3-10	18名		
地域密着型通所介護 第1号通所事業	合同会社en	代表社員	森 貴弘	デイサービス縁	札幌市西区八軒6条西1丁目1番20 号 中田メディカルビル	10名		

(2) 小規模多機能型居宅介護

サービス種類	申請者	代表者		事業所名称	所在地	定員等	併設介護サービス	併設施設
小規模多機能型居宅介護 介護予防小規模多機能型居宅介護	特定非営利活動法人はなう た	理事長	鷲尾 和巳	小規模多機能型居宅介護事業所 ささえ	札幌市東区北31条東10丁目1番15 号	登録29名 通い18名 宿泊6名		
小規模多機能型居宅介護 介護予防小規模多機能型居宅介護	特定非営利活動法人はなう た	理事長	鷲尾 和巳	小規模多機能型居宅介護事業所 ささえ2号館	札幌市東区北30条東7丁目1番15号	登録18名 通い9名 宿泊3名		

新規指定事業所(令和7年9月1日) 2事業所

(1) 地域密着型通所介護

サービス種類	申請者	代表者		事業所名称	所在地	定員等	併設介護サービス	併設施設
地域密着型通所介護 第1号通所事業	株式会社川島総合サービス	代表取締役	川島 恭平	リハビリ特化型デイサービス幸 祐	札幌市東区北12条東14丁目2-15	18名		
地域密着型通所介護 第1号通所事業	株式会社ヤマチコーポレー ション	代表取締役	山地 章夫	シニアフィットネス0-STYLE札幌 伏古	札幌市東区伏古5条3丁目4番6 号	10名		

新規指定事業所(令和7年10月1日) 1事業所

(1) 認知症対応型共同生活介護

サービス種類	申請者	代表者		事業所名称	所在地	定員等	併設介護サービス	併設施設
認知症対応型共同生活介護 介護予防認知症対応型共同生活介護	医療社団法人翔嶺館	理事長	佐竹 博史	グループホーム東茨戸館	札幌市北区東茨戸2条2丁目7番 25号	18		

【資料6】R7高齢社会に関する意識調査

(40歳以上共通43問、65歳以上のみ+44問)

65歳以上

☆新規
●必須
○オプション
○現状分析
○指標

設問No.	対応No.	対象	設問趣旨	設問内容	回答形式	選択肢	見直し内容	要否	国	計画掲載9期
1 基本的事項について										
問1-1	1	共通	記入者	調査票を記入しているのはどなたですか	単一	あて名のご本人 ご家族 その他		○	●	－
問1-2	2	共通	居住区	あなたのお住まいの区を教えてください	単一	中央区、北区、東区、白石区、厚別区、豊平区、清田区、南区、西区、手稲区	新規 区別データ把握のため	☆		
問1-3	3	共通	性別	あなたの性別を教えてください	単一	男性 女性 その他 回答しない	選択肢に「回答しない」を追加	○		－
問1-4	4	共通	年齢	あなたの現在の年齢を教えてください	単一	満65～69歳 満70～74歳 満75～79歳 満80～84歳 満85～89歳 満90～94歳 満95歳以上		○		－
問1-5	5	共通	現在の生活場所	あなたは現在、どこで生活をしていますか ※1「サービス付き高齢者向け住宅」とは、住宅としての居室の広さや設備、バリアフリーといったハード面の条件を備えるとともに、ケアの専門家による安否確認や生活相談サービスを提供することなどにより、高齢者が安心して暮らすことができる環境を整えた住宅をいいます。 ※2 60歳以上で、家庭環境、住宅事情等の理由により、居宅において生活することが困難な方が入所する施設で、A型、B型、ケアハウスの3種類があります。 ※3「施設」には、老人保健施設や病院を含みます。	単一	自分または家族の持ち家（一戸建） 自分または家族の持ち家（マンション） 民間の借家（一戸建） 民間の借家（マンション、アパート） サービス付き高齢者向け住宅※1などの高齢者向け住宅 道営・市営住宅、公団住宅 グループホーム 軽費老人ホーム※2、有料老人ホーム、養護老人ホーム その他（具体的に ） 特別養護老人ホームなどの施設※3に入所中【⇒問8へ】		○	○	○
2 世帯の状況・住まいについて 【問1-5で「施設に入所中」以外の方のみ】										
問2-1	6	共通	家族構成	あなたの世帯の家族構成を教えてください	単一	ひとり暮らし 夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上） 夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下） 息子や娘との2世帯 その他（具体的に ）		○	●	○
問2-2	7	共通	現地域での居住継続希望	あなたは、今後も現在お住まいの地域に住み続けたいと思いますか	単一	住み続けたい 住み続けたいとは思わない どちらともいえない わからない		○		○
問2-3	8	共通	生活環境の整備状況	あなたは、札幌市には、高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けるための生活環境が整っていると思いますか	単一	そう思う まあそう思う どちらともいえない あまりそう思わない そう思わない わからない		○		◎
問2-4	9	共通	今後の生活場所の希望	あなたは、仮にひとり暮らしになったり、身体が弱くなったり、日常生活を送るうえで判断力が不十分になった場合に、どこで生活したいですか	単一	現在の場所での生活を続けたい（増改築して住み続ける場合を含む） 住み替えにより在宅での生活を続けたい（サービス付き高齢者向け住宅や有料老人ホームなどを含む） 特別養護老人ホームやグループホームで暮らしたい わからない		○		○
問2-5	10	共通	在宅生活に必要なこと	介護が必要になっても、在宅で暮らし続けるためには何が必要だと思いますか	複数	住み続けられる住まいがある 家族が同居、または近くにいる 身近に利用できる医療機関がある 通ったり宿泊したりできる介護サービスがある 夜間に訪問してくれる介護サービスがある 見守ってくれる友人・知人が近くにいる 利用しやすい交通機関がある 身近に買い物できる場所がある 緊急時の連絡手段がある 紙おむつの支給が受けられる その他（具体的に ） 特にない		○		○
問2-6	11	共通	最期を迎えたい場所	あなたは、最期をどこで迎えたいと思いますか	単一	自宅 特別養護老人ホーム グループホーム 病院・診療所 サービス付き高齢者向け住宅や有料老人ホームなど的高齢者向け住宅 その他（具体的に ） 考えたことはない わからない		○		○
3 毎日の生活について 【問1-5で「施設に入所中」以外の方のみ】										
問3-1		65	外出頻度	週に1回以上は外出していますか	単一	ほとんど外出しない 週1回 週2～4回 週5回以上		○	●	
問3-2		65	外出機会の減少	昨年と比べて外出の回数が減っていますか	単一	とても減っている 減っている あまり減っていない 減っていない		○	●	
問3-3		65	移動手段	外出する際の移動手段は何ですか	複数	徒歩 自転車 バイク 自動車（自分で運転） 自動車（人に乗せてもらう） 市電・地下鉄 ＪＲ（鉄道） 路線バス 病院や施設のバス 車いす 電動車いす（カート） 歩行器・シルバーカー タクシー その他（具体的に ）		○	○	
問3-4		65	単独外出	バスやＪＲ（鉄道）、市電・地下鉄を使って1人で外出していますか（自家用車でも可）	単一	できるし、している できるけどしていない できない		○	●	
問3-5		65	経済状況	現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか	単一	大変苦しい やや苦しい ふつう ややゆとりがある 大変ゆとりがある		○	●	
問3-6		65	請求書の支払い	自分で請求書の支払いをしていますか	単一	できるし、している できるけどしていない できない		○	●	
問3-7		65	預貯金の出し入れ	自分で預貯金の出し入れをしていますか	単一	できるし、している できるけどしていない できない		○	●	
問3-8		65	食品・日用品の買物	自分で食品・日用品の買物をしていますか	単一	できるし、している できるけどしていない できない		○	●	
問3-9		65	食事の用意	自分で食事の用意をしていますか	単一	できるし、している できるけどしていない できない		○	●	
問3-10		65	会食の機会	どなたかと食事をともにする機会はありますか	単一	毎日ある 週に何度かある 月に何度かある 年に何度かある ほとんどない		○	●	

【資料6】R7高齢社会に関する意識調査

(40歳以上共通43問、65歳以上のみ+44問)

65歳以上

☆新規
●必須
○オプション
○現状分析
◎指標

設問No.	対応No.	対象	設問趣旨	設問内容	回答形式	選択肢	見直し内容	要否	国	計画掲載9期
問3-11	12	共通	現在の困りごとや将来の不安	現在困っていることや心配なこと、将来に向け不安に思うことはありますか	複数	※表形式		○		－
	12			現在困っていること・心配なこと		健康面 生活費 仕事 住まい 食事の準備(栄養) 掃除・洗濯 生きがいや楽しみがない 自分の介護 家族の介護 自分や家族の認知症への対応 財産管理 交通事故 火の始末 詐欺(さぎ)等の犯罪被害 通院 日々の買物 緊急時の連絡手段 家族関係 相談相手がない 除雪 冬期間の外出・交通手段 ごみ捨て 災害時の避難 孤立死 自分が亡くなった後のこと その他(具体的に) 特にない	選択肢を追加 (認知症、孤独・孤立関係)	○		○
	12			将来不安なこと		健康面 生活費 仕事 住まい 食事の準備(栄養) 掃除・洗濯 生きがいや楽しみがない 自分の介護 家族の介護 自分や家族の認知症への対応 財産管理 交通事故 火の始末 詐欺(さぎ)等の犯罪被害 通院 日々の買物 緊急時の連絡手段 家族関係 相談相手がない 除雪 冬期間の外出・交通手段 ごみ捨て 災害時の避難 孤立死 自分が亡くなった後のこと その他(具体的に) 特にない	選択肢を追加 (認知症、孤独・孤立関係)	○		○
問3-12	13	共通	困りごとや不安の相談先	あなたは、困っていることや不安に思うことを、どこに相談していますか。あるいは、どこに相談しようと思いますか	複数	市の窓口(区役所・保健センター・まちづくりセンターなど) 地域包括支援センター 介護予防センター 健康づくりセンター 病院などの医療機関 ケアマネジャー ホームヘルパー 入居中の住宅の相談員など 民生委員 福祉のまち推進センター 町内会 家族 親戚 知人 人権擁護委員 老人福祉センター その他(具体的に) わからない 特にない		○	○	○
4 地域での活動について 【問1-5で「施設に入所中」以外の方のみ】										
問4-1		65	活動への参加頻度	以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか	単一	※表形式		○	●	○
問4-1-1				①ボランティアのグループ		週4回以上 週2・3回 週1回 月1～3回 年に数回 参加していない				○
問4-1-2				②スポーツ関係のグループやクラブ		週4回以上 週2・3回 週1回 月1～3回 年に数回 参加していない				○
問4-1-3				③趣味関係のグループ		週4回以上 週2・3回 週1回 月1～3回 年に数回 参加していない				○
問4-1-4				④学習・教養サークル		週4回以上 週2・3回 週1回 月1～3回 年に数回 参加していない				○
問4-1-5				⑤体操(運動)や会食、茶話会、認知症予防、趣味活動など介護予防のための通いの場		週4回以上 週2・3回 週1回 月1～3回 年に数回 参加していない				◎
問4-1-6				⑥老人クラブ		週4回以上 週2・3回 週1回 月1～3回 年に数回 参加していない				○
問4-1-7				⑦町内会・自治会		週4回以上 週2・3回 週1回 月1～3回 年に数回 参加していない				○
問4-1-8				⑧収入のある仕事		週4回以上 週2・3回 週1回 月1～3回 年に数回 参加していない				○
問4-1-9				⑨保育の手伝いや子育てサロンへの参加などの子育て支援		週4回以上 週2・3回 週1回 月1～3回 年に数回 参加していない				○
問4-1-10				⑩家事援助、移送などの高齢者への支援		週4回以上 週2・3回 週1回 月1～3回 年に数回 参加していない				○
問4-1-11				⑪祭りなど地域の催し物の世話役など		週4回以上 週2・3回 週1回 月1～3回 年に数回 参加していない				○
問4-1-12				⑫交通安全、防犯・防災、環境美化、緑化推進などの地域活動		週4回以上 週2・3回 週1回 月1～3回 年に数回 参加していない				○
問4-2		65	不参加の理由	【問4-1-1～12のすべてに「参加していない」の方のみ】 参加していない理由は何ですか	複数	体力・健康面に不安がある 自分に合った活動が見つからない きっかけや情報がない 人間関係が不安・煩わしい 意欲がわかない、関心がない 経済的に余裕がない 仕事で時間がない 家事や介護・育児で時間がない 趣味に時間を使いたい その他 特に理由はない		○		○
問4-3		65	参加意欲	地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか	単一	ぜひ参加したい 参加してもよい 参加したくない すでに参加している		○	●	
問4-4		65	企画・運営意欲	地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営(お世話役)として参加してみたいと思いますか	単一	ぜひ参加したい 参加してもよい 参加したくない すでに参加している		○	●	◎
問4-5		65	社会参加の機会	札幌市では、高齢者が積極的に社会参加できる機会が十分にあると思いますか	単一	そう思う まあそう思う どちらともいえない あまりそう思わない そう思わない わからない		○		◎

【資料6】R7高齢社会に関する意識調査

(40歳以上共通43問、65歳以上のみ+44問)

65歳以上

☆新規
●必須
○オプション
○現状分析
◎指標

設問No.	対応No.	対象	設問趣旨	設問内容	回答形式	選択肢	見直し内容	要否	国	計画掲載9期
問4-6	14	共通	介護の仕事への就労意欲	少子高齢化に伴い、「介護のおしごと」の需要が高まっていますが、あなたは携わってみたいと思いますか（介護福祉士などの介護職や、特別な資格のいない介護助手としての就労のほか、ボランティアとしてのお手伝いも含みます） ※介護助手とは、原則として身体介護（食事介助、排せつ介助、入浴介助など）を行わず、食事の配膳や掃除、ベッドメイキングなどを行う職員をいいます。	単一	就労としてぜひ携わってみたい 就労として携わることに興味がある ボランティアとしてぜひ携わってみたい ボランティアとして携わることに興味がある あまり携わってみたいとは思わない 携わってみたいとは思わない		○		
問4-7	15	共通	勤務形態（頻度）の希望	【問4-6で「就労として携わってみたい」「就労として携わることに興味がある」の方のみ】 どのような勤務形態（頻度）で働きたいですか	単一	フルタイム パートタイム（週4日以上） パートタイム（週2・3日） パートタイム（週1日）		○		
5 心身の状況について 【問1-5で「施設に入所中」以外の方のみ】										
問5-1		65	身長・体重	身長・体重を教えてください	記述	□□□cm □□□kg		○	●	
問5-2	16	共通	主観的健康感	現在のあなたの健康状態はいかがですか	単一	とてもよい まあよい あまりよくない よくない		○	●	◎
問5-3	17	共通	り患中の疾病、後遺症	現在治療中、または後遺症のある病気はありますか	複数	ない 高血圧 脳卒中（脳出血・脳梗塞等） 心臓病 糖尿病 高脂血症（脂質異常） 呼吸器の病気（肺炎や気管支炎等） 胃腸・肝臓・胆のうの病気 腎臓・前立腺の病気 筋骨格の病気（骨粗しょう症・関節症等） 外傷（転倒・骨折等） がん（悪性新生物） 血液・免疫の病気 うつ病 認知症（アルツハイマー病等） パーキンソン病 目の病気 耳の病気 その他（具体的に ）		○	●	○
問5-4	18	共通	健康状態で気になっていること	最近、ご自身の健康状態について気になっていることはありますか	複数	膝や腰に痛みがある 足腰の筋力が落ちてきた 眠れない、眠りが浅い 疲れやすい 目が見えづらくなってきた 耳が遠くなってきた 物忘れが増えた ここ半年間で体重が2～3kg以上減った 固いものが食べにくくなってきた お茶や汁物でむせる 口が渇く その他（具体的に ） 特にない		○	○	○
問5-5		65	咀嚼	半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか	単一	はい いいえ		○	●	
問5-6		65	歯数	歯の数と入れ歯の利用状況を教えてください （成人の歯の総本数は、親知らずを含めて32本です）	単一	自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用 自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし 自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用 自分の歯は19本以下、入れ歯の利用なし		○	●	
問5-7		65	聞こえ	最近、ご自身の聞こえの状態について気になっていることはありますか	複数	会話をしているときに聞き返す 後ろから呼びかけられると気づかないことがある 聞き間違えが多い 話し声が大きいと言われる 見えないところからの車の接近に気づかない 電子レンジなどの電子音が聞こえない 耳鳴りがある 特にない	新規	☆		
問5-8		65	聞こえ	聞こえる音量について教えてください。	単一	ささやき声や静かな声は聞き取れない場合がある 普通の大きさの声を聞き取れないことがある 大きな声で話をしてもらわないと聞き取れないことがある かなり大きな声なら感じることができる 補聴器を付けても聞き取れない 特に支障を感じていない	新規	☆		
問5-9		65	喫煙	タバコは吸っていますか	単一	ほぼ毎日吸っている 時々吸っている 吸っていたがやめた もともと吸っていない		○	●	
問5-10		65	階段昇降	階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか	単一	できるし、している できるけどしていない できない		○	●	
問5-11		65	歩行	15分位続けて歩いていますか	単一	できるし、している できるけどしていない できない		○	●	
問5-12		65	立ち上がり	椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか	単一	できるし、している できるけどしていない できない		○	●	
問5-13		65	過去1年間の転倒	過去1年間に転んだ経験がありますか	単一	何度もある 1度ある ない		○	●	
問5-14		65	転倒に対する不安	転倒に対する不安は大きいですか	単一	とても不安である やや不安である あまり不安でない 不安でない		○	●	
問5-15		65	物忘れ	物忘れが多いと感じますか	単一	はい いいえ		○	●	
問5-16		65	幸福度	あなたは、現在どの程度幸せですか	単一	とても不幸 0点 1点 2点 3点 4点 5点 6点 7点 8点 9点 10点 とても幸せ		○	●	
問5-17		65	抑うつ①（気分・気持ち）	この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか	単一	はい いいえ		○	●	
問5-18		65	抑うつ②（興味・関心）	この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか	単一	はい いいえ		○	●	
問5-19	19	共通	介護・介助の必要性	あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか ※ここでの「介護」とは、介護保険のサービスを受けている場合のほか、介護保険の要介護（支援）認定を受けていない場合でも、常時ご家族などの援助を受けている状態を含みます。	単一	介護・介助は必要ない 何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない 現在、何らかの介護・介助を受けている		○	●	

【資料6】R7高齢社会に関する意識調査

(40歳以上共通43問、65歳以上のみ＋44問)

65歳以上

☆新規
●必須
○オプション
○現状分析
○指標

設問No.	対応No.	対象	設問趣旨	設問内容	回答形式	選択肢	見直し内容	要否	国	計画掲載9期
問5-20	20	共通	要介護等認定状況	介護保険の要介護（支援）認定等は受けていますか ※要介護（支援）認定等の結果は、被保険者の皆様に交付している「介護保険被保険者証」の2ページ目の「要介護状態区分等」欄に記載されています。	単一	要介護（支援）認定等は受けていない（新規申請中を含む）「事業対象者」に該当している 「要支援1」の認定を受けている 「要支援2」の認定を受けている 「要介護1」の認定を受けている 「要介護2」の認定を受けている 「要介護3」の認定を受けている 「要介護4」の認定を受けている 「要介護5」の認定を受けている		○		
6 介護予防活動について 【問1-5で「施設に入所中」以外の方のみ】										
問6-1	21	共通	フレイルの認知度	あなたはフレイルを知っていますか	単一	言葉も意味も知っている 聞いたことはあるが意味は知らない 聞いたことがない		○		
問6-2	22	共通	健康維持・増進の意識	あなたは、普段から介護予防のためにご自身の健康維持・増進を意識していますか。 ※「介護予防」とは、要介護状態にならないように取り組むこと、または、要介護状態であってもその悪化を防ぐよう取り組むこと	単一	強く意識している 意識している あまり意識していない ほとんど意識していない		○		
問6-3	23	共通	健康維持・介護予防の取組	【問6-2】で「強く意識している」「意識している」の方 あなたが、健康維持・介護予防のためにに行っていることはありますか	複数	休養や睡眠を十分にとっている 毎日の食事に気をつけている 市販の健康食品や栄養剤・ビタミン剤をとっている 酒を控えている タバコをやめている 歯や口の中を清潔に保つように心がけている 閉じこもりがちにならないように外出している 運動不足にならないように身体を動かしている 身の回りのことは自分でしている 気持ちを明るく保つように心がけている 健康診断などを定期的に受けている 健康・介護予防のための研修会や講習会に参加している 健康・介護の悩みや心配を相談している 閉じこもり予防のための仲間づくり 新聞・雑誌・テレビなどから健康に関する情報を集めている その他（具体的に ） 意識しているが、何をすればよいかわからない	選択肢を整理	○		
問6-4	24	共通	認知症予防の取組	あなたが、認知症予防のために取り組んでいることはありますか	複数	運動を心がける 口腔の手入れ 栄養のバランスに気をつける 人との交流 趣味を持つ その他（具体的に ） 特にない		○		○
問6-5	25	共通	元気で暮らし続けるための取組	札幌市では、高齢者が介護を必要とせずに元気で暮らし続けるための取組が十分になされていると思いますか	単一	そう思う まあそう思う どちらともいえない あまりそう思わない そう思わない わからない		○		○
問6-6	26	共通	取組が十分ではないと思う理由	【問6-5で「あまりそう思わない」「そう思わない」の方のみ】 取組が十分になされていないと思う理由は次のうちどれですか	複数	地域の支え合いの仕組みづくりが不十分だから 社会参加の機会があまりないから 生涯学習やスポーツの機会が少ないから 困ったときの相談窓口が整備されていないから その他（具体的に ） 特に理由はない		○		○
問6-7	27	共通	地域包括支援センターの認知度	あなたは、地域包括支援センターを知っていますか	単一	名前も事業内容も知っている 名前は知っているが事業内容は知らない 名前も事業内容も知らない	事業全体の一部の選択肢として聞いていたものを、包括単独の設問に変更	☆		
問6-8	28	共通	生活圏域	札幌市では、高齢者とその家族への総合的な支援などを行う地域包括支援センターを27か所設置しています。あなたがお住まいの地区を担当する地域包括支援センターはどこですか ※ 詳細は、別紙1 地域包括支援センター担当地区一覧をご覧ください。	単一	※表形式		○		－
問6-9		65	介護予防センターの認知度	あなたは、介護予防センターを知っていますか	単一	名前も事業内容も知っている 名前は知っているが事業内容は知らない 名前も事業内容も知らない		☆		
7. たすけあいについて 【問1-6で「施設に入所中」以外の方のみ】										
問7-1		65	心配事などを聞いてくれる人	あなたの心配事や愚痴を聞いてくれる人はどなたですか	複数	配偶者 同居の子ども 別居の子ども 兄弟姉妹・親戚・親・孫 近隣の人 友人 その他（具体的に ） そのような人はいない		○	●	○
問7-2		65	心配事などを聞いてあげる人	反対に、あなたが心配事や愚痴を聞いてあげる人はどなたですか	複数	配偶者 同居の子ども 別居の子ども 兄弟姉妹・親戚・親・孫 近隣の人 友人 その他（具体的に ） そのような人はいない		○	●	
問7-3		65	看病などをしてくれる人	あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人はどなたですか	複数	配偶者 同居の子ども 別居の子ども 兄弟姉妹・親戚・親・孫 近隣の人 友人 その他（具体的に ） そのような人はいない		○	●	○
問7-4		65	看病などをしてあげる人	反対に、あなたが看病や世話をしてあげる人はどなたですか	複数	配偶者 同居の子ども 別居の子ども 兄弟姉妹・親戚・親・孫 近隣の人 友人 その他（具体的に ） そのような人はいない		○	●	
問7-5		65	身元を保証してくれる人	あなたが入院・介護施設等の入所・転居に際して身元を保証してくれる人はどなたですか	複数	配偶者 同居の子ども 別居の子ども 兄弟姉妹・親戚・親・孫 近隣の人 友人 その他（具体的に ） そのような人はいない	新規	☆		
問7-6		65	亡くなった後の様々な手続きを行ってくれる人	あなたが亡くなった後の様々な手続きを行ってくれる人はどなたですか	複数	配偶者 同居の子ども 別居の子ども 兄弟姉妹・親戚・親・孫 近隣の人 友人 その他（具体的に ） そのような人はいない	新規	☆		
問7-7	29	共通	避難警報発令時の避難行動	大雨洪水警報が発令された時など避難が必要な場合に、現在頼れる人及び将来的に頼りたい人は誰ですか	複数	※表形式		○		
問7-7-1				現在頼れる人		配偶者 同居の子ども 別居の子ども 兄弟姉妹・親戚・親・孫 近隣の人 友人 その他（具体的に ） そのような人はいない				○
問7-7-2				将来的に頼りたい人		配偶者 同居の子ども 別居の子ども 兄弟姉妹・親戚・親・孫 近隣の人 友人 その他（具体的に ） そのような人はいない				○

【資料 6】 R7高齢社会に関する意識調査

(40歳以上共通43問、65歳以上のみ+44問)

65歲以上

☆新規 ●必須 ○現状分析
○オプション ◎指標

設問No.	対応No.	対象	設問趣旨	設問内容	回答形式	選択肢	見直し内容	要否	国	計画掲載
										9期
問7-8	30	共通	孤独の状況	あなたはどの程度、孤独であると感じることがありますか	単一	決していない　ほとんどない　たまにある　時々ある　しばしばある・常にある	新規	☆		
問7-9		65	終活の有無	あなたは終活（※）を行っていますか ※ここでいう終活とは、人生の終わりに向けて、今後の住まいに関すること、医療や介護、亡くなったあとの葬儀やお墓などについて事前に準備しておくことをいいます。	単一	行っている　関心はあるが行っていない　関心がなく行っていない	新規	☆		
8　認知症に関すること										
問8-1	31	共通	認知症の基本的な理解	認知症とは、加齢による物忘れとは違い、脳の神経細胞の働きが低下する病気で、誰もがなり得る可能性があります。症状は「記憶障害」の他、周囲の対応や環境に影響されて起こる「感情障害」などがあります。早期に適切な診断や治療を受けることで、症状の改善や進行を遅らせたり、今後の生活に備えることが可能です。あなたはこのことをどの程度ご存じでしたか。	単一	よく知っている　ある程度知っている　どちらともいえない　あまり知らない　知らない　わからない	新規	☆		
問8-2	32	共通	認知症の人に接した経験	あなたは今までに認知症の人と接したことがありますか	単一	はい　いいえ		○		○
問8-3	33	共通	経験内容	【問8-2で「はい」の方のみ】 経験したことがあるのは、どのようなことですか	複数	家族の中に認知症の人がいる　家族の中に認知症の人がいた　親戚の中に認知症の人がいる 親戚の中に認知症の人がいた　友人や友人の家族に認知症の人がいる　友人や友人の家族に認知症の人がいた　近所付き合いの中で認知症の人と接したことがある　仕事を通じて認知症の人と接したことがある　街なかなどで、たまたま認知症の人と接したことがある　自身に認知症の症状がある　その他（具体的に　　）		○	●	○
問8-4	34	共通	認知症への偏見	認知症の人が偏見を持ってみられる傾向にあると思いますか	単一	そう思う　どちらかといえばそう思う　どちらともいえない　どちらかといえばそう思わない そう思わない　わからない		○		○
問8-5	35	共通	認知症の人が自分らしく暮らせると考えている市民の割合	「認知症になってからも希望をもって自分らしく暮らすことができる」とあなたは思いますか	単一	そう思う　どちらかといえばそう思う　どちらともいえない どちらかといえばそう思わない（理由　　） そう思わない（理由　　）	新規	☆		
問8-6	36	共通	認知症の相談窓口の認知度	認知症に関する相談窓口を知っていますか	単一	はい　いいえ		○	●	◎
問8-7	37	共通	認知症の相談先	仮にあなたやご家族の方に認知症の心配がある場合に、どこに相談しますか	複数	市の窓口（区役所・保健センター・まちづくりセンターなど）　地域包括支援センター　介護予防センター　ケアマネジャー　入居中の住宅の相談員など　民生委員　町内会　家族　親戚　知人　電話相談（認知症コールセンターなど）　かかりつけ医　認知症疾患医療センター 認知症カフェ　認知症の人と家族の会　その他（具体的に　　）　わからない　誰にも相談しない	認知症疾患医療センターを追加	○		○
9　その他										
問9-1		65	保険料段階	介護保険料の段階は何段階ですか ※介護保険料の段階は、本年6月以降に被保険者の皆様あてにお送りした、「令和7年度介護保険料納入通知書」または「令和7年度介護保険料特別徴収決定通知書」の2枚目に記載されています。	単一	第1段階　第2段階　第3段階　第4段階　第5段階　第6段階　第7段階　第8段階　第9段階　第10段階　第11段階　第12段階　第13段階　わからない	段階表を更新	○		
問9-2		65	保険料の負担感	あなたは、現在支払っている保険料について、どう思いますか	単一	負担ではない　少し負担である　とても負担である　わからない		○		
問9-3		65	保険料負担のあり方	あなたは、今後の介護保険料の負担はどうあるべきだと思いますか ※介護保険料は所得に応じた金額設定となっています（oページ参照）	単一	所得の高い人と低い人とは、現状くらいのバランスで負担し合う　所得の高い人の負担を増やし、所得の低い人の負担を減らす　所得の高い人の負担を減らし、所得の低い人の負担を増やすその他（具体的に　　）　わからない		○		
問9-4	38	共通	サービスと保険料の関係	介護保険料（※）は、介護サービスに要する費用などの見込みに基づき、3年ごとに見直されています。介護保険制度における介護サービスと保険料の関係について、あなたはどのように考えますか ※介護保険料のうち、65歳以上の被保険者にかかる「第1号保険料」は、介護保険事業計画期間の3年間で見込まれるサービス費用のうち、第1号保険料全体で負担すべき金額をまかなうことができるように設定し、市の条例や介護保険事業計画の中で定めます。一方、40歳以上64歳以下の被保険者にかか「第2号保険料」は、それぞれが加入している医療保険の医療保険者が独自の算定方法により設定しています。	単一	介護サービスの種類や利用上限を増やすなどの充実が図られることに伴い、介護保険料が現状より高くなることはやむを得ない　介護サービスの種類や利用上限を増やすなどは現状程度に維持され、介護保険料も現状程度が維持されることが望ましい　介護保険料を現状よりも低く抑えるため、介護サービスの種類や利用上限を減じるなどの見直しが行われることはやむを得ない　その他（具体的に　　）　わからない		○		
問9-5	39	共通	高齢者の人権尊重	札幌市では、高齢者の人権が尊重され、権利が守られていると思いますか	単一	そう思う　まあそう思う　どちらともいえない　あまりそう思わない　そう思わない　わからない		○		

設問No.	対応No.	対象	設問趣旨	設問内容	回答形式	選択肢	見直し内容	要否	国	計画掲載9期
問9-6		共通	サービス情報の入手先	高齢者の保健・福祉サービスに関する情報は、主にどこから入手していますか	複数	新聞・情報誌　テレビ　ラジオ　インターネット（ホームページなど）　SNS（LINE、X、Instagramなど）　市の広報（広報さっぽろなど）　市の窓口（区役所・保健センター・まちづくりセンターなど）　地域包括支援センター　介護予防センター　病院などの医療機関　ケアマネジャーやホームヘルパー　民生委員　福祉のまち推進センター　町内会　家族・親戚・知人　老人福祉センター　その他（具体的に　）　特に入手していない	SNSを追加	○		
問9-7	40	共通	生活支援コーディネーターの認知度	生活支援コーディネーターは、高齢者を中心とした生活支援のニーズ（買い物や病院の付き添いなど）を把握し、そのニーズに対応するため関係機関や団体等と連携して、高齢者を地域で支え合う体制づくりを行っています。あなたは、生活支援コーディネーターを知っていますか。	単一	名前も事業内容も知っている　名前は知っているが事業内容は知らない　名前も事業内容も知らない	事業全体の一部の選択肢として聞いていたものを単独設問に変更	☆		
問9-8	41	共通	高齢者あんしんコール事業の認知度	高齢者あんしんコール事業は、心身に不安のあるひとり暮らし高齢者などに専用の通報機器を貸与し、健康などの相談に24時間対応するほか、受信センターから定期的な電話掛けを行います。また、急病などの緊急時は、受信センターが救急車を要請するなど状況に応じた支援を行い、高齢者の安心した在宅生活をサポートする事業です。あなたはこの事業を知っていますか。	単一	名前も事業内容も知っている　名前は知っているが事業内容は知らない　名前も事業内容も知らない	事業全体の一部の選択肢として聞いていたものを単独設問に変更	☆		
問9-9		65	高齢者配食サービス事業の認知度	高齢者配食サービス事業は、ひとり暮らしで食事の支度が困難な高齢者に対して、食事に関してできる限り自立した生活が営めるよう、食に関する利用調整を行い、栄養のバランスがとれた食事を届けるとともに、安否を確認する事業です。あなたはこの事業を知っていますか。	単一	名前も事業内容も知っている　名前は知っているが事業内容は知らない　名前も事業内容も知らない	事業全体の一部の選択肢として聞いていたものを単独設問に変更	☆		
問9-10		65	おむつサービス事業の認知度	高齢者等おむつサービス事業は、ねたきりまたは認知症などにより常時おむつを必要とする在宅の高齢者に対して、紙おむつを給付し、本人及び介護にあたる家族などの日常生活における負担軽減や保健衛生の向上を図る事業です。あなたはこの事業を知っていますか。	単一	名前も事業内容も知っている　名前は知っているが事業内容は知らない　名前も事業内容も知らない	事業全体の一部の選択肢として聞いていたものを単独設問に変更	☆		
問9-11	42	共通	おむつサービス事業	高齢者等おむつサービス事業は、介護保険料により実施しており、要介護3～5で一定の要件を満たした方に、月6,500円以内（対象者は利用額の1割を負担、生活保護受給者は負担なし）で月1回自宅におむつを配達する事業で、利用者の自己負担を除く必要な経費全額を介護保険料から充当して実施しています。高齢化率の上昇に伴い利用者が年々増加しています。この事業の今後について、あなたはどのように考えますか	単一	現状を維持するために介護保険料の負担増もやむを得ない　所得による制限（所得が一定額以上の方は事業の対象外とする）を導入するべきである　所得による制限（所得が一定額以上の方は事業の対象外とする）を導入し、利用負担なしとするべきである　所得が一定額以上の方の利用負担額（通常1割）を上げ、その他の利用者は利用負担なしとするべきである　利用負担額（通常1割）を上げるべきである　利用上限額（6,500円）を下げるべきである　この事業を廃止してもよい　その他（具体的に　）		○		
問9-12	43	共通	今後の調査方法	本アンケート調査の実施方法について、あなたはどちらの形式が回答しやすいですか。	単一	紙のアンケート　インターネットのアンケート　どちらでもよい ※インターネットのアンケートとは、スマートフォンやパソコンからホームページにアクセスして行う方法です	新規	☆		
10 自由記載										
問10	44	共通	高齢者施策全般への要望・意見	札幌市のこれからの保険・福祉サービスや介護保険制度などの高齢者施策全般について、ご要望やご意見がありましたら、ご自由にお書きください	記述			○		

【資料6】R7高齢社会に関する意識調査

(40歳以上共通43) 問

40歳～64歳

設問No.	対応No.	対象	設問趣旨	設問内容	回答形式	選択肢	見直し内容	要否	国	計画掲載 9期
1 基本的事項について										
問1-1	1	共通	記入者	調査票を記入しているのはどなたですか	単一	あて名のご本人 ご家族 その他		○	●	－
問1-2	2	共通	居住区	あなたのお住まいの区を教えてください	単一	中央区、北区、東区、白石区、厚別区、豊平区、清田区、南区、西区、手稲区	新規 区別データ把握のため	☆		
問1-3	3	共通	性別	あなたの性別を教えてください	単一	男性 女性 その他 回答しない		○		－
問1-4	4	共通	年齢	あなたの現在の年齢を教えてください	単一	満40～44歳 満45～49歳 満50～54歳 満55～59歳 満60～64歳		○		－
問1-5	5	共通	現在の生活場所	あなたは現在、どこで生活をしていますか ※1「サービス付き高齢者向け住宅」とは、住宅としての居室の広さや設備、バリアフリーといったハード面の条件を備えるとともに、ケアの専門家による安否確認や生活相談サービスを提供することなどにより、高齢者が安心して暮らすことができる環境を整えた住宅をいいます。 ※2 60歳以上で、家庭環境、住宅事情等の理由により、居宅において生活することが困難な方が入所する施設で、A型、B型、ケアハウスの3種類があります。 ※3「施設」には、老人保健施設や病院を含みます。	単一	自分または家族の持ち家（一戸建） 自分または家族の持ち家（マンション） 民間の借家（一戸建） 民間の借家（マンション、アパート） サービス付き高齢者向け住宅※1などの高齢者向け住宅 道営・市営住宅、公団住宅 グループホーム 軽費老人ホーム※2、有料老人ホーム、養護老人ホーム その他（具体的に ） 特別養護老人ホームなどの施設※3に入所中【⇒問5へ】		○	○	○
2 生活状況等について 【問1-5で「施設に入所中」以外の方のみ】										
問2-1	6	共通	家族構成	あなたの世帯の家族構成を教えてください	単一	ひとり暮らし 夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上） 夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下） 息子や娘との2世帯 その他（具体的に ）		○	●	○
問2-2	7	共通	現地域での居住継続希望	あなたは、今後も現在お住まいの地域に住み続けたいと思いますか	単一	住み続けたい 住み続けたいとは思わない どちらともいえない わからない		○		○
問2-3	8	共通	生活環境の整備状況	あなたは、札幌市には、高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けるための生活環境が整っていると思いますか	単一	そう思う まあそう思う どちらともいえない あまりそう思わない そう思わない わからない		○		◎
問2-4	9	共通	今後の生活場所の希望	あなたは、仮にひとり暮らしになったり、身体が弱くなったり、日常生活を送るうえで判断力が不十分になった場合に、どこで生活したいですか	単一	現在の場所での生活を続けたい（増改築して住み続ける場合を含む） 住み替えにより在宅での生活を続けたい（サービス付き高齢者向け住宅や有料老人ホームなどを含む） 特別養護老人ホームやグループホームで暮らしたい わからない		○		○
問2-5	10	共通	在宅生活に必要なこと	介護が必要になっても、在宅で暮らし続けるためには何が必要だと思いますか	複数	住み続けられる住まいがある 家族が同居、または近くにいる 身近に利用できる医療機関がある 通ったり宿泊したりできる介護サービスがある 夜間に訪問してくれる介護サービスがある 見守ってくれる友人・知人が近くにいる 利用しやすい交通機関がある 身近に買い物できる場所がある 緊急時の連絡手段がある 紙おむつの支給が受けられる その他（具体的に ） 特にない		○		○
問2-6	11	共通	最期を迎えたい場所	あなたは、最期をどこで迎えたいと思いますか	単一	自宅 特別養護老人ホーム グループホーム 病院・診療所 サービス付き高齢者向け住宅や有料老人ホームなどの高齢者向け住宅 その他（具体的に ） 考えたことはない わからない		○		○
問2-7	12	共通	現在の困りごとや将来の不安	現在困っていることや心配なこと、将来に向け不安に思うことはありますか	複数	※表形式		○		－
問2-7-1	12			現在困っていること・心配なこと		健康面 生活費 仕事 住まい 食事の準備（栄養） 掃除・洗濯 生きがいや楽しみがない 自分の介護 家族の介護 自分や家族の認知症への対応 財産管理 交通事故 火の始末 詐欺（さぎ）等の犯罪被害 通院 日々の買物 緊急時の連絡手段 家族関係 相談相手がない 除雪 冬期間の外出・交通手段 ごみ捨て 災害時の避難 孤立死 自分が亡くなった後のこと その他（具体的に ） 特にない	選択肢を追加 （認知症、孤独・孤立関係）	○		○
問2-7-2	12			将来不安なこと		健康面 生活費 仕事 住まい 食事の準備（栄養） 掃除・洗濯 生きがいや楽しみがない 自分の介護 家族の介護 自分や家族の認知症への対応 財産管理 交通事故 火の始末 詐欺（さぎ）等の犯罪被害 通院 日々の買物 緊急時の連絡手段 家族関係 相談相手がない 除雪 冬期間の外出・交通手段 ごみ捨て 災害時の避難 孤立死 自分が亡くなった後のこと その他（具体的に ） 特にない	選択肢を追加 （認知症、孤独・孤立関係）	○		○
問2-8	13	共通	困りごとや不安の相談先	あなたは、困っていることや不安に思うことを、どこに相談していますか。あるいは、どこに相談しようと思いますか	複数	市の窓口（区役所・保健センター・まちづくりセンターなど） 地域包括支援センター 介護予防センター 健康づくりセンター 病院などの医療機関 ケアマネジャー ホームヘルパー 入居中の住宅の相談員など 民生委員 福祉のまち推進センター 町内会 家族 親戚 知人 人権擁護委員 老人福祉センター その他（具体的に ） わからない 特にない		○	○	○

40歳～64歳

設問No.	対応No.	対象	設問趣旨	設問内容	回答形式	選択肢	見直し内容	要否	国	計画掲載
										9期
問2-9	14	共通	介護の仕事への就労意欲	少子高齢化に伴い、「介護のおしごと」の需要が高まっていますが、あなたは携わってみたいと思いますか（介護福祉士などの介護職や、特別な資格のいない介護助手としての就労のほか、ボランティアとしてのお手伝いも含みます） ※介護助手とは、原則として身体介護（食事介助、排せつ介助、入浴介助など）を行わず、食事の配膳や掃除、ベッドメイキングなどを行う職員をいいます。	単一	就労としてぜひ携わってみたい 就労として携わることに興味がある ボランティアとしてぜひ携わってみたい ボランティアとして携わることに興味がある あまり携わってみたいとは思わない 携わってみたいとは思わない		○		
問2-10	15	共通	勤務形態（頻度）の希望	【問4-6で「就労として携わってみたい」「就労として携わることに興味がある」の方のみ】 どのような勤務形態（頻度）で働きたいですか	単一	フルタイム パートタイム（週4日以上） パートタイム（週2・3日） パートタイム（週1日）		○		
問2-11	29	共通	避難警報発令時の避難行動	大雨洪水警報が発令された時など避難が必要な場合に、現在頼れる人及び将来的に頼りたい人は誰ですか	複数	※表形式		○		
問2-11-1				現在頼れる人		配偶者 同居の子ども 別居の子ども 兄弟姉妹・親戚・親・孫 近隣の人 友人 その他（具体的に ） そのような人はいない				○
問2-11-2				将来的に頼りたい人		配偶者 同居の子ども 別居の子ども 兄弟姉妹・親戚・親・孫 近隣の人 友人 その他（具体的に ） そのような人はいない				○
問2-12	30	共通	孤独の状況	あなたはどの程度、孤独であると感じることがありますか	単一	決してない ほとんどない たまにある 時々ある しばしばある・常にある	新規	☆		
3 心身の状況について 【問1-5で「施設に入所中」以外の方のみ】										
問3-1	16	共通	主観的健康感	現在のあなたの健康状態はいかがですか	単一	とてもよい まあよい あまりよくない よくない		○	●	◎
問3-2	17	共通	り患中の疾病、後遺症	現在治療中、または後遺症のある病気はありますか	複数	ない 高血圧 脳卒中（脳出血・脳梗塞等） 心臓病 糖尿病 高脂血症（脂質異常） 呼吸器の病気（肺炎や気管支炎等） 胃腸・肝臓・胆のうの病気 腎臓・前立腺の病気 筋骨格の病気（骨粗しょう症・関節症等） 外傷（転倒・骨折等） がん（悪性新生物） 血液・免疫の病気 うつ病 認知症（アルツハイマー病等） パーキンソン病 目の病気 耳の病気 その他（具体的に ）		○	●	○
問3-3	18	共通	健康状態で気になっていること	最近、ご自身の健康状態について気になっていることはありますか	複数	膝や腰に痛みがある 足腰の筋力が落ちてきた 眠れない、眠りが浅い 疲れやすい 目が見えづらくなってきた 耳が遠くなってきた 物忘れが増えた ここ半年間で体重が2～3kg以上減った 固いものが食べにくくなってきた お茶や汁物でむせる 口が渇く その他（具体的に ） 特にない		○	○	○
問3-4	19	共通	介護・介助の必要性	あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか ※ここでの「介護」とは、介護保険のサービスを受けている場合のほか、介護保険の要介護（支援）認定を受けていない場合でも、常時ご家族などの援助を受けている状態を含みます。	単一	介護・介助は必要ない 何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない 現在、何らかの介護・介助を受けている		○	●	
問3-5	20	共通	要介護等認定状況	介護保険の要介護（支援）認定等は受けていますか ※要介護（支援）認定等の結果は、被保険者の皆様に交付している、「介護保険被保険者証」の2ページ目の「要介護状態区分等」欄に記載されています。	単一	要介護（支援）認定等は受けていない（新規申請を含む）「事業対象者」に該当している 「要支援1」の認定を受けている 「要支援2」の認定を受けている 「要介護1」の認定を受けている 「要介護2」の認定を受けている 「要介護3」の認定を受けている 「要介護4」の認定を受けている 「要介護5」の認定を受けている		○		
4 介護予防活動について 【問1-5で「施設に入所中」以外の方のみ】										
問4-1	21	共通	フレイルの認知度	あなたはフレイルを知っていますか	単一	言葉も意味も知っている 聞いたことはあるが意味は知らない 聞いたことがない		○		
問4-2	22	共通	健康維持・増進の意識	あなたは、普段から介護予防のためにご自身の健康維持・増進を意識していますか。 ※「介護予防」とは、要介護状態にならないように取り組むこと、または、要介護状態であってもその悪化を防ぐよう取り組むこと	単一	強く意識している 意識している あまり意識していない ほとんど意識していない		○		
問4-3	23	共通	健康維持・介護予防の取組	あなたが、健康維持・介護予防のためにに行っていることはありますか	複数	休養や睡眠を十分にとっている 毎日の食事に気をつけている 市販の健康食品や栄養剤・ビタミン剤をとっている 酒を控えている タバコをやめている 歯や口の中を清潔に保つように心がけている 閉じこもりがちにならないように外出している 運動不足にならないように身体を動かしている 身の回りのことは自分でしている 気持ちを明るく保つように心がけている 健康診断などを定期的に受けている 健康・介護予防のための研修会や講習会に参加している 健康・介護の悩みや心配を相談している 閉じこもり予防のための仲間づくり 新聞・雑誌・テレビなどから健康に関する情報を集めている その他（具体的に ） 意識しているが、何をすればよいかわからない	選択肢を整理	○		
問4-4	24	共通	認知症予防の取組	あなたが、認知症予防のために取り組んでいることはありますか	複数	運動を心がける 口腔の手入れ 栄養のバランスに気をつける 人との交流 趣味を持つ その他（具体的に ） 特にない		○		○

【資料 6】 R7高齢社会に関する意識調査

(40歳以上共通43) 問

40歳～64歳

設問No.	対応No.	対象	設問趣旨	設問内容	回答形式	選択肢	見直し内容	要否	国	計画掲載
										9期
問4-5	25	共通	元気で暮らし続けるための取組	札幌市では、高齢者が介護を必要とせずに元気で暮らし続けるための取組が十分になされていると思いますか	単一	そう思う　まあそう思う　どちらともいえない　あまりそう思わない　そう思わない　わからない		○		○
問4-6	26	共通	取組が十分ではないと思う理由	【問4-5で「あまりそう思わない」「そう思わない」の方のみ】 取組が十分になされていないと思う理由は次のうちどれですか	複数	地域の支え合いの仕組みづくりが不十分だから　社会参加の機会があまりないから　生涯学習やスポーツの機会が少ないから　困ったときの相談窓口が整備されていないから　その他（具体的に　　）　特に理由はない		○		○
問4-7	27	共通	地域包括支援センターの認知度	あなたは、地域包括支援センターを知っていますか	単一	名前も事業内容も知っている　名前は知っているが事業内容は知らない　名前も事業内容も知らない	事業全体の一部の選択肢として聞いていたものを、包括単独の設問に変更	☆		
問4-8	28	共通	生活圏域	札幌市では、高齢者とその家族への総合的な支援などを行う地域包括支援センターを27か所設置しています。あなたが住まいの地区を担当する地域包括支援センターはどこですか ※　詳細は、別紙1　地域包括支援センター担当地区一覧をご覧ください。	単一	※表形式		○		－
5　認知症に関すること										
問5-1	31	共通	認知症の基本的な理解	認知症とは、加齢による物忘れとは違い、脳の神経細胞の働きが低下する病気で、誰もがなり得る可能性があります。症状は「記憶障害」の他、周囲の対応や環境に影響されて起こる「感情障害」などがあります。早期に適切な診断や治療を受けることで、症状の改善や進行を遅らせたり、今後の生活に備えることが可能です。あなたはこのことをどの程度ご存じでしたか。	単一	よく知っている　ある程度知っている　どちらともいえない　あまり知らない　知らない　わからない	新規	☆		
問5-2	32	共通	認知症に接した経験	あなたは今までに認知症の人と接したことがありますか	単一	はい　いいえ		○		○
問5-3	33	共通	経験内容	【問5-2で「はい」の方のみ】 経験したことがあるのは、どのようなことですか	複数	家族の中に認知症の人がいる　家族の中に認知症の人がいた　親戚の中に認知症の人がいる 親戚の中に認知症の人がいた　友人や友人の家族に認知症の人がいる　友人や友人の家族に認知症の人がいた　近所付き合いの中で認知症の人と接したことがある　仕事を通じて認知症の人と接したことがある　街なかなどで、たまたま認知症の人と接したことがある　自身に認知症の症状がある　その他（具体的に　　）		○	●	○
問5-4	34	共通	認知症への偏見	認知症の人が偏見を持ってみられる傾向にあると思いますか	単一	そう思う　どちらかといえばそう思う　どちらともいえない　どちらかといえばそう思わない　そう思わない　わからない		○		○
問5-5	35	共通	認知症の人が自分らしく暮らせると考えている市民の割合	「認知症になってからも希望をもって自分らしく暮らすことができる」とあなたは思いますか	単一	そう思う　どちらかといえばそう思う　どちらともいえない どちらかといえばそう思わない（理由　　） そう思わない（理由　　）	新規	☆		
問5-6	36	共通	認知症の相談窓口の認知度	認知症に関する相談窓口を知っていますか	単一	はい　いいえ		○	●	◎
問5-7	37	共通	認知症の相談先	仮にあなたやご家族の方に認知症の心配がある場合に、どこに相談しますか	複数	市の窓口（区役所・保健センター・まちづくりセンターなど）　地域包括支援センター　介護予防センター　ケアマネジャー　入居中の住宅の相談員など　民生委員　町内会　家族　親戚　知人　電話相談（認知症コールセンターなど）　かかりつけ医　認知症疾患医療センター　認知症カフェ　認知症の人と家族の会　その他（具体的に　　）　わからない　誰にも相談しない	認知症疾患医療センター	○		○
6　その他										
問6-1	38	共通	サービスと保険料の関係	介護保険料（※）は、介護サービスに要する費用などの見込みに基づき、3年ごとに見直されています。介護保険制度における介護サービスと保険料の関係について、あなたはどのように考えますか ※介護保険料のうち、65歳以上の被保険者にかかる「第1号保険料」は、介護保険事業計画期間の3年間で見込まれるサービス費用のうち、第1号保険料全体で負担すべき金額をまかなうことができるように設定し、市の条例や介護保険事業計画の中で定めます。一方、40歳以上64歳以下の被保険者にかか「第2号保険料」は、それぞれが加入している医療保険の医療保険者が独自の算定方法により設定しています。	単一	介護サービスの種類や利用上限を増やすなどの充実が図られることに伴い、介護保険料が現状より高くなることはやむを得ない　介護サービスの種類や利用上限を増やすなどは現状程度に維持され、介護保険料も現状程度が維持されることが望ましい　介護保険料を現状よりも低く抑えるため、介護サービスの種類や利用上限を減じるなどの見直しが行われることはやむを得ない　その他（具体的に　　）　わからない		○		
問6-2	39	共通	高齢者の人権尊重	札幌市では、高齢者の人権が尊重され、権利が守られていると思いますか	単一	そう思う　まあそう思う　どちらともいえない　あまりそう思わない　そう思わない　わからない		○		

40歳～64歳

設問No.	対応No.	対象	設問趣旨	設問内容	回答形式	選択肢	見直し内容	要否	国	計画掲載
										9期
問6-3	40	共通	生活支援コーディネーターの認知度	生活支援コーディネーターは、高齢者を中心とした生活支援のニーズ（買い物や病院の付き添いなど）を把握し、そのニーズに対応するため関係機関や団体等と連携して、高齢者を地域で支え合う体制づくりを行っています。あなたは、生活支援コーディネーターを知っていますか。	単一	名前も事業内容も知っている 名前は知っているが事業内容は知らない 名前も事業内容も知らない	事業全体の一部の選択肢として聞いていたものを単独設問に変更	☆		
問6-4	41	共通	高齢者あんしんコール事業の認知度	高齢者あんしんコール事業は、心身に不安のあるひとり暮らし高齢者などに専用の通報危機を貸与し、健康などの相談に24時間対応するほか、受信センターから定期的な電話掛けを行います。また、急病などの緊急時は、受信センターが救急車を要請するなど状況に応じた支援を行い、高齢者の安心した在宅生活をサポートする事業です。あなたはこの事業を知っていますか。	単一	名前も事業内容も知っている 名前は知っているが事業内容は知らない 名前も事業内容も知らない		☆		
問6-5	42	共通	おむつサービス事業	高齢者等おむつサービス事業は、介護保険料により実施しており、要介護3～5で一定の要件を満たした方に、月6,500円以内（対象者は利用額の1割を負担、生活保護受給者は負担なし）で月1回自宅におむつを配達する事業で、利用者の自己負担を除く必要な経費全額を介護保険料から充当して実施しています。高齢化率の上昇に伴い利用者が年々増加しています。この事業の今後について、あなたはどのように考えますか	単一	現状を維持するために介護保険料の負担増もやむを得ない 所得による制限（所得が一定額以上の方は事業の対象外とする）を導入するべきである 所得による制限（所得が一定額以上の方は事業の対象外とする）を導入し、利用負担なしとするべきである 所得が一定額以上の方の利用負担額（通常1割）を上げ、その他の利用者は利用負担なしとするべきである 利用負担額（通常1割）を上げるべきである 利用上限額（6,500円）を下げるべきである この事業を廃止してもよい その他（具体的に ）		○		
問6-6	43	共通	今後の調査方法	本アンケート調査の実施方法について、あなたはどちらの形式が好ましいですか。	単一	紙のアンケート インターネットのアンケート どちらでもよい ※インターネットのアンケートとは、スマートフォンやパソコンからホームページにアクセスして行う方法です	新規	☆		
7 自由記載										
問7	44	共通	高齢者施策全般への要望・意見	札幌市のこれからの保険・福祉サービスや介護保険制度など的高齢者施策全般について、ご要望やご意見がありましたら、ご自由にお書きください	記述			○		

設問№	対象	設問趣旨	設問内容	回答形式	選択肢	見直し内容	要否	国	計画掲載 9期
1 基本的事項について									
予備調査①	共通	要介護度	あなたの現在の要介護（支援）度を教えてください	単一	要支援 1 要支援 2 要介護 1 要介護 2 要介護 3 要介護 4 要介護 5 わからない その他（具体的に_____）【⇒調査終了】		○	●	
予備調査②	共通	現在の生活場所	あなたは現在、どこで生活していますか ※「サービス付き高齢者向け住宅」とは、住宅としての居室の広さや設備、バリアフリーといったハード面の条件を備えるとともに、ケアの専門家による安否確認や生活相談サービスを提供することなどにより、高齢者が安心して暮らすことができる環境を整えた住宅をいいます。	単一	在宅（一戸建、集合住宅（高齢者向け住宅を除く）、親族・知人の家など）で生活している サービス付き高齢者向け住宅※などの高齢者向け住宅で生活している 軽費老人ホーム（A型、B型）、ケアハウス、有料老人ホーム、養護老人ホームで生活している その他の施設、病院などに入所（入院）している【⇒調査終了】	選択肢文言修正	○		
問1-1	共通	記入者	調査票にご回答いただいているのはどなたですか	複数	調査対象者本人 主な介護者である家族・親族 主な介護者以外の家族・親族 その他（具体的に_____）		○	●	
問1-2	共通	性別	あなたの性別を教えてください	単一	男性 女性 その他 回答しない	回答しないを追記	○	●	
問1-3	共通	年齢	あなたの年齢を教えてください	単一	満64歳以下 満65～69歳 満70～74歳 満75～79歳 満80～84歳 満85～89歳 満90～94歳 満95歳以上		○	●	
問1-4	共通	居住区	あなたのお住まいの区を教えてください	単一	中央区 北区 東区 白石区 厚別区 豊平区 清田区 南区 西区 手稲区 札幌市以外		○		
問1-5	共通	施設入所の検討状況	現時点での、施設等への入所・入居の検討状況を教えてください	単一	入所・入居は検討していない 入所・入居を検討しているすでに入所・入居申し込みをしている		○	●	
問1-6	共通	施設で重視する点	もしあなたが施設等への入居・入所を検討する場合に、特に重視する点は何ですか（最大5つ）	複数	毎月の費用 立地・周辺環境 建物・設備の充実度合い 施設職員の人柄や雰囲気 個室であること 施設運営法人 介護体制の充実度 医療体制の充実度 食事 行事・リクリエーションほかの入所者・入居者の雰囲気 その他（具体的に_____）		○		
問1-7	共通	同居人	あなたと同居している方（「二世帯住宅」にお住いの方を含む）はどなたですか	複数	配偶者 息子 娘 子の配偶者 親・配偶者の親 孫・孫の配偶者 兄弟・姉妹 その他（具体的に_____） ひとり暮らし		○	●	
問1-8	共通	介護が必要となった主な原因	介護が必要となった主な原因は何ですか	単一	脳卒中（脳出血・脳梗塞など） 心疾患（心臓病） がん（悪性新生物） 呼吸器疾患（肺気腫、肺炎、気管支炎など） 関節疾患（関節リウマチ、腰痛など） 認知症（アルツハイマー病など） パーキンソン病 糖尿病 視覚・聴覚障害（緑内障、難聴など） 骨折・転倒 脊髄損傷 高齢による衰弱（特にこれといった病気と診断されていないものの 老いて体の機能が衰弱したもの） その他（具体的に_____） わからない	新規	☆		
問1-9	共通	り患中の疾病、後遺症	現在治療中、または後遺症のある病気はありますか	複数	高血圧 脳卒中（脳出血・脳梗塞など） 心臓病 糖尿病 高脂血症（脂質異常） 呼吸器の病気（肺炎や気管支炎など） 胃腸・肝臓・胆のうの病気 腎臓・前立腺の病気 筋肉、関節、骨の病気（腰痛・膝痛を含む） 外傷（転倒・骨折など） がん（悪性新生物） 血液・免疫の病気 うつ病 認知症（アルツハイマー病など） パーキンソン病 目の病気 耳の病気 歯や歯茎の病気 その他（具体的に_____） 特にない		○	○	○
2 あなたと介護保険の関わりについて									
問2-1	共通	認定申請のきっかけ	あなたが要介護（支援）認定を受けたきっかけはどのようなことですか	複数	家族や知人などに勧められたから 医師に勧められたから 病気で入院中に、退院に向けて必要だと思ったから 病気により、生活が不便になったから 年齢とともに少しずつ体力が落ちてきたから 物忘れが多くなってきたから 1人で生活することが不安になったから 何もする気になれず、じっとしていることが多くなったから 将来何かあったときのために、備えておきたかったから その他（具体的に_____）	項目追加	○		
問2-2	共通	要介護度の変化	最初に要介護（支援）認定を受けたときと現在の要介護（支援）度に変化はありましたか	単一	要介護（支援）度が軽くなった 変化はなかった 要介護（支援）度が重くなった		○		
問2-3	共通	重度化防止の取組	要介護（支援）度が重くならないように気をつけていることはありますか	複数	転倒対策をしている（杖を使うなど） 身の回りのことは自分でする 家に閉じこもらないように外出する 食事（回数・量・栄養） 運動不足にならないように体を動かしている お酒を飲まない タバコを吸わない ベッド以外の場所へ移動する 身だしなみを整える 歯や口の中を清潔に保つ その他（具体的に_____） 特にない	選択肢文言修正	○		
問2-4	共通	直近のサービス利用	あなたは1か月の間に、介護保険による介護（予防）サービスを利用していますか	単一	利用している 利用していない		○	●	○
問2-5	共通	利用中のインフォーマルサービス	現在、利用している介護保険サービス以外の支援・サービス（※）について教えてください ※ 総合事業に基づく支援・サービスは、介護保険サービスに含めます	複数	配食 調理 掃除・洗濯 買い物（宅配は含まない） ごみ出し 外出同行（通院、買い物など） 移送サービス（介護・福祉タクシーなど） 見守り・声かけ サロンなどの定期的な通いの場 その他（具体的に_____） 利用していない		○	○	
問2-6	共通	インフォーマルサービスの利用意向	【問2-5で「利用していない」の方のみ】 問2-5にある介護保険サービス以外の支援・サービスを利用して も良いと思いますか	単一	はい いいえ 【⇒問2-4で利用していないを回答した方は、問4-1へ】		○		◎
3 介護（予防）サービスの利用状況について 【問2-4で「介護（予防）サービスを利用している」の方のみ】									

【資料 7】 R7要介護（支援）認定者意向調査						☆新規				●必須 ○オプション		○現状分析 ◎指標	
設問№	対象	設問趣旨	設問内容	回答形式	選択肢	見直し内容	要否	国	計画掲載 9期				
問3-1	共通	サービス利用状況（回数/週）	下表に記載の各サービスの1週間あたりの利用回数について教えてください	単一	※表形式		○	●					
問3-1-1			訪問介護（ホームヘルプサービス）		1 回程度 2 回程度 3 回程度 4 回程度 5 回以上 利用していない【⇒問3-2-1】								
問3-1-2			訪問入浴介護		1 回程度 2 回程度 3 回程度 4 回程度 5 回以上 利用していない								
問3-1-3			訪問看護（介護保険分）		1 回程度 2 回程度 3 回程度 4 回程度 5 回以上 利用していない								
問3-1-4			訪問リハビリテーション		1 回程度 2 回程度 3 回程度 4 回程度 5 回以上 利用していない								
問3-1-5			通所介護（デイサービス）		1 回程度 2 回程度 3 回程度 4 回程度 5 回以上 利用していない【⇒問3-3-1】								
問3-1-6			通所リハビリテーション（デイケア）		1 回程度 2 回程度 3 回程度 4 回程度 5 回以上 利用していない								
問3-1-7			夜間対応型訪問介護		1 回程度 2 回程度 3 回程度 4 回程度 5 回以上 利用していない								
問3-2	共通	具体的な訪問介護の内容	【問3-1-1で訪問介護を利用している」方のみ】 訪問介護では、具体的にどのようなサービスを利用していますか	複数	調理 掃除 洗濯 買物 食事の介助 服薬の介助 トイレの介助やおむつの交換 入浴や洗拭の介助 着替えや身支度の介助 歩行や車いす介助 通院の介助 その他（具体的に ）		○		○				
問3-3	共通	訪問介護の利用時間	訪問介護サービスの1回あたりの利用時間は、通院の介助にかかる時間を除いて、概ねどれくらいですか	単一	20分未満 20分～30分未満 30分～45分未満 45分～60分未満 60分～75分未満 75分～90分未満 90分～120分未満 120分以上		○						
問3-4	共通	具体的な通所介護の内容	【問3-1-5で「通所介護を利用している」方のみ】 通所介護では、具体的にどのようなメニューを利用していますか	複数	入浴 食事 筋力トレーニング・体操など体を動かす内容 ゲームや趣味・創作活動 音楽活動（カラオケなど） 栄養改善 口腔機能（食べる・噛む・話す）の向上 健康チェック（体温、血圧測定など） その他（具体的に ）		○						
問3-5	共通	通所介護の利用時間	通所介護サービスの1回あたりの利用時間は、概ねどれくらいですか	単一	2 時間未満 2 時間～3 時間未満 3 時間～4 時間未満 4 時間～5 時間未満 5 時間～6 時間未満 6 時間～7 時間未満 7 時間以上		○						
問3-6	共通	サービス利用状況（日数・回数/月）	下表に記載の各サービスの1か月あたりの利用日数・回数について教えてください	単一	※表形式		○	●					
問3-6-1			居宅療養管理指導		1 回程度 2 回程度 3 回程度 4 回程度 5 回以上 利用していない								
問3-6-2			短期入所（ショートステイ）		1 ～7 日程度 8 ～14 日程度 15 ～21 日程度 22 日以上 利用していない								
問3-7	共通	サービス利用状況（有無）	下表に記載の各サービスの利用の有無について教えてください	単一	※表形式		○	●					
問3-7-1			定期巡回・随時対応型訪問介護看護		利用していない 利用した								
問3-7-2			小規模多機能型居宅介護		利用していない 利用した								
問3-7-3			看護小規模多機能型居宅介護		利用していない 利用した								
問3-8	共通	サービス内容の満足度	下表に記載の各サービスの満足度について教えてください	単一	※表形式		○						
問3-8-1			訪問介護（ホームヘルプサービス）		満足 ほぼ満足 やや不満 不満 利用していない								
問3-8-2			訪問入浴介護		満足 ほぼ満足 やや不満 不満 利用していない								
問3-8-3			訪問看護（介護保険分）		満足 ほぼ満足 やや不満 不満 利用していない								
問3-8-4			訪問リハビリテーション		満足 ほぼ満足 やや不満 不満 利用していない								
問3-8-5			居宅療養管理指導		満足 ほぼ満足 やや不満 不満 利用していない								
問3-8-6			通所介護（デイサービス）		満足 ほぼ満足 やや不満 不満 利用していない								
問3-8-7			通所リハビリテーション（デイケア）		満足 ほぼ満足 やや不満 不満 利用していない								
問3-8-8			短期入所（ショートステイ）		満足 ほぼ満足 やや不満 不満 利用していない								
問3-8-9			特定施設入居者生活介護		満足 ほぼ満足 やや不満 不満 利用していない								
問3-8-10			福祉用具貸与		満足 ほぼ満足 やや不満 不満 利用していない								
問3-8-11			居宅介護支援、介護予防支援（ケアマネジャー）		満足 ほぼ満足 やや不満 不満 利用していない								
問3-8-12			定期巡回・随時対応型訪問介護看護		満足 ほぼ満足 やや不満 不満 利用していない								

設問№	対象	設問趣旨	設問内容	回答形式	選択肢	見直し内容	要否	国	計画掲載
									9期
問3-8-13			夜間対応型訪問介護		満足 ほぼ満足 やや不満 不満 利用していない				
問3-8-14			地域密着型通所介護		満足 ほぼ満足 やや不満 不満 利用していない				
問3-8-15			認知症対応型通所介護		満足 ほぼ満足 やや不満 不満 利用していない				
問3-8-16			小規模多機能型居宅介護		満足 ほぼ満足 やや不満 不満 利用していない				
問3-8-17			看護小規模多機能型居宅介護		満足 ほぼ満足 やや不満 不満 利用していない				
問3-9	共通	サービス内容が不満な理由	【問3-8のいずれかで「(やや) 不満」の方のみ】 不満に感じている理由を教えてください	複数	サービス担当者の対応 サービスの回数や時間 サービスの利用料金 サービスの種類やメニュー サービス施設までの移動時間 その他（具体的に ）		○		
問3-10	共通	サービス量の満足度	現在受けている介護（予防）サービス量について、どのくらい満足していますか	単一	満足している ほぼ満足している 満足していない		○		
問3-11	共通	サービス量が不満な理由	【問3-10で「満足していない」の方のみ】 満足していない理由を教えてください	複数	利用回数・日数を増やしたり、他のサービスも利用したりしたいが、自己負担が増えるので控えているから 利用回数・日数を増やしたり、他のサービスも利用したりしたいが、利用限度額を超えるので控えているから 他にも利用したいサービスがあるが、そのサービスを利用できる事業所が近くにないから 他にも利用したいサービスがあるが、そのサービスに空きがないから その他（具体的に ）		○		
問3-12	共通	近くにない事業所	【問3-11で「事業所が近くにないから」の方のみ】 近くにないサービス事業所は、次のうちどれですか	複数	訪問介護（ホームヘルプサービス） 訪問入浴介護 訪問看護（介護保険分） 訪問リハビリテーション 居宅療養管理指導 通所介護（デイサービス） 通所リハビリテーション（デイケア） 短期入所（ショートステイ） 特定施設入居者生活介護 福祉用具貸与 居宅介護支援、介護予防支援（ケアマネジャー） 定期巡回・随時対応型訪問介護看護 夜間対応型訪問介護 地域密着型通所介護（デイサービス） 認知症対応型通所介護 小規模多機能型居宅介護 認知症対応型共同生活介護（グループホーム） 看護小規模多機能型居宅介護 介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム） 介護老人保健施設 介護医療院		○		
問3-13	共通	空きがないサービス	【問3-11で「空きがないから」の方のみ】 空きがないサービスは、次のうちどれですか	複数	訪問介護（ホームヘルプサービス） 訪問入浴介護 訪問看護（介護保険分） 訪問リハビリテーション 居宅療養管理指導 通所介護（デイサービス） 通所リハビリテーション（デイケア） 短期入所（ショートステイ） 特定施設入居者生活介護 福祉用具貸与 居宅介護支援、介護予防支援（ケアマネジャー） 定期巡回・随時対応型訪問介護看護 夜間対応型訪問介護 地域密着型通所介護（デイサービス） 認知症対応型通所介護 小規模多機能型居宅介護 認知症対応型共同生活介護（グループホーム） 看護小規模多機能型居宅介護 介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム） 介護老人保健施設 介護医療院		○		
問3-14	共通	サービス利用による生活の変化	介護（予防）サービスを利用することにより、生活にどのような変化がありましたか	複数	自分で身の回りのことをしようとする意欲が出てきた 精神的に楽になった 家族に対する気兼ねが減った 体調が良くなった 外出することが増えた その他（具体的に ） 特に変化はない		○		
4 介護（予防）サービスを未利用の方の状況について 【問2-4で「介護（予防）サービスを利用していない」の方のみ】									
問4-1	共通	利用経験	あなたは今までに介護保険による介護（予防）サービスを利用したことがありますか	単一	以前は利用していた 今までまったく利用したことがない		○		○
問4-2	共通	未利用の理由	あなたが介護（予防）サービスを現在利用していない理由は何ですか	複数	サービスを利用しなくても自分で生活できるから 本人が希望していないから 家族など介護してくれる人がいるから 以前よりも状態が改善したから 家族が急病など、緊急時のショートステイの利用のみ希望しているから 病院（医療保険適用）に入院しているから サービス利用料（サービス費用の1～3割の負担額）が負担になるから <u>利用したいサービスがあるが、そのサービスを利用できる事業所が近くにないから</u> 【⇒問4-3】 <u>利用を希望したが、サービスに空きがないから</u> 【⇒問4-4】 住宅改修や福祉用具の購入だけを希望していたから いざという時のために、とりあえず要介護（支援）認定申請したから サービスを受けたいが手続きや利用方法がわからないから 以前受けていたサービスに不満があったから その他（具体的に ）		○	○	○
問4-3	共通	近くにない事業所	【問4-2で「事業所が近くにないから」の方のみ】 近くにないサービス事業所は、次のうちどれですか	複数	訪問介護（ホームヘルプサービス） 訪問入浴介護 訪問看護（介護保険分） 訪問リハビリテーション 居宅療養管理指導 通所介護（デイサービス） 通所リハビリテーション（デイケア） 短期入所（ショートステイ） 特定施設入居者生活介護 福祉用具貸与 居宅介護支援、介護予防支援（ケアマネジャー） 定期巡回・随時対応型訪問介護看護 夜間対応型訪問介護 地域密着型通所介護（デイサービス） 認知症対応型通所介護 小規模多機能型居宅介護 認知症対応型共同生活介護（グループホーム） 看護小規模多機能型居宅介護 介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム） 介護老人保健施設 介護医療院		○		

設問№	対象	設問趣旨	設問内容	回答形式	選択肢	見直し内容	要否	国	計画掲載
									9期
問4-4	共通	空きがないサービス	【問4-2で「空きがないから」の方のみ】 空きがないサービスは、次のうちどれですか	複数	訪問介護（ホームヘルプサービス） 訪問入浴介護 訪問看護（介護保険分） 訪問リハビリテーション 居宅療養管理指導 通所介護（デイサービス） 通所リハビリテーション（デイケア） 短期入所（ショートステイ） 特定施設入居者生活介護 福祉用具貸与 居宅介護支援、介護予防支援（ケアマネジャー） 定期巡回・随時対応型訪問介護看護 夜間対応型訪問介護 地域密着型通所介護（デイサービス） 認知症対応型通所介護 小規模多機能型居宅介護 認知症対応型共同生活介護（グループホーム） 看護小規模多機能型居宅介護 介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム） 介護老人保健施設 介護医療院		○		
問4-5	共通	今後の利用意向	今後どのような状況になったときに、介護（予防）サービスを利用しようと思いますか	単一	身の回りのことが自分でできなくなったとき 利用したいサービス事業所が近くにできたとき 利用したいサービスの定員に空きができたとき 介護者が介護を続けることが困難になったとき その他（具体的に ） 今後も利用する予定はない		○		○
5 今後の暮らし方・介護保険料について									
問5-1	共通	今後の生活場所の希望	今後、要介護度が重くなるなど状況が変わったときに、どのようなところで過ごしたいと考えていますか	単一	現在の場所で生活を続けたい（自宅の場合、増改築を含む） 住み替えにより在宅での生活を続けたい 特別養護老人ホームに入所したい 介護老人保健施設に入所したい 介護医療院に入所したい グループホームに入居したい ケアハウスや有料老人ホームに入居したい サービス付き高齢者向け住宅などの高齢者向け住宅に入居したい その他（具体的に ）		○		
問5-2	共通	ヘルパー不足についての考え	高齢化の進行、介護人材の不足などの要因から、ヘルパー（※）不足が問題となっています。今後もし、自宅でヘルパーによる支援を受けられるまで時間がかかった場合、あなたは どうしますか ※ヘルパーとは、介護保険サービスとして自宅を訪問し、身体介護や生活援助を行う資格を持つ方をいいます	単一	ヘルパーを利用していないのでわからない ヘルパーではなくてもよいので、支援してくれる人に来てほしい（地域住民やボランティアなど） ヘルパーが来てくれるまで待つ 介護施設への入所を検討する その他（具体的に ）	新規	☆		
問5-3	共通	自立した生活に必要なこと	あなたは、住み慣れた地域や家庭で自立した生活を続けるために必要なことはどのようなことだと思いますか	複数	住み続けられる住まいがある 家族が同居、または近くにいる 除雪体制が整っている 通院がしやすい環境である 必要な介護サービスの量が利用できる 24時間体制の安心できる介護サービスがある 24時間体制の安心できる医療サービスがある いつでも何でも相談できる窓口がある 近所付き合ひの中で見守り体制がつけられている 見守ってくれる友人・知人が近くにいる 介護に要する費用が過大にならない 利用しやすい交通機関がある 身近に買い物できる場所がある 緊急時の通報手段がある その他（具体的に ）		○	○	
問5-4	共通	サービスと保険料の関係	介護保険料は、介護サービスに要する費用の見込みに基づき、3年ごとに見直されています。介護保険制度における介護サービスと保険料の関係について、あなたはどのように考えますか	単一	介護サービスの種類や利用上限を増やすなどの充実が図られるに伴い、介護保険料が現状より高くなることはやむを得ない 介護サービスの種類や利用上限などは現状程度に維持され、介護保険料も現状程度が維持されることが望ましい 介護保険料を現状よりも低く抑えるため、介護サービスの種類や利用上限を減じるなどの見直しが行われることはやむを得ない わからない その他（具体的に ）		○		
問5-5	共通	保険料負担のあり方	あなたは、今後の介護保険料の負担はどうあるべきだと思いますか	単一	所得の高い人と低い人とは、現状くらいのバランスで負担し合うべきである 所得の高い人の負担を増やし、所得の低い人の負担を減らすべきである 所得の高い人の負担を減らし、所得の低い人の負担を増やすべきである わからない その他（具体的に ）		○		
問5-6	共通	充実してほしいサービス	あなたが、今後より充実してほしいと考える介護サービスはどれですか（3つ以内）	複数	訪問介護（ホームヘルプサービス） 訪問入浴介護 訪問看護（介護保険分） 訪問リハビリテーション 居宅療養管理指導 通所介護（デイサービス） 通所リハビリテーション（デイケア） 短期入所（ショートステイ） 特定施設入居者生活介護 福祉用具貸与 居宅介護支援・介護予防支援（ケアマネジャー） 定期巡回・随時対応型訪問介護看護 夜間対応型訪問介護 地域密着型通所介護（デイサービス） 認知症対応型通所介護 小規模多機能型居宅介護 認知症対応型共同生活介護（グループホーム） 看護小規模多機能型居宅介護 介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム） 介護老人保健施設 介護医療院		○		
6 介護してくれる方の状況について ※問6-3以降【問6-2で「配偶者」「子」「親・配偶者の親」「兄弟・姉妹」「孫」「その他の親族」の方のみ】									
問6-1	共通	家族介護の頻度	家族や親族から（同居していない子どもや親族等を含む）の介護は週にどのくらいありますか	単一	ない 家族・親族の介護はあるが、週に1日よりも少ない 週に1～2日ある 週に3～4日ある ほぼ毎日ある		○	●	
問6-2	共通	主な介護者	あなたを主に介護してくれる方はどなたですか	単一	配偶者 子（子の配偶者を含む） 親・配偶者の親 兄弟・姉妹 孫（孫の配偶者を含む） その他の親族 友人・知人 ボランティア ヘルパー・施設職員 その他（具体的に ） そのような人はいない【⇒問6-16】		○	○	○
問6-3	家族介護者	家族介護者の性別	主な家族介護者の性別を教えてください	単一	男性 女性 その他 回答しない		○	○	

【資料 7】 R7要介護（支援）認定者意向調査										☆新規	●必須 ○オプション	○現状分析 ◎指標
設問№	対象	設問趣旨	設問内容	回答形式	選択肢	見直し内容	要否	国	計画掲載 9期			
問6-4	家族介護者	家族介護者の年齢	主な家族介護者の年齢を教えてください	単一	20歳未満 20～29歳 30～39歳 40～49歳 50～59歳 60～69歳 70～79歳 80～89歳 90歳以上 わからない		○	●	○			
問6-5	家族介護者	主な介護者が行っている介護等	現在、主な家族介護者の方が行っている介護などについて教えてください	複数	日中の排泄 夜間の排泄 食事の介助（食べる時） 入浴・洗身 身だしなみ（洗顔・歯磨きなど） 衣服の着脱 屋内の移乗・移動 外出の付き添い・送迎など 通院の介助・付き添い 服薬 認知症状への対応 医療面での対応（経管栄養、ストーマなど） 食事の準備（調理など） その他の家事（掃除、洗濯、買い物など） 金銭管理や生活面に必要な諸手続き その他（具体的に ） わからない		○	○				
問6-6	家族介護者	家族介護者が不安に感じる介護等	現在の生活を継続していくにあたって、主な家族介護者の方が不安に感じる介護などについて教えてください（現状で行っているか否かは問いません）（ <u>最大3つ</u> ）	複数	日中の排泄 夜間の排泄 食事の介助（食べる時） 入浴・洗身 身だしなみ（洗顔・歯磨きなど） 衣服の着脱 屋内の移乗・移動 外出の付き添い・送迎など 通院の介助・付き添い 服薬 認知症状への対応 医療面での対応（経管栄養、ストーマなど） 食事の準備（調理など） その他の家事（掃除、洗濯、買い物など） 金銭管理や生活面に必要な諸手続き その他（具体的に ） わからない 不安に感じていることは、特にない		○	●				
問6-7	家族介護者	家族介護者の負担感	主な家族介護者の介護の負担感はどの程度ですか	単一	負担ではない <u>少し負担である 負担である とても負担である【負担・とても負担→問6-8】</u>		○		◎			
問6-8	家族介護者	家族介護者が負担に感じること	【問6-7で「負担ではない」以外の方のみ】 主な家族介護者が負担に感じることはどのようなことですか	複数	介護に時間がかかり自分の時間が取れない 介護者自身の健康管理ができない 周りの人が大変さを理解してくれない 介護に協力してくれる人がいない 経済的負担が大きい 子育て中であり、介護と育児の両立が難しい 介護と仕事の両立が難しい 介護について相談できる人がいない 離れて暮らしており、介護のために通うことが難しい 頻繁に安否確認をしたり、健康状態などを気かけたりしている 介護サービスが十分ではない（具体的に ） その他（具体的に ）		○		○			
問6-9	家族介護者	家族介護者の相談先	主な家族介護者の方が、介護などについて困っていることや不安に感じることを、どこに相談していますか。あるいは、どこに相談しようと思いますか	複数	市の窓口（区役所・まちづくりセンターなど） 地域包括支援センター 介護予防センター 病院などの医療機関 ケアマネジャー ホームヘルパー 入居中の住宅の相談員など 訪問看護ステーション 家族介護者同士の交流の場 民生委員 家族 親戚 知人 その他（具体的に ） わからない 特にない		○		○			
問6-10	家族介護者	家族介護者支援に重要なこと	家族介護者支援として重要なことはどのようなことだと考えますか	複数	ショートステイなど、家族介護者が介護から離れることができるサービスの充実 特別養護老人ホームなどの施設設備の充実 家族介護者同士の交流の場の確保 家族介護者に対する相談窓口の充実 介護手当の支給などの経済的な支援 介護に対する社会的理解の促進 高齢者の総合相談窓口である地域包括支援センターへの相談手段の充実 その他（具体的に ）		○		○			
問6-11	家族介護者	介護離職	ご家族やご親族の中で、ご本人の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか（現在の就労状況や勤務形態は問いません。なお、自営業や農林水産業のお仕事を辞めた方を含みます）	複数	主な介護者が仕事を辞めた（転職除く） 主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた（転職除く） 主な介護者が転職した 主な介護者以外の家族・親族が転職した 介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない わからない		○	●	○			
問6-12	家族介護者	家族介護者の現在の勤務形態	主な家族介護者の方の現在の勤務形態を教えてください	単一	フルタイムで働いている パートタイムで働いている 働いていない わからない【⇒問6-16】		○	●				
問6-13	家族介護者	家族介護者の働き方の調整	【問6-12で「フル（パート）タイムで働いている」の方のみ】 主な家族介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をしていますか	複数	特に行っていない 介護のために「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・中抜け・早帰など）」しながら働いている 介護のために「休暇（年次有給休暇や介護休暇など）」を取得しながら働いている 介護のために「在宅勤務」を利用しながら働いている 介護のために「2」～「4」以外の調整をしながら働いている わからない		○	●				
問6-14	家族介護者	家族介護者の勤め先からの支援	主な家族介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか（ <u>最大3つ</u> ）	複数	自営業・フリーランス等のため勤め先はない 介護休業・介護休暇等の制度の充実 制度を利用しやすい職場づくり 労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など） 働く場所の多様化（在宅勤務・テレワークなど） 仕事と介護の両立に関する情報の提供 介護に関する相談窓口・相談担当者の設置 介護をしている従業員への経済的な支援 その他（具体的に ） 特にない わからない		○	○				
問6-15	家族介護者	家族介護者の介護と仕事の両立	【問6-12で「フル（パート）タイムで働いている」の方のみ】 主な家族介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか	単一	問題なく続けていける 問題はあるが何とか続けていける 続けていくのはやや難しい 続けていくのはかなり難しい わからない		○	●	○			
問6-16	共通	ケアラーの認知度	あなたは「ケアラー」という言葉を知っていますか	単一	言葉も意味も知っている 聞いたことはあるが意味は知らない 聞いたことがない		○					
7 災害への備え												
問7-1	共通	避難する場合の援助者	大雨や洪水警報により、避難が必要となった場合に、誰に助けを求めますか	複数	配偶者 同居の子ども 別居の子ども 兄弟姉妹・親戚・親・孫 近隣の人 友人 その他（具体的に ） そのような人はいない		○		○			
問7-2	共通	避難する場合の避難先	大雨や洪水警報により、避難が必要となった場合に、指定避難所及び要配慮者二次避難所（福祉避難所）以外に避難する場所がありますか	複数	別居の子ども宅 兄弟姉妹・親戚・親・孫宅 友人宅 宿泊施設 その他（具体的に ） そのような場所はない		○		○			
8 自由記載												
問8	共通	高齢者施策全般への要望・意見	要介護認定や介護保険サービスの利用、その他高齢者施策全般のほか、今回の調査や札幌市の施策について、ご要望やご意見がありましたら、ご自由にお書きください	記述			○					

【資料８】R7介護保険サービス提供事業者調査

設問№	設問趣旨	対象	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	見直し内容	要否	計画掲載 9期
1 事業所について																							
問1-1	事業所の経営形態	一部	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				○		○	
	施設の経営形態	一部																○				○	
	施設の経営形態	一部																	○			○	
問1-2	施設の種別	単独																		○		○	
問1-2	事業所の所在地	一部	問1-2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○						○	
問1-△	施設の所在地	一部															問1-1	問1-2	問1-2	問1-3		○	
問1-△	施設の形態	一部															問1-2					○	
		単独																問1-3				○	
問1-3	施設の運営形態	単独																	○			○	
問1-3	サービスの提供区	一部	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○						○	
問1-4	提供しているサービスの種類	単独					○															○	
		単独						○														○	
問1-4	事業所の形態	単独									○											○	
問1-4	特定施設入居者生活介護の事業所指定の状況	単独																		○		○	
問1-5	特定施設入居者生活介護への転換意向の有無	単独																		○		○	
問1-△	併設する介護保険サービス事業所の有無	一部	問1-4	問1-4	問1-4	問1-4	問1-6	問1-5	問1-4		問1-5	問1-4	問1-4	問1-4	問1-4	問1-4	問1-3	問1-4		問1-6		○	
問1-△	併設する事業所が提供している介護保険サービス	一部	問1-5	問1-5	問1-5	問1-5	問1-7	問1-6	問1-5		問1-6	問1-5	問1-5	問1-5	問1-5	問1-5	問1-4	問1-5		問1-7		○	
問1-△	併設する高齢者共同住宅の有無	一部	問1-6	問1-6	問1-6	問1-6	問1-8	問1-7	問1-6		問1-7	問1-6	問1-6	問1-6	問1-6	問1-6						○	
2 サービスの提供状況等について																							
問2-1	令和7年10月の1か月あたりのサービスの提供状況	一部	○	○	○	○					○	○										○	
問2-1-1	総提供回数	単独	○																			○	
問2-1-△		単独		問2-1																		○	
問2-1-△		一部			○	問2-1																○	
問2-1-△		単独								問2-1-1												○	
問2-1-△		単独									○											○	
問2-1-2	総提供時間（移動時間は除く）	単独	○		○																	○	
問2-1-2		単独			○																	○	
問2-△-△	最大提供回数	一部		問2-2		問2-2																○	
問2-△-△	延べ提供人数	単独								問2-1-2												○	
		単独									○											○	
問2-2	常勤職員による訪問介護サービスの提供時間	一部	○																			○	
問2-2-1	常勤職員によるサービスの平均提供回数	一部									○	○										○	
問2-2-2	常勤職員によるサービスの最大提供回数	一部									○	○										○	
問2-3	随時訪問サービスの移動時間とサービス提供時間	一部									○	○										○	
問2-1	令和7年10月の1か月あたりの提供状況等	一部					○						○									○	
問2-2	サービス利用者が通ってくる主な範囲	一部					○						○									○	
問2-3	現在のサービス提供メニュー	一部					○						○									○	
問2-1-1	ショートステイの事業形態	単独						○														○	
問2-1-2	令和7年8月～10月の3か月間の延べ利用日数	単独						○														○	
問2-1-3	専用床を増やす予定の有無	単独						○														○	
問2-1-4	積極的にショートステイ利用者を受け入れる意向の有無	単独						○														○	
問2-2-1	延べ利用日数（一時的活用）	単独						○														○	
問2-2	積極的にショートステイ利用者を受け入れる意向の有無	単独						○														○	
問2-1	介護予防支援事業所の指定の有無	単独							○												新規	☆	
問2-2	介護支援専門員1人あたりの平均ケアプラン作成件数	単独							○													○	
問2-3	ケアプランを作成している要支援1・2の方の利用者数	単独							○												新規	☆	
問2-1	専門職員1人あたりの平均ケアプラン作成件数	単独								○												○	
問2-2	予防支援担当者職員1人あたりの平均ケアプラン作成件数	単独								○												○	
問2-1	事業所（施設）の定員、入所者の状況	一部													○		○	○		○		○	

【資料8】R7介護保険サービス提供事業者調査

設問№	設問趣旨	対象	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	見直し内容	要否	計画掲載 9期	
			訪問介護	訪問入浴	訪問看護	訪問リハ	通所介護/通所リハ/地密通所	短期入所	居宅介護支援	包括	定期巡回	夜間対応型	認知症通所	小多機	認知症GH	看多機	特養/地密特養	老健	医療院	養護・軽費・有料				
問2-1-1	定員	一部													○		○	○		○		○		
問2-1-2	ユニット数	一部													○		○	○				○		
問2-1-3	入所（入居）者数	一部													○		○	○		○		○		
問2-2	予定時間以外の対応	単独																		○		○		
問2-△	運営法人が同一または同一の代表者が運営している関連施設	一部																	問2-1		○			
問2-△	入所者の入所前の状況	一部															問2-1	問2-1	問2-2		○			
問2-△	入所者の退所後の状況	一部															問2-2	問2-2	問2-3		○			
問2-1	令和7年11月1日現在の登録者数	一部												○		○						○		
問2-2	訪問看護の利用者数	一部												○		○						○		
問2-3	令和7年10月の1か月の延べ利用回数	一部												○								○		
問2-3	介護サービスの対象外だが利用者からの要望が多いこと	一部	○	○																		○		
問2-2	介護サービスの対象外だが利用者からの要望が多いこと	単独			○																	○		
問2-△	ターミナルケア（看取り）に取り組んだ経験の有無	一部			問2-3				問2-4-1		問2-4				問2-1	問2-4	問2-3	問2-3		問2-1		○		
問2-4-2	直近1年間の看取り件数	単独							○													○		
問2-△	ターミナルケア（看取り）についての考え	一部			問2-4				問2-5		問2-5				問2-2	問2-5	問2-4	問2-4		問2-2		○		
問2-△	ターミナルケア（看取り）を可能とするために必要な条件	一部			問2-5				問2-6		問2-6				問2-3	問2-6	問2-5	問2-5		問2-3		○	○	
3 事業所/施設/医療施設の運営について																								
問3-1-1	事業所運営に関する問題点	全部	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		○		
問3-1-2	介護報酬が実態にそぐわない理由	全部	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		○		
問3-1-3	新たに設置を希望する加算	全部	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		○		
問3-1-4	地域・医療との連携が難しい理由	全部	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		○		
問3-2	介護予防・日常生活支援総合事業の問題点	一部	○				○															○		
問3-2	介護予防サービスの問題点	一部		○	○	○		○	○	○			○	○	○					○		○		
問3-△	サービスの質の向上のためにやっている取組	全部	問3-3	問3-3	問3-3	問3-3	問3-3	問3-3	問3-3	問3-3	問3-2	問3-2	問3-3	問3-3	問3-3	問3-2	問3-2	問3-2	問3-2	問3-2	問3-3	○	○	
問3-△-1	サービス利用に関する苦情解決の方法	全部	問3-4-1	問3-4-1	問3-4-1	問3-4-1	問3-4-1	問3-4-1	問3-4-1	問3-4-1	問3-3-1	問3-3-1	問3-4-1	問3-4-1	問3-4-1	問3-3-1	問3-3-1	問3-3-1	問3-3-1	問3-4-1		○		
問3-△-2	解決できない問題	全部	問3-4-2	問3-4-2	問3-4-2	問3-4-2	問3-4-2	問3-4-2	問3-4-2	問3-4-2	問3-3-2	問3-3-2	問3-4-2	問3-4-2	問3-4-2	問3-3-2	問3-3-2	問3-3-2	問3-3-2	問3-4-2		○		
問3-△	夜間勤務体制（夜勤職員の配置）	一部						問3-5			問3-4			問3-5	問3-5	問3-4	問3-4	問3-4	問3-4	問3-5		○		
問3-△	夜間の人員体制についての自由記載	一部						問3-6			問3-5			問3-6	問3-6	問3-5	問3-5	問3-5	問3-5	問3-6		○		
問3-△	利用者と地域がつながるための工夫として行っている活動	一部					問3-5	問3-7			問3-6	問3-4	問3-5	問3-7	問3-7	問3-6	問3-6	問3-6		問3-9		○		
問3-△-1	災害発生の備えとして既に取り組んでいること	全部	問3-5-1	問3-5-1	問3-5-1	問3-5-1	問3-6-1	問3-8-1	問3-5-1	問3-5-1	問3-7-1	問3-5-1	問3-6-1	問3-8-1	問3-8-1	問3-7-1	問3-7-1	問3-7-1	問3-6-1	問3-7-1		○	○	
問3-△-2	災害発生時に備えた今後の地域との協力体制	全部	問3-5-2	問3-5-2	問3-5-2	問3-5-2	問3-6-2	問3-8-2	問3-5-2	問3-5-2	問3-7-2	問3-5-2	問3-6-2	問3-8-2	問3-8-2	問3-7-2	問3-7-2	問3-7-2	問3-6-2	問3-7-2		○		
問3-△-△	災害発生時における対策のうち一番難しいもの	全部	問3-5-3	問3-5-3	問3-5-3	問3-5-3	問3-6-3	問3-8-3	問3-5-3	問3-5-6	問3-7-3	問3-5-3	問3-6-4	問3-8-4	問3-8-4	問3-7-4	問3-7-4	問3-7-4	問3-6-4	問3-7-4		○		
4 職員への対応について																								
問4-1-1	過去1年間の採用、定着状況	全部	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		○		
問4-1-1-ア-A	採用状況、採用・退職者数	一部	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	
問4-1-1-ア-B		一部	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	
問4-1-1-ア-A		単独								○												○		
問4-1-1-ア-B		単独									○											○		
問4-1-1-ア-C		単独									○											○		
問4-1-1-イ-A	職員の定着状況	一部	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	
問4-1-1-イ-B		一部	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○		○		
問4-1-1-イ-A		単独									○											○		
問4-1-1-イ-B		単独									○											○		
問4-1-1-イ-C		単独									○											○		
問4-1-1-ウ-A	(地域包括支援センターのみ) 平均在籍年数	単独								○												○		
問4-1-1-ウ-B		単独									○											○		
問4-1-1-ウ-C		単独									○											○		
問4-1-2	職員募集で効果があった方法	全部	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		○		
問4-1-3-ア	介護サービスを提供する職員数（常勤換算）	全部	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		○		
問4-1-3-ア-A	職員数	全部	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	追加	○		

【資料 8】 R7介護保険サービス提供事業者調査

設問№	設問趣旨	対象	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	見直し内容	要否	計画掲載 9 期
			訪問介護	訪問入浴	訪問看護	訪問リハ	通所介護/通所リハ/地密通所	短期入所	居宅介護支援	包括	定期巡回	夜間対応型	認知症通所	小多機	認知症GH	看多機	特養/地密特養	老健	医療院	養護・軽費・有料			
問4-1-3-イ	定年制度	全部	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	新規	☆	
問4-1-3-イ-A	定年年齢	全部	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	新規	☆	
問4-1-3-イ-B	定年後の継続雇用制度	全部	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	新規	☆	
問4-1-3-ウ	職員数（実人数）	全部	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	新規	☆	
問4-1-3-エ	職員数の過不足に対する考え	全部	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		○	◎
問4-1-3-エ-A		一部	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	
問4-1-3-エ-B		単独								○												○	
問4-1-3-エ-C		単独								○												○	
問4-2	過去 1 年間の職員の退職理由として多いと感じるもの	全部	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		○	○
問4-3	職員に対して行っている配慮	全部	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		○	
問4-4	職員を取り巻く状況の変化（5 年前との比較）	全部	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		○	
問4-5	職員の給与に対する考え	全部	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		○	
問4-6	全職員を対象に実施している内部研修	全部	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		○	○
問4-7	外部研修などへの職員の参加	全部	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		○	○
問4-8	外部研修などへ参加させていない理由	全部	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		○	○
問4-9	職員に受けさせたい外部研修	全部	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		○	○
問4-10	介護助手の活用	一部		○			○	○									○	○	○	○	新規	☆	
問4-11	介護助手の活用効果	一部		○			○	○									○	○	○	○	新規	☆	
問4-12	介護助手を活用する予定	一部		○			○	○									○	○	○	○	新規	☆	
問4-13	介護助手を活用しない理由	一部		○			○	○									○	○	○	○	新規	☆	
問4-△	スポットワークの活用	全部	問4-10	問4-14	問4-10	問4-10	問4-14	問4-14	問4-10	問4-10	問4-10	問4-10	問4-10	問4-10	問4-10	問4-10	問4-14	問4-14	問4-14	問4-14	新規	☆	
問4-△	スポットワークの活用理由	全部	問4-11	問4-15	問4-11	問4-11	問4-15	問4-15	問4-11	問4-11	問4-11	問4-11	問4-11	問4-11	問4-11	問4-11	問4-15	問4-15	問4-15	問4-15	新規	☆	
問4-△	スポットワークでの雇用回数・従事内容・職員の能力	全部	問4-12	問4-16	問4-12	問4-12	問4-16	問4-16	問4-12	問4-12	問4-12	問4-12	問4-12	問4-12	問4-12	問4-13	問4-16	問4-16	問4-16	問4-16	新規	☆	
問4-△	スポットワーク導入の課題	全部	問4-13	問4-17	問4-13	問4-13	問4-17	問4-17	問4-13	問4-13	問4-13	問4-13	問4-13	問4-13	問4-13	問4-14	問4-17	問4-17	問4-17	問4-17	新規	☆	
問4-△	今後のスポットワークの活用	全部	問4-14	問4-18	問4-14	問4-14	問4-18	問4-18	問4-14	問4-14	問4-14	問4-14	問4-14	問4-14	問4-14	問4-15	問4-18	問4-18	問4-18	問4-18	新規	☆	
5 介護支援専門員の意見について																							
問5-△	現状における事業所の過不足に対する考え	一部							問5-1	問5-1							問5	問5	問5			○	
問5-△	業務を進めるうえで困難あるいは不安を感じていること	一部							問5-2	問5-2				問5		問5					認知症関連項目追加	○	◎
△ 自由記載																							
問△	介護保険制度全般への要望・意見	全部	問5	問5	問5	問5	問5	問5	問6	問6	問5	問5	問5	問6	問5	問6	問6	問6	問6	問6	問5		○

①R7訪問介護事業者調査

設問№	対象	設問趣旨	設問内容	回答形式	選択肢	見直し内容	要否	9期計画
1 事業所について								
問1-1	一部	事業所の経営形態	事業所の経営形態について教えてください	単一	株式会社 医療法人 社会福祉法人 合同会社 財団法人 有限会社 NPO法人 合名会社 合資会社 その他（具体的に ）		○	
問1-2	一部	事業所の所在地	事業所の所在地について教えてください	単一	中央区 北区 東区 白石区 厚別区 豊平区 清田区 南区 西区 手稲区		○	
問1-3	一部	サービスの提供区	サービスの提供区について教えてください	複数	中央区 北区 東区 白石区 厚別区 豊平区 清田区 南区 西区 手稲区		○	
問1-4	一部	併設する介護保険サービス事業所の有無	併設する介護保険サービス事業所の有無について教えてください	単一	ある（1～3事業所） ある（4～6事業所） ある（7～9事業所） ある（10～15事業所） ある（16事業所以上） ない		○	
問1-5	一部	併設する事業所が提供している介護保険サービス	【問1-4 併設する介護保険サービス事業所の有無で「併設あり」の方のみ】併設する事業所が提供している介護保険サービスについて教えてください	複数	訪問入浴介護 訪問看護 訪問リハビリテーション 居宅療養管理指導 通所介護 通所リハビリテーション 短期入所生活介護 短期入所療養介護 特定施設入居者生活介護 福祉用具貸与 特定福祉用具販売 居宅介護支援 介護予防支援（介護予防ケアマネジメント） 介護老人福祉施設 介護老人保健施設 介護医療院 定期巡回・随時対応型訪問介護看護 夜間対応型訪問介護 地域密着型通所介護 認知症対応型通所介護 小規模多機能型居宅介護 認知症対応型共同生活介護 地域密着型特定施設入居者生活介護 地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護 看護小規模多機能型居宅介護 訪問型サービス（総合事業） 通所型サービス（総合事業） 通所型サービス時間短縮型（総合事業）		○	
問1-6	一部	併設する高齢者共同住宅の有無	併設する高齢者共同住宅はありますか ※ここでの「高齢者共同住宅」とは、食事や相談サービスなど、高齢者を支援するサービスを提供する共同生活形式の住宅を指します	単一	ある ない		○	
2 サービスの提供状況等について								
問2-1	一部	令和7年10月の1か月あたりの提供状況等	令和7年10月の1か月に提供したメニューを選択し、その総提供回数および総提供時間をそれぞれ入力してください	記述			○	
問2-1-1		総提供回数			訪問介護（身体介護（ 回）生活援助（ 回）通院等乗降介助（ 回））訪問型サービス（総合事業）（ 回）		○	
問2-1-2		総提供時間（移動時間は除く）			訪問介護（身体介護（ 時間）生活援助（ 時間）通院等乗降介助（ 時間））訪問型サービス（総合事業）（ 時間）		○	
問2-2	一部	常勤職員による訪問介護サービスの提供時間	令和7年10月の1か月における、常勤職員の訪問介護サービスの提供時間（移動時間は除く）は、利用者1人あたり1日の平均・最大でそれぞれ何時間ですか	記述	利用者1人あたり1日の「平均提供時間」（ 時間）利用者1人あたり1日の「最大提供時間」（ 時間） ※ 小数点第2位以下は四捨五入してください		○	
問2-3	一部	介護サービスの対象外だが利用者からの要望が多いこと	介護サービスの対象外ではあるが、利用者からの要望が多いことは何ですか	複数	玄関前の除雪 簡単な大工仕事 庭の手入れ 年末年始の大掃除 家の中や敷地内のごみの整理や片付け 仏花の購入や仏壇の手入れ 映画鑑賞やお墓参りなどの付き添い 院内介助・通院介助 窓拭き 利用者の家族など利用者以外の方への生活援助 その他（具体的に ） 特にない		○	
3 事業所の運営について								
問3-1-1	全部	事業所運営に関する問題点	事業所運営に関する問題点はどのようなものがありますか	複数	利用者本人・家族などとの連携および調整が難しい 人材育成が難しい 職員が定着しにくい 職員の仕事への意欲を維持するのが難しい サービス担当者会議が十分に機能していない 介護報酬が実態にそぐわない利用者に対する情報提供が難しい 地域（町内会や民生委員など）との連携が難しい 医療との連携が難しい 計画どおりに職員の採用ができない その他（具体的に ） 特に問題はない		○	
問3-1-2	全部	介護報酬が実態にそぐわない理由	【問3-1-1で「介護報酬が実態にそぐわない」の方のみ】その理由を教えてください	複数	加算の要件が厳しく、算定できない 加算取得のための作業が煩雑で報酬と見合っていない サービス提供のための経費が報酬に反映されていない サービス提供以外の業務に対する報酬がない 要支援者の報酬が低い その他（具体的に ）		○	
問3-1-3	全部	新たに設置を希望する加算	【問3-1-1で「介護報酬が実態にそぐわない」の方のみ】安定したサービス提供を行うため、新たにどのような加算があると思うか、ご意見がありましたら具体的に入力してください	記述		新規	☆	
問3-1-4	全部	地域・医療との連携が難しい理由	【問3-1-1で「地域との連携が難しい」「医療との連携が難しい」の方のみ】その理由をできるだけ具体的に入力してください	記述			○	
問3-2	一部	介護予防・日常生活支援総合事業の問題点	介護予防サービスまたは介護予防・日常生活支援総合事業サービスについて、問題点はどのようなことだと思いますか	複数	報酬が低いので事業所運営をするうえで不利と感じる 受け入れ体制が整っていない サービス量（需要）を把握するのが難しい 利用者へのきめ細かな対応が難しいと感じる 予防効果を明確に利用者に説明できない その他（具体的に ） 特に問題はない 介護予防・日常生活支援総合事業サービスの指定を受けていない		○	
問3-3	全部	サービスの質の向上のために行っている取組	サービスの質の向上のために、どのような取組を行っていますか	複数	相談窓口の設置 ケア・カンファレンスの定期的な開催 サービス利用者の満足度調査の実施 自己評価の積極的な開示 サービス提供マニュアルの作成 サービス担当者会議への参加 医療との連携 研修の実施 外部評価の導入 コンサルティングへの依頼 苦情に対する組織的な対策 その他（具体的に ） 特に何も行っていない		○	○
問3-4-1	全部	サービス利用に関する苦情解決の方法	サービス利用に関する苦情解決の方法はどのように行っていますか	複数	事業所の中で解決している 事業所の中で解決できない場合は他の機関を利用して解決している 弁護士などの専門家と協議して解決している 上記3つの方法を活用しても解決できない場合がある その他（具体的に ）		○	
問3-4-2	全部	解決できない問題	【問3-4-1で「解決できない場合がある」の方のみ】その内容をできるだけ具体的に入力してください	記述			○	
問3-5-1	全部	災害発生の備えとして既に取り組んでいること	災害発生の備えとして、既に取り組んでいるものは何ですか	複数	災害時に備えた定期的な避難訓練などの実施 災害時における対応マニュアルの策定 事業継続計画（BCP）の策定 地域住民との協力体制の構築 災害時における職員の役割分担 夜間における緊急連絡体制の整備 災害時における備蓄・備品の用意 その他（具体的に ）		○	○
問3-5-2	全部	災害発生時に備えた今後の地域との協力体制	【問3-5-1で「地域住民との協力体制の構築」を選択しなかった方のみ】災害発生時に備えて、地域との協力体制についてどのように考えていますか	単一	現在話し合い中 今後話し合う予定 その他（具体的に ） 特に考えていない		○	
問3-5-3	全部	災害発生時における対策のうち一番難しいもの	災害発生時に備えて、地域との協力体制についてどのように考えていますか	単一	避難訓練で想定する行動 対応マニュアルなどに則した行動 地域住民との協力体制 職員の役割分担 夜間における緊急連絡体制 備蓄・備品の不足 その他（具体的に ）		○	
4 職員への対応について								
問4-1-1		過去1年間の採用、定着状況	過去1年間における職員の採用状況と採用・退職の人数、定着状況（および平均在籍年数）をそ		※表形式		○	
問4-1-1-ア-A	全部	採用状況、採用・退職者数	常勤職員	記述	（各職種それぞれについて）計画どおり採用できている 計画どおり採用できていない 採用計画はない 採用人数（ 人） 退職者数（ 人）		○	○
問4-1-1-ア-B			非常勤職員	記述	※表形式		○	○
問4-1-1-イ-A	全部	職員の定着状況	常勤職員	単一	良い 比較的良い あまり良くない 良くない		○	○
問4-1-1-イ-B			非常勤職員	単一	※表形式		○	
問4-1-2	全部	職員募集で効果があった方法	職員を募集するにあたり、効果があった方法は何ですか（3つ以内）	複数	ハローワークの活用 求人媒体の活用 大学・専門学校への依頼 人材派遣会社への依頼 人材紹介会社の活用 自社ホームページ・SNSなどの活用 知人からの紹介 その他（具体的に ）		○	

①R7訪問介護事業者調査

設問№	対象	設問趣旨	設問内容	回答形式	選択肢	見直し内容	要否	9期計画
問4-1-3-ア	全部	介護サービスを提供する職員数（常勤換算）	介護サービスを提供する職員数は何人ですか。常勤換算で総数及び年代別の人数をお答えください ※ 非常勤職員を常勤換算する際は、別添Excel『職員数換算シート』をお使いください ※ 算出方法は、『非常勤職員の週あたり延べ勤務実績』÷『常勤職員が勤務すべき週あたりの勤務時間数（32時間を下回る場合は32時間）』です	記述	職員数（常勤換算）（ 名） うち29歳以下（ 名） 30～39歳（ 名） 40～49歳（ 名） 50～59歳（ 名） 60～69歳（ 名） 70歳以上（ 名）	年齢別を追加	○	
問4-1-3-イ	全部	定年制度	貴事業所では、（正規雇用に係る）定年制度を設けていますか	単一	定年制度を設けている 定年制度を設けていない（年齢に関わらず働ける）	新規	☆	
問4-1-3-イ-A	全部	定年年齢	【問4-1-3-イで「設けている」の方のみ】定年年齢は何歳ですか	記載	（ 歳）	新規	☆	
問4-1-3-イ-B	全部	定年後の継続雇用制度	【問4-1-3-イで「設けている」の方のみ】定年後の継続雇用制度はありますか	単一	ある（上限がある 歳） ある（上限はない） ない	新規	☆	
問4-1-3-ウ	全部	職員数（実人数）	介護サービスを提供する職員の常勤・非常勤の実人数はそれぞれ何人ですか	記述	常勤職員（ 名） 非常勤職員（ 名）	新規	☆	
問4-1-3-エ	全部	職員数の過不足に対する考え	現状の職員数をどのように考えますか。 ※「さらに職員が必要」の場合は（ ）内に人数及びその理由	単一	現状の職員数で十分である さらに職員が必要（ 名）必要⇒理由（ ）		○	◎
問4-2	全部	過去1年間の職員の退職理由として多いと感じるもの	過去1年間に、貴事業所から退職された職員の方々の主な退職理由は何が多いと考えていますか（3つ以内）	複数	給与 就労時間や休暇などの勤務条件 職場環境 職場の人間関係 利用者などとの人間関係 健康 年齢 結婚 出産・育児 転職 家族の介護 家族の転勤 その他（具体的に ） 過去1年以内の退職はなかった		○	○
問4-3	全部	職員に対して行っている配慮	職員に対して、どのような配慮を行っていますか	複数	基本給以外の手当を支給している 健康診断等（定期健康診断以外）を実施している 通勤時や移動時の事故についての予防や対応策をとっている 被服や機器等の貸与を行っている 身体的負担への対応策をとっている 精神的ストレスの緩和・サポートを行っている 職場内コミュニケーションの円滑化を図っている カスタマーハラスメントへの対応策をとっている その他（具体的に ） 特にない		○	
問4-4	全部	職員を取り巻く状況の変化（5年前との比較）	貴事業所では、5年前と比較して職員の状況はどのように変化していますか	複数	1人当たりの仕事量が増えている 業務遂行に必要な人材が不足している 職場でのコミュニケーションや助け合いが減っている 業務についての研修の機会や場が少なくなっている 過労気味の職員が増えている サービスの量や質が落ちている その他（具体的に ）		○	
問4-5	全部	職員の給与に対する考え	職員の給与についてどのようにお考えですか	単一	職員は十分な給与が得られている 十分とはいえないが、職員は必要な給与を得られている 仕事の負担に対し、職員は給与が若干不足していると感じる 仕事の負担に対し、職員は十分な給与が得られていない		○	
問4-6	全部	全職員を対象に実施している内部研修	全職員を対象に実施している内部研修はどのようなものですか	複数	介護保険制度に関する研修 個人情報の取扱いに関する研修 リハビリテーション等に関する研修 事故防止に関する研修 認知症に関する研修 食事介助に関する研修 接遇研修 虐待に関する研修 身体拘束に関する研修 メンタルヘルスに関する研修 災害時対応に関する研修 感染症発生時対応に関する研修 ハラスメントに関する研修 ワークルールに関する研修 その他（具体的に ） 何も行っていない		○	○
問4-7	全部	外部研修などへの職員の参加	外部研修などへ職員を参加させるようにしていますか	単一	している していない		○	○
問4-8	全部	外部研修などへ参加させていない理由	【問4-7で「していない」の方のみ】 外部研修などへの参加をさせていない理由は何ですか	複数	時間の余裕がない 費用が高額である 参加させたい研修がない 参加させる必要がない その他（具体的に ）		○	○
問4-9	全部	職員に受けさせたい外部研修	職員に受けさせたい外部研修は何ですか	複数	介護保険制度に関する研修 個人情報の取扱いに関する研修 リハビリテーション等に関する研修 事故防止に関する研修 認知症に関する研修 食事介助に関する研修 接遇研修 虐待に関する研修 身体拘束に関する研修 メンタルヘルスに関する研修 管理者・リーダー層の養成に関する研修 災害時対応に関する研修 感染症発生時対応に関する研修 ハラスメントに関する研修 ワークルールに関する研修 その他（具体的に ）		○	○
問4-10	全部	スポットワークの活用	いわゆるスポットワーク（※）を活用して介護職員を雇用したことがありますか ※ スポットワークとは、アプリ等をとおして単発や短時間の仕事を依頼することをいいます	単一	活用したことがある 活用したことがない スポットワークを知らない	新規	☆	
問4-11	全部	スポットワークの活用理由	【問4-10】で「活用したことがある」の方のみ どのような理由でスポットワークを活用しましたか	複数	既存職員の急な欠勤・休暇の補填 既存職員の急な退職の補填 コスト削減 繁忙期の一時的な人員補充 正規雇用前の試用的な雇用（採用活動） その他（具体的に ）	新規	☆	
問4-12		スポットワークでの雇用回数・従事内容・職員の能力	【問4-10】で「活用したことがある」の方のみ スポットワークで雇用した回数は何回程度ですか、また、どのような業務に従事したか、その職員の能力についてどの程度満足していますか	記述		新規	☆	
問4-12-1	全部		雇用回数	記述	雇用回数（ 回）	新規	☆	
問4-12-2	全部		従事内容	複数	入浴介助 排泄介助 食事介助（口元への介助など） 体位交換・移乗介助 医療的ケア（服薬管理、バイタル測定など） 資格不要な周辺業務（配膳・見守りなど） その他（具体的に ）	新規	☆	
問4-12-3	全部		能力	単一	非常に満足 やや満足 やや不満 非常に不満	新規	☆	
問4-13	全部	スポットワーク導入の課題	【問4-10】で「活用したことがある」「活用したことがない」の方のみ	複数	信頼性・スキルに不安がある 雇用管理が煩雑 法制度や契約面で不安がある 仕組みがよく分からない 登	新規	☆	
問4-14	全部	今後のスポットワークの活用	今後、スポットワークを活用したいと思いますか	単一	ぜひ活用したい 状況に応じて活用したい あまり活用したくない 全く活用したくない	新規	☆	
5 自由記載								
問5	全部	介護保険制度全般への要望・意見	介護報酬や職員体制、介護保険サービスの提供、その他介護保険制度全般のほか、今回の調査や札幌市の施策について、ご要望やご意見がありましたら、ご自由に入力してください	記述			○	

②R7訪問入浴介護事業者調査

設問№	対象	設問趣旨	設問内容	回答形式	選択肢	見直し内容	要否	9期計画
1 事業所について								
問1-1	一部	事業所の経営形態	事業所の経営形態について教えてください	単一	株式会社 医療法人 社会福祉法人 合同会社 財団法人 有限会社 NPO法人 合名会社 合資会社 その他（具体的に ）		○	
問1-2	一部	事業所の所在地	事業所の所在地について教えてください	単一	中央区 北区 東区 白石区 厚別区 豊平区 清田区 南区 西区 手稲区		○	
問1-3	一部	サービスの提供区	サービスの提供区について教えてください	複数	中央区 北区 東区 白石区 厚別区 豊平区 清田区 南区 西区 手稲区		○	
問1-4	一部	併設する介護保険サービス事業所の有無	併設する介護保険サービス事業所の有無について教えてください	単一	ある（1～3事業所） ある（4～6事業所） ある（7～9事業所） ある（10～15事業所） ある（16事業所以上） ない		○	
問1-5	一部	併設する事業所が提供している介護保険サービス	【問1-4 併設する介護保険サービス事業所の有無で「併設あり」の方のみ】 併設する事業所が提供している介護保険サービスについて教えてください	複数	訪問介護 訪問看護 訪問リハビリテーション 居宅療養管理指導 通所介護 通所リハビリテーション 短期入所生活介護 短期入所療養介護 特定施設入居者生活介護 福祉用具貸与 特定福祉用具販売 居宅介護支援 介護予防支援（介護予防ケアマネジメント） 介護老人福祉施設 介護老人保健施設 介護医療院 定期巡回・随時対応型訪問介護看護 夜間対応型訪問介護 地域密着型通所介護 認知症対応型通所介護 小規模多機能型居宅介護 認知症対応型共同生活介護 地域密着型特定施設入居者生活介護 地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護 看護小規模多機能型居宅介護 訪問型サービス（総合事業） 通所型サービス（総合事業） 通所型サービス時間短縮型（総合事業）		○	
問1-6	一部	併設する高齢者共同住宅の有無	併設する高齢者共同住宅はありますか ※ここでの「高齢者共同住宅」とは、食事や相談サービスなど、高齢者を支援するサービスを提供する共同生活形式の住宅を指します	単一	ある ない		○	
2 サービスの提供状況等について								
問2-1	一部	令和7年10月の1か月あたりの提供状況等					○	
問2-1-1	単独		令和7年10月の1か月あたりの訪問入浴介護サービスの総提供回数は何回ですか	記述	（ 回）		○	
問2-1-2	一部		職員体制や設備の面から、1か月あたりに訪問入浴介護サービス（介護予防サービスを含む）を提供可能な回数は最大で何回ですか	記述	（ 回）		○	
3 事業所の運営について								
問3-1-1	全部	事業所運営に関する問題点	事業所運営に関する問題点はどのようなものがありますか	複数	利用者本人・家族などとの連携および調整が難しい 人材育成が難しい 職員が定着しにくい 職員の仕事への意欲を維持するのが難しい サービス担当者会議が十分に機能していない 介護報酬が実態にそぐわない 利用者に対する情報提供が難しい 地域（町内会や民生委員など）との連携が難しい 医療との連携が難しい 計画どおりに職員の採用ができない その他（具体的に ） 特に問題はない		○	
問3-1-2	全部	介護報酬が実態にそぐわない理由	【問3-1-1で「介護報酬が実態にそぐわない」の方のみ】 その理由を教えてください	複数	加算の要件が厳しく、算定できない 加算取得のための作業が煩雑で報酬と見合っていない サービス提供のための経費が報酬に反映されていない サービス提供以外の業務に対する報酬がない 要支援者の報酬が低い その他（具体的に ）		○	
問3-1-3	全部	新たに設置を希望する加算	【問3-1-1で「介護報酬が実態にそぐわない」の方のみ】 安定したサービス提供を行うため、新たにどのような加算があるとよいと思うか、ご意見がありましたら具体的に入力してください	記述		新規	☆	
問3-1-4	全部	地域・医療との連携が難しい理由	【問3-1-1で「地域との連携が難しい」「医療との連携が難しい」の方のみ】 その理由をできるだけ具体的に入力してください	記述			○	
問3-2	一部	介護予防サービスの問題点	介護予防サービスについて、問題点はどのようなことだと思いますか	複数	報酬が低いので事業所運営をする上で不利と感じる 受け入れ体制が整っていない サービス量（需要）を把握するのが難しい 利用者へのきめ細かな対応が難しいと感じる 予防効果を明確に利用者 に説明できない その他（具体的に ） 特に問題はない		○	
問3-3	全部	サービスの質の向上のために行っている取組	サービスの質の向上のために、どのような取組を行っていますか	複数	相談窓口の設置 ケア・カンファレンスの定期的な開催 サービス利用者の満足度調査の実施 自己評価の積極的な開示 サービス提供マニュアルの作成 サービス担当者会議への参加 医療との連携 研修の実施 外部評価の導入 コンサルティングへの依頼 苦情に対する組織的な対策 その他（具体的に ） 特に何も行っていない		○	○
問3-4-1	全部	サービス利用に関する苦情解決の方法	サービス利用に関する苦情解決の方法はどのように行っていますか	複数	事業所の中で解決している 事業所の中で解決できない場合は他の機関を利用して解決している 弁護士などの専門家と協議して解決している 上記3つの方法を活用しても解決できない場合がある その他（具体的に ）		○	
問3-4-2	全部	解決できない問題	【問3-4-1で「解決できない場合がある」の方のみ】 その内容をできるだけ具体的に入力してください	記述			○	
問3-5-1	全部	災害発生の備えとして既に取り組んでいること	災害発生の備えとして、既に取り組んでいるものは何ですか	複数	災害時に備えた定期的な避難訓練などの実施 災害時における対応マニュアルの策定 事業継続計画（BCP）の策定 地域住民との協力体制の構築 災害時における職員の役割分担 夜間における緊急連絡体制の整備 災害時における備蓄・備品の用意 その他（具体的に ）		○	○
問3-5-2	全部	災害発生時に備えた今後の地域との協力体制	【問3-5-1で「地域住民との協力体制の構築」を選択しなかった方のみ】 災害発生時に備えて、地域との協力体制についてどのように考えていますか	単一	現在話し合い中 今後話し合う予定 その他（具体的に ） 特に考えていない		○	
問3-5-3	全部	災害発生時における対策のうち一番難しいもの	災害発生時における対策のうち、一番難しいものは何ですか	単一	避難訓練で想定する行動 対応マニュアルなどに則した行動 地域住民との協力体制 職員の役割分担 夜間における緊急連絡体制 備蓄・備品の不足 その他（具体的に ）		○	
4 職員への対応について								
問4-1-1	全部	過去1年間の採用、定着状況	過去1年間における職員の採用状況と採用・退職の人数、定着状況（および平均在籍年数）をそれぞれ教えてください		※表形式		○	
			常勤職員	記述	（各職種それぞれについて） 計画どおり採用できている 計画どおり採用できていない 採用計画はない 採用人数（ 人） 退職者数（ 人）		○	○
			非常勤職員	記述	※表形式		○	○
			常勤職員	単一	良い 比較的良好い あまり良くない 良くない		○	○
			非常勤職員	単一	※表形式		○	
問4-1-2	全部	職員募集で効果があった方法	職員を募集するにあたり、効果があった方法はありますか（3つ以内）	複数	ハローワークの活用 求人媒体の活用 大学・専門学校への依頼 人材派遣会社への依頼 人材紹介会社の活用 自社ホームページ・SNSなどの活用 知人からの紹介 その他（具体的に ）		○	
問4-1-3-ア	全部	介護サービスを提供する職員数（常勤換算）	介護サービスを提供する職員数は何人ですか。常勤換算で総数及び年代別の人数をお答えください ※ 非常勤職員を常勤換算する際は、別添Excel『職員数換算シート』をお使いください ※ 算出方法は、『非常勤職員の週あたり延べ勤務実績』÷『常勤職員が勤務すべき週あたりの勤務時間数（32時間を下回る場合は32時間）』です	記述	職員数（常勤換算）（ 名） うち29歳以下（ 名） 30～39歳（ 名） 40～49歳（ 名） 50～59歳（ 名） 60～69歳（ 名） 70歳以上（ 名）	年齢別を追加	○	
問4-1-3-イ	全部	定年制度	貴事業所では、（正規雇用に係る）定年制度を設けていますか	単一	定年制度を設けている 定年制度を設けていない（年齢に関わらず働ける）	新規	☆	
問4-1-3-イ-A	全部	定年年齢	【問4-1-3-イで「設けている」の方のみ】定年年齢は何歳ですか	記載	（ 歳）	新規	☆	

②R7訪問入浴介護事業者調査

設問№	対象	設問趣旨	設問内容	回答形式	選択肢	見直し内容	要否	9期計画
問4-1-3-イ-E	全部	定年後の継続雇用制度	【問4-1-3-イで「設けている」の方のみ】定年後の継続雇用制度はありますか ※「ある（上限がある）」場合は（ ）内に上限年齢を記載	単一	ある（上限がある 歳） ある（上限はない） ない	新規	☆	
問4-1-3-ウ	全部	職員数（実人数）	介護サービスを提供する職員の常勤・非常勤の実人数はそれぞれ何人ですか	記述	常勤職員（ 名） 非常勤職員（ 名）	新規	☆	
問4-1-3-エ	全部	職員数の過不足に対する考え	現状の職員数をどのように考えますか。 ※「さらに職員が必要」の場合は（ ）内に人数及びその理由	単一	現状の職員数で十分である さらに職員が必要（ 名）必要⇒理由（ ）		○	◎
問4-2	全部	過去1年間の職員の退職理由として多いと感じるもの	過去1年間に、貴事業所から退職された職員の方々の主な退職理由は何が多いと考えていますか（3つ以内）	複数	給与 就労時間や休暇などの勤務条件 職場環境 職場の人間関係 利用者などとの人間関係 健康 年齢 結婚 出産・育児 転職 家族の介護 家族の転勤 その他（具体的に ） 過去1年以内の退職はなかった		○	○
問4-3	全部	職員に対して行っている配慮	職員に対して、どのような配慮を行っていますか	複数	基本給以外の手当を支給している 健康診断等（定期健康診断以外）を実施している 通勤時や移動時の事故についての予防や対応策をとっている 被服や機器等の貸与を行っている 身体的負担への対応策をとっている 精神的ストレスの緩和・サポートを行っている 職場内コミュニケーションの円滑化を図っている カスタマーハラスメントへの対応策をとっている その他（具体的に ） 特にない		○	
問4-4	全部	職員を取り巻く状況の変化（5年前との比較）	貴事業所では、5年前と比較して職員の状況はどのように変化していますか	複数	1人当たりの仕事量が増えている 業務遂行に必要な人材が不足している 職場でのコミュニケーションや助け合いが減っている 業務についての研修の機会や場が少なくなっている 過労気味の職員が増えている サービスの量や質が落ちている その他（具体的に ）		○	
問4-5	全部	職員の給与に対する考え	職員の給与についてどのようにお考えですか	単一	職員は十分な給与が得られている 十分とはいえないが、職員は必要な給与を得られている 仕事の負担に対し、職員は給与が若干不足していると感じる 仕事の負担に対し、職員は十分な給与が得られていない		○	
問4-6	全部	全職員を対象に実施している内部研修	全職員を対象に実施している内部研修はどのようなものですか	複数	介護保険制度に関する研修 個人情報の取扱いに関する研修 リハビリテーション等に関する研修 事故防止に関する研修 認知症に関する研修 食事介助に関する研修 接遇研修 虐待に関する研修 身体拘束に関する研修 メンタルヘルスに関する研修 災害時対応に関する研修 感染症発生時対応に関する研修 ハラスメントに関する研修 ワークルールに関する研修 その他（具体的に ） 何も行っていない		○	○
問4-7	全部	外部研修などへの職員の参加	外部研修などへ職員を参加させるようにしていますか	単一	している していない		○	○
問4-8	全部	外部研修などへ参加させていない理由	【問4-7で「していない」の方のみ】 外部研修などへの参加をさせていない理由は何ですか	複数	時間の余裕がない 費用が高額である 参加させたい研修がない 参加させる必要がない その他（具体的に ）		○	○
問4-9	全部	職員に受けさせたい外部研修	職員に受けさせたい外部研修は何ですか	複数	介護保険制度に関する研修 個人情報の取扱いに関する研修 リハビリテーション等に関する研修 事故防止に関する研修 認知症に関する研修 食事介助に関する研修 接遇研修 虐待に関する研修 身体拘束に関する研修 メンタルヘルスに関する研修 管理者・リーダー層の養成に関する研修 災害時対応に関する研修 感染症発生時対応に関する研修 ハラスメントに関する研修 ワークルールに関する研修 その他（具体的に ）		○	○
問4-10	一部	介護助手の活用	現在、介護助手（※）を活用していますか ※「介護助手」とは、原則として利用者の身体に直接触れる介助（食事、入浴、排せつ介助など）は行わず、清掃、配膳、話し相手など、介護職員の周辺業務サポートを主な業務とする職員（パート・アルバイトを含む雇用契約に基づいた職員）を指します。	単一	活用している 活用していない 介護助手が何か知らない	新規	☆	
問4-11	一部	介護助手の活用効果	【問4-10】で「活用している」の方のみ】介護助手を活用して感じられる効果を教えてください	複数	職員の負担が軽減された 研修の時間が増えた 利用者へのケアの時間が増えた 職場の雰囲気になった その他（具体的に ） あまり効果は感じられない	新規	☆	
問4-12	一部	介護助手を活用する予定	【問4-10】で「活用していない」の方のみ】今後、介護助手を活用する予定はありますか	単一	予定がある 予定がない	新規	☆	
問4-13	一部	介護助手を活用しない理由	【問4-12】で「予定がない」の方のみ】介護助手を活用しない理由を教えてください	複数	予算の制約による 適切な人材が見つからない 介護助手の役割が明確でない 活用条件や労働条件に不安がある 利用者介護助手への抵抗感がある 職員に介護助手への抵抗感がある 必要性を感じない その他（具体的に ）	新規	☆	
問4-14	全部	スポットワークの活用	いわゆるスポットワーク（※）を活用して介護職員を雇用したことがありますか ※ スポットワークとは、アプリ等をとおして単発や短時間の仕事を依頼することをいいます	単一	活用したことがある 活用したことがない スポットワークを知らない	新規	☆	
問4-15	全部	スポットワークの活用理由	【問4-14】で「活用したことがある」の方のみ どのような理由でスポットワークを活用しましたか	複数	既存職員の急な欠勤・休暇の補填 既存職員の急な退職の補填 コスト削減 繁忙期の一時的な人員補充 正規雇用前の試用的な雇用（採用活動） その他（具体的に ）	新規	☆	
問4-16		スポットワークでの雇用回数・従事内容・職員の能力	【問4-14】で「活用したことがある」の方のみ スポットワークで雇用した回数は何回程度ですか、また、どのような業務に従事したか、その職員の能力についてどの程度満足していますか			新規	☆	
問4-16-1	全部		雇用回数	記述	雇用回数（ 回）	新規	☆	
問4-16-2	全部		従事内容	複数	入浴介助 排泄介助 食事介助（口元への介助など） 体位交換・移乗介助 医療的ケア（服薬管理、バイタル測定など） 資格不要な周辺業務（配膳・見守りなど） その他（具体的に ）	新規	☆	
問4-16-3	全部		能力	単一	非常に満足 やや満足 やや不満 非常に不満	新規	☆	
問4-17	全部	スポットワーク導入の課題	【問4-14】で「活用したことがある」「活用したことがない」の方のみ スポットワークを導入するにあたり課題は何ですか	複数	信頼性・スキルに不安がある 雇用管理が煩雑 法制度や契約面で不安がある 仕組みがよく分からない 登録・契約手続きが煩雑 マッチング精度が低い コスト面の不安 特段の課題は無い その他（具体的に ）	新規	☆	
問4-18	全部	今後のスポットワークの活用	今後、スポットワークを活用したいと思いますか	単一	ぜひ活用したい 状況に応じて活用したい あまり活用したくない 全く活用したくない	新規	☆	
5 自由記載								
問5	全部	介護保険制度全般への要望・意見	介護報酬や職員体制、介護保険サービスの提供、その他介護保険制度全般のほか、今回の調査や札幌市の施策について、ご要望やご意見がありましたら、ご自由に入力してください	記述			○	

③R7訪問看護事業者調査

設問№	対象	設問趣旨	設問内容	回答形式	選択肢	見直し内容	要否	9期計画
1 事業所について								
問1-1	一部	事業所の経営形態	事業所の経営形態について教えてください	単一	株式会社 医療法人 社会福祉法人 合同会社 財団法人 有限会社 NPO法人 合名会社 合資会社 その他（具体的に）		○	
問1-2	一部	事業所の所在地	事業所の所在地について教えてください	単一	中央区 北区 東区 白石区 厚別区 豊平区 清田区 南区 西区 手稲区		○	
問1-3	一部	サービスの提供区	サービスの提供区について教えてください	複数	中央区 北区 東区 白石区 厚別区 豊平区 清田区 南区 西区 手稲区		○	
問1-4	一部	併設する介護保険サービス事業所の有無	併設する介護保険サービス事業所の有無について教えてください	単一	ある（1～3事業所） ある（4～6事業所） ある（7～9事業所） ある（10～15事業所） ある（16事業所以上）ない		○	
問1-5	一部	併設する事業所が提供している介護保険サービス	【問1-4 併設する介護保険サービス事業所の有無で「併設あり」の方のみ】併設する事業所が提供している介護保険サービスについて教えてください	複数	訪問介護 訪問入浴介護 訪問リハビリテーション 居宅療養管理指導 通所介護 通所リハビリテーション 短期入所生活介護 短期入所療養介護 特定施設入居者生活介護 福祉用具貸与 特定福祉用具販売 居宅介護支援 介護予防支援（介護予防ケアマネジメント） 介護老人福祉施設 介護老人保健施設 介護医療院 定期巡回・随時対応型訪問介護看護 夜間対応型訪問介護 地域密着型通所介護 認知症対応型通所介護 小規模多機能型居宅介護 認知症対応型共同生活介護 地域密着型特定施設入居者生活介護 地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護 看護小規模多機能型居宅介護 訪問型サービス（総合事業） 通所型サービス（総合事業） 通所型サービス時間短縮型（総合事業）		○	
問1-6	一部	併設する高齢者共同住宅の有無	併設する高齢者共同住宅はありますか ※ここでの「高齢者共同住宅」とは、食事や相談サービスなど、高齢者を支援するサービスを提供する共同生活形式の住宅を指します	単一	ある ない		○	
2 サービスの提供状況等について								
問2-1	一部	令和7年10月の1か月あたりのサービスの提供状況	令和7年10月の1か月あたりの訪問看護サービスの総提供回数および総提供時間をそれぞれ入力してください				○	
問2-1-1		総提供回数		記述	医療保険適用（ 回） 介護保険適用（ 回）（介護予防サービスを含む）		○	
問2-1-2		総提供時間		記述	医療保険適用（ 時間） 介護保険適用（ 時間）（介護予防サービスを含む）		○	
問2-2	一部	介護サービスの対象外だが利用者からの要望が多いこと	介護サービスの対象外ではあるが、利用者からの要望が多いことは何ですか	複数	死後の処理 同居家族の看護 通院の同行 外泊時のケア その他（具体的に） 特にない		○	
問2-3	一部	ターミナルケア（看取り）に取り組んだ経験の有無	余命が数か月～半年とみられる高齢者を介護・看護するターミナルケア（看取り）に取り組んだ経験がありますか	単一	ある ない		○	
問2-4	一部	ターミナルケア（看取り）についての考え	ターミナルケア（看取り）についてどのように考えていますか	単一	現時点では、事業所としての方針を明確にしていない 利用者の看取りまでは想定していない 制度上一定の条件が整えば、看取りの段階まで援助していきたい 現状でも、条件が整うケースでは、看取りの段階まで援助している		○	
問2-5	一部	ターミナルケア（看取り）を可能とするために必要な条件	【問2-4で「援助していきたい」「援助している」の方のみ】ターミナルケア（看取り）を可能とするためには、どのような条件が必要だと考えますか	複数	ターミナルケアについての職員の知識と技術の向上 介護職員が行える医療行為の範囲の拡大 本人の希望の確認と家族の協力 ほかの入居者・利用者（家族）の理解 訪問診療に応じてくれる医師との関わり ほかの介護サービス（訪問看護を除く）の利用 緊急時の受け入れ医療機関の存在 職員の増員 介護報酬の増額 職員の不安や疑問を気軽に相談できる人や機関 その他（具体的に）		○	○
3 事業所の運営について								
問3-1-1	全部	事業所運営に関する問題点	事業所運営に関する問題点はどのようなものがありますか	複数	利用者本人・家族などとの連携および調整が難しい 人材育成が難しい 職員が定着しにくい 職員の仕事への意欲を維持するのが難しい サービス担当者会議が十分に機能していない 介護報酬が実態にそぐわない 利用者に対する情報提供が難しい 地域（町内会や民生委員など）との連携が難しい 医療との連携が難しい 計画どおりに職員の採用ができない その他（具体的に） 特に問題はない		○	
問3-1-2	全部	介護報酬が実態にそぐわない理由	【問3-1-1で「介護報酬が実態にそぐわない」の方のみ】その理由を教えてください	複数	加算の要件が厳しく、算定できない 加算取得のための作業が煩雑で報酬と見合っていない サービス提供のための経費が報酬に反映されていない サービス提供以外の業務に対する報酬がない 要支援者の報酬が低い その他（具体的に）		○	
問3-1-3	全部	新たに設置を希望する加算	【問3-1-1で「介護報酬が実態にそぐわない」の方のみ】安定したサービス提供を行うため、新たにどのような加算があるかと思うか、ご意見がありましたら具体的に入力してください	記述		新規	☆	
問3-1-4	全部	地域・医療との連携が難しい理由	【問3-1-1で「地域との連携が難しい」「医療との連携が難しい」の方のみ】その理由をできるだけ具体的に入力してください	記述			○	
問3-2	一部	介護予防サービスの問題点	介護予防サービスについて、問題点はどのようなことだと思いますか	複数	報酬が低いので事業所運営をする上で不利と感じる 受け入れ体制が整っていない サービス量（需要）を把握するのが難しい 利用者へのきめ細かな対応が難しいと感じる 予防効果を明確に利用者に説明できない その他（具体的に） 特に問題はない		○	
問3-3	全部	サービスの質の向上のために行っている取組	サービスの質の向上のために、どのような取組を行っていますか	複数	相談窓口の設置 ケア・カンファレンスの定期的な開催 サービス利用者の満足度調査の実施 自己評価の積極的な開示 サービス提供マニュアルの作成 サービス担当者会議への参加 医療との連携 研修の実施 外部評価の導入 コンサルティングへの依頼 苦情に対する組織的な対策 その他（具体的に） 特に何も行っていない		○	○
問3-4-1	全部	サービス利用に関する苦情解決の方法	サービス利用に関する苦情解決の方法はどのように行っていますか	複数	事業所の中で解決している 事業所の中で解決できない場合は他の機関を利用して解決している 弁護士などの専門家と協議して解決している 上記3つの方法を活用しても解決できない場合がある その他（具体的に）		○	
問3-4-2	全部	解決できない問題	【問3-4-1で「解決できない場合がある」の方のみ】その内容をできるだけ具体的に入力してください	記述			○	
問3-5-1	全部	災害発生の備えとして既に取り組んでいること	災害発生の備えとして、既に取り組んでいるものは何ですか	複数	災害時に備えた定期的な避難訓練などの実施 災害時における対応マニュアルの策定 事業継続計画（BCP）の策定 地域住民との協力体制の構築 災害時における職員の役割分担 夜間における緊急連絡体制の整備 災害時における備蓄・備品の用意 その他（具体的に）		○	○
問3-5-2	全部	災害発生時に備えた今後の地域との協力体制	【問3-5-1で「地域住民との協力体制の構築」を選択しなかった方のみ】災害発生時に備えて、地域との協力体制についてどのように考えていますか	単一	現在話し合い中 今後話し合う予定 その他（具体的に） 特に考えていない		○	
問3-5-3	全部	災害発生時における対策のうち一番難しいもの	災害発生時における対策のうち、一番難しいものは何ですか	単一	避難訓練で想定する行動 対応マニュアルなどに則した行動 地域住民との協力体制 職員の役割分担 夜間における緊急連絡体制 備蓄・備品の不足 その他（具体的に）		○	
4 職員への対応について								
問4-1-1	全部	過去1年間の採用、定着状況	過去1年間における職員の採用状況と採用・退職の人数、定着状況（および平均在籍年数）をそれぞれ教えてください		※表形式		○	
問4-1-1-ア-A			常勤職員	記述	（各職種それぞれについて）計画どおり採用できている 計画どおり採用できていない 採用計画はない 採用人数（ 人） 退職者数（ 人）		○	○
問4-1-1-ア-B			非常勤職員	記述	※表形式		○	○
問4-1-1-イ-A			常勤職員	単一	良い 比較的良好い あまり良くない 良くない		○	○
問4-1-1-イ-B			非常勤職員	単一	※表形式		○	
問4-1-2	全部	職員募集で効果があった方法	職員を募集するにあたり、効果があった方法は何ですか（3つ以内）	複数	ハローワークの活用 求人媒体の活用 大学・専門学校への依頼 人材派遣会社への依頼 人材紹介会社の活用 自社ホームページ・SNSなどの活用 知人からの紹介 その他（具体的に）		○	

③R7訪問看護事業者調査

設問№	対象	設問趣旨	設問内容	回答形式	選択肢	見直し内容	要否	9期計画
問4-1-3-ア	全部	介護サービスを提供する職員数（常勤換算）	介護サービスを提供する職員数は何人ですか。常勤換算で総数及び年代別の人数をお答えください ※ 非常勤職員を常勤換算する際は、別添Excel『職員数換算シート』をお使いください ※ 算出方法は、『非常勤職員の過あたり延べ勤務実績』+『常勤職員が勤務すべき過あたりの勤務時間数（32時間を下回る場合は32時間）』です	記述	職員数（常勤換算）（ 名） うち29歳以下（ 名） 30～39歳（ 名） 40～49歳（ 名） 50～59歳（ 名） 60～69歳（ 名） 70歳以上（ 名）	年齢別を追加	○	
問4-1-3-イ	全部	定年制度	貴事業所では、（正規雇用に係る）定年制度を設けていますか	単一	定年制度を設けている 定年制度を設けていない（年齢に関わらず働ける）	新規	☆	
問4-1-3-イ-A	全部	定年年齢	【問4-1-3-イで「設けている」の方のみ】定年年齢は何歳ですか	記載	（ 歳）	新規	☆	
問4-1-3-イ-B	全部	定年後の継続雇用制度	【問4-1-3-イで「設けている」の方のみ】定年後の継続雇用制度はありますか	単一	ある（上限がある 歳） ある（上限はない） ない	新規	☆	
問4-1-3-ウ	全部	職員数（実人数）	介護サービスを提供する職員の常勤・非常勤の実人数はそれぞれ何人ですか	記述	常勤職員（ 名） 非常勤職員（ 名）	新規	☆	
問4-1-3-エ	全部	職員数の過不足に対する考え	現状の職員数をどのように考えますか。 ※「さらに職員が必要」の場合は（ ）内に人数及びその理由	単一	現状の職員数で十分である さらに職員が必要（ 名）必要⇒理由（ ）		○	◎
問4-2	全部	過去1年間の職員の退職理由として多いと感じるもの	過去1年間に、貴事業所から退職された職員の方々の主な退職理由は何が多いと考えていますか（3つ以内）	複数	給与 就労時間や休暇などの勤務条件 職場環境 職場の人間関係 利用者などとの人間関係 健康 年齢 結婚 出産・育児 転職 家族の介護 家族の転勤 その他（具体的に ） 過去1年以内の退職はなかった		○	○
問4-3	全部	職員に対して行っている配慮	職員に対して、どのような配慮を行っていますか	複数	基本給以外の手当を支給している 健康診断等（定期健康診断以外）を実施している 通勤時や移動時の事故についての予防や対応策をとっている 被服や機器等の貸与を行っている 身体的負担への対応策をとっている 精神的ストレスの緩和・サポートを行っている 職場内コミュニケーションの円滑化を図っている カスタマーハラスメントへの対応策をとっている その他（具体的に ） 特にない		○	
問4-4	全部	職員を取り巻く状況の変化（5年前との比較）	貴事業所では、5年前と比較して職員の状況はどのように変化していますか	複数	1人当たりの仕事量が増えている 業務遂行に必要な人材が不足している 職場でのコミュニケーションや助け合いが減っている 業務についての研修の機会や場が少なくなっている 過労気味の職員が増えている サービスの量や質が落ちている その他（具体的に ）		○	
問4-5	全部	職員の給与に対する考え	職員の給与についてどのようにお考えですか	単一	職員は十分な給与が得られている 十分とはいえないが、職員は必要な給与を得られている 仕事の負担に対し、職員は給与が若干不足していると感じる 仕事の負担に対し、職員は十分な給与が得られていない		○	
問4-6	全部	全職員を対象に実施している内部研修	全職員を対象に実施している内部研修はどのようなものですか	複数	介護保険制度に関する研修 個人情報の取扱いに関する研修 リハビリテーション等に関する研修 事故防止に関する研修 認知症に関する研修 食事介助に関する研修 接遇研修 虐待に関する研修 身体拘束に関する研修 メンタルヘルスに関する研修 災害時対応に関する研修 感染症発生時対応に関する研修 ハラスメントに関する研修 ワークルールに関する研修 その他（具体的に ） 何も行っていない		○	○
問4-7	全部	外部研修などへの職員の参加	外部研修などへ職員を参加させるようにしていますか	単一	している していない		○	○
問4-8	全部	外部研修などへ参加させていない理由	【問4-7で「していない」の方のみ】 外部研修などへの参加をさせていない理由は何ですか	複数	時間の余裕がない 費用が高額である 参加させたい研修がない 参加させる必要がない その他（具体的に ）		○	○
問4-9	全部	職員に受けさせたい外部研修	職員に受けさせたい外部研修は何ですか	複数	介護保険制度に関する研修 個人情報の取扱いに関する研修 リハビリテーション等に関する研修 事故防止に関する研修 認知症に関する研修 食事介助に関する研修 接遇研修 虐待に関する研修 身体拘束に関する研修 メンタルヘルスに関する研修 管理者・リーダー層の養成に関する研修 災害時対応に関する研修 感染症発生時対応に関する研修 ハラスメントに関する研修 ワークルールに関する研修 その他（具体的に ）		○	○
問4-10	全部	スポットワークの活用	いわゆるスポットワーク（※）を活用して介護職員を雇用したことがありますか ※ スポットワークとは、アプリ等をおして単発や短時間の仕事を依頼することをいいます	単一	活用したことがある 活用したことがない スポットワークを知らない	新規	☆	
問4-11	全部	スポットワークの活用理由	【問4-14】で「活用したことがある」の方のみ どのような理由でスポットワークを活用しましたか	複数	既存職員の急な欠勤・休暇の補填 既存職員の急な退職の補填 コスト削減 繁忙期の一時的な人員補充 正規雇用前の試用的な雇用（採用活動） その他（具体的に ）	新規	☆	
問4-12		スポットワークでの雇用回数・従事内容・職員の能力	【問4-14】で「活用したことがある」の方のみ スポットワークで雇用した回数は何回程度ですか、また、どのような業務に従事したか、その職員の能力についてどの程度満足していますか			新規	☆	
問4-12-1	全部		雇用回数	記述	雇用回数（ 回）	新規	☆	
問4-12-2	全部		従事内容	複数	入浴介助 排泄介助 食事介助（口元への介助など） 体位交換・移乗介助 医療的ケア（服薬管理、バイタル測定など） 資格不要な周辺業務（配膳・見守りなど） その他（具体的に ）	新規	☆	
問4-12-3	全部		能力	単一	非常に満足 やや満足 やや不満 非常に不満	新規	☆	
問4-13	全部	スポットワーク導入の課題	【問4-14】で「活用したことがある」「活用したことがない」の方のみ スポットワークを導入するにあたり課題は何ですか	複数	信頼性・スキルに不安がある 雇用管理が煩雑 法制度や契約面で不安がある 仕組みがよく分からない 登録・契約手続きが煩雑 マッチング精度が低い コスト面の不安 特段の課題は無い その他（具体的に ）	新規	☆	
問4-14	全部	今後のスポットワークの活用	今後、スポットワークを活用したいと思いますか	単一	ぜひ活用したい 状況に応じて活用したい あまり活用したくない 全く活用したくない	新規	☆	
5 自由記載								
問5	全部	介護保険制度全般への要望・意見	介護報酬や職員体制、介護保険サービスの提供、その他介護保険制度全般のほか、今回の調査や札幌市の施策について、ご要望やご意見がありましたら、ご自由に入力してください	記述			○	

④R7訪問リハビリテーション事業者調査

設問№	対象	設問趣旨	設問内容	回答形式	選択肢	見直し内容	要否	9期計画
1 事業所について								
問1-1	一部	事業所の経営形態	事業所の経営形態について教えてください	単一	株式会社 医療法人 社会福祉法人 合同会社 財団法人 有限会社 NPO法人 合名会社 合資会社 その他（具体的に ）		○	
問1-2	一部	事業所の所在地	事業所の所在地について教えてください	単一	中央区 北区 東区 白石区 厚別区 豊平区 清田区 南区 西区 手稲区		○	
問1-3	一部	サービスの提供区	サービスの提供区について教えてください	複数	中央区 北区 東区 白石区 厚別区 豊平区 清田区 南区 西区 手稲区		○	
問1-4	一部	併設する介護保険サービス事業所の有無	併設する介護保険サービス事業所の有無について教えてください	単一	ある（1～3事業所） ある（4～6事業所） ある（7～9事業所） ある（10～15事業所） ある（16事業所以上） ない		○	
問1-5	一部	併設する事業所が提供している介護保険サービス	【問1-4 併設する介護保険サービス事業所の有無で「併設あり」の方のみ】併設する事業所が提供している介護保険サービスについて教えてください	複数	訪問介護 訪問入浴介護 訪問看護 居宅療養管理指導 通所介護 通所リハビリテーション 短期入所生活介護 短期入所療養介護 特定施設入居者生活介護 福祉用具貸与 特定福祉用具販売 居宅介護支援 介護予防支援（介護予防ケアマネジメント） 介護老人福祉施設 介護老人保健施設 介護医療院 定期巡回・随時対応型訪問介護看護 夜間対応型訪問介護 地域密着型通所介護 認知症対応型通所介護 小規模多機能型居宅介護 認知症対応型共同生活介護 地域密着型特定施設入居者生活介護 地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護 看護小規模多機能型居宅介護 訪問型サービス（総合事業） 通所型サービス（総合事業） 通所型サービス時間短縮型（総合事業）		○	
問1-6	一部	併設する高齢者共同住宅の有無	併設する高齢者共同住宅はありますか ※ここでの「高齢者共同住宅」とは、食事や相談サービスなど、高齢者を支援するサービスを提供する共同生活形式の住宅を指します	単一	ある ない		○	
2 サービスの提供状況等について								
問2		令和7年10月の1か月あたりの総提供回数					○	
問2-1	一部	総提供回数	令和7年10月の1か月あたりの訪問リハビリテーションサービスの総提供回数は何回ですか	記述	医療保険適用（ 回） 介護保険適用（ 回）		○	
問2-2	一部	最大提供回数	職員体制や設備の面から、1か月あたりに訪問リハビリテーションサービス（介護予防サービスを含む）を提供可能な回数は最大で何回ですか	記述	（ 回）		○	
3 事業所の運営について								
問3-1-1	全部	事業所運営に関する問題点	事業所運営に関する問題点はどのようなものがありますか	複数	利用者本人・家族などとの連携および調整が難しい 人材育成が難しい 職員が定着しにくい 職員の仕事への意欲を維持するのが難しい サービス担当者会議が十分に機能していない 介護報酬が実態にそぐわない 利用者に対する情報提供が難しい 地域（町内会や民生委員など）との連携が難しい 医療との連携が難しい 計画どおりに職員の採用ができない その他（具体的に ） 特に問題はない		○	
問3-1-2	全部	介護報酬が実態にそぐわない理由	【問3-1-1で「介護報酬が実態にそぐわない」の方のみ】その理由を教えてください	複数	加算の要件が厳しく、算定できない 加算取得のための作業が煩雑で報酬と見合っていない サービス提供のための経費が報酬に反映されていない サービス提供以外の業務に対する報酬がない 要支援者の報酬が低い その他（具体的に ）		○	
問3-1-3	全部	新たに設置を希望する加算	【問3-1-1で「介護報酬が実態にそぐわない」の方のみ】安定したサービス提供を行うため、新たにどのような加算があるかと思うか、ご意見がありましたら具体的に入力してください	記述		新規	☆	
問3-1-4	全部	地域・医療との連携が難しい理由	【問3-1-1で「地域との連携が難しい」「医療との連携が難しい」の方のみ】その理由をできるだけ具体的に入力してください	記述			○	
問3-2	一部	介護予防サービスの問題点	介護予防サービスについて、問題点はどのようなことだと思いますか	複数	報酬が低いので事業所運営をする上で不利と感じる 受け入れ体制が整っていない サービス量（需要）を把握するのが難しい 利用者へのきめ細かな対応が難しいと感じる 予防効果を明確に利用者に説明できない その他（具体的に ） 特に問題はない		○	
問3-3	全部	サービスの質の向上のためにやっている取組	サービスの質の向上のために、どのような取組を行っていますか	複数	相談窓口の設置 ケア・カンファレンスの定期的な開催 サービス利用者の満足度調査の実施 自己評価の積極的な開示 サービス提供マニュアルの作成 サービス担当者会議への参加 医療との連携 研修の実施 外部評価の導入 コンサルティングへの依頼 苦情に対する組織的な対策 その他（具体的に ） 特に何も行っていない		○	○
問3-4-1	全部	サービス利用に関する苦情解決の方法	サービス利用に関する苦情解決の方法はどのように行っていますか	複数	事業所の中で解決している 事業所の中で解決できない場合は他の機関を利用して解決している 弁護士などの専門家と協議して解決している 上記3つの方法を活用しても解決できない場合がある その他（具体的に ）		○	
問3-4-2	全部	解決できない問題	【問3-4-1で「解決できない場合がある」の方のみ】その内容をできるだけ具体的に入力してください	記述			○	
問3-5-1	全部	災害発生の備えとして既に取り組んでいること	災害発生の備えとして、既に取り組んでいるものは何ですか	複数	災害時に備えた定期的な避難訓練などの実施 災害時における対応マニュアルの策定 事業継続計画（BCP）の策定 地域住民との協力体制の構築 災害時における職員の役割分担 夜間における緊急連絡体制の整備 災害時における備蓄・備品の用意 その他（具体的に ）		○	○
問3-5-2	全部	災害発生時に備えた今後の地域との協力体制	問3-5-1で「地域住民との協力体制の構築」を選択しなかった方のみ】災害発生時に備えて、地域との協力体制についてどのように考えていますか	単一	現在話し合い中 今後話し合う予定 その他（具体的に ） 特に考えていない		○	
問3-5-3	全部	災害発生時における対策のうち一番難しいもの	災害発生時における対策のうち、一番難しいものは何ですか	単一	避難訓練で想定する行動 対応マニュアルなどに則した行動 地域住民との協力体制 職員の役割分担 夜間における緊急連絡体制 備蓄・備品の不足 その他（具体的に ）		○	
4 職員への対応について								
問4-1-1		過去1年間の採用、定着状況	過去1年間における職員の採用状況と採用・退職の人数、定着状況（および平均在籍年数）をそれぞれ教えてください	記述	※表形式		○	
問4-1-1-ア-A	全部	採用状況、採用・退職者数	常勤職員	記述	（各職種それぞれについて） 計画どおり採用できている 計画どおり採用できていない 採用計画はない 採用人数（ 人） 退職者数（ 人）		○	○
問4-1-1-ア-B			非常勤職員	記述	※表形式		○	○
問4-1-1-イ-A	全部	職員の定着状況	常勤職員	単一	良い 比較的良好い あまり良くない 良くない		○	○
問4-1-1-イ-B			非常勤職員	単一	※表形式		○	
問4-1-2	全部	職員募集で効果があった方法	職員を募集するにあたり、効果があった方法は何か（3つ以内）	複数	ハローワークの活用 求人媒体の活用 大学・専門学校への依頼 人材派遣会社への依頼 人材紹介会社の活用 自社ホームページ・SNSなどの活用 知人からの紹介 その他（具体的に ）		○	

④R7訪問リハビリテーション事業者調査

設問№	対象	設問趣旨	設問内容	回答形式	選択肢	見直し内容	要否	9期計画
問4-1-3-ア	全部	介護サービスを提供する職員数（常勤換算）	介護サービスを提供する職員数は何人ですか。常勤換算で総数及び年代別の人数をお答えください ※ 非常勤職員を常勤換算する際は、別添Excel『職員数換算シート』をお使いください ※ 算出方法は、『非常勤職員の週あたり延べ勤務実績』÷『常勤職員が勤務すべき週あたりの勤務時間数（32時間を下回る場合は32時間）』です	記述	職員数（常勤換算）（ 名） うち29歳以下（ 名） 30～39歳（ 名） 40～49歳（ 名） 50～59歳（ 名） 60～69歳（ 名） 70歳以上（ 名）	年齢別を追加	○	
問4-1-3-イ	全部	定年制度	貴事業所では、（正規雇用に係る）定年制度を設けていますか	単一	定年制度を設けている 定年制度を設けていない（年齢に関わらず働ける）	新規	☆	
問4-1-3-イ-A	全部	定年年齢	【問4-1-3-イで「設けている」の方のみ】定年年齢は何歳ですか	記載	（ 歳）	新規	☆	
問4-1-3-イ-B	全部	定年後の継続雇用制度	【問4-1-3-イで「設けている」の方のみ】定年後の継続雇用制度はありますか ※「ある（上限がある）」場合は（ ）内に上限年齢を記載	単一	ある（上限がある 歳） ある（上限はない） ない	新規	☆	
問4-1-3-ウ	全部	職員数（実人数）	介護サービスを提供する職員の常勤・非常勤の実人数はそれぞれ何人ですか	記述	常勤職員（ 名） 非常勤職員（ 名）	新規	☆	
問4-1-3-エ	全部	職員数の過不足に対する考え	現状の職員数をどのように考えますか。 ※「さらに職員が必要」の場合は（ ）内に人数及びその理由	単一	現状の職員数で十分である さらに職員が必要（ 名）必要⇒理由（ ）		○	◎
問4-2	全部	過去1年間の職員の退職理由として多いと感じるもの	過去1年間に、貴事業所から退職された職員の方々の主な退職理由は何が多いと考えていますか（3つ以内）	複数	給与 就労時間や休暇などの勤務条件 職場環境 職場の人間関係 利用者などとの人間関係 健康 年齢 結婚 出産・育児 転職 家族の介護 家族の転勤 その他（具体的に ） 過去1年以内の退職はなかった		○	○
問4-3	全部	職員に対して行っている配慮	職員に対して、どのような配慮を行っていますか	複数	基本給以外の手当を支給している 健康診断等（定期健康診断以外）を実施している 通勤時や移動時の事故についての予防や対応策をとっている 被服や機器等の貸与を行っている 身体的負担への対応策をとっている 精神的ストレスの緩和・サポートを行っている 職場内コミュニケーションの円滑化を図っている カスタマーハラスメントへの対応策をとっている その他（具体的に ） 特にない		○	
問4-4	全部	職員を取り巻く状況の変化（5年前との比較）	貴事業所では、5年前と比較して職員の状況はどのように変化していますか	複数	1人当たりの仕事量が増えている 業務遂行に必要な人材が不足している 職場でのコミュニケーションや助け合いが減っている 業務についての研修の機会や場が少なくなっている 過労気味の職員が増えている サービスの量や質が落ちている その他（具体的に ）		○	
問4-5	全部	職員の給与に対する考え	職員の給与についてどのようにお考えですか	単一	職員は十分な給与が得られている 十分とはいえないが、職員は必要な給与を得られている 仕事の負担に対し、職員は給与が若干不足していると感じる 仕事の負担に対し、職員は十分な給与が得られていない		○	
問4-6	全部	全職員を対象に実施している内部研修	全職員を対象に実施している内部研修はどのようなものですか	複数	介護保険制度に関する研修 個人情報の取扱いに関する研修 リハビリテーション等に関する研修 事故防止に関する研修 認知症に関する研修 食事介助に関する研修 接遇研修 虐待に関する研修 身体拘束に関する研修 メンタルヘルスに関する研修 災害時対応に関する研修 感染症発生時対応に関する研修 ハラスメントに関する研修 ワークルールに関する研修 その他（具体的に ） 何も行っていない		○	○
問4-7	全部	外部研修などへの職員の参加	外部研修などへ職員を参加させるようにしていますか	単一	している していない		○	○
問4-8	全部	外部研修などへ参加させていない理由	【問4-7で「していない」の方のみ】 外部研修などへの参加をさせていない理由は何ですか	複数	時間の余裕がない 費用が高額である 参加させたい研修がない 参加させる必要がない その他（具体的に ）		○	○
問4-9	全部	職員に受けさせたい外部研修	職員に受けさせたい外部研修は何ですか	複数	介護保険制度に関する研修 個人情報の取扱いに関する研修 リハビリテーション等に関する研修 事故防止に関する研修 認知症に関する研修 食事介助に関する研修 接遇研修 虐待に関する研修 身体拘束に関する研修 メンタルヘルスに関する研修 管理者・リーダー層の養成に関する研修 災害時対応に関する研修 感染症発生時対応に関する研修 ハラスメントに関する研修 ワークルールに関する研修 その他（具体的に ）		○	○
問4-10	全部	スポットワークの活用	いわゆるスポットワーク（※）を活用して介護職員を雇用したことがありますか ※ スポットワークとは、アプリ等をとおして単発や短時間の仕事を依頼することをいいます	単一	活用したことがある 活用したことがない スポットワークを知らない	新規	☆	
問4-11	全部	スポットワークの活用理由	【問4-10】で「活用したことがある」の方のみ どのような理由でスポットワークを活用しましたか	複数	既存職員の急な欠勤・休暇の補填 既存職員の急な退職の補填 コスト削減 繁忙期の一時的な人員補充 正規雇用前の試用的な雇用（採用活動） その他（具体的に ）	新規	☆	
問4-12		スポットワークでの雇用回数・従事内容・職員の能力	【問4-10】で「活用したことがある」の方のみ スポットワークで雇用した回数は何回程度ですか、また、どのような業務に従事したか、その職員の能力についてどの程度満足していますか			新規	☆	
問4-12-1	全部		雇用回数	記述	雇用回数（ 回）	新規	☆	
問4-12-2	全部		従事内容	複数	入浴介助 排泄介助 食事介助（口元への介助など） 体位交換・移乗介助 医療的ケア（服薬管理、バイタル測定など） 資格不要な周辺業務（配膳・見守りなど） その他（具体的に ）	新規	☆	
問4-12-3	全部		能力	単一	非常に満足 やや満足 やや不満 非常に不満	新規	☆	
問4-13	全部	スポットワーク導入の課題	【問4-10】で「活用したことがある」「活用したことがない」の方のみ スポットワークを導入するにあたり課題は何ですか	複数	信頼性・スキルに不安がある 雇用管理が煩雑 法制度や契約面で不安がある 仕組みがよく分からない 登録・契約手続きが煩雑 マッチング精度が低い コスト面の不安 特段の課題は無い その他（具体的に ）	新規	☆	
問4-14	全部	今後のスポットワークの活用	今後、スポットワークを活用したいと思いますか	単一	ぜひ活用したい 状況に応じて活用したい あまり活用したくない 全く活用したくない	新規	☆	
5 自由記載								
問5	全部	介護保険制度全般への要望・意見	介護報酬や職員体制、介護保険サービスの提供、その他介護保険制度全般のほか、今回の調査や札幌市の施策について、ご要望やご意見がありましたら、ご自由に入力してください	記述			○	

⑤R7通所介護、通所リハビリテーション、地域密着型通所介護事業者調査

設問№	対象	設問趣旨	設問内容サービス利用者が通ってくる主な範囲	回答形式	選択肢	見直し内容	要否	9期計画
1 事業所について								
問1-1	一部	事業所の経営形態	事業所の経営形態について教えてください	単一	株式会社 医療法人 社会福祉法人 合同会社 財団法人 有限会社 NPO法人 合名会社 合資会社 その他（具体的に		○	
問1-2	一部	事業所の所在地	事業所の所在地について教えてください	単一	中央区 北区 東区 白石区 厚別区 豊平区 清田区 南区 西区 手稲区		○	
問1-3	一部	サービスの提供区	サービスの提供区について教えてください	複数	中央区 北区 東区 白石区 厚別区 豊平区 清田区 南区 西区 手稲区		○	
問1-4	単独	提供しているサービスの種類	提供しているサービスの種類について教えてください	単一	通所介護 通所リハビリテーション 地域密着型通所介護		○	
問1-5	一部	併設する介護保険サービス事業所の有無	併設する介護保険サービス事業所の有無について教えてください	単一	ある（1～3事業所） ある（4～6事業所） ある（7～9事業所） ある（10～15事業所） ある（16事業所以上） ない		○	
問1-6	一部	併設する事業所が提供している介護保険サービス	【問1-6 併設する介護保険サービス事業所の有無で「併設あり」の方のみ】 併設する事業所が提供している介護保険サービスについて教えてください	複数	訪問介護 訪問入浴介護 訪問看護 訪問リハビリテーション 居宅療養管理指導 通所介護 通所リハビリテーション 短期入所生活介護 短期入所療養介護 特定施設入居者生活介護 福祉用具貸与 特定福祉用具販売 居宅介護支援 介護予防支援（介護予防ケアマネジメント） 介護老人福祉施設 介護老人保健施設 介護医療院 定期巡回・随時対応型訪問介護看護 夜間対応型訪問介護 地域密着型通所介護 認知症対応型通所介護 小規模多機能型居宅介護 認知症対応型共同生活介護 地域密着型特定施設入居者生活介護 地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護 看護小規模多機能型居宅介護 訪問型サービス（総合事業） 通所型サービス（総合事業） 通所型サービス時間短縮型（総合事業）		○	
問1-7	一部	併設する高齢者共同住宅の有無	併設する高齢者共同住宅はありますか ※ここでの「高齢者共同住宅」とは、食事や相談サービスなど、高齢者を支援するサービスを提供する共同生活形式の住宅を指します	単一	ある ない		○	
2 サービスの提供状況等について								
問2-1	一部	令和7年10月の1か月あたりの提供状況等	令和7年10月の1か月間における、サービス（介護予防サービスを含む）の提供状況等について教えてください	記述	延べ利用者数（ 人） 利用定員（ 人） 営業日数（ 日）		○	
問2-2	一部	サービス利用者が通ってくる主な範囲	サービス利用者は、主にどのような範囲から通ってきていますか。最も多いものを教えてください	単一	徒歩圏内 車で15分未満 車で15分以上30分未満 車で30分超		○	
問2-3	一部	現在のサービス提供メニュー	現在の貴事業所のサービス提供メニューについて教えてください	複数	食事提供 おやつ提供 入浴 送迎 身体を動かす内容（レクリエーション・体操など） ゲームや趣味、創作活動 音楽活動 介護予防による運動機能向上メニュー 介護予防による栄養改善メニュー 介護予防による口腔機能向上メニュー 理学療法士や作業療法士によるリハビリテーション 健康チェック（体温・血圧測定など） 生活相談 その他（具体的に ）		○	
3 事業所の運営について								
問3-1-1	全部	事業所運営に関する問題点	事業所運営に関する問題点はどのようなものがありますか	複数	利用者本人・家族などとの連携および調整が難しい 人材育成が難しい 職員が定着しにくい 職員の仕事への意欲を維持するのが難しい サービス担当者会議が十分に機能していない 介護報酬が実態にそぐわない 利用者に対する情報提供が難しい 地域（町内会や民生委員など）との連携が難しい 医療との連携が難しい 計画どおりに職員の採用ができない その他（具体的に ） 特に問題はない		○	
問3-1-2	全部	介護報酬が実態にそぐわない理由	【問3-1-1で「介護報酬が実態にそぐわない」の方のみ】 その理由を教えてください	複数	加算の要件が厳しく、算定できない 加算取得のための作業が煩雑で報酬と見合っていない サービス提供のための経費が報酬に反映されていない サービス提供以外の業務に対する報酬がない 要支援者の報酬が低い その他（具体的に ）		○	
問3-1-3	全部	新たに設置を希望する加算	【問3-1-1で「介護報酬が実態にそぐわない」の方のみ】 安定したサービス提供を行うため、新たにどのような加算があると思うか、ご意見がありましたら具体的に <input type="text"/>	記述		新規	☆	
問3-1-4	全部	地域・医療との連携が難しい理由	【問3-1-1で「地域との連携が難しい」「医療との連携が難しい」の方のみ】 その理由をできるだけ具体的に <input type="text"/>	記述			○	
問3-2	一部	介護予防・日常生活支援総合事業の問題点	介護予防サービスまたは介護予防・日常生活支援総合事業サービスについて、問題点はどのようなことだと思いますか	複数	報酬が低いので事業所運営をするうえで不利と感じる 受け入れ体制が整っていない サービス量（需要）を把握するのが難しい 利用者へのきめ細かな対応が難しいと感じる 予防効果を明確に利用者に説明できない その他（具体的に ） 特に問題はない 介護予防・日常生活支援総合事業サービスの指定を受けていない		○	
問3-3	全部	サービスの質の向上のためにやっている取組	サービスの質の向上のために、どのような取組を行っていますか	複数	相談窓口の設置 ケア・カンファレンスの定期的な開催 サービス利用者の満足度調査の実施 自己評価の積極的な開示 サービス提供マニュアルの作成 サービス担当者会議への参加 医療との連携 研修の実施 外部評価の導入 コンサルティングへの依頼 苦情に対する組織的な対策 その他（具体的に ） 特に何も行っていない		○	○
問3-4-1	全部	サービス利用に関する苦情解決の方法	サービス利用に関する苦情解決の方法はどのように行っていますか	複数	事業所の中で解決している 事業所の中で解決できない場合は他の機関を利用して解決している 弁護士などの専門家と協議して解決している 上記3つの方法を活用しても解決できない場合がある その他（具体的に ）		○	
問3-4-2	全部	解決できない問題	【問3-4-1で「解決できない場合がある」の方のみ】 その内容をできるだけ具体的に <input type="text"/>	記述			○	
問3-5	一部	利用者と地域がつながるための工夫として行っている活動	利用者と地域のつながりを確保するための工夫として、どのような活動を行っていますか	複数	行きたい場所に行ったり、会いたい人に会わせたりする機会を設けている 地域行事（盆踊り、花見、敬老会など）に参加するようにしている 幼稚園児、小学生などとの世代間交流活動を行っている 買い物や散歩など、外出の機会を設けている 地域や家族に施設開放を行い、交流事業などを行っている ほかの事業者や施設と連携して、地域と交流する機会を設けている 町内会に加入している その他（具体的に ） 特に何も行っていない		○	
問3-6-1	全部	災害発生の備えとして既に取り組んでいること	災害発生の備えとして、既に取り組んでいるものは何ですか	複数	災害時に備えた定期的な避難訓練などの実施 災害時における対応マニュアルの策定 事業継続計画（BCP）の策定 地域住民との協力体制の構築 災害時における職員の役割分担 夜間における緊急連絡体制の整備 災害時における備蓄・備品の用意 その他（具体的に ）		○	○
問3-6-2	全部	災害発生時に備えた今後の地域との協力体制	【問3-6-1で「地域住民との協力体制の構築」を選択しなかった方のみ】 災害発生時に備えて、地域との協力体制についてどのように考えていますか	単一	現在話し合い中 今後話し合う予定 その他（具体的に ） 特に考えていない		○	
問3-6-3	全部	災害発生時における対策のうち一番難しいもの	災害発生時における対策のうち、一番難しいものは何ですか	単一	避難訓練で想定する行動 対応マニュアルなどに則した行動 地域住民との協力体制 職員の役割分担 夜間における緊急連絡体制 備蓄・備品の不足 その他（具体的に ）		○	
4 職員への対応について								
問4-1-1		過去1年間の採用、定着状況	過去1年間における職員の採用状況と採用・退職の人数、定着状況（および平均在		※表形式		○	
問4-1-1-ア-A	全部		常勤職員	記述	（各職種それぞれについて） 計画どおり採用できている 計画どおり採用できていない 採用計画はない 採用人数（ 人） 退職者数（ 人）		○	○
問4-1-1-ア-B			非常勤職員	記述	※表形式		○	○
問4-1-1-イ-A	全部		常勤職員	単一	良い 比較的良好い あまり良くない 良くない		○	○
問4-1-1-イ-B			非常勤職員	単一	※表形式		○	
問4-1-2	全部	職員募集で効果があった方法	職員を募集するにあたり、効果があった方法は何ですか（3つ以内）	複数	ハローワークの活用 求人媒体の活用 大学・専門学校への依頼 人材派遣会社への依頼 人材紹介会社の活用 自社ホームページ・SNSなどの活用 知人からの紹介 その他（具体的に ）		○	
問4-1-3-ア	全部	介護サービスを提供する職員数（常勤換算）	介護サービスを提供する職員数は何人ですか。常勤換算で総数及び年代別の人数をお答えください ※ 非常勤職員を常勤換算する際は、別添Excel『職員数換算シート』をお使いください ※ 算出方法は、『非常勤職員の週あたり延べ勤務実績』÷『常勤職員が勤務すべき週あたりの勤務時間数（32時間を下回る場合は32時間）』です	記述	職員数（常勤換算）（ 名） うち29歳以下（ 名） 30～39歳（ 名） 40～49歳（ 名） 50～59歳（ 名） 60～69歳（ 名） 70歳以上（ 名）	年齢別を追加	○	

⑤R7通所介護、通所リハビリテーション、地域密着型通所介護事業者調査

設問№	対象	設問趣旨	設問内容サービス利用者が通ってくる主な範囲	回答形式	選択肢	見直し内容	要否	9期計画
問4-1-3-イ	全部	定年制度	貴事業所では、(正規雇用に係る)定年制度を設けていますか	単一	定年制度を設けている 定年制度を設けていない(年齢に関わらず働ける)	新規	☆	
問4-1-3-イ-Ａ	全部	定年年齢	【問4-1-3-イで「設けている」の方のみ】定年年齢は何歳ですか	記載	(歳)	新規	☆	
問4-1-3-イ-Ｂ	全部	定年後の継続雇用制度	【問4-1-3-イで「設けている」の方のみ】定年後の継続雇用制度はありますか ※「ある(上限がある)」場合は()内に上限年齢を記載	単一	ある(上限がある 歳) ある(上限はない) ない	新規	☆	
問4-1-3-ウ	全部	職員数(実人数)	介護サービスを提供する職員の常勤・非常勤の実人数はそれぞれ何人ですか	記述	常勤職員(名) 非常勤職員(名)	新規	☆	
問4-1-3-エ	全部	職員数の過不足に対する考え	現状の職員数をどのように考えますか。 ※「さらに職員が必要」の場合は()内に人数及びその理由	単一	現状の職員数で十分である さらに職員が必要(名) 必要⇒理由()		○	◎
問4-2	全部	過去1年間の職員の退職理由として多いと感じるもの	過去1年間に、貴事業所から退職された職員の方々の主な退職理由は何が多いと考えていますか(3つ以内)	複数	給与 就労時間や休暇などの勤務条件 職場環境 職場の人間関係 利用者などとの人間関係 健康 年齢 結婚 出産・育児 転職 家族の介護 家族の転勤 その他(具体的に) 過去1年以内の退職はなかった		○	○
問4-3	全部	職員に対して行っている配慮	職員に対して、どのような配慮を行っていますか	複数	基本給以外の手当を支給している 健康診断等(定期健康診断以外)を実施している 通勤時や移動時の事故についての予防や対応策をとっている 被服や機器等の貸与を行っている 身体的負担への対応策をとっている 精神的ストレスの緩和・サポートを行っている 職場内コミュニケーションの円滑化を図っている カスタマーハラスメントへの対応策をとっている その他(具体的に) 特にない		○	
問4-4	全部	職員を取り巻く状況の変化(5年前との比較)	貴事業所では、5年前と比較して職員の状況はどのように変化していますか	複数	1人当たりの仕事量が増えている 業務遂行に必要な人材が不足している 職場でのコミュニケーションや助け合いが減っている 業務についての研修の機会や場が少なくなっている 過労気味の職員が増えている サービスの量や質が落ちている その他(具体的に)		○	
問4-5	全部	職員の給与に対する考え	職員の給与についてどのようにお考えですか	単一	職員は十分な給与が得られている 十分とはいえないが、職員は必要な給与を得られている 仕事の負担に対し、職員は給与が若干不足していると感じる 仕事の負担に対し、職員は十分な給与が得られていない		○	
問4-6	全部	全職員を対象に実施している内部研修	全職員を対象に実施している内部研修はどのようなものですか	複数	介護保険制度に関する研修 個人情報の取扱いに関する研修 リハビリテーション等に関する研修 事故防止に関する研修 認知症に関する研修 食事介助に関する研修 接遇研修 虐待に関する研修 身体拘束に関する研修 メンタルヘルスに関する研修 災害時対応に関する研修 感染症発生時対応に関する研修 ハラスメントに関する研修 ワークルールに関する研修 その他(具体的に) 何も行っていない		○	○
問4-7	全部	外部研修などへの職員の参加	外部研修などへ職員を参加させるようにしていますか	単一	している していない		○	○
問4-8	全部	外部研修などへ参加させていない理由	【問4-7で「していない」の方のみ】 外部研修などへの参加をさせていない理由は何ですか	複数	時間の余裕がない 費用が高額である 参加させたい研修がない 参加させる必要がない その他(具体的に)		○	○
問4-9	全部	職員に受けさせたい外部研修	職員に受けさせたい外部研修は何ですか	複数	介護保険制度に関する研修 個人情報の取扱いに関する研修 リハビリテーション等に関する研修 事故防止に関する研修 認知症に関する研修 食事介助に関する研修 接遇研修 虐待に関する研修 身体拘束に関する研修 メンタルヘルスに関する研修 管理者・リーダー層の養成に関する研修 災害時対応に関する研修 感染症発生時対応に関する研修 ハラスメントに関する研修 ワークルールに関する研修 その他(具体的に)		○	○
問4-10	一部	介護助手の活用	現在、介護助手(※)を活用していますか ※「介護助手」とは、原則として利用者の身体に直接触れる介助(食事、入浴、排せつ介助など)は行わず、清掃、配膳、話し相手など、介護職員の周辺業務サポートを主な業務とする職員(パート・アルバイトを含む雇用契約に基づいた職員)を指します。	単一	活用している 活用していない 介護助手が何か知らない	新規	☆	
問4-11	一部	介護助手の活用効果	【問4-10で「活用している」の方のみ】介護助手を活用して感じられる効果を教えてください	複数	職員の負担が軽減された 研修の時間が増えた 利用者へのケアの時間が増えた 職場の雰囲気が悪くなった その他(具体的に) あまり効果は感じられない	新規	☆	
問4-12	一部	介護助手を活用する予定	【問4-10で「活用していない」の方のみ】今後、介護助手を活用する予定はありますか	単一	予定がある 予定がない	新規	☆	
問4-13	一部	介護助手を活用しない理由	【問4-12で「予定がない」の方のみ】介護助手を活用しない理由を教えてください	複数	予算の制約による 適切な人材が見つからない 介護助手の役割が明確でない 活用条件や労働条件に不安がある 利用者介護助手への抵抗感がある 職員に介護助手への抵抗感がある 必要性を感じない その他(具体的に)	新規	☆	
問4-14	全部	スポットワークの活用	いわゆるスポットワーク(※)を活用して介護職員を雇用したことがありますか ※ スポットワークとは、アプリ等をとおして単発や短時間の仕事を依頼することをいいます	単一	活用したことがある 活用したことがない スポットワークを知らない	新規	☆	
問4-15	全部	スポットワークの活用理由	【問4-14で「活用したことがある」の方のみ】 どのような理由でスポットワークを活用しましたか	複数	既存職員の急な欠勤・休暇の補填 既存職員の急な退職の補填 コスト削減 繁忙期の一時的な人員補充 正規雇用前の試用的な雇用(採用活動) その他(具体的に)	新規	☆	
問4-16		スポットワークでの雇用回数・従事内容・職員の能力	【問4-14で「活用したことがある」の方のみ】 スポットワークで雇用した回数は何回程度ですか、また、どのような業務に従事したか、その職員の能力についてどの程度満足していますか			新規	☆	
問4-16-1	全部		雇用回数	記述	雇用回数(回)	新規	☆	
問4-16-2	全部		従事内容	複数	入浴介助 排泄介助 食事介助(口元への介助など) 体位交換・移乗介助 医療的ケア(服薬管理、バイタル測定など) 資格不要な周辺業務(配膳・見守りなど) その他(具体的に)	新規	☆	
問4-16-3	全部		能力	単一	非常に満足 やや満足 やや不満 非常に不満	新規	☆	
問4-17	全部	スポットワーク導入の課題	【問4-14で「活用したことがある」「活用したことがない」の方のみ】 スポットワークを導入するにあたり課題は何ですか	複数	信頼性・スキルに不安がある 雇用管理が煩雑 法制度や契約面で不安がある 仕組みがよく分からない 登録・契約手続きが煩雑 マッチング精度が低い コスト面の不安 特段の課題は無い その他(具体的に)	新規	☆	
問4-18	全部	今後のスポットワークの活用	今後、スポットワークを活用したいと思いますか	単一	ぜひ活用したい 状況に応じて活用したい あまり活用したくない 全く活用したくない	新規	☆	
5 自由記載								
問5	全部	介護保険制度全般への要望・意見	介護報酬や職員体制、介護保険サービスの提供、その他介護保険制度全般のほか、今回の調査や札幌市の施策について、ご要望やご意見がありましたら、ご自由に入力してください	記述			○	

⑥R7短期入所生活介護、短期入所療養介護事業者調査

設問№	対象	設問趣旨	設問内容	回答形式	選択肢	見直し内容	要否	9期計画
1 事業所について								
問1-1	一部	事業所の経営形態	事業所の経営形態について教えてください	単一	株式会社 医療法人 社会福祉法人 合同会社 財団法人 有限会社 NPO法人 合名会社 合資会社 その他（具体的に）		○	
問1-2	一部	事業所の所在地	事業所の所在地について教えてください	単一	中央区 北区 東区 白石区 厚別区 豊平区 清田区 南区 西区 手稲区		○	
問1-3	一部	サービスの提供区	サービスの提供区について教えてください	複数	中央区 北区 東区 白石区 厚別区 豊平区 清田区 南区 西区 手稲区		○	
問1-4	単独	提供しているサービスの種類	提供しているサービスの種類について教えてください	単一	短期入所生活介護 短期入所療養介護		○	
問1-5	一部	併設する介護保険サービス事業所の有無	併設する介護保険サービス事業所の有無について教えてください	単一	ある（1～3事業所） ある（4～6事業所） ある（7～9事業所） ある（10～15事業所） ある（16事業所以上） ない		○	
問1-6	一部	併設する事業所が提供している介護保険サービス	【問1-5 併設する介護保険サービス事業所の有無で「併設あり」の方のみ】 併設する事業所が提供している介護保険サービスについて教えてください	複数	訪問介護 訪問入浴介護 訪問看護 訪問リハビリテーション 居宅療養管理指導 通所介護 通所リハビリテーション 短期入所生活介護 短期入所療養介護 特定施設入居者生活介護 福祉用具貸与 特定福祉用具販売 居宅介護支援 介護予防支援（介護予防ケアマネジメント） 介護老人福祉施設 介護老人保健施設 介護医療院 定期巡回・随時対応型訪問介護看護 夜間対応型訪問介護 地域密着型通所介護 認知症対応型通所介護 小規模多機能型居宅介護 認知症対応型共同生活介護 地域密着型特定施設入居者生活介護 地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護 看護小規模多機能型居宅介護 訪問型サービス（総合事業） 通所型サービス（総合事業） 通所型サービス時間短縮型（総合事業）		○	
問1-7	一部	併設する高齢者共同住宅の有無	併設する高齢者共同住宅はありますか	単一	ある ない		○	
2 サービスの提供状況等について								
問2-1-1	単独	ショートステイの事業形態	【問1-4で「生活介護」の方のみ】 ショートステイの事業形態について教えてください 「1.専用床型」を選択された場合は、そのベッド数を具体的に入力してください	単一	専用床型（ベッド数 床） 空床利用型		○	
問2-1-2		令和7年8月～10月の3か月間の延べ利用日数	【問1-4で「生活介護」の方のみ】 令和7年8月～10月の3か月間に利用があったものを選択し、その延べ利用日数をそれぞれ入力してください		ショートステイ（ 日） ショートステイ専用床を、特別養護老人ホーム床として一時的に活用（ 日）		○	
問2-1-3	単独	専用床を増やす予定の有無	【問2-1-1で「専用床型」の方のみ】 今後、令和8年度までにショートステイ専用床を増やす予定はありますか 【増やす予定がある場合】その増床数を具体的に入力してください	単一	増やす予定がある（ 床増加） 増やす予定はない		○	
問2-1-4	単独	積極的にショートステイ利用者を受け入れる意向の有無	【問2-1-1で「空床利用型」の方のみ】 今後、積極的にショートステイ利用者を受け入れる意向はありますか	単一	意向はある 意向はない		○	
問2-2-1		令和7年8月～10月の3か月間の延べ利用日数	【問1-4で「療養介護」の方のみ】 令和7年8月～10月の3か月間のショートステイの延べ利用日数は何日ですか（介護予防サービスを含む）		（ 日）		○	
問2-2-2	単独	積極的にショートステイ利用者を受け入れる意向の有無	【問1-4で「療養介護」の方のみ】 今後、積極的にショートステイ利用者を受け入れる意向はありますか	単一	意向がある 意向はない		○	
3 事業所の運営について								
問3-1-1	全部	事業所運営に関する問題点	事業所運営に関する問題点はどのようなものがありますか	複数	利用者本人・家族などとの連携および調整が難しい 人材育成が難しい 職員が定着しにくい 職員の仕事への意欲を維持するのが難しい サービス担当者会議が十分に機能していない 介護報酬が実態にそぐわない 利用者に対する情報提供が難しい 地域（町内会や民生委員など）との連携が難しい 医療との連携が難しい 計画どおりに職員の採用ができない その他（具体的に ） 特に問題はない		○	
問3-1-2	全部	介護報酬が実態にそぐわない理由	【問3-1-1で「介護報酬が実態にそぐわない」の方のみ】 その理由を教えてください	複数	加算の要件が厳しく、算定できない 加算取得のための作業が煩雑で報酬と見合っていない サービス提供のための経費が報酬に反映されていない サービス提供以外の業務に対する報酬がない 要支援者の報酬が低い その他（具体的に ）		○	
問3-1-3	全部	新たに設置を希望する加算	【問3-1-1で「介護報酬が実態にそぐわない」の方のみ】 安定したサービス提供を行うため、新たにどのような加算があると思うか、ご意見がありましたら具体的に入力してください	記述		新規	☆	
問3-1-4	全部	地域・医療との連携が難しい理由	【問3-1-1で「地域との連携が難しい」「医療との連携が難しい」の方のみ】 その理由をできるだけ具体的に入力してください	記述			○	
問3-2	一部	介護予防サービスの問題点	介護予防サービスについて、問題点はどのようなことだと思いますか	複数	報酬が低いので事業所運営をする上で不利と感じる 受け入れ体制が整っていない サービス量（需要）を把握するのが難しい 利用者へのきめ細かな対応が難しいと感じる 予防効果を明確に利用者に説明できない その他（具体的に ） 特に問題はない		○	
問3-3	全部	サービスの質の向上のために行っている取組	サービスの質の向上のために、どのような取組を行っていますか	複数	相談窓口の設置 ケア・カンファレンスの定期的な開催 サービス利用者の満足度調査の実施 自己評価の積極的な開示 サービス提供マニュアルの作成 サービス担当者会議への参加 医療との連携 研修の実施 外部評価の導入 コンサルティングへの依頼 苦情に対する組織的な対策 その他（具体的に ） 特に何も行っていない		○	○
問3-4-1	全部	サービス利用に関する苦情解決の方法	サービス利用に関する苦情解決の方法はどのように行っていますか	複数	事業所の中で解決している 事業所の中で解決できない場合は他の機関を利用して解決している 弁護士などの専門家と協議して解決している 上記3つの方法を活用しても解決できない場合がある その他（具体的に ）		○	
問3-4-2	全部	解決できない問題	【問3-4-1で「解決できない場合がある」の方のみ】 その内容をできるだけ具体的に入力してください	記述			○	
問3-5	一部	夜間勤務体制（夜勤職員の配置）	夜間の勤務体制（夜勤職員の配置）について教えてください	単一	基準どおりの人数で夜勤職員を配置 基準を超える人数で夜勤職員の配置		○	
問3-6	一部	夜間の人員体制についての自由記載	ご意見などがありましたら、ご自由に入力してください	記述			○	
問3-7	一部	利用者と地域がつながるための工夫として行っている活動	利用者と地域のつながりを確保するための工夫として、どのような活動を行っていますか	複数	行きたい場所に行ったり、会いたい人に会わせたりする機会を設けている 地域行事（盆踊り、花見、敬老会など）に参加するようにしている 幼稚園児、小学生などとの世代間交流活動を行っている 買い物や散歩など、外出の機会を設けている 地域や家族に施設開放を行い、交流事業などを行っている ほかの事業者や施設と連携して、地域と交流する機会を設けている 町内会に加入している その他（具体的に ） 特に何も行っていない		○	
問3-8-1	全部	災害発生の備えとして既に取り組んでいること	災害発生の備えとして、既に取り組んでいるものは何ですか	複数	災害時に備えた定期的な避難訓練などの実施 災害時における対応マニュアルの策定 事業継続計画（BCP）の策定 地域住民との協力体制の構築 災害時における職員の役割分担 夜間における緊急連絡体制の整備 災害時における備蓄・備品の用意 その他（具体的に ）		○	○
問3-8-2	全部	災害発生時に備えた今後の地域との協力体制	【問3-8-1で「地域住民との協力体制の構築」を選択しなかった方のみ】 災害発生時に備えて、地域との協力体制についてどのように考えていますか	単一	現在話し合い中 今後話し合う予定 その他（具体的に ） 特に考えていない		○	
問3-8-3	全部	災害発生時における対策のうち一番難しいもの	災害発生時における対策のうち、一番難しいものは何ですか	単一	避難訓練で想定する行動 対応マニュアルなどに則した行動 地域住民との協力体制 職員の役割分担 夜間における緊急連絡体制 備蓄・備品の不足 その他（具体的に ）		○	
4 職員への対応について								
問4-1-1		過去1年間の採用、定着状況	過去1年間における職員の採用状況と採用・退職の人数、定着状況（および平均在		※表形式		○	
問4-1-1-ア-A	全部		常勤職員	記述	（各職種それぞれについて） 計画どおり採用できている 計画どおり採用できていない 採用計画はない 採用人数（ 人） 退職者数（ 人）		○	○
問4-1-1-ア-B			非常勤職員	記述	※表形式		○	○
問4-1-1-イ-A	全部		常勤職員	単一	良い 比較的良好い あまり良くない 良くない		○	○
問4-1-1-イ-B			非常勤職員	単一	※表形式		○	

⑥R7短期入所生活介護、短期入所療養介護事業者調査

設問№	対象	設問趣旨	設問内容	回答形式	選択肢	見直し内容	要否	9期計画
問4-1-2	全部	職員募集で効果があった方法	職員を募集するにあたり、効果があった方法は何ですか（3つ以内）	複数	ハローワークの活用 求人媒体の活用 大学・専門学校への依頼 人材派遣会社への依頼 人材紹介会社の活用 自社ホームページ・SNSなどの活用 知人からの紹介 その他（具体的に ）		○	
問4-1-3-ア	全部	介護サービスを提供する職員数（常勤換算）	介護サービスを提供する職員数は何人ですか。常勤換算で総数及び年代別の人数をお答えください ※ 非常勤職員を常勤換算する際は、別添Excel『職員数換算シート』をお使いください ※ 算出方法は、『非常勤職員の週あたり延べ勤務実績』÷『常勤職員が勤務すべき週あたりの勤務時間数（32時間を下回る場合は32時間）』です	記述	職員数（常勤換算）（ 名） うち29歳以下（ 名） 30～39歳（ 名） 40～49歳（ 名） 50～59歳（ 名） 60～69歳（ 名） 70歳以上（ 名）	年齢別を追加	○	
問4-1-3-イ	全部	定年制度	貴事業所では、（正規雇用に係る）定年制度を設けていますか	単一	定年制度を設けている 定年制度を設けていない（年齢に関わらず働ける）	新規	☆	
問4-1-3-イ-A	全部	定年年齢	【問4-1-3-イで「設けている」の方のみ】定年年齢は何歳ですか	記載	（ 歳）	新規	☆	
問4-1-3-イ-B	全部	定年後の継続雇用制度	【問4-1-3-イで「設けている」の方のみ】定年後の継続雇用制度はありますか	単一	ある（上限がある 歳） ある（上限はない） ない	新規	☆	
問4-1-3-ウ	全部	職員数（実人数）	介護サービスを提供する職員の常勤・非常勤の実人数はそれぞれ何人ですか	記述	常勤職員（ 名） 非常勤職員（ 名）	新規	☆	
問4-1-3-エ	全部	職員数の過不足に対する考え	現状の職員数をどのように考えますか。 ※「さらに職員が必要」の場合は（ ）内に人数及びその理由	単一	現状の職員数で十分である さらに職員が必要（ 名）必要⇒理由（ ）		○	◎
問4-2	全部	過去1年間の職員の退職理由として多いと感じるもの	過去1年間に、貴事業所から退職された職員の方々の主な退職理由は何が多いと考えていますか（3つ以内）	複数	給与 就労時間や休暇などの勤務条件 職場環境 職場の人間関係 利用者などとの人間関係 健康 年齢 結婚 出産・育児 転職 家族の介護 家族の転勤 その他（具体的に ） 過去1年以内の退職はなかった		○	○
問4-3	全部	職員に対して行っている配慮	職員に対して、どのような配慮を行っていますか	複数	基本給以外の手当を支給している 健康診断等（定期健康診断以外）を実施している 通勤時や移動時の事故についての予防や対応策をとっている 被服や機器等の貸与を行っている 身体的負担への対応策をとっている 精神的ストレスの緩和・サポートを行っている 職場内コミュニケーションの円滑化を図っている カスタマーハラスメントへの対応策をとっている その他（具体的に ） 特にない		○	
問4-4	全部	職員を取り巻く状況の変化（5年前との比較）	貴事業所では、5年前と比較して職員の状況はどのように変化していますか	複数	1人当たりの仕事量が増えている 業務遂行に必要な人材が不足している 職場でのコミュニケーションや助け合いが減っている 業務についての研修の機会や場が少なくなっている 過労気味の職員が増えている サービスの量や質が落ちている その他（具体的に ）		○	
問4-5	全部	職員の給与に対する考え	職員の給与についてどのようにお考えですか	単一	職員は十分な給与が得られている 十分とはいえないが、職員は必要な給与を得られている 仕事の負担に対し、職員は給与が若干不足していると感じる 仕事の負担に対し、職員は十分な給与が得られていない		○	
問4-6	全部	全職員を対象に実施している内部研修	全職員を対象に実施している内部研修はどのようなものですか	複数	介護保険制度に関する研修 個人情報の取扱いに関する研修 リハビリテーション等に関する研修 事故防止に関する研修 認知症に関する研修 食事介助に関する研修 接遇研修 虐待に関する研修 身体拘束に関する研修 メンタルヘルスに関する研修 災害時対応に関する研修 感染症発生時対応に関する研修 ハラスメントに関する研修 ワークルールに関する研修 その他（具体的に ） 何も行っていない		○	○
問4-7	全部	外部研修などへの職員の参加	外部研修などへ職員を参加させるようにしていますか	単一	している していない		○	○
問4-8	全部	外部研修などへ参加させていない理由	【問4-7で「していない」の方のみ】 外部研修などへの参加をさせていない理由は何ですか	複数	時間の余裕がない 費用が高額である 参加させたい研修がない 参加させる必要がない その他（具体的に ）		○	○
問4-9	全部	職員に受けさせたい外部研修	職員に受けさせたい外部研修は何ですか	複数	介護保険制度に関する研修 個人情報の取扱いに関する研修 リハビリテーション等に関する研修 事故防止に関する研修 認知症に関する研修 食事介助に関する研修 接遇研修 虐待に関する研修 身体拘束に関する研修 メンタルヘルスに関する研修 管理者・リーダー層の養成に関する研修 災害時対応に関する研修 感染症発生時対応に関する研修 ハラスメントに関する研修 ワークルールに関する研修 その他（具体的に ）		○	○
問4-10	一部	介護助手の活用	現在、介護助手（※）を活用していますか ※「介護助手」とは、原則として利用者の身体に直接触れる介助（食事、入浴、排せつ介助など）は行わず、清掃、配膳、話し相手など、介護職員の周辺業務サポートを主な業務とする職員（パート・アルバイトを含む雇用契約に基づいた職員）を指します。	単一	活用している 活用していない 介護助手が何か知らない	新規	☆	
問4-11	一部	介護助手の活用効果	【問4-10】で「活用している」の方のみ】介護助手を活用して感じられる効果を教えてください	複数	職員の負担が軽減された 研修の時間が増えた 利用者へのケアの時間が増えた 職場の雰囲気ようになった その他（具体的に ） あまり効果は感じられない	新規	☆	
問4-12	一部	介護助手を活用する予定	【問4-10】で「活用していない」の方のみ】今後、介護助手を活用する予定はありますか	単一	予定がある 予定がない	新規	☆	
問4-13	一部	介護助手を活用しない理由	【問4-12】で「予定がない」の方のみ】介護助手を活用しない理由を教えてください	複数	予算の制約による 適切な人材が見つからない 介護助手の役割が明確でない 活用条件や労働条件に不安がある 利用者 に介護助手への抵抗感がある 職員に介護助手への抵抗感がある 必要性を感じない その他（具体的に ）	新規	☆	
問4-14	全部	スポットワークの活用	いわゆるスポットワーク（※）を活用して介護職員を雇用したことがありますか ※ スポットワークとは、アプリ等とおして単発や短時間の仕事を依頼することをいいます	単一	活用したことがある 活用したことがない スポットワークを知らない	新規	☆	
問4-15	全部	スポットワークの活用理由	【問4-14】で「活用したことがある」の方のみ どのような理由でスポットワークを活用しましたか	複数	既存職員の急な欠勤・休暇の補填 既存職員の急な退職の補填 コスト削減 繁忙期の一時的な人員補充 正規雇用前の試用的な雇用（採用活動） その他（具体的に ）	新規	☆	
問4-16		スポットワークでの雇用回数・従事内容・職員の能力	【問4-14】で「活用したことがある」の方のみ スポットワークで雇用した回数は何回程度ですか、また、どのような業務に従事したか、その職員の能力についてどの程度満足していますか			新規	☆	
問4-16-1	全部		雇用回数	記述	雇用回数（ 回）	新規	☆	
問4-16-2	全部		従事内容	複数	入浴介助 排泄介助 食事介助（口元への介助など） 体位交換・移乗介助 医療的ケア（服薬管理、バイタル測定など） 資格不要な周辺業務（配膳・見守りなど） その他（具体的に ）	新規	☆	
問4-16-3	全部		能力	単一	非常に満足 やや満足 やや不満 非常に不満	新規	☆	
問4-17	全部	スポットワーク導入の課題	【問4-14】で「活用したことがある」「活用したことがない」の方のみ スポットワークを導入するにあたり課題は何ですか	複数	信頼性・スキルに不安がある 雇用管理が煩雑 法制度や契約面で不安がある 仕組みがよく分からない 登録・契約手続きが煩雑 マッチング精度が低い コスト面の不安 特段の課題は無い その他（具体的に ）	新規	☆	
問4-18	全部	今後のスポットワークの活用	今後、スポットワークを活用したいと思いますか	単一	ぜひ活用したい 状況に応じて活用したい あまり活用したくない 全く活用したくない	新規	☆	
5 自由記載								
問5	全部	介護保険制度全般への要望・意見	介護報酬や職員体制、介護保険サービスの提供、その他介護保険制度全般のほか、今回の調査や札幌市の施策について、ご要望やご意見がありましたら、ご自由に入力してください	記述			○	

⑦R7居宅介護支援事業者調査

設問№	対象	設問趣旨	設問内容	回答形式	選択肢	見直し内容	要否	9期計画
1 事業所について								
問1-1	一部	事業所の経営形態	事業所の経営形態について教えてください	単一	株式会社 医療法人 社会福祉法人 合同会社 財団法人 有限会社 NPO法人 合名会社 合資会社 その他（具体的に ）		○	
問1-2	一部	事業所の所在地	事業所の所在地について教えてください	単一	中央区 北区 東区 白石区 厚別区 豊平区 清田区 南区 西区 手稲区		○	
問1-3	一部	サービスの提供区	サービスの提供区について教えてください	複数	中央区 北区 東区 白石区 厚別区 豊平区 清田区 南区 西区 手稲区		○	
問1-4	一部	併設する介護保険サービス事業所の有無	併設する介護保険サービス事業所の有無について教えてください	単一	ある（1～3事業所） ある（4～6事業所） ある（7～9事業所） ある（10～15事業所） ある（16		○	
問1-5	一部	併設する事業所が提供している介護保険サービス	【問1-4 併設する介護保険サービス事業所の有無で「併設あり」の方のみ】 併設する事業所が提供している介護保険サービスについて教えてください	複数	訪問介護 訪問入浴介護 訪問看護 訪問リハビリテーション 居宅療養管理指導 通所介護 通所リハビリテーション 短期入所生活介護 短期入所療養介護 特定施設入居者生活介護 福祉用具貸与 特定福祉用具販売 介護予防支援（介護予防ケアマネジメント） 介護老人福祉施設 介護老人保健施設 介護医療院 定期巡回・随時対応型訪問介護看護 夜間対応型訪問介護 地域密着型通所介護 認知症対応型通所介護 小規模多機能型居宅介護 認知症対応型共同生活介護 地域密着型特定施設入居者生活介護 地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護 看護小規模多機能型居宅介護 訪問型サービス（総合事業） 通所型サービス（総合事業） 通所型サービス時間短縮型（総合事業）		○	
問1-6	一部	併設する高齢者共同住宅の有無	併設する高齢者共同住宅はありますか ※ここでの「高齢者共同住宅」とは、食事や相談サービスなど、高齢者を支援するサービスを提供する共同生活形式の住宅を指します	単一	ある ない		○	
2 サービスの提供状況等について								
問2-1	単独	介護予防支援事業所の指定の有無	貴事業所は、介護予防支援事業所の指定を受けていますか	単一	指定を受けている 指定を受けていない	新規	☆	
問2-2	単独	介護支援専門員1人あたりの平均ケアプラン作成件数	令和7年10月の1か月間に作成したものを選択し、介護支援専門員1人あたりの平均ケアプラン作成件数をそれぞれ入力してください	記述	要介護1・2の方を対象としたケアプラン（ 件） 要介護3～5の方を対象としたケアプラン（ 件）（※ 小数点第2以下は四捨五入してください）		○	
問2-3	単独	ケアプランを作成している要支援1・2の方の利用者数	【問2-1で「指定を受けている」のみ】 令和7年10月の1か月間にケアプランを作成している要支援1・2の利用者数の合計を教えてください（地域包括支援センターからの再委託を除く）	単一	（ 人）	新規	☆	
問2-4-1	一部	ターミナルケア（看取り）に取り組んだ経験の有無	余命が数か月～半年とみられる高齢者を介護・看護するターミナルケア（看取り）に取り組んだ経験がありますか	単一	ある ない		○	
問2-4-2	単独	直近1年間の看取り件数	【問2-2-1で「ある」の方のみ】 直近1年間で何件ありましたか	記述	（ 件）		○	
問2-5	一部	ターミナルケア（看取り）についての考え	ターミナルケア（看取り）についてどのように考えていますか	単一	現時点では、事業所としての方針を明確にしていない 利用者の看取りまでは想定していない 制度上一定の条件が整えば、看取りの段階まで援助していきたい 現状でも条件が整うケースでは、看取りの段階まで援助している		○	
問2-6	一部	ターミナルケア（看取り）を可能とするために必要な条件	【問2-2～5で「援助していきたい」「援助している」の方のみ】 ターミナルケア（看取り）を可能とするためには、どのような条件が必要だと考えますか	複数	ターミナルケアについての職員の知識と技術の向上 介護職員が行える医療行為の範囲の拡大 本人の希望の確認と家族の協力 ほかの入居者・利用者（家族）の理解 訪問診療に応じてくれる医師との関わり ほかの介護サービス（訪問看護を除く）の利用 緊急時の受け入れ医療機関の存在 職員の増員 介護報酬の増額 職員の不安や疑問を気軽に相談できる人や機関 その他（具体的に ）		○	○
3 事業所の運営について								
問3-1-1	全部	事業所運営に関する問題点	事業所運営に関する問題点はどのようなものがありますか	複数	利用者本人・家族などとの連携および調整が難しい 人材育成が難しい 職員が定着しにくい 職員の仕事への意欲を維持するのが難しい サービス担当者会議が十分に機能していない 介護報酬が実態にそぐわない 利用者に対する情報提供が難しい 地域（町内会や民生委員など）との連携が難しい 医療との連携が難しい 計画どおりに職員の採用ができない その他（具体的に ） 特に問題はな		○	
問3-1-2	全部	介護報酬が実態にそぐわない理由	【問3-1-1で「介護報酬が実態にそぐわない」の方のみ】 その理由を教えてください	複数	加算の要件が厳しく、算定できない 加算取得のための作業が煩雑で報酬と見合っていない サービス提供のための経費が報酬に反映されていない サービス提供以外の業務に対する報酬がない 要支援者の報酬が低い その他（具体的に ）		○	
問3-1-3	全部	新たに設置を希望する加算	【問3-1-1で「介護報酬が実態にそぐわない」の方のみ】 安定したサービス提供を行うため、新たにどのような加算があるとよいと思うか、ご意見がありましたら具体的に入力してください	記述			☆	
問3-1-4	全部	地域・医療との連携が難しい理由	【問3-1-1で「地域との連携が難しい」「医療との連携が難しい」の方のみ】 その理由をできるだけ具体的に入力してください	記述			○	
問3-2	一部	介護予防サービスの問題点	※居宅介護支援のみ【問2-1で「指定を受けている」方のみ】 介護予防サービスについて、問題点はどのようなことだと思いますか	複数	報酬が低いので事業所運営をする上で不利と感じる 受け入れ体制が整っていない サービス量（需要）を把握するのが難しい 利用者へのきめ細かな対応が難しいと感じる 予防効果を明確に利用者に説明できない その他（具体的に ） 特に問題はない		○	
問3-3	全部	サービスの質の向上のためにやっている取組	サービスの質の向上のために、どのような取組を行っていますか	複数	相談窓口の設置 ケア・カンファレンスの定期的な開催 サービス利用者の満足度調査の実施 自己評価の積極的な開示 サービス提供マニュアルの作成 サービス担当者会議への参加 医療との連携 研修の実施 外部評価の導入 コンサルティングへの依頼 苦情に対する組織的な対策 その他（具体的に ） 特に何も行っていない		○	○
問3-4-1	全部	サービス利用に関する苦情解決の方法	サービス利用に関する苦情解決の方法はどのように行っていますか	複数	事業所の中で解決している 事業所の中で解決できない場合は他の機関を利用して解決している 弁護士などの専門家と協議して解決している 上記3つの方法を活用しても解決できない場合がある その他（具体的に ）		○	
問3-4-2	全部	解決できない問題	【問3-4-1で「解決できない場合がある」の方のみ】 その内容をできるだけ具体的に入力してください	記述			○	

⑦R7居宅介護支援事業者調査

設問№	対象	設問趣旨	設問内容	回答形式	選択肢	見直し内容	要否	9期計画
問3-5-1	全部	災害発生の備えとして既に取り組んでいること	災害発生の備えとして、既に取り組んでいるものは何ですか	複数	災害時に備えた定期的な避難訓練などの実施 災害時における対応マニュアルの策定 事業継続計画（BCP）の策定 地域住民との協力体制の構築 災害時における職員の役割分担 夜間における緊急連絡体制の整備 災害時における備蓄・備品の用意 その他（具体的に ）		○	○
問3-5-2	全部	災害発生時に備えた今後の地域との協力体制	【問3-5-1で「地域住民との協力体制の構築」を選択しなかった方のみ】 災害発生時に備えて、地域との協力体制についてどのように考えていますか	単一	現在話し合い中 今後話し合う予定 その他（具体的に ） 特に考えていない		○	
問3-5-3	全部	災害発生時における対策のうち一番難しいもの	災害発生時における対策のうち、一番難しいものは何ですか	単一	避難訓練で想定する行動 対応マニュアルなどに則した行動 地域住民との協力体制 職員の役割分担 夜間における緊急連絡体制 備蓄・備品の不足 その他（具体的に ）		○	
4 職員への対応について								
問4-1-1		過去1年間の採用、定着状況	過去1年間ににおける職員の採用状況と採用・退職の人数、定着状況	記述	※表形式		○	
問4-1-1-ア-A	全部	採用状況、採用・退職者数	常勤職員	記述	（各職種それぞれについて） 計画どおり採用できている 計画どおり採用できていない 採用計画はない 採用人数（ 人） 退職者数（ 人）		○	○
問4-1-1-ア-B			非常勤職員	記述	※表形式		○	○
問4-1-1-イ-A		職員の定着状況	常勤職員	単一	良い 比較的良好い あまり良くない 良くない		○	○
問4-1-1-イ-B			非常勤職員	単一	※表形式		○	
問4-1-2	全部	職員募集で効果があった方法	職員を募集するにあたり、効果があった方法は何ですか（3つ以内）	複数	ハローワークの活用 求人媒体の活用 大学・専門学校への依頼 人材派遣会社への依頼 人材紹介会社の活用 自社ホームページ・SNSなどの活用 知人からの紹介 その他（具体的に ）		○	
問4-1-3-ア	全部	介護サービスを提供する職員数（常勤換算）	介護サービスを提供する職員数は何人ですか。常勤換算で総数及び年代別の人数をお答えください ※ 非常勤職員を常勤換算する際は、別添Excel『職員数換算シート』をお使いください ※ 算出方法は、『非常勤職員の週あたり延べ勤務実績』÷『常勤職員が勤務すべき週あたりの勤務時間数（32時間を下回る場合は32時間）』です	記述	職員数（常勤換算）（ 名） うち29歳以下（ 名） 30～39歳（ 名） 40～49歳（ 名） 50～59歳（ 名） 60～69歳（ 名） 70歳以上（ 名）	年齢別を追加	○	
問4-1-3-イ	全部	定年制度	貴事業所では、（正規雇用に係る）定年制度を設けていますか	単一	定年制度を設けている 定年制度を設けていない（年齢に関わらず働ける）	新規	☆	
問4-1-3-イ-A	全部	定年年齢	【問4-1-3-イで「設けている」の方のみ】定年年齢は何歳ですか	記載	（ 歳）	新規	☆	
問4-1-3-イ-B	全部	定年後の継続雇用制度	【問4-1-3-イで「設けている」の方のみ】定年後の継続雇用制度はあり	単一	ある（上限がある 歳） ある（上限はない） ない	新規	☆	
問4-1-3-ウ	全部	職員数（実人数）	介護サービスを提供する職員の常勤・非常勤の実人数はそれぞれ何人ですか	記述	常勤職員（ 名） 非常勤職員（ 名）	新規	☆	
問4-1-3-エ	全部	職員数の過不足に対する考え	現状の職員数をどのように考えますか。 ※「さらに職員が必要」の場合は（ ）内に人数及びその理由	単一	現状の職員数で十分である さらに職員が必要（ 名）必要⇒理由（ ）		○	◎
問4-2	全部	過去1年間の職員の退職理由として多いと感じるもの	過去1年間に、貴事業所から退職された職員の方々の主な退職理由は何か多いと考えていますか（3つ以内）	複数	給与 就労時間や休暇などの勤務条件 職場環境 職場の人間関係 利用者などとの人間関係 健康 年齢 結婚 出産・育児 転職 家族の介護 家族の転勤 その他（具体的に ） 過去1年以内の退職はなかった		○	○
問4-3	全部	職員に対して行っている配慮	職員に対して、どのような配慮を行っていますか	複数	基本給以外の手当を支給している 健康診断等（定期健康診断以外）を実施している 通勤時や移動時の事故についての予防や対応策をとっている 被服や機器等の貸与を行っている 身体的負担への対応策をとっている 精神的ストレスの緩和・サポートを行っている 職場内コミュニケーションの円滑化を図っている カスタマーハラスメントへの対応策をとっている その他（具体的に ） 特にない		○	
問4-4	全部	職員を取り巻く状況の変化（5年前との比較）	貴事業所では、5年前と比較して職員の状況はどのように変化していますか	複数	1人当たりの仕事量が増えている 業務遂行に必要な人材が不足している 職場でのコミュニケーションや助け合いが減っている 業務についての研修の機会や場が少なくなっている 過労気味の職員が増えている サービスの量や質が落ちている その他（具体的に ）		○	
問4-5	全部	職員の給与に対する考え	職員の給与についてどのようにお考えですか	単一	職員は十分な給与が得られている 十分とはいえないが、職員は必要な給与を得られている 仕事の負担に対し、職員は給与が若干不足していると感じる 仕事の負担に対し、職員は十分な給与が得られていない		○	
問4-6	全部	全職員を対象に実施している内部研修	全職員を対象に実施している内部研修はどのようなものですか	複数	介護保険制度に関する研修 個人情報の取扱いに関する研修 リハビリテーション等に関する研修 事故防止に関する研修 認知症に関する研修 食事介助に関する研修 接遇研修 虐待に関する研修 身体拘束に関する研修 メンタルヘルスに関する研修 災害時対応に関する研修 感染症発生時対応に関する研修 ハラスメントに関する研修 ワークルールに関する研修 その他（具体的に ） 何も行っていない		○	○
問4-7	全部	外部研修などへの職員の参加	外部研修などへ職員を参加させるようにしていますか	単一	している していない		○	○
問4-8	全部	外部研修などへ参加させていない理由	【問4-7で「していない」の方のみ】 外部研修などへの参加をさせていない理由は何ですか	複数	時間の余裕がない 費用が高額である 参加させたい研修がない 参加させる必要がない その他（具体的に ）		○	○
問4-9	全部	職員に受けさせたい外部研修	職員に受けさせたい外部研修は何ですか	複数	介護保険制度に関する研修 個人情報の取扱いに関する研修 リハビリテーション等に関する研修 事故防止に関する研修 認知症に関する研修 食事介助に関する研修 接遇研修 虐待に関する研修 身体拘束に関する研修 メンタルヘルスに関する研修 管理者・リーダー層の養成に関する研修 災害時対応に関する研修 感染症発生時対応に関する研修 ハラスメントに関する研修 ワークルールに関する研修 その他（具体的に ）		○	○
問4-10	全部	スポットワークの活用	いわゆるスポットワーク（※）を活用して介護職員を雇用したことがありますか ※ スポットワークとは、アプリ等をととして単発や短時間の仕事を依頼することをいいます	単一	活用したことがある 活用したことがない スポットワークを知らない	新規	☆	

⑦R7居宅介護支援事業者調査

設問№	対象	設問趣旨	設問内容	回答形式	選択肢	見直し内容	要否	9期計画
問4-11	全部	スポットワークの活用理由	【問4-10】で「活用したことがある」の方のみ どのような理由でスポットワークを活用しましたか	複数	既存職員の急な欠勤・休暇の補填 既存職員の急な退職の補填 コスト削減 繁忙期の一時的な人員補充 正規雇用前の試用的な雇用（採用活動） その他（具体的に ）	新規	☆	
問4-12		スポットワークでの雇用回数・従事内容・職員の能力	【問4-10】で「活用したことがある」の方のみ スポットワークで雇用した回数は何回程度ですか、また、どのような業務に従事したか、その職員の能力についてどの程度満足していますか			新規	☆	
問4-12-1	全部		雇用回数	記述	雇用回数（ 回）	新規	☆	
問4-12-2	全部		従事内容	複数	入浴介助 排泄介助 食事介助（口元への介助など） 体位交換・移乗介助 医療的ケア（服薬管理、バイタル測定など） 資格不要な周辺業務（配膳・見守りなど） その他（具体的に ）	新規	☆	
問4-12-3	全部		能力	単一	非常に満足 やや満足 やや不満 非常に不満	新規	☆	
問4-13	全部	スポットワーク導入の課題	【問4-10】で「活用したことがある」「活用したことがない」の方のみ スポットワークを導入するにあたり課題は何ですか	複数	信頼性・スキルに不安がある 雇用管理が煩雑 法制度や契約面で不安がある 仕組みがよく分からない 登録・契約手続きが煩雑 マッチング精度が低い コスト面の不安 特段の課題は無い その他（具体的に ）	新規	☆	
問4-14	全部	今後のスポットワークの活用	今後、スポットワークを活用したいと思いますか	単一	ぜひ活用したい 状況に応じて活用したい あまり活用したくない 全く活用したくない	新規	☆	
5 介護支援専門員の意見について								
問5-1	一部	現状における事業所の過不足に対する考え	介護（予防）サービスの現状において、事業所の過不足についてどの		※表形式		○	
問5-1-1			訪問介護	単一	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない			
問5-1-2			訪問入浴介護	単一	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない			
問5-1-3			訪問看護	単一	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない			
問5-1-4			訪問リハビリテーション	単一	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない			
問5-1-5			居宅療養管理指導	単一	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない			
問5-1-6			通所介護	単一	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない			
問5-1-7			通所リハビリテーション	単一	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない			
問5-1-8			短期入所生活介護	単一	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない			
問5-1-9			短期入所療養介護	単一	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない			
問5-1-10			特定施設入居者生活介護	単一	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない			
問5-1-11			福祉用具貸与	単一	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない			
問5-1-12			特定福祉用具販売	単一	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない			
問5-1-13			介護老人福祉施設	単一	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない			
問5-1-14			介護老人保健施設	単一	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない			
問5-1-15			介護医療院	単一	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない			
問5-1-16			定期巡回・随時対応型訪問介護看護	単一	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない			
問5-1-17			夜間対応型訪問介護	単一	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない			
問5-1-18			地域密着型通所介護	単一	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない			
問5-1-19			認知症対応型通所介護	単一	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない			
問5-1-20			小規模多機能型居宅介護	単一	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない			
問5-1-21			認知症対応型共同生活介護	単一	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない			
問5-1-22			地域密着型特定施設入居者生活介護	単一	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない			
問5-1-23			地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護	単一	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない			
問5-1-24			看護小規模多機能型居宅介護	単一	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない			
問5-1-25			居宅介護支援	単一	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない			
問5-1-26			訪問型サービス（総合事業）	単一	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない			
問5-1-27			通所型サービス（総合事業）	単一	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない			
問5-1-28			通所型サービス時間短縮型（総合事業）	単一	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない			
問5-2	一部	業務を進めるうえで困難あるいは不安を感じていること	業務を進めるうえで困難あるいは不安を感じていることはありますか	複数	アセスメントや居宅サービス計画の作成 系列事業所のサービスを居宅サービス計画書に組み込むことを求められる サービス提供事業者などとの連携および調整 利用者本人・家族などとの連携および調整 サービス担当者会議が十分に機能していない 地域（町内会や民生委員など）との連携 医療との連携 知識の不足 認知症の本人の希望に沿ったサービス提供 1人で担当する利用者数が多い 給付管理・請求事務などの事務量が多い 待遇面で正当に評価されていない その他（具体的に ） 特にない	症関連項目		
6 自由記載								
問6	全部	介護保険制度全般への要望・意見	介護報酬や職員体制、介護保険サービスの提供、その他介護保険制度全般のほか、今回の調査や札幌市の施策について、ご要望やご意見がありましたら、ご自由に入力してください	記述			○	

⑧R7地域包括支援センター

設問№	対象	設問趣旨	設問内容	回答形式	選択肢	見直し内容	要否	9期計画
1 事業所について								
問1-1	一部	事業所の経営形態	事業所の経営形態について教えてください	単一	株式会社 医療法人 社会福祉法人 合同会社 財団法人 有限会社 NPO法人 合名会社 合資会社 その他（具体的に ）		○	
問1-2	一部	事業所の所在地	事業所の所在地について教えてください	単一	中央区 北区 東区 白石区 厚別区 豊平区 清田区 南区 西区 手稲区		○	
2 サービスの提供状況等について								
問2-1	単独	専門職員1人あたりの平均ケアプラン作成件数	令和7年10月の1か月間に専門職員が作成したものを選択し、その平均作成件数（直営分）のみをそれぞれ入力してください	記述	要支援1の方を対象としたケアプラン（ 件） 要支援2の方を対象としたケアプラン（ 件） 事業対象者の方を対象としたケアプラン（ 件） （※ 算出に当たり、非常勤職員が含まれる場合は『非常勤職員の週あたり延べ勤務実績』÷『常勤職員が勤務すべき週あたりの勤務時間数（32時間を下回る場合は32時間）』で常勤換算のうえ算出してください） ※ 小数点第2位以下は四捨五入してください		○	
問2-2	単独	予防支援担当者職員1人あたりの平均ケアプラン作成件数	令和7年10月の1か月間に予防支援担当職員（プランナー）が作成したものを選択し、その平均作成件数（直営分）のみをそれぞれ入力してください	記述	要支援1の方を対象としたケアプラン（ 件） 要支援2の方を対象としたケアプラン（ 件） 事業対象者の方を対象としたケアプラン（ 件） （※ 算出に当たり、非常勤職員が含まれる場合は『非常勤職員の週あたり延べ勤務実績』÷『常勤職員が勤務すべき週あたりの勤務時間数（32時間を下回る場合は32時間）』で常勤換算のうえ算出してください） ※ 小数点第2位以下は四捨五入してください		○	
3 事業所の運営について								
問3-1-1	全部	事業所運営に関する問題点	事業所運営に関する問題点はどのようなものがありますか	複数	利用者本人・家族などとの連携および調整が難しい 人材育成が難しい 職員が定着しにくい 職員の仕事への意欲を維持するのが難しい サービス担当者会議が十分に機能していない 介護報酬が実態にそぐわない 利用者に対する情報提供が難しい 地域（町内会や民生委員など）との連携が難しい 医療との連携が難しい 計画どおりに職員の採用ができない その他（具体的に ） 特に問題はない		○	
問3-1-2	全部	介護報酬が実態にそぐわない理由	【問3-1-1で「介護報酬が実態にそぐわない」の方のみ】 その理由を教えてください	複数	加算の要件が厳しく、算定できない 加算取得のための作業が煩雑で報酬と見合っていない サービス提供のための経費が報酬に反映されていない サービス提供以外の業務に対する報酬がない 要支援者の報酬が低い その他（具体的に ）		○	
問3-1-3	全部	新たに設置を希望する加算	【問3-1-1で「介護報酬が実態にそぐわない」の方のみ】 安定したサービス提供を行うため、新たにどのような加算があるかと思うか、ご意見がありましたら具体的に入力してください	記述		新規	☆	
問3-1-4	全部	地域・医療との連携が難しい理由	【問3-1-1で「地域との連携が難しい」「医療との連携が難しい」の方のみ】 その理由をできるだけ具体的に入力してください	記述			○	
問3-2	一部	介護予防サービスの問題点	介護予防サービスについて、問題点はどのようなことだと思いますか	複数	報酬が低いので事業所運営をする上で不利と感じる 受け入れ体制が整っていない サービス量（需要）を把握するのが難しい 利用者へのきめ細かな対応が難しいと感じる 予防効果を明確に利用者に説明できない その他（具体的に ） 特に問題はない		○	
問3-3	全部	サービスの質の向上のために行っている取組	サービスの質の向上のために、どのような取組を行っていますか	複数	相談窓口の設置 ケア・カンファレンスの定期的な開催 サービス利用者の満足度調査の実施 自己評価の積極的な開示 サービス提供マニュアルの作成 サービス担当者会議への参加 医療との連携 研修の実施 外部評価の導入 コンサルティングへの依頼 苦情に対する組織的な対策 その他（具体的に ） 特に何も行っていない		○	○
問3-4-1	全部	サービス利用に関する苦情解決の方法	サービス利用に関する苦情解決の方法はどのように行っていますか	複数	事業所の中で解決している 事業所の中で解決できない場合は他の機関を利用して解決している 弁護士などの専門家と協議して解決している 上記3つの方法を活用しても解決できない場合がある その他（具体的に ）		○	
問3-4-2	全部	解決できない問題	【問3-4-1で「解決できない場合がある」の方のみ】 その内容をできるだけ具体的に入力してください	記述			○	
問3-5-1	全部	災害発生の備えとして既に取り組んでいること	災害発生の備えとして、既に取り組んでいるものは何ですか	複数	災害時に備えた定期的な避難訓練などの実施 災害時における対応マニュアルの策定 事業継続計画（BCP）の策定 地域住民との協力体制の構築 災害時における職員の役割分担 夜間における緊急連絡体制の整備 災害時における備蓄・備品の用意 その他（具体的に ）		○	○
問3-5-2	全部	災害発生時に備えた今後の地域との協力体制	【問3-5-1で「地域住民との協力体制の構築」を選択しなかった方のみ】 災害発生時に備えて、地域との協力体制についてどのように考えていますか	単一	現在話し合い中 今後話し合う予定 その他（具体的に ） 特に考えていない		○	
4 職員への対応について								
問4-1-1	単独	過去1年間の採用、定着状況	過去1年間における職員の採用状況と採用・退職の人数、定着状況および平均在籍年数をそれぞれ教えてください				○	
問4-1-1-ア-A		採用状況、採用・退職人数	専門職員	記述	（各職種それぞれについて）		○	
問4-1-1-ア-B			予防支援担当職員	記述			○	
問4-1-1-ア-C			事務職員	記述			○	
問4-1-1-イ-A	単独	職員の定着状況	専門職員	単一	（各職種それぞれについて）		○	
問4-1-1-イ-B			予防支援担当職員	単一			○	
問4-1-1-イ-C			事務職員	単一			○	
問4-1-1-ウ-A	単独	平均在籍年数	専門職員	記述			○	
問4-1-1-ウ-B			予防支援担当職員				○	
問4-1-1-ウ-C			事務職員				○	
問4-1-2	全部	職員募集で効果があった方法	職員を募集するにあたり、効果があった方法はありますか（3つ以内）	複数	ハローワークの活用 求人媒体の活用 大学・専門学校への依頼 人材派遣会社への依頼 人材紹介会社の活用 自社ホームページ・SNSなどの活用 知人からの紹介 その他（具体的に ）		○	
問4-1-3-ア		介護サービスを提供する職員数	介護サービスを提供する職員数は何人ですか。常勤換算で総数及び年代別の人数をお				○	
問4-1-3-ア	全部	職員数	介護サービスを提供する職員数は何人ですか。	記述	職員数（常勤換算）（ 名） うち29歳以下（ 名） 30～39歳（ 名） 40～49歳（ 名） 50～59歳（ 名） 60～69歳（ 名） 70歳以上（ 名）	新規	☆	
問4-1-3-イ	全部	定年制度	貴事業所では、（正規雇用に係る）定年制度を設けていますか	単一	定年制度を設けている 定年制度を設けていない（年齢に関わらず働ける）	新規	☆	
問4-1-3-イ-A	全部	定年年齢	【問4-1-3-イで「設けている」の方のみ】定年年齢は何歳ですか	記載	（ 歳）	新規	☆	
問4-1-3-イ-B	全部	定年後の継続雇用制度	【問4-1-3-イで「設けている」の方のみ】定年後の継続雇用制度はありますか ※「ある（上限がある）」場合は（ ）内に上限年齢を記載	単一	ある（上限がある 歳） ある（上限はない） ない	新規	☆	
問4-1-3-ウ	全部	職員数（実人数）	介護サービスを提供する職員の常勤・非常勤の実人数はそれぞれ何人ですか	記述	常勤職員（ 名） 非常勤職員（ 名）		☆	
問4-1-3-ウ	単独	職員数の過不足に対する考え 過不足（専門職） 過不足（予防支援担当職員）	現状の職員数をどのように考えますか。		現状の職員数で十分である さらに職員が必要（ 名）必要⇒理由（ ）		○	◎
問4-1-3-ウ-A							○	
問4-1-3-ウ-B							○	
問4-2	全部	過去1年間の職員の退職理由として多いと感じるもの	過去1年間に、貴事業所から退職された職員の方々の主な退職理由は何が多いと考えていますか（3つ以内）	複数	給与 就労時間や休暇などの勤務条件 職場環境 職場の人間関係 利用者などとの人間関係 健康 年齢 結婚 出産・育児 転職 家族の介護 家族の転勤 その他（具体的に ） 過去1年以内の退職はなかった		○	○
問4-3	全部	職員に対して行っている配慮	職員に対して、どのような配慮を行っていますか	複数	基本給以外の手当を支給している 健康診断等（定期健康診断以外）を実施している 通勤時や移動時の事故についての予防や対応策をとっている 被服や機器等の貸与を行っている 身体的負担への対応策をとっている 精神的ストレスの緩和・サポートを行っている 職場内コミュニケーションの円滑化を図っている カスタマーハラスメントへの対応策をとっている その他（具体的に ） 特にない		○	
問4-4	全部	職員を取り巻く状況の変化（5年前との比較）	貴事業所では、5年前と比較して職員の状況はどのように変化していますか	複数	1人当たりの仕事量が増えている 業務遂行に必要な人材が不足している 職場でのコミュニケーションや助け合いが減っている 業務についての研修の機会や場が少なくなっている 過労気味の職員が増えている サービスの量や質が落ちている その他（具体的に ）		○	

⑧R7地域包括支援センター

設問№	対象	設問趣旨	設問内容	回答形式	選択肢	見直し内容	要否	9期計画
問4-5	全部	職員の給与に対する考え	職員の給与についてどのようにお考えですか	単一	職員は十分な給与が得られている 十分とはいえないが、職員は必要な給与を得られている 仕事の負担に対し、職員は給与が若干不足していると感じる 仕事の負担に対し、職員は十分な給与が得られていない		○	
問4-6	全部	全職員を対象に実施している内部研修	全職員を対象に実施している内部研修はどのようなものですか	複数	介護保険制度に関する研修 個人情報の取扱いに関する研修 リハビリテーション等に関する研修 事故防止に関する研修 認知症に関する研修 食事介助に関する研修 接遇研修 虐待に関する研修 身体拘束に関する研修 メンタルヘルスに関する研修 災害時対応に関する研修 感染症発生時対応に関する研修 ハラスメントに関する研修 ワークルールに関する研修 その他（具体的に ） 何も行っていない		○	○
問4-7	全部	外部研修などへの職員の参加	外部研修などへ職員を参加させるようにしていますか	単一	している していない		○	○
問4-8	全部	外部研修などへ参加させていない理由	【問4-7で「していない」の方のみ】 外部研修などへの参加をさせていない理由は何ですか	複数	時間の余裕がない 費用が高額である 参加させたい研修がない 参加させる必要がない その他（具体的に ）		○	○
問4-9	全部	職員に受けさせたい外部研修	職員に受けさせたい外部研修は何ですか	複数	介護保険制度に関する研修 個人情報の取扱いに関する研修 リハビリテーション等に関する研修 事故防止に関する研修 認知症に関する研修 食事介助に関する研修 接遇研修 虐待に関する研修 身体拘束に関する研修 メンタルヘルスに関する研修 管理者・リーダー層の養成に関する研修 災害時対応に関する研修 感染症発生時対応に関する研修 ハラスメントに関する研修 ワークルールに関する研修 その他（具体的に ）		○	○
問4-10	全部	スポットワークの活用	いわゆるスポットワーク（※）を活用して介護職員を雇用したことがありますか ※ スポットワークとは、アプリ等をおとして単発や短時間の仕事を依頼することをいいます	単一	活用したことがある 活用したことがない スポットワークを知らない	新規	☆	
問4-11	全部	スポットワークの活用理由	【問4-10】で「活用したことがある」の方のみ どのような理由でスポットワークを活用しましたか	複数	既存職員の急な欠勤・休暇の補填 既存職員の急な退職の補填 コスト削減 繁忙期の一時的な人員補充 正規雇用前の試用的な雇用（採用活動） その他（具体的に ）	新規	☆	
問4-12		スポットワークでの雇用回数・従事内容・職員の能力	【問4-10】で「活用したことがある」の方のみ スポットワークで雇用した回数は何回程度ですか、また、どのような業務に従事したか、その職員の能力についてどの程度満足していますか			新規	☆	
問4-12-1	全部		雇用回数	記述	雇用回数（ 回）	新規	☆	
問4-12-2	全部		従事内容	複数	入浴介助 排泄介助 食事介助（口元への介助など） 体位交換・移乗介助 医療的ケア（服薬管理、バイタル測定など） 資格不要な周辺業務（配膳・見守りなど） その他（具体的に ）	新規	☆	
問4-12-3	全部		能力	単一	非常に満足 やや満足 やや不満 非常に不満	新規	☆	
問4-13	全部	スポットワーク導入の課題	【問4-10】で「活用したことがある」「活用したことがない」の方のみ	複数	信頼性・スキルに不安がある 雇用管理が煩雑 法制度や契約面で不安がある 仕組みがよく分からない 登録・契約	新規	☆	
問4-14	全部	今後のスポットワークの活用	今後、スポットワークを活用したいと思いますか	単一	ぜひ活用したい 状況に応じて活用したい あまり活用したくない 全く活用したくない	新規	☆	
5 介護支援専門員の意見について								
問5-1	一部	現状における事業所の過不足に対する考え	介護（予防）サービスの現状において、事業所の過不足についてどのように感じてい	単一	※表形式		○	
問5-1-1			訪問介護	単一	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない			
問5-1-2			訪問入浴介護	単一	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない			
問5-1-3			訪問看護	単一	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない			
問5-1-4			訪問リハビリテーション	単一	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない			
問5-1-5			居宅療養管理指導	単一	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない			
問5-1-6			通所介護	単一	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない			
問5-1-7			通所リハビリテーション	単一	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない			
問5-1-8			短期入所生活介護	単一	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない			
問5-1-9			短期入所療養介護	単一	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない			
問5-1-10			特定施設入居者生活介護	単一	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない			
問5-1-11			福祉用具貸与	単一	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない			
問5-1-12			特定福祉用具販売	単一	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない			
問5-1-13			居宅介護支援	単一	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない			
問5-1-14			介護予防支援	単一	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない			
問5-1-15			介護老人福祉施設	単一	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない			
問5-1-16			介護老人保健施設	単一	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない			
問5-1-17			介護医療院	単一	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない			
問5-1-18			定期巡回・随時対応型訪問介護看護	単一	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない			
問5-1-19			夜間対応型訪問介護	単一	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない			
問5-1-20			地域密着型通所介護	単一	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない			
問5-1-21			認知症対応型通所介護	単一	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない			
問5-1-22			小規模多機能型居宅介護	単一	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない			
問5-1-23			認知症対応型共同生活介護	単一	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない			
問5-1-24			地域密着型特定施設入居者生活介護	単一	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない			
問5-1-25			地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護	単一	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない			
問5-1-26			看護小規模多機能型居宅介護	単一	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない			
問5-1-27			訪問型サービス（総合事業）	単一	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない			
問5-1-28			通所型サービス（総合事業）	単一	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない			
問5-1-29			通所型サービス時間短縮型（総合事業）	単一	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない			
問5-2	一部	業務を進めるうえで困難あるいは不安を感じていること	業務を進めるうえで困難あるいは不安を感じていることはありますか	複数	アセスメントや居宅サービス計画の作成 系列事業所のサービスを居宅サービス計画書に組み込むことを求められる サービス提供事業者などとの連携および調整 利用者本人・家族などとの連携および調整 サービス担当者会議が十分に機能していない 地域（町内会や民生委員など）との連携 医療との連携 知識の不足 認知症の本人の希望に沿ったサービス提供 1人で担当する利用者数が多い 給付管理・請求事務などの事務量が多い 待遇面で正當に評価されていない その他（具体的に ） 特にない	認知症関連追加	○	
6 自由記載								
問6	全部	介護保険制度全般への要望・意見	介護報酬や職員体制、介護保険サービスの提供、その他介護保険制度全般のほか、今回の調査や札幌市の施策について、ご要望やご意見がありましたら、ご自由に入力してください	記述			○	

⑨R7定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業者調査

設問№	対象	設問趣旨	設問内容	回答形式	選択肢	見直し内容	要否	9期計画
1 事業所について								
問1-1	一部	事業所の経営形態	事業所の経営形態について教えてください	単一	株式会社 医療法人 社会福祉法人 合同会社 財団法人 有限会社 NPO法人 合名会社 合資会社 その他（具体的に）		○	
問1-2	一部	事業所の所在地	事業所の所在地について教えてください	単一	中央区 北区 東区 白石区 厚別区 豊平区 清田区 南区 西区 手稲区		○	
問1-3	一部	サービスの提供区	サービスの提供区について教えてください	複数	中央区 北区 東区 白石区 厚別区 豊平区 清田区 南区 西区 手稲区		○	
問1-4	単独	事業所の形態について教えてください	事業所の形態について教えてください	単一	一体型 連携型		○	
問1-5	一部	併設する介護保険サービス事業所の有無	併設する介護保険サービス事業所の有無について教えてください	単一	ある（1～3事業所） ある（4～6事業所） ある（7～9事業所） ある（10～15事業所） ある（16事業所以上） ない		○	
問1-6	一部	併設する事業所が提供している介護保険サービス	【問1-5 併設する介護保険サービス事業所の有無で「併設あり」の方のみ】併設する事業所が提供している介護保険サービスについて教えてください	複数	訪問介護 訪問入浴介護 訪問看護 訪問リハビリテーション 居宅療養管理指導 通所介護 通所リハビリテーション 短期入所生活介護 短期入所療養介護 特定施設入居者生活介護 福祉用具貸与 特定福祉用具販売 居宅介護支援 介護予防支援（介護予防ケアマネジメント） 介護老人福祉施設 介護老人保健施設 介護医療院 夜間対応型訪問介護 地域密着型通所介護 認知症対応型通所介護 小規模多機能型居宅介護 認知症対応型共同生活介護 地域密着型特定施設入居者生活介護 地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護 看護小規模多機能型居宅介護 訪問型サービス（総合事業） 通所型サービス（総合事業） 通所型サービス時間短縮型（総合事業）		○	
問1-7	一部	併設する高齢者共同住宅の有無	併設する高齢者共同住宅はありますか ※ここでの「高齢者共同住宅」とは、食事や相談サービスなど、高齢者を支援するサービスを提供する共同生活形式の住宅を指します	単一	ある ない		○	
2 サービスの提供状況等について								
問2-1	一部	令和7年10月の1か月あたりのサービスの提供状況	令和7年10月の1か月あたりの定期巡回・随時対応型訪問介護看護サービスの総提供回数および延べ提供人数を教えてください				○	
問2-1-1		総提供回数		記述	「定期巡回」による「訪問介護」サービスの総提供回数（ 回）		○	
問2-1-2		延べ提供人数		記述	「定期巡回」による「訪問介護」サービスの延べ提供人数（ 人） 「随時訪問」による「訪問介護」サービスの延べ提供人数（ 人） 「定期巡回」による「訪問看護」サービスの延べ提供人数（ 人） 「随時訪問」による「訪問看護」サービスの延べ提供人数（ 人）		○	
問2-2-1	一部	常勤職員によるサービスの平均提供回数	令和7年10月の1か月において、常勤職員が▲▲サービスを提供した回数について、利用者1人あたり1日の平均提供回数は何回ですか	記述	利用者1人あたり1日の「平均提供回数」（ 回） ※ 小数点第2位以下は四捨五入してください		○	
問2-2-2	一部	常勤職員によるサービスの最大提供回数	令和7年10月の1か月において、常勤職員が▲▲サービスを提供した回数について、利用者1人あたり1日の最大提供回数は平均で何回ですか	記述	利用者1人あたり1日の「最大提供回数」（ 回） ※ 小数点第2位以下は四捨五入してください		○	
問2-3	一部	随時訪問サービスの移動時間とサービス提供時間	令和7年10月の1か月において、随時訪問サービスの移動時間とサービス提供時間について、それぞれ最長、最短、平均時間を教えてください	記述	最長移動時間（ 分） 最短移動時間（ 分） 平均移動時間（ 分） 最長サービス提供時間（ 分） 最短サービス提供時間（ 分） 平均サービス提供時間（ 分） ※ 小数点第2位以下は四捨五入してください		○	
問2-4	一部	ターミナルケア（看取り）に取り組んだ経験の有無	余命が数か月～半年とみられる高齢者を介護・看護するターミナルケア（看取り）に取り組んだ経験がありますか	単一	ある ない		○	
問2-5	一部	ターミナルケア（看取り）についての考え	ターミナルケア（看取り）についてどのように考えていますか	単一	現時点では、事業所としての方針を明確にしていない 利用者の看取りまでは想定していない 制度上一定の条件が整えば、看取りの段階まで援助していきたい 現状でも条件が整うケースでは、看取りの段階まで援助している		○	
問2-6	一部	ターミナルケア（看取り）を可能とするために必要な条件	【問2-5で「援助していきたい」「援助している」の方のみ】ターミナルケア（看取り）を可能とするためには、どのような条件が必要だと考えますか	複数	ターミナルケアについての職員の知識と技術の向上 介護職員が行える医療行為の範囲の拡大 本人の希望の確認と家族の協力 ほかの入居者・利用者（家族）の理解 訪問診療に応じてくれる医師との関わり ほかの介護サービス（訪問看護を除く）の利用 緊急時の受け入れ医療機関の存在 職員の増員 介護報酬の増額 職員の不安や疑問を気軽に相談できる人や機関 その他（具体的に）		○	○
3 事業所の運営について								
問3-1-1	全部	事業所運営に関する問題点	事業所運営に関する問題点はどのようなものがありますか	複数	利用者本人・家族などとの連携および調整が難しい 人材育成が難しい 職員が定着しにくい 職員の仕事への意欲を維持するのが難しい サービス担当者会議が十分に機能していない 介護報酬が実態にそぐわない 利用者に対する情報提供が難しい 地域（町内会や民生委員など）との連携が難しい 医療との連携が難しい 計画どおりに職員の採用ができない その他（具体的に） 特に問題はない		○	
問3-1-2	全部	介護報酬が実態にそぐわない理由	【問3-1-1で「介護報酬が実態にそぐわない」の方のみ】その理由を教えてください	複数	加算の要件が厳しく、算定できない 加算取得のための作業が煩雑で報酬と見合っていない サービス提供のための経費が報酬に反映されていない サービス提供以外の業務に対する報酬がない 要支援者の報酬が低い その他（具体的に）		○	
問3-1-3	全部	新たに設置を希望する加算	【問3-1-1で「介護報酬が実態にそぐわない」の方のみ】安定したサービス提供を行うため、新たにどのような加算があるとよいと思うか、ご意見がありましたら具体的に入力してください	記述			☆	
問3-1-4	全部	地域・医療との連携が難しい理由	【問3-1-1で「地域との連携が難しい」「医療との連携が難しい」の方のみ】その理由をできるだけ具体的に入力してください	記述			○	
問3-2	全部	サービスの質の向上のためにやっている取組	サービスの質の向上のために、どのような取組を行っていますか	複数	相談窓口の設置 ケア・カンファレンスの定期的な開催 サービス利用者の満足度調査の実施 自己評価の積極的な開示 サービス提供マニュアルの作成 サービス担当者会議への参加 医療との連携 研修の実施 外部評価の導入 コンサルティングへの依頼 苦情に対する組織的な対策 その他（具体的に） 特に何も行っていない		○	○
問3-3-1	全部	サービス利用に関する苦情解決の方法	サービス利用に関する苦情解決の方法はどのように行っていますか	複数	事業所の中で解決している 事業所の中で解決できない場合は他の機関を利用して解決している 弁護士などの専門家と協議して解決している 上記3つの方法を活用しても解決できない場合がある その他（具体的に）		○	
問3-3-2	全部	解決できない問題	【問3-3-1で「解決できない場合がある」の方のみ】その内容をできるだけ具体的に入力してください	記述			○	
問3-4	一部	夜間勤務体制（夜勤職員の配置）	夜間の勤務体制（夜勤職員の配置）について教えてください	単一	基準どおりの人数で夜勤職員を配置 基準を超える人数で夜勤職員の配置		○	
問3-5	一部	夜間の人員体制についての自由記載	ご意見などがありましたら、ご自由に入力してください	記述			○	
問3-6	一部	利用者と地域がつながるための工夫として行っている活動	利用者と地域のつながりを確保するための工夫として、どのような活動を行っていますか	複数	行きたい場所に行ったり、会いたい人に会わせたりする機会を設けている 地域行事（盆踊り、花見、敬老会など）に参加するようにしている 幼稚園児、小学生などとの世代間交流活動を行っている 買い物や散歩など、外出の機会を設けている 地域や家族に施設開放を行い、交流事業などを行っている ほかの事業者や施設と連携して、地域と交流する機会を設けている 町内会に加入している その他（具体的に） 特に何も行っていない		○	
問3-7-1	全部	災害発生の備えとして既に取り組んでいること	災害発生の備えとして、既に取り組んでいるものは何ですか	複数	災害時に備えた定期的な避難訓練などの実施 災害時における対応マニュアルの策定 事業継続計画（BCP）の策定 地域		○	○
問3-7-2	全部	災害発生時に備えた今後の地域との協力体制	【問3-7-1で「地域住民との協力体制の構築」を選択しなかった方のみ】災害発生時に備えて、地域との協力体制についてどのように考えていますか	単一	現在話し合い中 今後話し合う予定 その他（具体的に） 特に考えていない		○	
問3-7-3	全部	災害発生時における対策のうち一番難しいもの	災害発生時における対策のうち、一番難しいものは何ですか	単一	避難訓練で想定する行動 対応マニュアルなどに則した行動 地域住民との協力体制 職員の役割分担 夜間における緊急		○	
4 職員への対応について								

⑨R7定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業者調査

設問№	対象	設問趣旨	設問内容	回答形式	選択肢	見直し内容	要否	9期計画
問4-1-1		過去1年間の採用、定着状況	過去1年間における職員の採用状況と採用・退職の人数、定着状況（および平均在籍年数）をそれぞれ教えてください		※表形式		○	
問4-1-1-ア-A	全部	採用状況、採用・退職者数	常勤職員	記述	（各職種それぞれについて） 計画どおり採用できている 計画どおり採用できていない 採用計画はない 採用人数（ 人） 退職者数（ 人）		○	○
問4-1-1-ア-B			非常勤職員	記述	※表形式		○	○
問4-1-1-イ-A	全部	職員の定着状況	常勤職員	単一	良い 比較的良好い あまり良くない 良くない		○	○
問4-1-1-イ-B			非常勤職員	単一			○	○
問4-1-2	全部	職員募集で効果があった方法	職員を募集するにあたり、効果があった方法は何ですか（3つ以内）	複数	ハローワークの活用 求人媒体の活用 大学・専門学校への依頼 人材派遣会社への依頼 人材紹介会社の活用 自社ホームページ・SNSなどの活用 知人からの紹介 その他（具体的に ）		○	
問4-1-3-ア	全部	介護サービスを提供する職員数（常勤換算）	介護サービスを提供する職員数は何人ですか。常勤換算で総数及び年代別の人数をお答えください ※ 非常勤職員を常勤換算する際は、別添Excel『職員数換算シート』をお使いください ※ 算出方法は、『非常勤職員の週あたり延べ勤務実績』+『常勤職員が勤務すべき週あたりの勤務時間数（32時間を下回る場合は32時間）』です	記述	職員数（常勤換算）（ 名） うち29歳以下（ 名） 30～39歳（ 名） 40～49歳（ 名） 50～59歳（ 名） 60～69歳（ 名） 70歳以上（ 名）	年代別を追加	○	
問4-1-3-イ	全部	定年制度	貴事業所では、（正規雇用に係る）定年制度を設けていますか	単一	定年制度を設けている 定年制度を設けていない（年齢に関わらず働ける）	新規	☆	
問4-1-3-イ-A	全部	定年年齢	【問4-1-3-イで「設けている」の方のみ】定年年齢は何歳ですか	記載	（ 歳）	新規	☆	
問4-1-3-イ-B	全部	定年後の継続雇用制度	【問4-1-3-イで「設けている」の方のみ】定年後の継続雇用制度はありますか	単一	ある（上限がある 歳） ある（上限はない） ない	新規	☆	
問4-1-3-ウ	全部	職員数（実人数）	介護サービスを提供する職員の常勤・非常勤の実人数はそれぞれ何人ですか	記述	常勤職員（ 名） 非常勤職員（ 名）	新規	☆	
問4-1-3-エ	全部	職員数の過不足に対する考え	現状の職員数をどのように考えますか。 ※「さらに職員が必要」の場合は（ ）内に人数及びその理由	単一	現状の職員数で十分である さらに職員が必要（ 名）必要⇒理由（ ）		○	◎
問4-2	全部	過去1年間の職員の退職理由として多いと感じるもの	過去1年間に、貴事業所から退職された職員の方々の主な退職理由は何が多いと考えていますか（3つ以内）	複数	給与 就労時間や休暇などの勤務条件 職場環境 職場の人間関係 利用者などとの人間関係 健康 年齢 結婚 出産・育児 転職 家族の介護 家族の転勤 その他（具体的に ） 過去1年以内の退職はなかった		○	○
問4-3	全部	職員に対して行っている配慮	職員に対して、どのような配慮を行っていますか	複数	基本給以外の手当を支給している 健康診断等（定期健康診断以外）を実施している 通勤時や移動時の事故についての予防 1人当たりの仕事量が増えている 業務遂行に必要な人材が不足している 職場でのコミュニケーションや助け合いが減っている 業務についての研修の機会や場が少なくなっている 過労気味の職員が増えている サービスの量や質が落ちている その他（具体的に ）		○	
問4-4	全部	職員を取り巻く状況の変化（5年前との比較）	貴事業所では、5年前と比較して職員の状況はどのように変化していますか	複数			○	
問4-5	全部	職員の給与に対する考え	職員の給与についてどのようにお考えですか	単一	職員は十分な給与が得られている 十分とはいえないが、職員は必要な給与を得られている 仕事の負担に対し、職員は給与が若干不足していると感じる 仕事の負担に対し、職員は十分な給与が得られていない		○	
問4-6	全部	全職員を対象に実施している内部研修	全職員を対象に実施している内部研修はどのようなものですか	複数	介護保険制度に関する研修 個人情報の取扱いに関する研修 リハビリテーション等に関する研修 事故防止に関する研修 認知症に関する研修 食事介助に関する研修 接遇研修 虐待に関する研修 身体拘束に関する研修 メンタルヘルスに関する研修 災害時対応に関する研修 感染症発生時対応に関する研修 ハラスメントに関する研修 ワークルールに関する研修 その他（具体的に ） 何も行っていない		○	○
問4-7	全部	外部研修などへの職員の参加	外部研修などへ職員を参加させるようにしていますか	単一	している していない		○	○
問4-8	全部	外部研修などへ参加させていない理由	【問4-7で「していない」の方のみ】 外部研修などへの参加をさせていない理由は何ですか	複数	時間の余裕がない 費用が高額である 参加させたい研修がない 参加させる必要がない その他（具体的に ）		○	○
問4-9	全部	職員に受けさせたい外部研修	職員に受けさせたい外部研修は何ですか	複数	介護保険制度に関する研修 個人情報の取扱いに関する研修 リハビリテーション等に関する研修 事故防止に関する研修 認知症に関する研修 食事介助に関する研修 接遇研修 虐待に関する研修 身体拘束に関する研修 メンタルヘルスに関する研修 管理者・リーダー層の養成に関する研修 災害時対応に関する研修 感染症発生時対応に関する研修 ハラスメントに関する研修 ワークルールに関する研修 その他（具体的に ）		○	○
問4-10	全部	スポットワークの活用	いわゆるスポットワーク（※）を活用して介護職員を雇用したことがありますか ※ スポットワークとは、アプリ等をおとして単発や短時間の仕事を依頼することをいいます	単一	活用したことがある 活用したことがない スポットワークを知らない	新規	☆	
問4-11	全部	スポットワークの活用理由	【問4-10で「活用したことがある」の方のみ】 どのような理由でスポットワークを活用しましたか	複数	既存職員の急な欠勤・休暇の補填 既存職員の急な退職の補填 コスト削減 繁忙期の一時的な人員補充 正規雇用前の試用的な雇用（採用活動） その他（具体的に ）	新規	☆	
問4-12		スポットワークでの雇用回数・従事内容・職員の能力	【問4-10で「活用したことがある」の方のみ】 スポットワークで雇用した回数は何回程度ですか、また、どのような業務に従事したか、その職員の能力についてどの程度満足していますか			新規	☆	
問4-12-1	全部		雇用回数	記述	雇用回数（ 回）	新規	☆	
問4-12-2	全部		従事内容	複数	入浴介助 排泄介助 食事介助（口元への介助など） 体位交換・移乗介助	新規	☆	
問4-12-3	全部		能力	単一	非常に満足 やや満足 やや不満 非常に不満	新規	☆	
問4-13	全部	スポットワーク導入の課題	【問4-10で「活用したことがある」「活用したことがない」の方のみ】 スポットワークを導入するにあたり課題は何ですか	複数	信頼性・スキルに不安がある 雇用管理が煩雑 法制度や契約面で不安がある 仕組みがよく分からない 登録・契約手続きが煩雑 マッチング精度が低い コスト面の不安 特段の課題は無い その他（具体的に ）	新規	☆	
問4-14	全部	今後のスポットワークの活用	今後、スポットワークを活用したいと思いますか	単一	ぜひ活用したい 状況に応じて活用したい あまり活用したくない 全く活用したくない	新規	☆	
5 自由記載								
問5	全部	介護保険制度全般への要望・意見	介護報酬や職員体制、介護保険サービスの提供、その他介護保険制度全般のほか、今回の調査や札幌市の施策について、ご要望やご意見がありましたら、ご自由に入力してください	記述			○	

⑩R7夜間対応型訪問介護事業者調査

設問№	対象	設問趣旨	設問内容	回答形式	選択肢	見直し内容	要否	9期計画
1 事業所について								
問1-1	一部	事業所の経営形態	事業所の経営形態について教えてください	単一	株式会社 医療法人 社会福祉法人 合同会社 財団法人 有限会社 NPO法人 合名会社 合資会社 その他（具体的に）		○	
問1-2	一部	事業所の所在地	事業所の所在地について教えてください	単一	中央区 北区 東区 白石区 厚別区 豊平区 清田区 南区 西区 手稲区		○	
問1-3	一部	サービスの提供区	サービスの提供区について教えてください	複数	中央区 北区 東区 白石区 厚別区 豊平区 清田区 南区 西区 手稲区		○	
問1-4	一部	併設する介護保険サービス事業所の有無	併設する介護保険サービス事業所の有無について教えてください	単一	ある（1～3事業所） ある（4～6事業所） ある（7～9事業所） ある（10～15事業所） ある（16事業所以上） ない		○	
問1-5	一部	併設する事業所が提供している介護保険サービス	【問1-4 併設する介護保険サービス事業所の有無で「併設あり」の方のみ】併設する事業所が提供している介護保険サービスについて教えてください	複数	訪問介護 訪問入浴介護 訪問看護 訪問リハビリテーション 居宅療養管理指導 通所介護 通所リハビリテーション 短期入所生活介護 短期入所療養介護 特定施設入居者生活介護 福祉用具貸与 特定福祉用具販売 居宅介護支援 介護予防支援（介護予防ケアマネジメント） 介護老人福祉施設 介護老人保健施設 介護医療院 定期巡回・随時対応型訪問介護看護 地域密着型通所介護 認知症対応型通所介護 小規模多機能型居宅介護 認知症対応型共同生活介護 地域密着型特定施設入居者生活介護 地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護 看護小規模多機能型居宅介護 訪問型サービス（総合事業） 通所型サービス（総合事業） 通所型サービス時間短縮型（総合事業）		○	
問1-6	一部	併設する高齢者共同住宅の有無	併設する高齢者共同住宅はありますか	単一	ある ない		○	
2 サービスの提供状況等について								
問2-1	一部	令和7年10月の1か月あたりのサービスの提供状況	令和7年10月の1か月あたりの夜間対応型訪問介護サービスの総提供回数および延べ提供人数を教えてください	記述			○	
問2-1-1		総提供回数			定期巡回（ 回） 随時訪問（ 回）		○	
問2-1-2		延べ提供人数			定期巡回（ 人） 随時訪問（ 人）		○	
問2-2-1	一部	常勤職員によるサービスの平均提供回数	令和7年10月の1か月において、常勤職員が▲▲サービスを提供した回数について、利用者1人あたり1日の平均提供回数は何回ですか	記述	利用者1人あたり1日の「平均提供回数」（ 回）※ 小数点第2位以下は四捨五入してください		○	
問2-2-2	一部	常勤職員によるサービスの最大提供回数	令和7年10月の1か月において、常勤職員が▲▲サービスを提供した回数について、利用者1人あたり1日の最大提供回数は平均で何回ですか	記述	利用者1人あたり1日の「最大提供回数」（ 回）※ 小数点第2位以下は四捨五入してください		○	
問2-3	一部	随時訪問サービスの移動時間とサービス提供時間	令和7年10月の1か月において、随時訪問サービスの移動時間とサービス提供時間について、それぞれ最長、最短、平均時間を教えてください	記述	最長移動時間（ 分） 最短移動時間（ 分） 平均移動時間（ 分） 最長サービス提供時間（ 分） 最短サービス提供時間（ 分） 平均サービス提供時間（ 分）※ 小数点第2位以下は四捨五入してください		○	
3 事業所の運営について								
問3-1-1	全部	事業所運営に関する問題点	事業所運営に関する問題点はどのようなものがありますか	複数	利用者本人・家族などとの連携および調整が難しい 人材育成が難しい 職員が定着しにくい 職員の仕事への意欲を維持するのが難しい サービス担当者会議が十分に機能していない 介護報酬が実態にそぐわない 利用者に対する情報提供が難しい 地域（町内会や民生委員など）との連携が難しい 医療との連携が難しい 計画どおりに職員の採用ができない その他（具体的に ） 特に問題はない		○	
問3-1-2	全部	介護報酬が実態にそぐわない理由	【問3-1-1で「介護報酬が実態にそぐわない」の方のみ】その理由を教えてください	複数	加算の要件が厳しく、算定できない 加算取得のための作業が煩雑で報酬と見合っていない サービス提供のための経費が報酬に反映されていない サービス提供以外の業務に対する報酬がない 要支援者の報酬が低い その他（具体的に ）		○	
問3-1-3	全部	新たに設置を希望する加算	【問3-1-1で「介護報酬が実態にそぐわない」の方のみ】安定したサービス提供を行うため、新たにどのような加算があると思うか、ご意見がありましたら具体的に入力してください	記述			☆	
問3-1-4	全部	地域・医療との連携が難しい理由	【問3-1-1で「地域との連携が難しい」「医療との連携が難しい」の方のみ】その理由をできるだけ具体的に入力してください	記述			○	
問3-2	全部	サービスの質の向上のためにに行っている取組	サービスの質の向上のために、どのような取組を行っていますか	複数	相談窓口の設置 ケア・カンファレンスの定期的な開催 サービス利用者の満足度調査の実施 自己評価の積極的な開示 サービス提供マニュアルの作成 サービス担当者会議への参加 医療との連携 研修の実施 外部評価の導入 コンサルティングへの依頼 苦情に対する組織的な対策 その他（具体的に ） 特に何も行っていない		○	○
問3-3-1	全部	サービス利用に関する苦情解決の方法	サービス利用に関する苦情解決の方法はどのように行っていますか	複数	事業所の中で解決している 事業所の中で解決できない場合は他の機関を利用して解決している 弁護士などの専門家と協議して解決している 上記3つの方法を活用しても解決できない場合がある その他（具体的に ）		○	
問3-3-2	全部	解決できない問題	【問3-3-1で「解決できない場合がある」の方のみ】その内容をできるだけ具体的に入力してください	記述			○	
問3-4	一部	利用者と地域がつながるための工夫として行っている活動	利用者と地域のつながりを確保するための工夫として、どのような活動を行っていますか	複数	行きたい場所に行ったり、会いたい人に会わせたりする機会を設けている 地域行事（盆踊り、花見、敬老会など）に参加するようにしている 幼稚園児、小学生などとの世代間交流活動を行っている 買い物や散歩など、外出の機会を設けている 地域や家族に施設開放を行い、交流事業などを行っている ほかの事業者や施設と連携して、地域と交流する機会を設けている 町内会に加入している その他（具体的に ） 特に何も行っていない		○	
問3-5-1	全部	災害発生の備えとして既に取り組んでいること	災害発生の備えとして、既に取り組んでいるものは何ですか	複数	災害時に備えた定期的な避難訓練などの実施 災害時における対応マニュアルの策定 事業継続計画（BCP）の策定 地域住民との協力体制の構築 災害時における職員の役割分担 夜間における緊急連絡体制の整備 災害時における備蓄・備品の用意 その他（具体的に ）		○	○
問3-5-2	全部	災害発生時に備えた今後の地域との協力体制	【問3-5-1で「地域住民との協力体制の構築」を選択しなかった方のみ】	単一	現在話し合い中 今後話し合う予定 その他（具体的に ） 特に考えていない		○	
問3-5-3	全部	災害発生時における対策のうち一番難しいもの	災害発生時における対策のうち、一番難しいものは何ですか	単一	避難訓練で想定する行動 対応マニュアルなどに則した行動 地域住民との協力体制 職員の役割分担 夜間における緊急連絡体制 備蓄・備品の不足 その他（具体的に ）		○	
4 職員への対応について								
問4-1-1		過去1年間の採用、定着状況	過去1年間における職員の採用状況と採用・退職の人数、定着状況（および平均在籍年数）をそれぞれ教えてください	記述	※表形式		○	
問4-1-1-ア-A	全部		常勤職員	記述	（各職種それぞれについて）計画どおり採用できている 計画どおり採用できていない 採用計画はない 採用人数（ 人） 退職者数（ 人）		○	○
問4-1-1-ア-B			非常勤職員	記述	※表形式		○	○
問4-1-1-イ-A	全部		常勤職員	単一	良い 比較的良好い あまり良くない 良くない		○	○
問4-1-1-イ-B			非常勤職員	単一			○	○
問4-1-2	全部	職員募集で効果があった方法	職員を募集するにあたり、効果があった方法は何ですか（3つ以内）	複数	ハローワークの活用 求人媒体の活用 大学・専門学校への依頼 人材派遣会社への依頼 人材紹介会社の活用 自社ホームページ・SNSなどの活用 知人からの紹介 その他（具体的に ）		○	

⑩R7夜間対応型訪問介護事業者調査

設問№	対象	設問趣旨	設問内容	回答形式	選択肢	見直し内容	要否	9期計画
問4-1-3-ア	全部	介護サービスを提供する職員数（常勤換算）	介護サービスを提供する職員数は何人ですか。常勤換算で総数及び年代別の人数をお答えください ※ 非常勤職員を常勤換算する際は、別添Excel『職員数換算シート』をお使いください ※ 算出方法は、『非常勤職員の週あたり延べ勤務実績』+『常勤職員が勤務すべき週あたりの勤務時間数（32時間を下回る場合は32時間）』です	記述	職員数（常勤換算）（ 名） うち29歳以下（ 名） 30～39歳（ 名） 40～49歳（ 名） 50～59歳（ 名） 60～69歳（ 名） 70歳以上（ 名）	年代別を追加	○	
問4-1-3-イ	全部	定年制度	貴事業所では、（正規雇用に係る）定年制度を設けていますか	単一	定年制度を設けている 定年制度を設けていない（年齢に関わらず働ける）	新規	☆	
問4-1-3-イ-A	全部	定年年齢	【問4-1-3-イで「設けている」の方のみ】定年年齢は何歳ですか	記載	（ 歳）	新規	☆	
問4-1-3-イ-B	全部	定年後の継続雇用制度	【問4-1-3-イで「設けている」の方のみ】定年後の継続雇用制度はありますか ※「ある（上限がある）」場合は（ ）内に上限年齢を記載	単一	ある（上限がある 歳） ある（上限はない） ない	新規	☆	
問4-1-3-ウ	全部	職員数（実人数）	介護サービスを提供する職員の常勤・非常勤の実人数はそれぞれ何人ですか	記述	常勤職員（ 名） 非常勤職員（ 名）	新規	☆	
問4-1-3-エ	全部	職員数の過不足に対する考え	現状の職員数をどのように考えますか。 ※「さらに職員が必要」の場合は（ ）内に人数及びその理由	単一	現状の職員数で十分である さらに職員が必要（ 名）必要⇒理由（ ）		○	◎
問4-2	全部	過去1年間の職員の退職理由として多いと感じるもの	過去1年間に、貴事業所から退職された職員の方々の主な退職理由は何が多いと考えていますか（3つ以内）	複数	給与 就労時間や休暇などの勤務条件 職場環境 職場の人間関係 利用者などとの人間関係 健康 年齢 結婚 出産・育児 転職 家族の介護 家族の転勤 その他（具体的に ） 過去1年以内の退職はなかった		○	○
問4-3	全部	職員に対して行っている配慮	職員に対して、どのような配慮を行っていますか	複数	基本給以外の手当を支給している 健康診断等（定期健康診断以外）を実施している 通勤時や移動時の事故についての予防や対応策をとっている 被服や機器等の貸与を行っている 身体的負担への対応策をとっている 精神的ストレスの緩和・サポートを行っている 職場内コミュニケーションの円滑化を図っている カスタマーハラスメントへの対応策をとっている その他（具体的に ） 特にない		○	
問4-4	全部	職員を取り巻く状況の変化（5年前との比較）	貴事業所では、5年前と比較して職員の状況はどのように変化していますか	複数	1人当たりの仕事量が増えている 業務遂行に必要な人材が不足している 職場でのコミュニケーションや助け合いが減っている 業務についての研修の機会や場が少なくなっている 過労気味の職員が増えている サービスの量や質が落ちている その他（具体的に ）		○	
問4-5	全部	職員の給与に対する考え	職員の給与についてどのようにお考えですか	単一	職員は十分な給与が得られている 十分とはいえないが、職員は必要な給与を得られている 仕事の負担に対し、職員は給与が若干不足していると感じる 仕事の負担に対し、職員は十分な給与が得られていない		○	
問4-6	全部	全職員を対象に実施している内部研修	全職員を対象に実施している内部研修はどのようなものですか	複数	介護保険制度に関する研修 個人情報の取扱いに関する研修 リハビリテーション等に関する研修 事故防止に関する研修 認知症に関する研修 食事介助に関する研修 接遇研修 虐待に関する研修 身体拘束に関する研修 メンタルヘルスに関する研修 災害時対応に関する研修 感染症発生時対応に関する研修 ハラスメントに関する研修 ワークルールに関する研修 その他（具体的に ） 何も行っていない		○	○
問4-7	全部	外部研修などへの職員の参加	外部研修などへ職員を参加させるようにしていますか	単一	している していない		○	○
問4-8	全部	外部研修などへ参加させていない理由	【問4-7で「していない」の方のみ】 外部研修などへの参加をさせていない理由は何ですか	複数	時間の余裕がない 費用が高額である 参加させたい研修がない 参加させる必要がない その他（具体的に ）		○	○
問4-9	全部	職員に受けさせたい外部研修	職員に受けさせたい外部研修は何ですか	複数	介護保険制度に関する研修 個人情報の取扱いに関する研修 リハビリテーション等に関する研修 事故防止に関する研修 認知症に関する研修 食事介助に関する研修 接遇研修 虐待に関する研修 身体拘束に関する研修 メンタルヘルスに関する研修 管理者・リーダー層の養成に関する研修 災害時対応に関する研修 感染症発生時対応に関する研修 ハラスメントに関する研修 ワークルールに関する研修 その他（具体的に ）		○	○
問4-10	全部	スポットワークの活用	いわゆるスポットワーク（※）を活用して介護職員を雇用したことがありますか ※ スポットワークとは、アプリ等とおして単発や短時間の仕事を依頼することをいいます	単一	活用したことがある 活用したことがない スポットワークを知らない	新規	☆	
問4-11	全部	スポットワークの活用理由	【問4-10】で「活用したことがある」の方のみ どのような理由でスポットワークを活用しましたか	複数	既存職員の急な欠勤・休暇の補填 既存職員の急な退職の補填 コスト削減 繁忙期の一時的な人員補充 正規雇用前の試用的な雇用（採用活動） その他（具体的に ）	新規	☆	
問4-12		スポットワークでの雇用回数・従事内容・職員の能力	【問4-10】で「活用したことがある」の方のみ スポットワークで雇用した回数は何回程度ですか、また、どのような業務に従事したか、その職員の能力についてどの程度満足していますか			新規	☆	
問4-12-1	全部		雇用回数	記述	雇用回数（ 回）	新規	☆	
問4-12-2	全部		従事内容	複数	入浴介助 排泄介助 食事介助（口元への介助など） 体位交換・移乗介助 医療的ケア（服薬管理、バイタル測定など） 資格不要な周辺業務（配膳・見守りなど） その他（具体的に ）	新規	☆	
問4-12-3	全部		能力	単一	非常に満足 やや満足 やや不満 非常に不満	新規	☆	
問4-13	全部	スポットワーク導入の課題	【問4-10】で「活用したことがある」「活用したことがない」の方のみ スポットワークを導入するにあたり課題は何ですか	複数	信頼性・スキルに不安がある 雇用管理が煩雑 法制度や契約面で不安がある 仕組みがよく分からない 登録・契約手続きが煩雑 マッチング精度が低い コスト面の不安 特段の課題は無い その他（具体的に ）	新規	☆	
問4-14	全部	今後のスポットワークの活用	今後、スポットワークを活用したいと思いますか	単一	ぜひ活用したい 状況に応じて活用したい あまり活用したくない 全く活用したくない	新規	☆	
5 自由記載								
問5	全部	介護保険制度全般への要望・意見	介護報酬や職員体制、介護保険サービスの提供、その他介護保険制度全般のほか、今回の調査や札幌市の施策について、ご要望やご意見がありましたら、ご自由に入力してください	記述			○	

⑪R7認知症対応型通所介護事業者調査

設問№	対象	設問趣旨	設問内容	回答形式	選択肢	見直し内容	要否	9期計画
1 事業所について								
問1-1	一部	事業所の経営形態	事業所の経営形態について教えてください	単一	株式会社 医療法人 社会福祉法人 合同会社 財団法人 有限会社 NPO法人 合名会社 合資会社 その他（具体的に）		○	
問1-2	一部	事業所の所在地	事業所の所在地について教えてください	単一	中央区 北区 東区 白石区 厚別区 豊平区 清田区 南区 西区 手稲区		○	
問1-3	一部	サービスの提供区	サービスの提供区について教えてください	複数	中央区 北区 東区 白石区 厚別区 豊平区 清田区 南区 西区 手稲区		○	
問1-4	一部	併設する介護保険サービス事業所の有無	併設する介護保険サービス事業所の有無について教えてください	単一	ある（1～3事業所） ある（4～6事業所） ある（7～9事業所） ある（10～15事業所） ある（16事業所以上） ない		○	
問1-5	一部	併設する事業所が提供している介護保険サービス	【問1-4 併設する介護保険サービス事業所の有無で「併設あり」の方のみ】併設する事業所が提供している介護保険サービスについて教えてください	複数	訪問介護 訪問入浴介護 訪問看護 訪問リハビリテーション 居宅療養管理指導 通所介護 通所リハビリテーション 短期入所生活介護 短期入所療養介護 特定施設入居者生活介護 福祉用具貸与 特定福祉用具販売 居宅介護支援 介護予防支援（介護予防ケアマネジメント） 介護老人福祉施設 介護老人保健施設 介護医療院 定期巡回・随時対応型訪問介護看護 夜間対応型訪問介護 地域密着型通所介護 小規模多機能型居宅介護 認知症対応型共同生活介護 地域密着型特定施設入居者生活介護 地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護 看護小規模多機能型居宅介護 訪問型サービス（総合事業） 通所型サービス（総合事業） 通所型サービス時間短縮型（総合事業）		○	
問1-6	一部	併設する高齢者共同住宅の有無	併設する高齢者共同住宅はありますか ※ここでの「高齢者共同住宅」とは、食事や相談サービスなど、高齢者を支援するサービスを提供する共同生活形式の住宅を指します	単一	ある ない		○	
2 サービスの提供状況等について								
問2-1	一部	令和7年10月の1か月あたりの提供状況等	令和7年10月の1か月間における、サービス（介護予防サービスを含む）の提供状況等について教えてください	記述	延べ利用者数（ 人） 利用定員（ 人） 営業日数（ 日）		○	
問2-2	一部	サービス利用者が通ってくる主な範囲	サービス利用者は、主にどのような範囲から通ってきていますか。最も多いものを教えてください		徒歩圏内 車で15分未満 車で15分以上30分未満 車で30分超		○	
問2-3	一部	現在のサービス提供メニュー	現在の貴事業所のサービス提供メニューについて教えてください	複数	食事提供 おやつ提供 入浴 送迎 身体を動かす内容（レクリエーション・体操など） ゲームや趣味、創作活動 音楽活動 介護予防による運動機能向上メニュー 介護予防による栄養改善メニュー 介護予防による口腔機能向上メニュー 理学療法士や作業療法士によるリハビリテーション 健康チェック（体温・血圧測定など） 生活相談 その他（具体的に）		○	
3 事業所の運営について								
問3-1-1	全部	事業所運営に関する問題点	事業所運営に関する問題点はどのようなものがありますか	複数	利用者本人・家族などとの連携および調整が難しい 人材育成が難しい 職員が定着しにくい 職員の仕事への意欲を維持するのが難しい サービス担当者会議が十分に機能していない 介護報酬が実態にそぐわない 利用者に対する情報提供が難しい 地域（町内会や民生委員など）との連携が難しい 医療との連携が難しい 計画どおりに職員の採用ができない その他（具体的に） 特に問題はない		○	
問3-1-2	全部	介護報酬が実態にそぐわない理由	【問3-1-1で「介護報酬が実態にそぐわない」の方のみ】その理由を教えてください	複数	加算の要件が厳しく、算定できない 加算取得のための作業が煩雑で報酬と見合っていない サービス提供のための経費が報酬に反映されていない サービス提供以外の業務に対する報酬がない 要支援者の報酬が低い その他（具体的に）		○	
問3-1-3	全部	新たに設置を希望する加算	【問3-1-1で「介護報酬が実態にそぐわない」の方のみ】安定したサービス提供を行うため、新たにどのような加算があるかと思うか、ご意見がありましたら具体的に入力してください	記述		新規	☆	
問3-1-4	全部	地域・医療との連携が難しい理由	【問3-1-1で「地域との連携が難しい」「医療との連携が難しい」の方のみ】その理由をできるだけ具体的に入力してください	記述			○	
問3-2	一部	介護予防サービスの問題点	※居宅介護支援のみ【問2-1で「指定を受けている」方のみ】介護予防サービスについて、問題点はどのようなことだと思いますか	複数	報酬が低いので事業所運営をする上で不利と感じる 受け入れ体制が整っていない サービス量（需要）を把握するのが難しい 利用者へのきめ細かな対応が難しいと感じる 予防効果を明確に利用者に説明できない その他（具体的に） 特に問題はない		○	
問3-3	全部	サービスの質の向上のためにに行っている取組	サービスの質の向上のために、どのような取組を行っていますか	複数	相談窓口の設置 ケア・カンファレンスの定期的な開催 サービス利用者の満足度調査の実施 自己評価の積極的な開示 サービス提供マニュアルの作成 サービス担当者会議への参加 医療との連携 研修の実施 外部評価の導入 コンサルティングへの依頼 苦情に対する組織的な対策 その他（具体的に） 特に何も行っていない		○	○
問3-4-1	全部	サービス利用に関する苦情解決の方法	サービス利用に関する苦情解決の方法はどのように行っていますか	複数	事業所の中で解決している 事業所の中で解決できない場合は他の機関を利用して解決している 弁護士などの専門家と協議して解決している 上記3つの方法を活用しても解決できない場合がある その他（具体的に）		○	
問3-4-2	全部	解決できない問題	【問3-4-1で「解決できない場合がある」の方のみ】その内容をできるだけ具体的に入力してください	記述			○	
問3-5	一部	利用者と地域がつながるための工夫として行っている活動	利用者と地域のつながりを確保するための工夫として、どのような活動を行っていますか	一部	行きたい場所に行ったり、会いたい人に会わせたりする機会を設けている 地域行事（盆踊り、花見、敬老会など）に参加するようにしている 幼稚園児、小学生などとの世代間交流活動を行っている 買い物や散歩など、外出の機会を設けている 地域や家族に施設開放を行い、交流事業などを行っている ほかの事業者や施設と連携して、地域と交流する機会を設けている 町内会に加入している その他（具体的に） 特に何も行っていない		○	
問3-6-1	全部	災害発生の備えとして既に取り組んでいること	災害発生の備えとして、既に取り組んでいるものは何ですか	複数	災害時に備えた定期的な避難訓練などの実施 災害時における対応マニュアルの策定 事業継続計画（BCP）の策定 地域住民との協力体制の構築 災害時における職員の役割分担 夜間における緊急連絡体制の整備 災害時における備蓄・備品の用意 その他（具体的に）		○	○
問3-6-2	全部	災害発生時に備えた今後の地域との協力体制	【問3-6-1で「地域住民との協力体制の構築」を選択しなかった方のみ】災害発生時に備えて、地域との協力体制についてどのように考えていますか	単一	現在話し合い中 今後話し合う予定 その他（具体的に） 特に考えていない		○	
4 職員への対応について								
問4-1-1		過去1年間の採用、定着状況	過去1年間における職員の採用状況と採用・退職の人数、定着状況（および平均在籍年数）をそれぞれ教えてください	記述	※表形式		○	
問4-1-1-ア-A	全部	採用状況、採用・退職者数	常勤職員	記述	（各職種それぞれについて）計画どおり採用できている 計画どおり採用できていない 採用計画はない 採用人数（ 人） 退職者数（ 人）		○	○
問4-1-1-ア-B			非常勤職員	記述	※表形式		○	○
問4-1-1-イ-A	全部	職員の定着状況	常勤職員	単一	良い 比較的良好い あまり良くない 良くない		○	○
問4-1-1-イ-B			非常勤職員	単一			○	○
問4-1-2	全部	職員募集で効果があった方法	職員を募集するにあたり、効果があった方法は何ですか（3つ以内）	複数	ハローワークの活用 求人媒体の活用 大学・専門学校への依頼 人材派遣会社への依頼 人材紹介会社の活用 自社ホームページ・SNSなどの活用 知人からの紹介 その他（具体的に）		○	
問4-1-3-ア	全部	介護サービスを提供する職員数（常勤換算）	介護サービスを提供する職員数は何人ですか。常勤換算で総数及び年代別の人数をお答えください ※ 非常勤職員を常勤換算する際は、別添Excel『職員数換算シート』をお使いください ※ 算出方法は、『非常勤職員の週あたり延べ勤務実績』+『常勤職員が勤務すべき週あたりの勤務時間数（32時間を下回る場合は32時間）』です	記述	職員数（常勤換算）（ 名） うち29歳以下（ 名） 30～39歳（ 名） 40～49歳（ 名） 50～59歳（ 名） 60～69歳（ 名） 70歳以上（ 名）	年代別を追加	○	
問4-1-3-イ	全部	定年制度	貴事業所では、（正規雇用に係る）定年制度を設けていますか	単一	定年制度を設けている 定年制度を設けていない（年齢に関わらず働ける）	新規	☆	
問4-1-3-イ-A	全部	定年年齢	【問4-1-3-イで「設けている」の方のみ】定年年齢は何歳ですか	記載	（ 歳）	新規	☆	

⑪R7認知症対応型通所介護事業者調査

設問№	対象	設問趣旨	設問内容	回答形式	選択肢	見直し内容	要否	9期計画
問4-1-3-イ-B	全部	定年後の継続雇用制度	【問4-1-3-イで「設けている」の方のみ】定年後の継続雇用制度はありますか ※「ある（上限がある）」場合は（ ）内に上限年齢を記載	単一	ある（上限がある 歳） ある（上限はない） ない	新規	☆	
問4-1-3-ウ	全部	職員数（実人数）	介護サービスを提供する職員の常勤・非常勤の実人数はそれぞれ何人ですか	記述	常勤職員（ 名） 非常勤職員（ 名）	新規	☆	
問4-1-3-エ	全部	職員数の過不足に対する考え	現状の職員数をどのように考えますか。 ※「さらに職員が必要」の場合は（ ）内に人数及びその理由	単一	現状の職員数で十分である さらに職員が必要（ 名）必要⇒理由（ ）		○	◎
問4-2	全部	過去1年間の職員の退職理由として多いと感じるもの	過去1年間に、貴事業所から退職された職員の方々の主な退職理由は何が多いと考えていますか（3つ以内）	複数	給与 就労時間や休暇などの勤務条件 職場環境 職場の人間関係 利用者などとの人間関係 健康 年齢 結婚 出産・育児 転職 家族の介護 家族の転勤 その他（具体的に ） 過去1年以内の退職はなかった		○	○
問4-3	全部	職員に対して行っている配慮	職員に対して、どのような配慮を行っていますか	複数	基本給以外の手当を支給している 健康診断等（定期健康診断以外）を実施している 通勤時や移動時の事故についての予防や対応策をとっている 被服や機器等の貸与を行っている 身体的負担への対応策をとっている 精神的ストレスの緩和・サポートを行っている 職場内コミュニケーションの円滑化を図っている カスタマーハラスメントへの対応策をとっている その他（具体的に ） 特にない		○	
問4-4	全部	職員を取り巻く状況の変化（5年前との比較）	貴事業所では、5年前と比較して職員の状況はどのように変化していますか	複数	1人当たりの仕事量が増えている 業務遂行に必要な人材が不足している 職場でのコミュニケーションや助け合いが減っている 業務についての研修の機会や場が少なくなっている 過労気味の職員が増えている サービスの量や質が落ちている その他（具体的に ）		○	
問4-5	全部	職員の給与に対する考え	職員の給与についてどのようにお考えですか	単一	職員は十分な給与が得られている 十分とはいえないが、職員は必要な給与を得られている 仕事の負担に対し、職員は給与が若干不足していると感じる 仕事の負担に対し、職員は十分な給与が得られていない		○	
問4-6	全部	全職員を対象に実施している内部研修	全職員を対象に実施している内部研修はどのようなものですか	複数	介護保険制度に関する研修 個人情報の取扱いに関する研修 リハビリテーション等に関する研修 事故防止に関する研修 認知症に関する研修 食事介助に関する研修 接遇研修 虐待に関する研修 身体拘束に関する研修 メンタルヘルスに関する研修 災害時対応に関する研修 感染症発生時対応に関する研修 ハラスメントに関する研修 ワークルールに関する研修 その他（具体的に ） 何も行っていない		○	○
問4-7	全部	外部研修などへの職員の参加	外部研修などへ職員を参加させるようにしていますか	単一	している していない		○	○
問4-8	全部	外部研修などへ参加させていない理由	【問4-7で「していない」の方のみ】 外部研修などへの参加をさせていない理由は何ですか	複数	時間の余裕がない 費用が高額である 参加させたい研修がない 参加させる必要がない その他（具体的に ）		○	○
問4-9	全部	職員に受けさせたい外部研修	職員に受けさせたい外部研修は何ですか	複数	介護保険制度に関する研修 個人情報の取扱いに関する研修 リハビリテーション等に関する研修 事故防止に関する研修 認知症に関する研修 食事介助に関する研修 接遇研修 虐待に関する研修 身体拘束に関する研修 メンタルヘルスに関する研修 管理者・リーダー層の養成に関する研修 災害時対応に関する研修 感染症発生時対応に関する研修 ハラスメントに関する研修 ワークルールに関する研修 その他（具体的に ）		○	○
問4-10	全部	スポットワークの活用	いわゆるスポットワーク（※）を活用して介護職員を雇用したことがありますか ※ スポットワークとは、アプリ等とおして単発や短時間の仕事を依頼することをいいます	単一	活用したことがある 活用したことがない スポットワークを知らない	新規	☆	
問4-11	全部	スポットワークの活用理由	【問4-10】で「活用したことがある」の方のみ どのような理由でスポットワークを活用しましたか	複数	既存職員の急な欠勤・休暇の補填 既存職員の急な退職の補填 コスト削減 繁忙期の一時的な人員補充 正規雇用前の試用的な雇用（採用活動） その他（具体的に ）	新規	☆	
問4-12		スポットワークでの雇用回数・従事内容・職員の能力	【問4-10】で「活用したことがある」の方のみ スポットワークで雇用した回数は何回程度ですか、また、どのような業務に従事したか、その職員の能力についてどの程度満足していますか			新規	☆	
問4-12-1	全部		雇用回数	記述	雇用回数（ 回）	新規	☆	
問4-12-2	全部		従事内容	複数	入浴介助 排泄介助 食事介助（口元への介助など） 体位交換・移乗介助 医療的ケア（服薬管理、バイタル測定など） 資格不要な周辺業務（配膳・見守りなど） その他（具体的に ）	新規	☆	
問4-12-3	全部		能力	単一	非常に満足 やや満足 やや不満 非常に不満	新規	☆	
問4-13	全部	スポットワーク導入の課題	【問4-10】で「活用したことがある」「活用したことがない」の方のみ スポットワークを導入するにあたり課題は何ですか	複数	信頼性・スキルに不安がある 雇用管理が煩雑 法制度や契約面で不安がある 仕組みがよく分からない 登録・契約手続きが煩雑 マッチング精度が低い コスト面の不安 特段の課題は無い その他（具体的に ）	新規	☆	
問4-14	全部	今後のスポットワークの活用	今後、スポットワークを活用したいと思いますか	単一	ぜひ活用したい 状況に応じて活用したい あまり活用したくない 全く活用したくない	新規	☆	
5 自由記載								
問5	全部	介護保険制度全般への要望・意見	介護報酬や職員体制、介護保険サービスの提供、その他介護保険制度全般のほか、今回の調査や札幌市の施策について、ご要望やご意見がありましたら、ご自由に入力してください	記述			○	

⑫R7小規模多機能型居宅介護事業者調査

設問№	対象	設問趣旨	設問内容	回答形式	選択肢	見直し内容	要否	9期計画
1 事業所について								
問1-1	一部	事業所の経営形態	事業所の経営形態について教えてください	単一	株式会社 医療法人 社会福祉法人 合同会社 財団法人 有限会社 NPO法人 合名会社 合資会社 その他（具体的に）		○	
問1-2	一部	事業所の所在地	事業所の所在地について教えてください	単一	中央区 北区 東区 白石区 厚別区 豊平区 清田区 南区 西区 手稲区		○	
問1-3	一部	サービスの提供区	サービスの提供区について教えてください	複数	中央区 北区 東区 白石区 厚別区 豊平区 清田区 南区 西区 手稲区		○	
問1-4	一部	併設する介護保険サービス事業所の有無	併設する介護保険サービス事業所の有無について教えてください	単一	ある（1～3事業所） ある（4～6事業所） ある（7～9事業所） ある（10～15事業所） ある（16事業所以上） ない		○	
問1-5	一部	併設する事業所が提供している介護保険サービス	【問1-4 併設する介護保険サービス事業所の有無で「併設あり」の方のみ】併設する事業所が提供している介護保険サービスについて教えてください	複数	訪問介護 訪問入浴介護 訪問看護 訪問リハビリテーション 居宅療養管理指導 通所介護 通所リハビリテーション 短期入所生活介護 短期入所療養介護 特定施設入居者生活介護 福祉用具貸与 特定福祉用具販売 居宅介護支援 介護予防支援（介護予防ケアマネジメント） 介護老人福祉施設 介護老人保健施設 介護医療院 定期巡回・随時対応型訪問介護看護 夜間対応型訪問介護 地域密着型通所介護 認知症対応型通所介護 認知症対応型共同生活介護 地域密着型特定施設入居者生活介護 地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護 看護小規模多機能型居宅介護 訪問型サービス（総合事業） 通所型サービス（総合事業） 通所型サービス時間短縮型（総合事業）		○	
問1-6	一部	併設する高齢者共同住宅の有無	併設する高齢者共同住宅はありますか ※ここでの「高齢者共同住宅」とは、食事や相談サービスなど、高齢者を支援するサービスを提供する共同生活形式の住宅を指します	単一	ある ない		○	
2 サービスの提供状況等について								
問2-1	一部	令和7年10月1日現在の登録者数	令和7年11月1日現在の登録者数は何名ですか。また、登録者のうち、併設する高齢者共同住宅の利用者は何名ですか（要支援1・2を含む）	記述	登録者数（ 名） うち併設する高齢者共同住宅の利用者数（ 名）		○	
問2-2	一部	訪問看護の利用者数	問2-1の登録者数のうち、訪問看護の利用者数は何名ですか。また、訪問看護の利用者数のうち、併設する高齢者共同住宅の利用者は何名ですか（要支援1・2を含む）	記述	訪問看護の利用者数（ 名） うち併設する高齢者共同住宅の利用者数（ 名）		○	
問2-3	一部	令和7年10月の1か月の延べ利用回数	令和7年10月の1か月間の延べ利用回数は何回ですか。通い、泊り、訪問介護のそれぞれについて教えてください（介護予防サービスを含む）	記述	「通い」の延べ利用回数（ 回）「泊り」の延べ利用回数（ 回）「訪問介護」の延べ利用回数（ 回）		○	
3 事業所の運営について								
問3-1-1	全部	事業所運営に関する問題点	事業所運営に関する問題点はどのようなものがありますか	複数	利用者本人・家族などとの連携および調整が難しい 人材育成が難しい 職員が定着しにくい 職員の仕事への意欲を維持するのが難しい サービス担当者会議が十分に機能していない 介護報酬が実態にそぐわない 利用者に対する情報提供が難しい 地域（町内会や民生委員など）との連携が難しい 医療との連携が難しい 計画どおりに職員の採用ができない その他（具体的に ） 特に問題はない		○	
問3-1-2	全部	介護報酬が実態にそぐわない理由	【問3-1-1で「介護報酬が実態にそぐわない」の方のみ】その理由を教えてください	複数	加算の要件が厳しく、算定できない 加算取得のための作業が煩雑で報酬と見合っていない サービス提供のための経費が報酬に反映されていない サービス提供以外の業務に対する報酬がない 要支援者の報酬が低い その他（具体的に ）		○	
問3-1-3	全部	新たに設置を希望する加算	【問3-1-1で「介護報酬が実態にそぐわない」の方のみ】安定したサービス提供を行うため、新たにどのような加算があると思うか、ご意見がありましたら具体的に入力してください	記述		新規	☆	
問3-1-4	全部	地域・医療との連携が難しい理由	【問3-1-1で「地域との連携が難しい」「医療との連携が難しい」の方のみ】その理由をできるだけ具体的に入力してください	記述			○	
問3-2	一部	介護予防サービスの問題点	介護予防サービスについて、問題点はどのようなことだと思いますか	複数	報酬が低いので事業所運営をする上で不利と感じる 受け入れ体制が整っていない サービス量（需要）を把握するのが難しい 利用者へのきめ細かな対応が難しいと感じる 予防効果を明確に利用者に説明できない その他（具体的に ） 特に問題はない		○	
問3-3	全部	サービスの質の向上のためにやっている取組	サービスの質の向上のために、どのような取組を行っていますか	複数	相談窓口の設置 ケア・カンファレンスの定期的な開催 サービス利用者の満足度調査の実施 自己評価の積極的な開示 サービス提供マニュアルの作成 サービス担当者会議への参加 医療との連携 研修の実施 外部評価の導入 コンサルティングへの依頼 苦情に対する組織的な対策 その他（具体的に ） 特に何も行っていない		○	○
問3-4-1	全部	サービス利用に関する苦情解決の方法	サービス利用に関する苦情解決の方法はどのように行っていますか	複数	事業所の中で解決している 事業所の中で解決できない場合は他の機関を利用して解決している 弁護士などの専門家と協議して解決している 上記3つの方法を活用しても解決できない場合がある その他（具体的に ）		○	
問3-4-2	全部	解決できない問題	【問3-4-1で「解決できない場合がある」の方のみ】その内容をできるだけ具体的に入力してください	記述			○	
問3-5	一部	夜間勤務体制（夜勤職員の配置）	夜間の勤務体制（夜勤職員の配置）について教えてください	単一	基準どおりの人数で夜勤職員を配置 基準を超える人数で夜勤職員の配置		○	
問3-6	一部	夜間の人員体制についての自由記載	ご意見などがありましたら、ご自由に入力してください	記述			○	
問3-7	一部	利用者と地域がつながるための工夫として行っている活動	利用者と地域のつながりを確保するための工夫として、どのような活動を行っていますか	複数	行きたい場所に行ったり、会いたい人に会わせたりする機会を設けている 地域行事（盆踊り、花見、敬老会など）に参加するようにしている 幼稚園児、小学生などとの世代間交流活動を行っている 買い物や散歩など、外出の機会を設けている 地域や家族に施設開放を行い、交流事業などを行っている ほかの事業者や施設と連携して、地域と交流する機会を設けている 町内会に加入している その他（具体的に ） 特に何も行っていない		○	
問3-8-1	全部	災害発生の備えとして既に取り組んでいること	災害発生の備えとして、既に取り組んでいるものは何ですか	複数	災害時に備えた定期的な避難訓練などの実施 災害時における対応マニュアルの策定 事業継続計画（BCP）の策定 地域住民との協力体制の構築 災害時における職員の役割分担 夜間における緊急連絡体制の整備 災害時における備蓄・備品の用意 その他（具体的に ）		○	○
問3-8-2	全部	災害発生時に備えた今後の地域との協力体制	【問3-8-1で「地域住民との協力体制の構築」を選択しなかった方のみ】災害発生時に備えて、地域との協力体制についてどのように考えていますか	単一	現在話し合い中 今後話し合う予定 その他（具体的に ） 特に考えていない		○	
4 職員への対応について								
問4-1-1		過去1年間の採用、定着状況	過去1年間における職員の採用状況と採用・退職の人数、定着状況（および平均在籍年数）をそれぞれ教えてください		※表形式			
問4-1-1-ア-A	全部	採用状況、採用・退職者数	常勤職員	記述	（各職種それぞれについて）計画どおり採用できている 計画どおり採用できていない 採用計画はない 採用人数（ 人） 退職者数（ 人）		○	○
問4-1-1-ア-B			非常勤職員	記述	※表形式		○	○
問4-1-1-イ-A	全部	職員の定着状況	常勤職員	単一	良い 比較的良好い あまり良くない 良くない		○	○
問4-1-1-イ-B			非常勤職員	単一	※表形式		○	○

⑫R7小規模多機能型居宅介護事業者調査

設問№	対象	設問趣旨	設問内容	回答形式	選択肢	見直し内容	要否	9期計画
問4-1-2	全部	職員募集で効果があった方法	職員を募集するにあたり、効果があった方法は何ですか（3つ以内）	複数	ハローワークの活用 求人媒体の活用 大学・専門学校への依頼 人材派遣会社への依頼 人材紹介会社の活用 自社ホームページ・SNSなどの活用 知人からの紹介 その他（具体的に ）		○	
問4-1-3-ア	全部	介護サービスを提供する職員数（常勤換算）	介護サービスを提供する職員数は何人ですか。常勤換算で総数及び年代別の人数をお答えください ※ 非常勤職員を常勤換算する際は、別添Excel『職員数換算シート』をお使いください ※ 算出方法は、『非常勤職員の週あたり延べ勤務実績』÷『常勤職員が勤務すべき週あたりの勤務時間数（32時間を下回る場合は32時間）』です	記述	職員数（常勤換算）（ ）名 うち29歳以下（ ）名 30～39歳（ ）名 40～49歳（ ）名 50～59歳（ ）名 60～69歳（ ）名 70歳以上（ ）名	年代別を追加	○	
問4-1-3-イ	全部	定年制度	貴事業所では、（正規雇用に係る）定年制度を設けていますか	単一	定年制度を設けている 定年制度を設けていない（年齢に関わらず働ける）	新規	☆	
問4-1-3-イ-A	全部	定年年齢	【問4-1-3-イで「設けている」の方のみ】定年年齢は何歳ですか	記載	（ ）歳	新規	☆	
問4-1-3-イ-B	全部	定年後の継続雇用制度	【問4-1-3-イで「設けている」の方のみ】定年後の継続雇用制度は ※「ある（上限がある）」場合は（ ）内に上限年齢を記載	単一	ある（上限がある ）歳 ある（上限はない） ない	新規	☆	
問4-1-3-ウ	全部	職員数（実人数）	介護サービスを提供する職員の常勤・非常勤の実人数はそれぞれ何人ですか	記述	常勤職員（ ）名 非常勤職員（ ）名		☆	
問4-1-3-エ	全部	職員数の過不足に対する考え	現状の職員数をどのように考えますか。 ※「さらに職員が必要」の場合は（ ）内に人数及びその理由	単一	現状の職員数で十分である さらに職員が必要（ ）名 必要⇒理由（ ）		○	◎
問4-2	全部	過去1年間の職員の退職理由として多いと感じるもの	過去1年間に、貴事業所から退職された職員の方々の主な退職理由は何が多いと考えていますか（3つ以内）	複数	給与 就労時間や休暇などの勤務条件 職場環境 職場の人間関係 利用者などとの人間関係 健康 年齢 結婚 出産・育児 転職 家族の介護 家族の転勤 その他（具体的に ） 過去1年以内の退職はなかった		○	○
問4-3	全部	職員に対して行っている配慮	職員に対して、どのような配慮を行っていますか	複数	基本給以外の手当を支給している 健康診断等（定期健康診断以外）を実施している 通勤時や移動時の事故についての予防や対応策をとっている 被服や機器等の貸与を行っている 身体的負担への対応策をとっている 精神的ストレスの緩和・サポートを行っている 職場内コミュニケーションの円滑化を図っている カスタマーハラスメントへの対応策をとっている その他（具体的に ） 特にない		○	
問4-4	全部	職員を取り巻く状況の変化（5年前との比較）	貴事業所では、5年前と比較して職員の状況はどのように変化していますか	複数	1人当たりの仕事量が増えている 業務遂行に必要な人材が不足している 職場でのコミュニケーションや助け合いが減っている 業務についての研修の機会や場が少なくなっている 過労気味の職員が増えている サービスの量や質が落ちている その他（具体的に ）		○	
問4-5	全部	職員の給与に対する考え	職員の給与についてどのようにお考えですか	単一	職員は十分な給与が得られている 十分とはいえないが、職員は必要な給与を得られている 仕事の負担に対し、職員は給与が若干不足していると感じる 仕事の負担に対し、職員は十分な給与が得られていない		○	
問4-6	全部	全職員を対象に実施している内部研修	全職員を対象に実施している内部研修はどのようなものですか	複数	介護保険制度に関する研修 個人情報の取扱いに関する研修 リハビリテーション等に関する研修 事故防止に関する研修 認知症に関する研修 食事介助に関する研修 接遇研修 虐待に関する研修 身体拘束に関する研修 メンタルヘルスに関する研修 災害時対応に関する研修 感染症発生時対応に関する研修 ハラスメントに関する研修 ワークルールに関する研修 その他（具体的に ） 何も行っていない		○	○
問4-7	全部	外部研修などへの職員の参加	外部研修などへ職員を参加させるようにしていますか	単一	している していない		○	○
問4-8	全部	外部研修などへ参加させていない理由	【問4-7で「していない」の方のみ】 外部研修などへの参加をさせていない理由は何ですか	複数	時間の余裕がない 費用が高額である 参加させたい研修がない 参加させる必要がない その他（具体的に ）		○	○
問4-9	全部	職員に受けさせたい外部研修	職員に受けさせたい外部研修は何ですか	複数	介護保険制度に関する研修 個人情報の取扱いに関する研修 リハビリテーション等に関する研修 事故防止に関する研修 認知症に関する研修 食事介助に関する研修 接遇研修 虐待に関する研修 身体拘束に関する研修 メンタルヘルスに関する研修 管理者・リーダー層の養成に関する研修 災害時対応に関する研修 感染症発生時対応に関する研修 ハラスメントに関する研修 ワークルールに関する研修 その他（具体的に ）		○	○
問4-10	全部	スポットワークの活用	いわゆるスポットワーク（※）を活用して介護職員を雇用したことがありますか ※ スポットワークとは、アプリ等をとおして単発や短時間の仕事を依頼することをいいます	単一	活用したことがある 活用したことがない スポットワークを知らない	新規	☆	
問4-11	全部	スポットワークの活用理由	【問4-10】で「活用したことがある」の方のみ どのような理由でスポットワークを活用しましたか	複数	既存職員の急な欠勤・休暇の補填 既存職員の急な退職の補填 コスト削減 繁忙期の一時的な人員補充 正規雇用前の試用的な雇用（採用活動） その他（具体的に ）	新規	☆	
問4-12		スポットワークでの雇用回数・従事内容・職員の能力	【問4-10】で「活用したことがある」の方のみ スポットワークで雇用した回数は何回程度ですか、また、どのような業務に従事したか、その職員の能力についてどの程度満足していますか			新規	☆	
問4-12-1	全部		雇用回数	記述	雇用回数（ ）回	新規	☆	
問4-12-2	全部		従事内容	複数	入浴介助 排泄介助 食事介助（口元への介助など） 体位交換・移乗介助 医療的ケア（服薬管理、バイタル測定など） 資格不要な周辺業務（配膳・見守りなど） その他（具体的に ）	新規	☆	
問4-12-3	全部		能力	単一	非常に満足 やや満足 やや不満 非常に不満	新規	☆	
問4-13	全部	スポットワーク導入の課題	【問4-10】で「活用したことがある」「活用したことがない」の方のみ スポットワークを導入するにあたり課題は何ですか	複数	信頼性・スキルに不安がある 雇用管理が煩雑 法制度や契約面で不安がある 仕組みがよく分からない 登録・契約手続きが煩雑 マッチング精度が低い コスト面の不安 特段の課題は無い その他（具体的に ）	新規	☆	
問4-14	全部	今後のスポットワークの活用	今後、スポットワークを活用したいと思いますか	単一	ぜひ活用したい 状況に応じて活用したい あまり活用したくない 全く活用したくない	新規	☆	
5 介護支援専門員の意見について								
問5	一部	業務を進めるうえで困難あるいは不安を感じていること	業務を進めるうえで困難あるいは不安を感じていることはありますか	複数	アセスメントや居宅サービス計画の作成 系列事業所のサービスを居宅サービス計画書に組み込むことを求められる サービス提供事業者などとの連携および調整 利用者本人・家族などとの連携および調整 サービス担当者会議が十分に機能していない 地域（町内会や民生委員など）との連携 医療との連携 知識の不足 認知症の本人の希望に沿った サービス提供 1人で担当する利用者数が多い 給付管理・請求事務などの事務量が多い 待遇面で正当に評価されていない その他（具体的に ） 特にない	認知症関連を追	○	
6 自由記載								
問6	全部	介護保険制度全般への要望・意見	介護報酬や職員体制、介護保険サービスの提供、その他介護保険制度全般のほか、今回の調査や札幌市の施策について、ご要望やご意見がありましたら、ご自由に入力してください	記述			○	

⑬R7認知症対応型共同生活介護事業者調査

設問№	対象	設問趣旨	設問内容	回答形式	選択肢	見直し内容	要否	9期計画
1 事業所について								
問1-1	一部	事業所の経営形態	事業所の経営形態について教えてください	単一	株式会社 医療法人 社会福祉法人 合同会社 財団法人 有限会社 NPO法人 合名会社 合資会社 その他		○	
問1-2	一部	事業所の所在地	事業所の所在地について教えてください	単一	中央区 北区 東区 白石区 厚別区 豊平区 清田区 南区 西区 手稲区		○	
問1-3	一部	サービスの提供区	サービスの提供区について教えてください	複数	中央区 北区 東区 白石区 厚別区 豊平区 清田区 南区 西区 手稲区		○	
問1-4	一部	併設する介護保険サービス事業所の有無	併設する介護保険サービス事業所の有無について教えてください	単一	ある（1～3事業所） ある（4～6事業所） ある（7～9事業所） ある（10～15事業所） ある（16事業所以		○	
問1-5	一部	併設する事業所が提供している介護保険サービス	【問1-4 併設する介護保険サービス事業所の有無で「併設あり」の方のみ】 併設する事業所が提供している介護保険サービスについて教えてください	複数	訪問介護 訪問入浴介護 訪問看護 訪問リハビリテーション 居宅療養管理指導 通所介護 通所リハビリテーション 短期入所生活介護 短期入所療養介護 特定施設入居者生活介護 福祉用具貸与 特定福祉用具販売 居宅介護支援 介護予防支援（介護予防ケアマネジメント） 介護老人福祉施設 介護老人保健施設 介護医療院 定期巡回・随時対応型訪問介護看護 夜間対応型訪問介護 地域密着型通所介護 認知症対応型通所介護 小規模多機能型居宅介護 地域密着型特定施設入居者生活介護 地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護 看護小規模多機能型居宅介護 訪問型サービス（総合事業） 通所型サービス（総合事業） 通所型サービス時間短縮型（総合事業）		○	
問1-6	一部	併設する高齢者共同住宅の有無	併設する高齢者共同住宅はありますか	単一	ある ない		○	
2 サービスの提供状況等について								
問2-1	単独	事業所（施設）の定員、入所者の状況	令和7年11月1日現在における、事業所（施設）の定員および入所（入居）者の状況についてお答えください（短期入所生活介護分を除く） ※入所（入居）者には一時入院中の方を含みます				○	
問2-1-1		定員	定員		全体（ 人）		○	
問2-1-2		ユニット数	ユニット数		全体（ ユニット）		○	
		要支援2			全体（ 名）うち、札幌市外の介護保険被保険者（ 名）		○	
		要介護1			全体（ 名）うち、札幌市外の介護保険被保険者（ 名）		○	
		要介護2			全体（ 名）うち、札幌市外の介護保険被保険者（ 名）		○	
		要介護3			全体（ 名）うち、札幌市外の介護保険被保険者（ 名）		○	
		要介護4			全体（ 名）うち、札幌市外の介護保険被保険者（ 名）		○	
		要介護5			全体（ 名）うち、札幌市外の介護保険被保険者（ 名）		○	
問2-2		ターミナルケア（看取り）に取り組んだ経験の有無	余命が数か月～半年とみられる高齢者を介護・看護するターミナルケア（看取り）に取り組んだ経験がありますか	単一	ある ない		○	
問2-3	一部	ターミナルケア（看取り）についての考え	ターミナルケア（看取り）についてどのように考えていますか	単一	現時点では、事業所としての方針を明確にしていない 利用者の看取りまでは想定していない 制度上一定の条件が整えば、看取りの段階まで援助していきたい 現状でも条件が整うケースでは、看取りの段階まで援助している		○	
問2-4	一部	ターミナルケア（看取り）を可能とするために必要な条件	【問2-2で「援助していきたい」「援助している」の方のみ】 ターミナルケア（看取り）を可能とするためには、どのような条件が必要だと考えますか	複数	ターミナルケアについての職員の知識と技術の向上 介護職員が行える医療行為の範囲の拡大 本人の希望の確認と家族の協力 ほかの入居者・利用者（家族）の理解 訪問診療に応じてくれる医師との関わり ほかの介護サービス（訪問看護を除く）の利用 緊急時の受け入れ医療機関の存在 職員の増員 介護報酬の増額 職員の不安や疑問を気軽に相談できる人や機関 その他（具体的に ）		○	○
3 事業所の運営について								
問3-1-1	全部	事業所運営に関する問題点	事業所運営に関する問題点はどのようなものがありますか	複数	利用者本人・家族などとの連携および調整が難しい 人材育成が難しい 職員が定着しにくい 職員の仕事への意欲を維持するのが難しい サービス担当者会議が十分に機能していない 介護報酬が実態にそぐわない 利用者に対する情報提供が難しい 地域（町内会や民生委員など）との連携が難しい 医療との連携が難しい 計画どおりに職員の採用ができない その他（具体的に ） 特に問題はない		○	
問3-1-2	全部	介護報酬が実態にそぐわない理由	【問3-1-1で「介護報酬が実態にそぐわない」の方のみ】 その理由を教えてください	複数	加算の要件が厳しく、算定できない 加算取得のための作業が煩雑で報酬と見合っていない サービス提供のための経費が報酬に反映されていない サービス提供以外の業務に対する報酬がない 要支援者の報酬が低い その他（具体的に ）		○	
問3-1-3	全部	新たに設置を希望する加算	【問3-1-1で「介護報酬が実態にそぐわない」の方のみ】 安定したサービス提供を行うため、新たにどのような加算があるとよいと思うか、ご意見がありましたら具体的に入力してください	記述		新規	☆	
問3-1-3	全部	地域・医療との連携が難しい理由	【問3-1-1で「地域との連携が難しい」「医療との連携が難しい」の方のみ】 その理由をできるだけ具体的に入力してください	記述			○	
問3-2	一部	介護予防サービスの問題点	介護予防サービスについて、問題点はどのようなことだと思いますか	複数	報酬が低いので事業所運営をする上で不利と感じる 受け入れ体制が整っていない サービス量（需要）を把握するのが難しい 利用者へのきめ細かな対応が難しいと感じる 予防効果を明確に利用者に説明できない その他（具体的に ） 特に問題はない		○	
問3-3	全部	サービスの質の向上のためにやっている取組	サービスの質の向上のために、どのような取組を行っていますか	複数	相談窓口の設置 ケア・カンファレンスの定期的な開催 サービス利用者の満足度調査の実施 自己評価の積極的な開示 サービス提供マニュアルの作成 サービス担当者会議への参加 医療との連携 研修の実施 外部評価の導入 コンサルティングへの依頼 苦情に対する組織的な対策 その他（具体的に ） 特に何も行っていない		○	○
問3-4-1	全部	サービス利用に関する苦情解決の方法	サービス利用に関する苦情解決の方法はどのように行っていますか	複数	事業所の中で解決している 事業所の中で解決できない場合は他の機関を利用して解決している 弁護士などの専門家と協議して解決している 上記3つの方法を活用しても解決できない場合がある その他（具体的に ）		○	
問3-4-2	全部	解決できない問題	【問3-4-1で「解決できない場合がある」の方のみ】 その内容をできるだけ具体的に入力してください	記述			○	
問3-5	一部	夜間勤務体制（夜勤職員の配置）	夜間の勤務体制（夜勤職員の配置）について教えてください	単一	基準どおりの人数で夜勤職員を配置 基準を超える人数で夜勤職員の配置		○	
問3-6	一部	夜間の人員体制についての自由記載	ご意見などがありましたら、ご自由に入力してください	記述			○	
問3-7	一部	利用者と地域がつながるための工夫として行っている活動	利用者と地域のつながりを確保するための工夫として、どのような活動を行っていますか	複数	行きたい場所に行ったり、会いたい人に会わせたりする機会を設けている 地域行事（盆踊り、花見、敬老会など）に参加するようにしている 幼稚園児、小学生などとの世代間交流活動を行っている 買い物や散歩など、外出の機会を設けている 地域や家族に施設開放を行い、交流事業などを行っている ほかの事業者や施設と連携して、地域と交流する機会を設けている 町内会に加入している その他（具体的に ） 特に何も行っていない		○	
問3-8-1	全部	災害発生の備えとして既に取り組んでいること	災害発生の備えとして、既に取り組んでいるものは何ですか	複数	災害時に備えた定期的な避難訓練などの実施 災害時における対応マニュアルの策定 事業継続計画（BCP）の策定 地域住民との協力体制の構築 災害時における職員の役割分担 夜間における緊急連絡体制の整備 災害時における備蓄・備品の用意 その他（具体的に ）		○	○
問3-8-2	全部	災害発生時に備えた今後の地域との協力体制	【問3-8-1で「地域住民との協力体制の構築」を選択しなかった方のみ】 災害発生時に備えて、地域との協力体制についてどのように考えていますか	単一	現在話し合い中 今後話し合う予定 その他（具体的に ） 特に考えていない		○	
4 職員への対応について								

⑬R7認知症対応型共同生活介護事業者調査

設問№	対象	設問趣旨	設問内容	回答形式	選択肢	見直し内容	要否	9期計画
問4-1-1		過去1年間の採用、定着状況	過去1年間における職員の採用状況と採用・退職の人数、定着状況（および平均在籍年数）をそれぞれ教えてください		※表形式			
問4-1-1-ア-A	全部	採用状況、採用・退職者数	常勤職員	記述	（各職種それぞれについて） 計画どおり採用できている 計画どおり採用できていない 採用計画はない 採用人数（ 人） 退職者数（ 人）		○	○
問4-1-1-ア-B			非常勤職員	記述	※表形式		○	○
問4-1-1-イ-A	全部	職員の定着状況	常勤職員	単一	良い 比較的良好い あまり良くない 良くない		○	○
問4-1-1-イ-B			非常勤職員	単一	※表形式		○	○
問4-1-2	全部	職員募集で効果があった方法	職員を募集するにあたり、効果があった方法は何ですか（3つ以内）	複数	ハローワークの活用 求人媒体の活用 大学・専門学校への依頼 人材派遣会社への依頼 人材紹介会社の活用 自社ホームページ・SNSなどの活用 知人からの紹介 その他（具体的に ）		○	
問4-1-3-ア	全部	介護サービスを提供する職員数（常勤換算）	介護サービスを提供する職員数は何人ですか。常勤換算で総数及び年代別の人数をお答えください ※ 非常勤職員を常勤換算する際は、別添Excel『職員数換算シート』をお使いください ※ 算出方法は、『非常勤職員の週あたり延べ勤務実績』+『常勤職員が勤務すべき週あたりの勤務時間数（32時間を下回る場合は32時間）』です	記述	職員数（常勤換算）（ 名） うち29歳以下（ 名） 30～39歳（ 名） 40～49歳（ 名） 50～59歳（ 名） 60～69歳（ 名） 70歳以上（ 名）	年代別を追加	○	
問4-1-3-イ	全部	定年制度	貴事業所では、（正規雇用に係る）定年制度を設けていますか	単一	定年制度を設けている 定年制度を設けていない（年齢に関わらず働ける）	新規	☆	
問4-1-3-イ-A	全部	定年年齢	【問4-1-3-イで「設けている」の方のみ】定年年齢は何歳ですか	記載	（ 歳）	新規	☆	
問4-1-3-イ-B	全部	定年後の継続雇用制度	【問4-1-3-イで「設けている」の方のみ】定年後の継続雇用制度はありますか	単一	ある（上限がある 歳） ある（上限はない） ない	新規	☆	
問4-1-3-ウ	全部	職員数（実人数）	介護サービスを提供する職員の常勤・非常勤の実人数はそれぞれ何人ですか	記述	常勤職員（ 名） 非常勤職員（ 名）	新規	☆	
問4-1-3-エ	全部	職員数の過不足に対する考え	現状の職員数をどのように考えますか。 ※「さらに職員が必要」の場合は（ ）内に人数及びその理由	単一	現状の職員数で十分である さらに職員が必要（ 名）必要⇒理由（ ）		○	◎
問4-2	全部	過去1年間の職員の退職理由として多いと感じるもの	過去1年間に、貴事業所から退職された職員の方々の主な退職理由は何が多いと考えていますか（3つ以内）	複数	給与 就労時間や休暇などの勤務条件 職場環境 職場の人間関係 利用者などとの人間関係 健康 年齢 結婚 出産・育児 転職 家族の介護 家族の転勤 その他（具体的に ） 過去1年以内の退職はなかった		○	○
問4-3	全部	職員に対して行っている配慮	職員に対して、どのような配慮を行っていますか	複数	基本給以外の手当を支給している 健康診断等（定期健康診断以外）を実施している 通勤時や移動時の事故についての予防や対応策をとっている 被服や機器等の貸与を行っている 身体的負担への対応策をとっている 精神的ストレスの緩和・サポートを行っている 職場内コミュニケーションの円滑化を図っている カスタマーハラスメントへの対応策をとっている その他（具体的に ） 特にない		○	
問4-4	全部	職員を取り巻く状況の変化（5年前との比較）	貴事業所では、5年前と比較して職員の状況はどのように変化していますか	複数	1人当たりの仕事量が増えている 業務遂行に必要な人材が不足している 職場でのコミュニケーションや助け合いが減っている 業務についての研修の機会や場が少なくなっている 過労気味の職員が増えている サービスの量や質が落ちている その他（具体的に ）		○	
問4-5	全部	職員の給与に対する考え	職員の給与についてどのようにお考えですか	単一	職員は十分な給与が得られている 十分とはいえないが、職員は必要な給与を得られている 仕事の負担に対し、職員は給与が若干不足していると感じる 仕事の負担に対し、職員は十分な給与が得られていない		○	
問4-6	全部	全職員を対象に実施している内部研修	全職員を対象に実施している内部研修はどのようなものですか	複数	介護保険制度に関する研修 個人情報の取扱いに関する研修 リハビリテーション等に関する研修 事故防止に関する研修 認知症に関する研修 食事介助に関する研修 接遇研修 虐待に関する研修 身体拘束に関する研修 メンタルヘルスに関する研修 災害時対応に関する研修 感染症発生時対応に関する研修 ハラスメントに関する研修 ワークルールに関する研修 その他（具体的に ） 何も行っていない		○	○
問4-7	全部	外部研修などへの職員の参加	外部研修などへ職員を参加させるようにしていますか	単一	している していない		○	○
問4-8	全部	外部研修などへ参加させていない理由	【問4-7で「していない」の方のみ】 外部研修などへの参加をさせていない理由は何ですか	複数	時間の余裕がない 費用が高額である 参加させたい研修がない 参加させる必要がない その他（具体的に ）		○	○
問4-9	全部	職員に受けさせたい外部研修	職員に受けさせたい外部研修は何ですか	複数	介護保険制度に関する研修 個人情報の取扱いに関する研修 リハビリテーション等に関する研修 事故防止に関する研修 認知症に関する研修 食事介助に関する研修 接遇研修 虐待に関する研修 身体拘束に関する研修 メンタルヘルスに関する研修 管理者・リーダー層の養成に関する研修 災害時対応に関する研修 感染症発生時対応に関する研修 ハラスメントに関する研修 ワークルールに関する研修 その他（具体的に ）		○	○
問4-10	全部	スポットワークの活用	いわゆるスポットワーク（※）を活用して介護職員を雇用したことがありますか ※ スポットワークとは、アプリ等とおして単発や短時間の仕事を依頼することをいいます	単一	活用したことがある 活用したことがない スポットワークを知らない	新規	☆	
問4-11	全部	スポットワークの活用理由	【問4-10】で「活用したことがある」の方のみ どのような理由でスポットワークを活用しましたか	複数	既存職員の急な欠勤・休暇の補填 既存職員の急な退職の補填 コスト削減 繁忙期の一時的な人員補充 正規雇用前の試用的な雇用（採用活動） その他（具体的に ）	新規	☆	
問4-12		スポットワークでの雇用回数・従事内容・職員の能力	【問4-10】で「活用したことがある」の方のみ スポットワークで雇用した回数は何回程度ですか、また、どのような業務に従事したか、その職員の能力についてどの程度満足していますか			新規	☆	
問4-12-1	全部		雇用回数	記述	雇用回数（ 回）	新規	☆	
問4-12-2	全部		従事内容	複数	入浴介助 排泄介助 食事介助（口元への介助など） 体位交換・移乗介助 医療的ケア（服薬管理、バイタル測定など） 資格不要な周辺業務（配膳・見守りなど） その他（具体的に ）	新規	☆	
問4-12-3	全部		能力	単一	非常に満足 やや満足 やや不満 非常に不満	新規	☆	
問4-13	全部	スポットワーク導入の課題	【問4-10】で「活用したことがある」「活用したことがない」の方のみ スポットワークを導入するにあたり課題は何ですか	複数	信頼性・スキルに不安がある 雇用管理が煩雑 法制度や契約面で不安がある 仕組みがよく分からない 登録・契約手続きが煩雑 マッチング精度が低い コスト面の不安 特段の課題は無い その他（具体的に ）	新規	☆	
問4-14	全部	今後のスポットワークの活用	今後、スポットワークを活用したいと思いますか	単一	ぜひ活用したい 状況に応じて活用したい あまり活用したくない 全く活用したくない	新規	☆	
5 自由記載								
問5	全部	介護保険制度全般への要望・意見	介護報酬や職員体制、介護保険サービスの提供、その他介護保険制度全般のほか、今回の調査や札幌市の施策について、ご要望やご意見がありましたら、ご自由に入力してください	記述			○	

⑭R7看護小規模多機能型居宅介護事業者調査

設問№	対象	設問趣旨	設問内容	回答形式	選択肢	見直し内容	要否	9期計画
1 事業所について								
問1-1	一部	事業所の経営形態	事業所の経営形態について教えてください	単一	株式会社 医療法人（具体的に） 社会福祉法人 合同会社 財団法人 有限会社 NPO法人 合名会社 合資会社 その他		○	
問1-2	一部	事業所の所在地	事業所の所在地について教えてください	単一	中央区 北区 東区 白石区 厚別区 豊平区 清田区 南区 西区 手稲区		○	
問1-3	一部	サービスの提供区	サービスの提供区について教えてください	複数	中央区 北区 東区 白石区 厚別区 豊平区 清田区 南区 西区 手稲区		○	
問1-4	一部	併設する介護保険サービス事業所の有無	併設する介護保険サービス事業所の有無について教えてください	単一	ある（1～3事業所） ある（4～6事業所） ある（7～9事業所） ある（10～15事業所） ある（16事業所以上）ない		○	
問1-5	一部	併設する事業所が提供している介護保険サービス	【問1-4 併設する介護保険サービス事業所の有無で「併設あり」の方のみ】併設する事業所が提供している介護保険サービスについて教えてください"	複数	訪問介護 訪問入浴介護 訪問看護 訪問リハビリテーション 居宅療養管理指導 通所介護 通所リハビリテーション 短期入所生活介護 短期入所療養介護 特定施設入居者生活介護 福祉用具貸与 特定福祉用具販売 居宅介護支援 介護予防支援（介護予防ケアマネジメント） 介護老人福祉施設 介護老人保健施設 介護医療院 定期巡回・随時対応型訪問介護看護 夜間対応型訪問介護 地域密着型通所介護 認知症対応型通所介護 小規模多機能型居宅介護 認知症対応型共同生活介護 地域密着型特定施設入居者生活介護 地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護 訪問型サービス（総合事業） 通所型サービス（総合事業） 通所型サービス時間短縮型（総合事業）		○	
問1-6	一部	併設する高齢者共同住宅の有無	併設する高齢者共同住宅はありますか ※ここでの「高齢者共同住宅」とは、食事や相談サービスなど、高齢者を支援するサービスを提供する共同生活形式の住宅を指します	単一	ある ない		○	
2 サービスの提供状況等について								
問2-1	一部	令和7年11月1日現在の登録者数	令和7年11月1日現在の登録者数は何名ですか。また、登録者のうち、併設する高齢者共同住宅の利用者は何名ですか	記述	登録者数（ 名） うち併設住宅利用者（ 名）		○	
問2-2	一部	訪問看護の利用者数	問2-1の登録者数のうち、訪問看護の利用者数は何名ですか。また、訪問看護の利用者数のうち、併設する高齢者共同住宅の利用者は何名ですか	記述	訪問看護利用者数（ 名） うち併設住宅利用者数（ 名）		○	
問2-3	一部	令和7年10月の1か月の延べ利用回数	令和7年10月の1か月間の延べ利用日数は何日ですか。通い、泊り、訪問介護、訪問看護のそれぞれについて教えてください	記述	通い（ 日） 泊り（ 日） 訪問介護（ 日） 訪問看護（ 日）		○	
問2-4	一部	ターミナルケア（看取り）に取り組んだ経験の有無	余命が数か月～半年とみられる高齢者を介護・看護するターミナルケア（看取り）に取り組んだ経験がありますか	単一	ある ない		○	
問2-5	一部	ターミナルケア（看取り）についての考え	ターミナルケア（看取り）についてどのように考えていますか	単一	現時点では、事業所としての方針を明確にしていない 利用者の看取りまでは想定していない 制度上一定の条件が整えば、看取りの段階まで援助していきたい 現状でも条件が整うケースでは、看取りの段階まで援助している		○	
問2-6	一部	ターミナルケア（看取り）を可能とするために必要な条件	【問2-5で「援助していきたい」「援助している」の方のみ】ターミナルケア（看取り）を可能とするためには、どのような条件が必要だと考えますか	複数	ターミナルケアについての職員の知識と技術の向上 介護職員が行える医療行為の範囲の拡大 本人の希望の確認と家族の協力 ほかの入居者・利用者（家族）の理解 訪問診療に応じてくれる医師との関わり ほかの介護サービス（訪問看護を除く）の利用 緊急時の受け入れ医療機関の存在 職員の増員 介護報酬の増額 職員の不安や疑問を気軽に相談できる人や機関 その他（具体的に）		○	○
3 事業所の運営について								
問3-1-1	全部	事業所運営に関する問題点	事業所運営に関する問題点はどのようなものがありますか	複数	利用者本人・家族などとの連携および調整が難しい 人材育成が難しい 職員が定着しにくい 職員の仕事への意欲を維持するのが難しい サービス担当者会議が十分に機能していない 介護報酬が実態にそぐわない 利用者に対する情報提供が難しい 地域（町内会や民生委員など）との連携が難しい 医療との連携が難しい 計画どおりに職員の採用ができない その他（具体的に） 特に問題はない		○	
問3-1-2	全部	介護報酬が実態にそぐわない理由	【問3-1-1で「介護報酬が実態にそぐわない」の方のみ】その理由を教えてください	複数	加算の要件が厳しく、算定できない 加算取得のための作業が煩雑で報酬と見合っていない サービス提供のための経費が報酬に反映されていない サービス提供以外の業務に対する報酬がない 要支援者の報酬が低い その他（具体的に）		○	
問3-1-3	全部	新たに設置を希望する加算	【問3-1-1で「介護報酬が実態にそぐわない」の方のみ】安定したサービス提供を行うため、新たにどのような加算があるとよいと思うか、ご意見がありましたら具体的に入力してください	記述		新規	☆	
問3-1-4	全部	地域・医療との連携が難しい理由	【問3-1-1で「地域との連携が難しい」「医療との連携が難しい」の方のみ】その理由をできるだけ具体的に入力してください	記述			○	
問3-2	全部	サービスの質の向上のためにやっている取組	サービスの質の向上のために、どのような取組を行っていますか	複数	相談窓口の設置 ケア・カンファレンスの定期的な開催 サービス利用者の満足度調査の実施 自己評価の積極的な開示 サービス提供マニュアルの作成 サービス担当者会議への参加 医療との連携 研修の実施 外部評価の導入 コンサルティングへの依頼 苦情に対する組織的な対策 その他（具体的に） 特に何も行っていない		○	○
問3-3-1	全部	サービス利用に関する苦情解決の方法	サービス利用に関する苦情解決の方法はどのように行っていますか	複数	事業所の中で解決している 事業所の中で解決できない場合は他の機関を利用して解決している 弁護士などの専門家と協議して解決している 上記3つの方法を活用しても解決できない場合がある その他（具体的に）		○	
問3-3-2	全部	解決できない問題	【問3-3-1で「解決できない場合がある」の方のみ】その内容をできるだけ具体的に入力してください	記述			○	
問3-4	一部	夜間勤務体制（夜勤職員の配置）	夜間の勤務体制（夜勤職員の配置）について教えてください	単一	基準どおりの人数で夜勤職員を配置 基準を超える人数で夜勤職員の配置		○	

⑭R7看護小規模多機能型居宅介護事業者調査

設問№	対象	設問趣旨	設問内容	回答形式	選択肢	見直し内容	要否	9期計画
問3-5	一部	夜間の人員体制についての自由記載	ご意見などがありましたら、ご自由に入力してください	記述			○	
問3-6	一部	利用者と地域がつながるための工夫として行っている活動	利用者と地域のつながりを確保するための工夫として、どのような活動を行っていますか	複数	行きたい場所に行ったり、会いたい人に会わせたりする機会を設けている 地域行事（盆踊り、花見、敬老会など）に参加するようにしている 幼稚園児、小学生などとの世代間交流活動を行っている 買い物や散歩など、外出の機会を設けている 地域や家族に施設開放を行い、交流事業などを行っている ほかの事業者や施設と連携して、地域と交流する機会を設けている 町内会に加入している その他（具体的に ） 特に何も行っていない		○	
問3-7-1	全部	災害発生の備えとして既に取り組んでいること	災害発生の備えとして、既に取り組んでいるものは何ですか	複数	災害時に備えた定期的な避難訓練などの実施 災害時における対応マニュアルの策定 事業継続計画（BCP）の策定 地域住民との協力体制の構築 災害時における職員の役割分担 夜間における緊急連絡体制の整備 災害時における備蓄・備品の用意 その他（具体的に ）		○	○
問3-7-2	全部	災害発生時に備えた今後の地域との協力体制	【問3-7-1で「地域住民との協力体制の構築」を選択しなかった方のみ】 災害発生時に備えて、地域との協力体制についてどのように考えていますか	単一	現在話し合い中 今後話し合う予定 その他（具体的に ） 特に考えていない		○	
4 職員への対応について								
問4-1-1	全部	過去1年間の採用、定着状況	過去1年間における職員の採用状況と採用・退職の人数、定着状況（および平均在籍年数）をそれぞれ教えてください		※表形式		○	
問4-1-1-ア-A			常勤職員	記述	（各職種それぞれについて） 計画どおり採用できている 計画どおり採用できていない 採用計画はない 採用人数（ 人） 退職者数（ 人）		○	○
問4-1-1-ア-B			非常勤職員	記述	※表形式		○	○
問4-1-1-イ-A			常勤職員	単一	良い 比較的良好い あまり良くない 良くない		○	○
問4-1-1-イ-B			非常勤職員	単一	※表形式		○	○
問4-1-2	全部	職員募集で効果があった方法	職員を募集するにあたり、効果があった方法は何ですか（3つ以内）	複数	ハローワークの活用 求人媒体の活用 大学・専門学校への依頼 人材派遣会社への依頼 人材紹介会社の活用 自社ホームページ・SNSなどの活用 知人からの紹介 その他（具体的に ）		○	
問4-1-3-ア	全部	介護サービスを提供する職員数（常勤換算）	介護サービスを提供する職員数は何人ですか。常勤換算で総数及び年代別の人数をお答えください ※ 非常勤職員を常勤換算する際は、別添Excel『職員数換算シート』をお使	記述	職員数（常勤換算）（ 名） うち29歳以下（ 名） 30～39歳（ 名） 40～49歳（ 名） 50～59歳（ 名） 60～69歳（ 名） 70歳以上（ 名）	年代別を追加	○	
問4-1-3-イ	全部	定年制度	貴事業所では、（正規雇用に係る）定年制度を設けていますか	単一	定年制度を設けている 定年制度を設けていない（年齢に関わらず働ける）	新規	☆	
問4-1-3-イ-A	全部	定年年齢	【問4-1-3-イで「設けている」の方のみ】定年年齢は何歳ですか	記載	（ 歳）	新規	☆	
問4-1-3-イ-B	全部	定年後の継続雇用制度	【問4-1-3-イで「設けている」の方のみ】定年後の継続雇用制度はありますか ※「ある（上限がある）」場合は（ ）内に上限年齢を記載	単一	ある（上限がある 歳） ある（上限はない） ない	新規	☆	
問4-1-3-イ	全部	職員数（実人数）	介護サービスを提供する職員の常勤・非常勤の実人数はそれぞれ何人ですか	記述	常勤職員（ 名） 非常勤職員（ 名）		☆	
問4-1-3-ウ	全部	職員数の過不足に対する考え	現状の職員数をどのように考えますか。 ※「さらに職員が必要」の場合は（ ）内に人数及びその理由	単一	現状の職員数で十分である さらに職員が必要（ 名）必要⇒理由（ ）		○	◎
問4-2	全部	過去1年間の職員の退職理由として多いと感じるもの	過去1年間に、貴事業所から退職された職員の方々の主な退職理由は何が多いと考えていますか（3つ以内）	複数	給与 就労時間や休暇などの勤務条件 職場環境 職場の人間関係 利用者などとの人間関係 健康 年齢 結婚 出産・育児 転職 家族の介護 家族の転勤 その他（具体的に ） 過去1年以内の退職はなかった		○	○
問4-3	全部	職員に対して行っている配慮	職員に対して、どのような配慮を行っていますか	複数	基本給以外の手当を支給している 健康診断等（定期健康診断以外）を実施している 通勤時や移動時の事故についての予防や対応策をとっている 被服や機器等の貸与を行っている 身体的負担への対応策をとっている 精神的ストレスの緩和・サポートを行っている 職場内コミュニケーションの円滑化を図っている カスタマーハラスメントへの対応策をとっている その他（具体的に ） 特にない		○	
問4-4	全部	職員を取り巻く状況の変化（5年前との比較）	貴事業所では、5年前と比較して職員の状況はどのように変化していますか	複数	1人当たりの仕事量が増えている 業務遂行に必要な人材が不足している 職場でのコミュニケーションや助け合いが減っている 業務についての研修の機会や場が少なくなっている 過労気味の職員が増えている サービスの量や質が落ちている その他（具体的に ）		○	
問4-5	全部	職員の給与に対する考え	職員の給与についてどのようにお考えですか	単一	職員は十分な給与が得られている 十分とはいえないが、職員は必要な給与を得られている 仕事の負担に対し、職員は給与が若干不足していると感じる 仕事の負担に対し、職員は十分な給与が得られていない		○	
問4-6	全部	全職員を対象に実施している内部研修	全職員を対象に実施している内部研修はどのようなものですか	複数	介護保険制度に関する研修 個人情報の取扱いに関する研修 リハビリテーション等に関する研修 事故防止に関する研修 認知症に関する研修 食事介助に関する研修 接遇研修 虐待に関する研修 身体拘束に関する研修 メンタルヘルスに関する研修 災害時対応に関する研修 感染症発生時対応に関する研修 ハラスメントに関する研修 ワークルールに関する研修 その他（具体的に ） 何も行っていない		○	○
問4-7	全部	外部研修などへの職員の参加	外部研修などへ職員を参加させるようにしていますか	単一	している していない		○	○
問4-8	全部	外部研修などへ参加させていない理由	【問4-7で「していない」の方のみ】 外部研修などへの参加をさせていない理由は何ですか	複数	時間の余裕がない 費用が高額である 参加させたい研修がない 参加させる必要がない その他（具体的に ）		○	○
問4-9	全部	職員に受けさせたい外部研修	職員に受けさせたい外部研修は何ですか	複数	介護保険制度に関する研修 個人情報の取扱いに関する研修 リハビリテーション等に関する研修 事故防止に関する研修 認知症に関する研修 食事介助に関する研修 接遇研修 虐待に関する研修 身体拘束に関する研修 メンタルヘルスに関する研修 管理者・リーダー層の養成に関する研修 災害時対応に関する研修 感染症発生時対応に関する研修 ハラスメントに関する研修 ワークルールに関する研修 その他（具体的に ）		○	○

⑭R7看護小規模多機能型居宅介護事業者調査

設問№	対象	設問趣旨	設問内容	回答形式	選択肢	見直し内容	要否	9期計画
問4-10	全部	スポットワークの活用	いわゆるスポットワーク（※）を活用して介護職員を雇用したことがありますか ※ スポットワークとは、アプリ等をとおして単発や短時間の仕事を依頼することをいいます	単一	活用したことがある 活用したことがない スポットワークを知らない	新規	☆	
問4-11	全部	スポットワークの活用理由	【問4-10】で「活用したことがある」の方のみ どのような理由でスポットワークを活用しましたか	複数	既存職員の急な欠勤・休暇の補填 既存職員の急な退職の補填 コスト削減 繁忙期の一時的な人員補充 正規雇用前の試用的な雇用（採用活動） その他（具体的に ）	新規	☆	
問4-12		スポットワークでの雇用回数・従事内容・職員の能力	【問4-10】で「活用したことがある」の方のみ スポットワークで雇用した回数は何回程度ですか、また、どのような業務に従事したか、その職員の能力についてどの程度満足していますか			新規	☆	
問4-12-1	全部		雇用回数	記述	雇用回数（ 回）	新規	☆	
問4-12-2	全部		従事内容	複数	入浴介助 排泄介助 食事介助（口元への介助など） 体位交換・移乗介助 医療的ケア（服薬管理、バイタル測定など） 資格不要な周辺業務（配膳・見守りなど） その他（具体的に ）	新規	☆	
問4-12-3	全部		能力	単一	非常に満足 やや満足 やや不満 非常に不満	新規	☆	
問4-13	全部	スポットワーク導入の課題	【問4-10】で「活用したことがある」「活用したことがない」の方のみ スポットワークを導入するにあたり課題は何ですか	複数	信頼性・スキルに不安がある 雇用管理が煩雑 法制度や契約面で不安がある 仕組みがよく分からない 登録・契約手続きが煩雑 マッチング精度が低い コスト面の不安 特段の課題は無い その他（具体的に ）	新規	☆	
問4-14	全部	今後のスポットワークの活用	今後、スポットワークを活用したいと思いますか	単一	ぜひ活用したい 状況に応じて活用したい あまり活用したくない 全く活用したくない	新規	☆	
5 介護支援専門員の意見について								
問5	一部	業務を進めるうえで困難あるいは不安を感じていること	業務を進めるうえで困難あるいは不安を感じていることはありますか	複数	アセスメントや居宅サービス計画の作成 系列事業所のサービスを居宅サービス計画書に組み込むことを求められる サービス提供事業者などとの連携および調整 利用者本人・家族などとの連携および調整 サービス担当者会議が十分に機能していない 地域（町内会や民生委員など）との連携 医療との連携 知識の不足 認知症の本人の希望に沿ったサービス提供 1人で担当する利用者数が多い 給付管理・請求事務などの事務量が多い 待遇面で正当に評価されていない その他（具体的に ） 特にない	認知症関連追加	○	◎
6 自由記載								
問6	全部	介護保険制度全般への要望・意見	介護報酬や職員体制、介護保険サービスの提供、その他介護保険制度全般のほか、今回の調査や札幌市の施策について、ご要望やご意見がありましたら、ご自由に入力してください	記述			○	

⑮R7介護老人福祉施設、地域密着型介護老人福祉施設調査

設問№	対象	設問趣旨	設問内容	回答形式	選択肢	見直し内容	要否	9期計画
1 事業所について								
問1-1	一部	施設の所在地	施設の所在地について教えてください	単一	中央区 北区 東区 白石区 厚別区 豊平区 清田区 南区 西区 手稲区		○	
問1-2	一部	施設の形態	施設の形態について教えてください	単一	従来型 一部ユニット型 ユニット型 地域密着型		○	
問1-3	一部	併設する介護保険サービス事業所の有無	併設する介護保険サービス事業所の有無について教えてください	単一	ある（1～3事業所）ある（4～6事業所）ある（7～9事業所）ある（10～15事業所）ある（16事業所以上）ない		○	
問1-4	一部	併設する事業所が提供している介護保険サービス	【問1-3 併設する介護保険サービス事業所の有無で「併設あり」の方のみ】併設する事業所が提供している介護保険サービスについて教えてください	複数	訪問介護 訪問入浴介護 訪問看護 訪問リハビリテーション 居宅療養管理指導 通所介護 通所リハビリテーション 短期入所生活介護 短期入所療養介護 特定施設入居者生活介護 福祉用具貸与 特定福祉用具販売 居宅介護支援 介護予防支援（介護予防ケアマネジメント） 介護老人福祉施設 介護老人保健施設 介護医療院 定期巡回・随時対応型訪問介護看護 夜間対応型訪問介護 地域密着型通所介護 認知症対応型通所介護 小規模多機能型居宅介護 認知症対応型共同生活介護 地域密着型特定施設入居者生活介護 地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護 看護小規模多機能型居宅介護 訪問型サービス（総合事業） 通所型サービス（総合事業） 通所型サービス時間短縮型（総合事業）		○	
2 サービスの提供状況等について								
問2-1	一部	事業所（施設）の定員、入所者の状況	令和7年11月1日現在における、事業所（施設）の定員および入所（入居）者の状況についてお答えください（短期入所生活介護分を除く） ※入所（入居）者には一時入院中の方を含みます。				○	
問2-1-1 問2-1-2		定員	定員		全体（ 人）		○	
		ユニット数	ユニット数		全体（ ユニット）		○	
			要介護1		全体（ 名）うち、札幌市外の介護保険被保険者（ 名）		○	
			要介護2		全体（ 名）うち、札幌市外の介護保険被保険者（ 名）		○	
			要介護3		全体（ 名）うち、札幌市外の介護保険被保険者（ 名）		○	
			要介護4		全体（ 名）うち、札幌市外の介護保険被保険者（ 名）		○	
			要介護5		全体（ 名）うち、札幌市外の介護保険被保険者（ 名）		○	
			その他（経過措置を含む）		全体（ 名）うち、札幌市外の介護保険被保険者（ 名）		○	
問2-2	一部	入所者の入所前の状況	「令和6年11月1日から令和7年10月31日までの1年間における入所者全員」の入所前の状況として当てはまるものを選択肢、その入所者数を要介護度別にそれぞれ入力してください		※表形式			
問2-2-1			居宅	記述	要介護1（ 名）要介護2（ 名）要介護3（ 名）要介護4（ 名）要介護5（ 名）		○	
問2-2-2			ケアハウス・軽費老人ホーム	記述	要介護1（ 名）要介護2（ 名）要介護3（ 名）要介護4（ 名）要介護5（ 名）		○	
問2-2-3			有料老人ホーム	記述	要介護1（ 名）要介護2（ 名）要介護3（ 名）要介護4（ 名）要介護5（ 名）		○	
問2-2-4			養護老人ホーム	記述	要介護1（ 名）要介護2（ 名）要介護3（ 名）要介護4（ 名）要介護5（ 名）		○	
問2-2-5			認知症グループホーム	記述	要介護1（ 名）要介護2（ 名）要介護3（ 名）要介護4（ 名）要介護5（ 名）		○	
問2-2-6			サービス付き高齢者向け住宅	記述	要介護1（ 名）要介護2（ 名）要介護3（ 名）要介護4（ 名）要介護5（ 名）		○	
問2-2-7			介護老人福祉施設	記述	要介護1（ 名）要介護2（ 名）要介護3（ 名）要介護4（ 名）要介護5（ 名）		○	
問2-2-8			介護老人保健施設	記述	要介護1（ 名）要介護2（ 名）要介護3（ 名）要介護4（ 名）要介護5（ 名）		○	
問2-2-9			病院・診療所など	記述	要介護1（ 名）要介護2（ 名）要介護3（ 名）要介護4（ 名）要介護5（ 名）		○	
問2-2-10			介護医療院	記述	要介護1（ 名）要介護2（ 名）要介護3（ 名）要介護4（ 名）要介護5（ 名）		○	
問2-2-11			その他	記述	要介護1（ 名）要介護2（ 名）要介護3（ 名）要介護4（ 名）要介護5（ 名）		○	
問2-3	一部	入所者の退所後の状況	「令和6年11月1日から令和7年10月31日までの1年間における退所者全員」の退所後の状況として当てはまるものを選択し、その退所者数を要介護度別にそれぞれ入力してください	記述	※表形式		○	
問2-3-1			居宅	記述	要介護1（ 名）要介護2（ 名）要介護3（ 名）要介護4（ 名）要介護5（ 名）		○	
問2-3-2			ケアハウス・軽費老人ホーム	記述	要介護1（ 名）要介護2（ 名）要介護3（ 名）要介護4（ 名）要介護5（ 名）		○	
問2-3-3			有料老人ホーム	記述	要介護1（ 名）要介護2（ 名）要介護3（ 名）要介護4（ 名）要介護5（ 名）		○	
問2-3-4			養護老人ホーム	記述	要介護1（ 名）要介護2（ 名）要介護3（ 名）要介護4（ 名）要介護5（ 名）		○	
問2-3-5			認知症グループホーム	記述	要介護1（ 名）要介護2（ 名）要介護3（ 名）要介護4（ 名）要介護5（ 名）		○	
問2-3-6			サービス付き高齢者向け住宅	記述	要介護1（ 名）要介護2（ 名）要介護3（ 名）要介護4（ 名）要介護5（ 名）		○	
問2-3-7			介護老人福祉施設	記述	要介護1（ 名）要介護2（ 名）要介護3（ 名）要介護4（ 名）要介護5（ 名）		○	
問2-3-8			介護老人保健施設	記述	要介護1（ 名）要介護2（ 名）要介護3（ 名）要介護4（ 名）要介護5（ 名）		○	
問2-3-9			病院・診療所など	記述	要介護1（ 名）要介護2（ 名）要介護3（ 名）要介護4（ 名）要介護5（ 名）		○	
問2-3-10			介護医療院	記述	要介護1（ 名）要介護2（ 名）要介護3（ 名）要介護4（ 名）要介護5（ 名）		○	
問2-3-11			死亡	記述	要介護1（ 名）要介護2（ 名）要介護3（ 名）要介護4（ 名）要介護5（ 名）		○	
問2-3-12			その他	記述	要介護1（ 名）要介護2（ 名）要介護3（ 名）要介護4（ 名）要介護5（ 名）		○	○
問2-4	一部	ターミナルケア（看取り）に取り組んだ経験の有無	余命が数か月～半年とみられる高齢者を介護・看護するターミナルケア（看取り）に取り組んだ経験がありますか	単一	ある ない		○	
問2-5	一部	ターミナルケア（看取り）についての考え	ターミナルケア（看取り）についてどのように考えていますか	単一	現時点では、事業所としての方針を明確にしていない 利用者の看取りまでは想定していない 制度上一定の条件が整えば、看取りの段階まで援助していきたい 現状でも条件が整うケースでは、看取りの段階まで援助している		○	
問2-6	一部	ターミナルケア（看取り）を可能とするために必要な条件	【問2-4「援助していきたい」「援助している」の方のみ】ターミナルケア（看取り）を可能とするためには、どのような条件が必要だと考えますか	複数	ターミナルケアについての職員の知識と技術の向上 介護職員が行える医療行為の範囲の拡大 本人の希望の確認と家族の協力 ほかの入居者・利用者（家族）の理解 訪問診療に応じてくれる医師との関わり ほかの介護サービス（訪問看護を除く）の利用 緊急時の受け入れ医療機関の存在 職員の増員 介護報酬の増額 職員の不安や疑問を気軽に相談できる人や機関 その他（具体的に ）		○	○
3 事業所の運営について								
問3-1-1	全部	事業所運営に関する問題点	事業所運営に関する問題点はどのようなものがありますか	複数	利用者本人・家族などとの連携および調整が難しい 人材育成が難しい 職員が定着しにくい 職員の仕事への意欲を維持するのが難しい サービス担当者会議が十分に機能していない 介護報酬が実態にそぐわない 利用者に対する情報提供が難しい 地域（町内会や民生委員など）との連携が難しい 医療との連携が難しい 計画どおりに職員の採用ができない その他（具体的に ）特に問題はない		○	
問3-1-2	全部	介護報酬が実態にそぐわない理由	【問3-1-1で「介護報酬が実態にそぐわない」の方のみ】その理由を教えてください	複数	加算の要件が厳しく、算定できない 加算取得のための作業が煩雑で報酬と見合っていない サービス提供のための経費が報酬に反映されていない サービス提供以外の業務に対する報酬がない 要支援者の報酬が低い その他（具体的に ）		○	○
問3-1-3	全部	新たに設置を希望する加算	【問3-1-1で「介護報酬が実態にそぐわない」の方のみ】安定したサービス提供を行うため、新たにどのような加算があると思うか、ご意見がありましたら具体的に入力してください	記述		新規	☆	
問3-1-4	全部	地域・医療との連携が難しい理由	【問3-1-1で「地域との連携が難しい」「医療との連携が難しい」の方のみ】その理由をできるだけ具体的に入力してください	記述			○	
問3-2	全部	サービスの質の向上のためにやっている取組	サービスの質の向上のために、どのような取組を行っていますか	複数	相談窓口の設置 ケア・カンファレンスの定期的な開催 サービス利用者の満足度調査の実施 自己評価の積極的な開示 サービス提供マニュアルの作成 サービス担当者会議への参加 医療との連携 研修の実施 外部評価の導入 コンサルティングへの依頼 苦情に対する組織的な対策 その他（具体的に ）特に何も行っていない		○	○

⑮R7介護老人福祉施設、地域密着型介護老人福祉施設調査

設問№	対象	設問趣旨	設問内容	回答形式	選択肢	見直し内容	要否	9期計画
問3-3-1	全部	サービス利用に関する苦情解決の方法	サービス利用に関する苦情解決の方法はどのように行っていますか	複数	事業所の中で解決している 事業所の中で解決できない場合は他の機関を利用して解決している 弁護士などの専門家と協議して解決している 上記3つの方法を活用しても解決できない場合がある その他（具体的に ）		○	
問3-3-2	全部	解決できない問題	【問3-3-1で「解決できない場合がある」の方のみ】 その内容をできるだけ具体的に入力してください	記述			○	
問3-4	一部	夜間勤務体制（夜勤職員の配置）	夜間の勤務体制（夜勤職員の配置）について教えてください	単一	基準どおりの人数で夜勤職員を配置 基準を超える人数で夜勤職員の配置		○	
問3-5	一部	夜間の人員体制についての自由記載	ご意見などがありましたら、ご自由に入力してください	記述	行きたい場所に行ったり、会いたい人に会わせたりする機会を設けている 地域行事（盆踊り、花見、敬老会など）に参加するようにしている 幼稚園児、小学生などとの世代間交流活動を行っている 買い物や散歩など、外出の機会を設けている 地域や家族に施設開放を行い、交流事業などを行っている ほかの事業者や施設と連携して、地域と交流する機会を設けている 町内会に加入している その他（具体的に ） 特に何も行っていない		○	
問3-6	一部	利用者と地域がつながるための工夫として行っている活動	利用者と地域のつながりを確保するための工夫として、どのような活動を行っていますか	複数	行きたい場所に行ったり、会いたい人に会わせたりする機会を設けている 地域行事（盆踊り、花見、敬老会など）に参加するようにしている 幼稚園児、小学生などとの世代間交流活動を行っている 買い物や散歩など、外出の機会を設けている 地域や家族に施設開放を行い、交流事業などを行っている ほかの事業者や施設と連携して、地域と交流する機会を設けている 町内会に加入している その他（具体的に ） 特に何も行っていない		○	
問3-7-1	全部	災害発生の備えとして既に取り組んでいること	災害発生の備えとして、既に取り組んでいるものは何ですか	複数	災害時に備えた定期的な避難訓練などの実施 災害時における対応マニュアルの策定 事業継続計画（BCP）の策定 地域住民との協力体制の構築 災害時における職員の役割分担 夜間における緊急連絡体制の整備 災害時における備蓄・備品の用意 その他（具体的に ）		○	○
問3-7-2	一部	災害発生時に備えた今後の地域との協力体制	【問3-7-1で「地域住民との協力体制の構築」を選択しなかった方のみ】 災害発生時に備えて、地域との協力体制についてどのように考えていますか	単一	現在話し合い中 今後話し合う予定 その他（具体的に ） 特に考えていない		○	
4 職員への対応について								
問4-1-1		過去1年間の採用、定着状況	過去1年間における職員の採用状況と採用・退職の人数、定着状況（および平均在籍年数）をそれぞれ教えてください		※表形式		○	
問4-1-1-ア-A	全部	採用状況、採用・退職者数	常勤職員	記述	（各職種それぞれについて） 計画どおり採用できている 計画どおり採用できていない 採用計画はない 採用人数（ 人） 退職者数（ 人）		○	○
問4-1-1-ア-B	全部	職員の定着状況	非常勤職員				○	○
問4-1-1-イ-A			常勤職員	単一	良い 比較的良好い あまり良くない 良くない		○	○
問4-1-1-イ-B			非常勤職員				○	○
問4-1-2	全部	職員募集で効果があった方法	職員を募集するにあたり、効果があった方法は何ですか（3つ以内）	複数	ハローワークの活用 求人媒体の活用 大学・専門学校への依頼 人材派遣会社への依頼 人材紹介会社の活用 自社ホームページ・SNSなどの活用 知人からの紹介 その他（具体的に ）		○	
問4-1-3-ア	全部	介護サービスを提供する職員数（常勤換算）	介護サービスを提供する職員数は何人ですか。常勤換算で総数及び年代別の人数をお答えください ※ 非常勤職員を常勤換算する際は、別添Excel『職員数換算シート』をお使いください ※ 算出方法は、『非常勤職員の週あたり延べ勤務実績』＋『常勤職員が勤務すべき週あたりの勤務時間数（32時間を下回る場合は32時間）』です	記述	職員数（常勤換算）（ 名） うち29歳以下（ 名） 30～39歳（ 名） 40～49歳（ 名） 50～59歳（ 名） 60～69歳（ 名） 70歳以上（ 名）	年代別を追加	○	
問4-1-3-イ	全部	定年制度	貴事業所では、（正規雇用に係る）定年制度を設けていますか	単一	定年制度を設けている 定年制度を設けていない（年齢に関わらず働ける）	新規	☆	
問4-1-3-イ-A	全部	定年年齢	【問4-1-3-イで「設けている」の方のみ】定年年齢は何歳ですか	記載	（ 歳）	新規	☆	
問4-1-3-イ-B	全部	定年後の継続雇用制度	【問4-1-3-イで「設けている」の方のみ】定年後の継続雇用制度はありますか ※「ある（上限がある）」場合は（ ）内に上限年齢を記載	単一	ある（上限がある 歳） ある（上限はない） ない	新規	☆	
問4-1-3-ウ	全部	職員数（実人数）	介護サービスを提供する職員の常勤・非常勤の実人数はそれぞれ何人ですか	記述	常勤職員（ 名） 非常勤職員（ 名）		☆	
問4-1-3-エ	全部	職員数の過不足に対する考え	現状の職員数をどのように考えますか。 ※「さらに職員が必要」の場合は（ ）内に人数及びその理由	単一	現状の職員数で十分である さらに職員が必要（ 名）必要⇒理由（ ）		○	◎
問4-2	全部	過去1年間の職員の退職理由として多いと感じるもの	過去1年間に、貴事業所から退職された職員の方々の主な退職理由は何が多いと考えていますか（3つ以内）	複数	給与 就労時間や休暇などの勤務条件 職場環境 職場の人間関係 利用者などとの人間関係 健康 年齢 結婚 出産・育児 転職 家族の介護 家族の転勤 その他（具体的に ） 過去1年以内の退職はなかった		○	○
問4-3	全部	職員に対して行っている配慮	職員に対して、どのような配慮を行っていますか	複数	基本給以外の手当を支給している 健康診断等（定期健康診断以外）を実施している 通勤時や移動時の事故についての予防や対応策をとっている 被服や機器等の貸与を行っている 身体的負担への対応策をとっている 精神的ストレスの緩和・サポートを行っている 職場内コミュニケーションの円滑化を図っている カスタマーハラスメントへの対応策をとっている その他（具体的に ） 特にない		○	
問4-4	全部	職員を取り巻く状況の変化（5年前との比較）	貴事業所では、5年前と比較して職員の状況はどのように変化していますか	複数	1人当たりの仕事量が増えている 業務遂行に必要な人材が不足している 職場でのコミュニケーションや助け合いが減っている 業務についての研修の機会や場が少なくなっている 過労気味の職員が増えている サービスの量や質が落ちている その他（具体的に ）		○	
問4-5	全部	職員の給与に対する考え	職員の給与についてどのようにお考えですか	単一	職員は十分な給与が得られている 十分とはいえないが、職員は必要な給与を得られている 仕事の負担に対し、職員は給与が若干不足していると感じる 仕事の負担に対し、職員は十分な給与が得られていない		○	
問4-6	全部	全職員を対象に実施している内部研修	全職員を対象に実施している内部研修はどのようなものですか	複数	介護保険制度に関する研修 個人情報の取扱いに関する研修 リハビリテーション等に関する研修 事故防止に関する研修 認知症に関する研修 食事介助に関する研修 接遇研修 虐待に関する研修 身体拘束に関する研修 メンタルヘルスに関する研修 災害時対応に関する研修 感染症発生時対応に関する研修 ハラスメントに関する研修 ワークルールに関する研修 その他（具体的に ） 何も行っていない		○	○
問4-7	全部	外部研修などへの職員の参加	外部研修などへ職員を参加させるようにしていますか	単一	している していない		○	○
問4-8	全部	外部研修などへ参加させていない理由	【問4-7で「していない」の方のみ】 外部研修などへの参加をさせていない理由は何ですか	複数	時間の余裕がない 費用が高額である 参加させたい研修がない 参加させる必要がない その他（具体的に ）		○	○
問4-9	全部	職員に受けさせたい外部研修	職員に受けさせたい外部研修は何ですか	複数	介護保険制度に関する研修 個人情報の取扱いに関する研修 リハビリテーション等に関する研修 事故防止に関する研修 認知症に関する研修 食事介助に関する研修 接遇研修 虐待に関する研修 身体拘束に関する研修 メンタルヘルスに関する研修 管理者・リーダー層の養成に関する研修 災害時対応に関する研修 感染症発生時対応に関する研修 ハラスメントに関する研修 ワークルールに関する研修 その他（具体的に ）		○	○
問4-10	一部	介護助手の活用	現在、介護助手（※）を活用していますか ※「介護助手」とは、原則として利用者の身体に直接触れる介助（食事、入浴、排せつ介助など）は行わず、清掃、配膳、話し相手など、介護職員の周辺業務サポートを主な業務とする職員（パート・アルバイトを含む雇用契約に基づいた職員）を指します。	一部	活用している 活用していない 介護助手が何か知らない	新規	☆	
問4-11	一部	介護助手の活用効果	職員の負担が軽減された 研修の時間が増えた 利用者へのケアの時間が増えた 職場の雰囲気よかった その他（具体的に ） あまり効果は感じられない	一部	職員の負担が軽減された 研修の時間が増えた 利用者へのケアの時間が増えた 職場の雰囲気がよかった その他（具体的に ） あまり効果は感じられない	新規	☆	
問4-12	一部	介護助手を活用する予定	予定がある 予定がない	一部	予定がある 予定がない	新規	☆	
問4-13	一部	介護助手を活用しない理由	予算の制約による 適切な人材が見つからない 介護助手の役割が明確でない 活用条件や労働条件に不安がある 利用者へ介護助手への抵抗感がある 職員に介護助手への抵抗感がある 必要性を感じない その他（具体的に ）	一部	予算の制約による 適切な人材が見つからない 介護助手の役割が明確でない 活用条件や労働条件に不安がある 利用者へ介護助手への抵抗感がある 職員に介護助手への抵抗感がある 必要性を感じない その他（具体的に ）	新規	☆	

⑩R7介護老人保健施設調査

設問№	対象	設問趣旨	設問内容	回答形式	選択肢	見直し内容	要否	9期計画
1 事業所について								
問1-1	一部	施設の経営形態	施設の経営形態について教えてください	単一	医療法人 社会福祉法人 その他（具体的に ）		○	
問1-2	一部	施設の所在地	施設の所在地について教えてください	単一	中央区 北区 東区 白石区 厚別区 豊平区 清田区 南区 西区 手稲区		○	
問1-3	一部	施設の形態	施設の形態について教えてください	単一	従来型 一部ユニット型 ユニット型		○	
問1-4	一部	併設する介護保険サービス事業所の有無	併設する介護保険サービス事業所の有無について教えてください	単一	ある（1～3事業所） ある（4～6事業所） ある（7～9事業所） ある（10～15事業所） ある（16事業所以上） ない		○	
問1-5	一部	併設する事業所が提供している介護保険サービス	【問1-4 併設する介護保険サービス事業所の有無で「併設あり」の方のみ】併設する事業所が提供している介護保険サービスについて教えてください	複数	訪問介護 訪問入浴介護 訪問看護 訪問リハビリテーション 居宅療養管理指導 通所介護 通所リハビリテーション 短期入所生活介護 短期入所療養介護 特定施設入居者生活介護 福祉用具貸与 特定福祉用具販売 居宅介護支援 介護予防支援（介護予防ケアマネジメント） 介護老人福祉施設 介護医療院 定期巡回・随時対応型訪問介護看護 夜間対応型訪問介護 地域密着型通所介護 認知症対応型通所介護 小規模多機能型居宅介護 認知症対応型共同生活介護 地域密着型特定施設入居者生活介護 地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護 看護小規模多機能型居宅介護 訪問型サービス（総合事業） 通所型サービス（総合事業） 通所型サービス時間短縮型（総合事業）		○	
2 サービスの提供状況等について								
問2-1	一部	事業所（施設）の定員、入所者の状況	令和7年11月1日現在における、事業所（施設）の定員および入所（入居）者の状況についてお答えください（短期入所生活介護分を除く） ※入所（入居）者には一時入院中の方を含みます。	記述	※表形式		○	
問2-1-1		定員	定員		全体（ 人）			
問2-1-2		ユニット数	ユニット数		全体（ ユニット）			
			要支援1		全体（ 名） うち、札幌市外の介護保険被保険者（ 名）			
			要介護2		全体（ 名） うち、札幌市外の介護保険被保険者（ 名）			
			要介護3		全体（ 名） うち、札幌市外の介護保険被保険者（ 名）			
			要介護4		全体（ 名） うち、札幌市外の介護保険被保険者（ 名）			
			要介護5		全体（ 名） うち、札幌市外の介護保険被保険者（ 名）			
			その他（経過措置を含む）		全体（ 名） うち、札幌市外の介護保険被保険者（ 名）			
問2-2	一部	入所者の入所前の状況	「令和6年11月1日から令和7年10月31日までの1年間における入所者全員」の入所前の状況として当てはまるものを選択肢、その入所者数を要介護度別にそれぞれ入力してください		※表形式		○	
問2-2-1		居宅	居宅	記述	要介護1（ 名） 要介護2（ 名） 要介護3（ 名） 要介護4（ 名） 要介護5（ 名）			
問2-2-2		ケアハウス・軽費老人ホーム	ケアハウス・軽費老人ホーム	記述	要介護1（ 名） 要介護2（ 名） 要介護3（ 名） 要介護4（ 名） 要介護5（ 名）			
問2-2-3		有料老人ホーム	有料老人ホーム	記述	要介護1（ 名） 要介護2（ 名） 要介護3（ 名） 要介護4（ 名） 要介護5（ 名）			
問2-2-4		養護老人ホーム	養護老人ホーム	記述	要介護1（ 名） 要介護2（ 名） 要介護3（ 名） 要介護4（ 名） 要介護5（ 名）			
問2-2-5		認知症グループホーム	認知症グループホーム	記述	要介護1（ 名） 要介護2（ 名） 要介護3（ 名） 要介護4（ 名） 要介護5（ 名）			
問2-2-6		サービス付き高齢者向け住宅	サービス付き高齢者向け住宅	記述	要介護1（ 名） 要介護2（ 名） 要介護3（ 名） 要介護4（ 名） 要介護5（ 名）			
問2-2-7		介護老人福祉施設	介護老人福祉施設	記述	要介護1（ 名） 要介護2（ 名） 要介護3（ 名） 要介護4（ 名） 要介護5（ 名）			
問2-2-8		介護老人保健施設	介護老人保健施設	記述	要介護1（ 名） 要介護2（ 名） 要介護3（ 名） 要介護4（ 名） 要介護5（ 名）			
問2-2-9		病院・診療所など	病院・診療所など	記述	要介護1（ 名） 要介護2（ 名） 要介護3（ 名） 要介護4（ 名） 要介護5（ 名）			
問2-2-10		介護医療院	介護医療院	記述	要介護1（ 名） 要介護2（ 名） 要介護3（ 名） 要介護4（ 名） 要介護5（ 名）			
問2-2-11		その他	その他	記述	要介護1（ 名） 要介護2（ 名） 要介護3（ 名） 要介護4（ 名） 要介護5（ 名）			
問2-3	一部	入所者の退所後の状況	「令和6年11月1日から令和7年10月31日までの1年間における退所者全員」の退所後の状況として当てはまるものを選択し、その退所者数を要介護度別にそれぞれ入力してください		※表形式		○	
問2-3-1		居宅	居宅	記述	要介護1（ 名） 要介護2（ 名） 要介護3（ 名） 要介護4（ 名） 要介護5（ 名）			
問2-3-2		ケアハウス・軽費老人ホーム	ケアハウス・軽費老人ホーム	記述	要介護1（ 名） 要介護2（ 名） 要介護3（ 名） 要介護4（ 名） 要介護5（ 名）			
問2-3-3		有料老人ホーム	有料老人ホーム	記述	要介護1（ 名） 要介護2（ 名） 要介護3（ 名） 要介護4（ 名） 要介護5（ 名）			
問2-3-4		養護老人ホーム	養護老人ホーム	記述	要介護1（ 名） 要介護2（ 名） 要介護3（ 名） 要介護4（ 名） 要介護5（ 名）			
問2-3-5		認知症グループホーム	認知症グループホーム	記述	要介護1（ 名） 要介護2（ 名） 要介護3（ 名） 要介護4（ 名） 要介護5（ 名）			
問2-3-6		サービス付き高齢者向け住宅	サービス付き高齢者向け住宅	記述	要介護1（ 名） 要介護2（ 名） 要介護3（ 名） 要介護4（ 名） 要介護5（ 名）			
問2-3-7		介護老人福祉施設	介護老人福祉施設	記述	要介護1（ 名） 要介護2（ 名） 要介護3（ 名） 要介護4（ 名） 要介護5（ 名）			
問2-3-8		介護老人保健施設	介護老人保健施設	記述	要介護1（ 名） 要介護2（ 名） 要介護3（ 名） 要介護4（ 名） 要介護5（ 名）			
問2-3-9		病院・診療所など	病院・診療所など	記述	要介護1（ 名） 要介護2（ 名） 要介護3（ 名） 要介護4（ 名） 要介護5（ 名）			
問2-3-10		介護医療院	介護医療院	記述	要介護1（ 名） 要介護2（ 名） 要介護3（ 名） 要介護4（ 名） 要介護5（ 名）			
問2-3-11		死亡	死亡	記述	要介護1（ 名） 要介護2（ 名） 要介護3（ 名） 要介護4（ 名） 要介護5（ 名）			
問2-3-12		その他	その他	記述	要介護1（ 名） 要介護2（ 名） 要介護3（ 名） 要介護4（ 名） 要介護5（ 名）			
問2-4	一部	ターミナルケア（看取り）に取り組んだ経験の有無	余命が数か月～半年とみられる高齢者を介護・看護するターミナルケア（看取	単一	ある ない		○	
問2-5	一部	ターミナルケア（看取り）についての考え	ターミナルケア（看取り）についてどのように考えていますか	単一	現時点では、事業所としての方針を明確にしていない 利用者の看取りまでは想定していない 制度上一定の条件が整えば、看取りの段階まで援助していきたい 現状でも条件が整うケースでは、看取りの段階まで援助している		○	
問2-6	一部	ターミナルケア（看取り）を可能とするために必要な条件	【問2-4で「援助していきたい」「援助している」の方のみ】ターミナルケア（看取り）を可能とするためには、どのような条件が必要だと考えますか	複数	ターミナルケアについての職員の知識と技術の向上 介護職員が行える医療行為の範囲の拡大 本人の希望の確認と家族の協力 ほかの入居者・利用者（家族）の理解 訪問診療に応じてくれる医師との関わり ほかの介護サービス（訪問看護を除く）の利用 緊急時の受け入れ医療機関の存在 職員の増員 介護報酬の増額 職員の不安や疑問を気軽に相談できる人や機関 その他（具体的に ）		○	○
3 事業所の運営について								
問3-1-1	全部	事業所運営に関する問題点	事業所運営に関する問題点はどのようなものがありますか	複数	利用者本人・家族などとの連携および調整が難しい 人材育成が難しい 職員が定着しにくい 職員の仕事への意欲を維持するのが難しい サービス担当者会議が十分に機能していない 介護報酬が実態にそぐわない 利用者に対する情報提供が難しい 地域（町内会や民生委員など）との連携が難しい 医療との連携が難しい 計画どおりに職員の採用ができない その他（具体的に ） 特に問題はない		○	

問3-1-2	全部	介護報酬が実態にそぐわない理由	【問3-1-1で「介護報酬が実態にそぐわない」の方のみ】 その理由を教えてください	複数	加算の要件が厳しく、算定できない 加算取得のための作業が煩雑で報酬と見合っていない サービス提供のための経費が報酬に反映されていない サービス提供以外の業務に対する報酬がない 要支援者の報酬が低い その他（具体的に ）		○	○
問3-1-3	全部	新たに設置を希望する加算	【問3-1-1で「介護報酬が実態にそぐわない」の方のみ】 安定したサービス提供を行うため、新たにどのような加算があるかと思うか、ご意見がありましたら具体的に入力してください	記述		新規	☆	
問3-1-4	全部	地域・医療との連携が難しい理由	【問3-1-1で「地域との連携が難しい」「医療との連携が難しい」の方のみ】 その理由をできるだけ具体的に入力してください	記述			○	
問3-2	全部	サービスの質の向上のために行っている取組	サービスの質の向上のために、どのような取組を行っていますか	複数	相談窓口の設置 ケア・カンファレンスの定期的な開催 サービス利用者の満足度調査の実施 自己評価の積極的な開示 サービス提供マニュアルの作成 サービス担当者会議への参加 医療との連携 研修の実施 外部評価の導入 コンサルティングへの依頼 苦情に対する組織的な対策 その他（具体的に ） 特に何も行っていない		○	○
問3-3-1	全部	サービス利用に関する苦情解決の方法	サービス利用に関する苦情解決の方法はどのように行っていますか	複数	事業所の中で解決している 事業所の中で解決できない場合は他の機関を利用して解決している 弁護士などの専門家と協議して解決している 上記3つの方法を活用しても解決できない場合がある その他（具体的に ）		○	
問3-3-2	全部	解決できない問題	【問3-3-1で「解決できない場合がある」の方のみ】 その内容をできるだけ具体的に入力してください	記述			○	
問3-4	一部	夜間勤務体制（夜勤職員の配置）	夜間の勤務体制（夜勤職員の配置）について教えてください	単一	基準どおりの人数で夜勤職員を配置 基準を超える人数で夜勤職員の配置		○	
問3-5	一部	夜間の人員体制についての自由記載	ご意見などがありましたら、ご自由に入力してください	記述			○	
問3-6	一部	利用者と地域がつながるための工夫として行っている活動	利用者と地域のつながりを確保するための工夫として、どのような活動を行っていますか	複数	行きたい場所に行ったり、会いたい人に会わせたりする機会を設けている 地域行事（盆踊り、花見、敬老会など）に参加するようにしている 幼稚園児、小学生などとの世代間交流活動を行っている 買い物や散歩など、外出の機会を設けている 地域や家族に施設開放を行い、交流事業などを行っている ほかの事業者や施設と連携して、地域と交流する機会を設けている 町内会に加入している その他（具体的に ） 特に何も行っていない		○	
問3-7-1	全部	災害発生の備えとして既に取り組んでいること	災害発生の備えとして、既に取り組んでいるものは何ですか	複数	災害時に備えた定期的な避難訓練などの実施 災害時における対応マニュアルの策定 事業継続計画（BCP）の策定 地域住民との協力体制の構築 災害時における職員の役割分担 夜間における緊急連絡体制の整備 災害時における備蓄・備品の用意 その他（具体的に ）		○	○
問3-7-2	全部	災害発生時に備えた今後の地域との協力体制	【問3-7-1で「地域住民との協力体制の構築」を選択しなかった方のみ】 災害発生時に備えて、地域との協力体制についてどのように考えていますか	単一	現在話し合い中 今後話し合う予定 その他（具体的に ） 特に考えていない		○	
問3-7-4	全部	災害発生時における対策のうち一番難しいもの	災害発生時における対策のうち、一番難しいものは何ですか	単一	避難訓練で想定する行動 対応マニュアルなどに則した行動 地域住民との協力体制 職員の役割分担 夜間における緊急連絡体制 備蓄・備品の不足 その他（具体的に ）		○	
4 職員への対応について								
問4-1-1	全部	過去1年間の採用、定着状況	過去1年間における職員の採用状況と採用・退職の人数、定着状況をそれぞれ	記述	※表形式			
問4-1-1-ア-A		採用状況、採用・退職者数	常勤職員	記述	（各職種それぞれについて） 計画どおり採用できている 計画どおり採用できていない 採用計画はない 採用人数（ 人） 退職者数（ 人）		○	○
問4-1-1-ア-B		職員の定着状況	非常勤職員	記述	※表形式		○	○
問4-1-1-イ-A			常勤職員	単一	良い 比較的良い あまり良くない 良くない		○	○
問4-1-1-イ-B			非常勤職員	単一	※表形式		○	○
問4-1-2	全部	職員募集で効果があった方法	職員を募集するにあたり、効果があった方法は何ですか（3つ以内）	複数	ハローワークの活用 求人媒体の活用 大学・専門学校への依頼 人材派遣会社への依頼 人材紹介会社の活用 自社ホームページ・SNSなどの活用 知人からの紹介 その他（具体的に ）		○	
問4-1-3-ア	全部	介護サービスを提供する職員数（常勤換算）	介護サービスを提供する職員数は何人ですか。常勤換算で総数及び年代別の人数をお答えください ※ 非常勤職員を常勤換算する際は、別添Excel『職員数換算シート』をお使いください ※ 算出方法は、『非常勤職員の週あたり延べ勤務実績』+『常勤職員が勤務すべき週あたりの勤務時間数（32時間を下回る場合は32時間）』です	記述	職員数（常勤換算）（ 名） うち29歳以下（ 名） 30～39歳（ 名） 40～49歳（ 名） 50～59歳（ 名） 60～69歳（ 名） 70歳以上（ 名）	年代別を追加	○	
問4-1-3-イ	全部	定年制度	貴事業所では、（正規雇用に係る）定年制度を設けていますか	単一	定年制度を設けている 定年制度を設けていない（年齢に関わらず働ける）	新規	☆	
問4-1-3-イ-A	全部	定年年齢	【問4-1-3-イで「設けている」の方のみ】定年年齢は何歳ですか	記載	（ 歳）	新規	☆	
問4-1-3-イ-B	全部	定年後の継続雇用制度	【問4-1-3-イで「設けている」の方のみ】定年後の継続雇用制度はありますか	単一	ある（上限がある 歳） ある（上限はない） ない	新規	☆	
問4-1-3-ウ	全部	職員数（実人数）	介護サービスを提供する職員の常勤・非常勤の実人数はそれぞれ何人ですか	記述	常勤職員（ 名） 非常勤職員（ 名）	新規	☆	
問4-1-3-エ	全部	職員数の過不足に対する考え	現状の職員数をどのように考えますか。 ※「さらに職員が必要」の場合は（ ）内に人数及びその理由	単一	現状の職員数で十分である さらに職員が必要（ 名）必要⇒理由（ ）		○	◎
問4-2	全部	過去1年間の職員の退職理由として多いと感じるもの	過去1年間に、貴事業所から退職された職員の方々の主な退職理由は何が多いと考えていますか（3つ以内）	複数	給与 就労時間や休暇などの勤務条件 職場環境 職場の人間関係 利用者などとの人間関係 健康 年齢 結婚 出産・育児 転職 家族の介護 家族の転勤 その他（具体的に ） 過去1年以内の退職はなかった		○	○
問4-3	全部	職員に対して行っている配慮	職員に対して、どのような配慮を行っていますか	複数	基本給以外の手当を支給している 健康診断等（定期健康診断以外）を実施している 通勤時や移動時の事故についての予防や対応策をとっている 被服や機器等の貸与を行っている 身体的負担への対応策をとっている 精神的ストレスの緩和・サポートを行っている 職場内コミュニケーションの円滑化を図っている カスタマーハラスメントへの対応策をとっている その他（具体的に ） 特にない		○	
問4-4	全部	職員を取り巻く状況の変化（5年前との比較）	貴事業所では、5年前と比較して職員の状況はどのように変化していますか	複数	1人当たりの仕事量が増えている 業務遂行に必要な人材が不足している 職場でのコミュニケーションや助け合いが減っている 業務についての研修の機会や場が少なくなっている 過労気味の職員が増えている サービスの量や質が落ちている その他（具体的に ）		○	
問4-5	全部	職員の給与に対する考え	職員の給与についてどのようにお考えですか	単一	職員は十分な給与が得られている 十分とはいえないが、職員は必要な給与を得られている 仕事の負担に対し、職員は給与が若干不足していると感じる 仕事の負担に対し、職員は十分な給与が得られていない		○	
問4-6	全部	全職員を対象に実施している内部研修	全職員を対象に実施している内部研修はどのようなものですか	複数	介護保険制度に関する研修 個人情報の取扱いに関する研修 リハビリテーション等に関する研修 事故防止に関する研修 認知症に関する研修 食事介助に関する研修 接遇研修 虐待に関する研修 身体拘束に関する研修 メンタルヘルスに関する研修 災害時対応に関する研修 感染症発生時対応に関する研修 ハラスメントに関する研修 ワークルールに関する研修 その他（具体的に ） 何も行っていない		○	○
問4-7	全部	外部研修などへの職員の参加	外部研修などへ職員を参加させるようにしていますか	単一	している していない		○	○
問4-8	全部	外部研修などへ参加させていない理由	【問4-7で「していない」の方のみ】 外部研修などへの参加をさせていない理由は何ですか	複数	時間の余裕がない 費用が高額である 参加させたい研修がない 参加させる必要がない その他（具体的に ）		○	○

問4-9	全部	職員に受けさせたい外部研修	職員に受けさせたい外部研修は何ですか	複数	介護保険制度に関する研修 個人情報の取扱いに関する研修 リハビリテーション等に関する研修 事故防止に関する研修 認知症に関する研修 食事介助に関する研修 接遇研修 虐待に関する研修 身体拘束に関する研修 メンタルヘルスに関する研修 管理者・リーダー層の養成に関する研修 災害時対応に関する研修 感染症発生時対応に関する研修 ハラスメントに関する研修 ワークルールに関する研修 その他（具体的に		○	○
問4-10	一部	介護助手の活用	現在、介護助手（※）を活用していますか ※「介護助手」とは、原則として利用者の身体に直接触れる介助（食事、入浴、排せつ介助など）は行わず、清掃、配膳、話し相手など、介護職員の周辺業務サポートを主な業務とする職員（パート・アルバイトを含む雇用契約に基づいた職員）を指します。	単一	活用している 活用していない 介護助手が何か知らない	新規	☆	
問4-11	一部	介護助手の活用効果	【問4-10】で「活用している」の方のみ】介護助手を活用して感じられる効果を教えてください	複数	職員の負担が軽減された 研修の時間が増えた 利用者へのケアの時間が増えた 職場の雰囲気ようになった その他（具体的に） あまり効果は感じられない	新規	☆	
問4-12	一部	介護助手を活用する予定	【問4-10】で「活用していない」の方のみ】今後、介護助手を活用する予定はありますか	単一	予定がある 予定がない	新規	☆	
問4-13	一部	介護助手を活用しない理由	【問4-12】で「予定がない」の方のみ】介護助手を活用しない理由を教えてください	複数	予算の制約による 適切な人材が見つからない 介護助手の役割が明確でない 活用条件や労働条件に不安がある 利用者に介護助手への抵抗感がある 職員に介護助手への抵抗感がある 必要性を感じない その他（具体的に）	新規	☆	
問4-14	全部	スポットワークの活用	いわゆるスポットワーク（※）を活用して介護職員を雇用したことがあります	単一	活用したことがある 活用したことがない スポットワークを知らない	新規	☆	
問4-15	全部	スポットワークの活用理由	【問4-14】で「活用したことがある」の方のみ どのような理由でスポットワークを活用しましたか	複数	既存職員の急な欠勤・休暇の補填 既存職員の急な退職の補填 コスト削減 繁忙期の一時的な人員補充 正規雇用前の試用的な雇用（採用活動） その他（具体的に）	新規	☆	
問4-16		スポットワークでの雇用回数・従事内容・職員の能力	【問4-14】で「活用したことがある」の方のみ スポットワークで雇用した回数は何回程度ですか、また、どのような業務に従事したか、その職員の能力についてどの程度満足していますか			新規	☆	
問4-16-1	全部		雇用回数	記述	雇用回数（ 回）	新規	☆	
問4-16-2	全部		従事内容	複数	入浴介助 排泄介助 食事介助（口元への介助など） 体位交換・移乗介助 医療的ケア（服薬管理、バイタル測定など） 資格不要な周辺業務（配膳・見守りなど） その他（具体的に）	新規	☆	
問4-16-3	全部		能力	単一	非常に満足 やや満足 やや不満 非常に不満	新規	☆	
問4-17	全部	スポットワーク導入の課題	【問4-14】で「活用したことがある」「活用したことがない」の方のみ スポットワークを導入するにあたり課題は何ですか	複数	信頼性・スキルに不安がある 雇用管理が煩雑 法制度や契約面で不安がある 仕組みがよく分からない 登録・契約手続きが煩雑 マッチング精度が低い コスト面の不安 特段の課題は無い その他（具体的に）	新規	☆	
問4-18	全部	今後のスポットワークの活用	今後、スポットワークを活用したいと思いますか	単一	ぜひ活用したい 状況に応じて活用したい あまり活用したくない 全く活用したくない	新規	☆	
5 介護支援専門員の意見について ※ 意見集約をお願いします ※								
問5	一部	現状における事業所の過不足に対する考え	介護（予防）サービスの現状において、事業所の過不足についてどのように感	単一	※表形式		○	
問5-1			訪問介護	単一	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない			
問5-2			訪問入浴介護	単一	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない			
問5-3			訪問看護	単一	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない			
問5-4			訪問リハビリテーション	単一	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない			
問5-5			居宅療養管理指導	単一	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない			
問5-6			通所介護	単一	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない			
問5-7			通所リハビリテーション	単一	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない			
問5-8			短期入所生活介護	単一	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない			
問5-9			短期入所療養介護	単一	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない			
問5-10			特定施設入居者生活介護	単一	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない			
問5-11			福祉用具貸与	単一	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない			
問5-12			特定福祉用具販売	単一	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない			
問5-13			介護老人福祉施設	単一	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない			
問5-14			介護老人保健施設	単一	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない			
問5-16			介護医療院	単一	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない			
問5-17			定期巡回・随時対応型訪問介護看護	単一	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない			
問5-18			夜間対応型訪問介護	単一	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない			
問5-19			地域密着型通所介護	単一	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない			
問5-20			認知症対応型通所介護	単一	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない			
問5-21			小規模多機能型居宅介護	単一	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない			
問5-22			認知症対応型共同生活介護	単一	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない			
問5-23			地域密着型特定施設入居者生活介護	単一	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない			
問5-24			地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護	単一	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない			
問5-25			看護小規模多機能型居宅介護	単一	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない			
問5-26			居宅介護支援	単一	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない			
問5-27			訪問型サービス（総合事業）	単一	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない			
問5-28			通所型サービス（総合事業）	単一	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない			
問5-29			通所型サービス時間短縮型（総合事業）	単一	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない			
6 自由記載								
問6	全部	介護保険制度全般への要望・意見	介護報酬や職員体制、介護保険サービスの提供、その他介護保険制度全般のほか、今回の調査や札幌市の施策について、ご要望やご意見がありましたら、ご自由に入力してください	記述			○	

⑰R7介護医療院調査

設問№	対象	設問趣旨	設問内容	回答形式	選択肢	見直し内容	要否	9期計画
1 事業所について								
問1-1	一部	施設の経営形態	施設の経営形態について教えてください	単一	医療法人 社会福祉法人 財団法人 その他（具体的に ）			○
問1-2	一部	施設の所在地	施設の所在地について教えてください	単一	中央区 北区 東区 白石区 厚別区 豊平区 清田区 南区 西区 手稲区			○
問1-3	単独	施設の運営形態	該当する形態を選択し、その病床数を入力してください	記述	Ⅰ型（ 床） Ⅱ型（ 床）			○
2 サービスの提供状況等について								
問2-1	一部	運営法人が同一または同一の代表者が運営している関連施設	貴施設の関連施設にはどのような施設がありますか	複数	介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム） 介護老人保健施設 病院 診療所 介護医療院 認知症対応型共同生活介護（グループホーム） その他（具体的に ） 関連施設は			○
問2-2	一部	入所者の入所前の状況	「令和6年11月1日から令和7年10月31日までの1年間における入所者全員」の入所前の状況として当てはまるものを選択肢、その入所者数を要介護度別にそれぞれ入力してください	記述	※表形式			○
問2-2-1			居宅	記述	要介護1（ 名） 要介護2（ 名） 要介護3（ 名） 要介護4（ 名）			
問2-2-2			ケアハウス・軽費老人ホーム	記述	要介護1（ 名） 要介護2（ 名） 要介護3（ 名） 要介護4（ 名）			
問2-2-3			有料老人ホーム	記述	要介護1（ 名） 要介護2（ 名） 要介護3（ 名） 要介護4（ 名）			
問2-2-4			養護老人ホーム	記述	要介護1（ 名） 要介護2（ 名） 要介護3（ 名） 要介護4（ 名）			
問2-2-5			認知症グループホーム	記述	要介護1（ 名） 要介護2（ 名） 要介護3（ 名） 要介護4（ 名）			
問2-2-6			サービス付き高齢者向け住宅	記述	要介護1（ 名） 要介護2（ 名） 要介護3（ 名） 要介護4（ 名）			
問2-2-7			介護老人福祉施設	記述	要介護1（ 名） 要介護2（ 名） 要介護3（ 名） 要介護4（ 名）			
問2-2-8			介護老人保健施設	記述	要介護1（ 名） 要介護2（ 名） 要介護3（ 名） 要介護4（ 名）			
問2-2-9			病院・診療所など	記述	要介護1（ 名） 要介護2（ 名） 要介護3（ 名） 要介護4（ 名）			
問2-2-10			介護医療院	記述	要介護1（ 名） 要介護2（ 名） 要介護3（ 名） 要介護4（ 名）			
問2-2-11			その他	記述	要介護1（ 名） 要介護2（ 名） 要介護3（ 名） 要介護4（ 名）			
問2-3	一部	入所者の退所後の状況	「令和6年11月1日から令和7年10月31日までの1年間における退所者全員」の退所後の状況として当てはまるものを選択し、その退所者数を要介護度別にそれぞれ入力してください	記述	※表形式			○
問2-3-1			居宅	記述	要介護1（ 名） 要介護2（ 名） 要介護3（ 名） 要介護4（ 名）			
問2-3-2			ケアハウス・軽費老人ホーム	記述	要介護1（ 名） 要介護2（ 名） 要介護3（ 名） 要介護4（ 名）			
問2-3-3			有料老人ホーム	記述	要介護1（ 名） 要介護2（ 名） 要介護3（ 名） 要介護4（ 名）			
問2-3-4			養護老人ホーム	記述	要介護1（ 名） 要介護2（ 名） 要介護3（ 名） 要介護4（ 名）			
問2-3-5			認知症グループホーム	記述	要介護1（ 名） 要介護2（ 名） 要介護3（ 名） 要介護4（ 名）			
問2-3-6			サービス付き高齢者向け住宅	記述	要介護1（ 名） 要介護2（ 名） 要介護3（ 名） 要介護4（ 名）			
問2-3-7			介護老人福祉施設	記述	要介護1（ 名） 要介護2（ 名） 要介護3（ 名） 要介護4（ 名）			
問2-3-8			介護老人保健施設	記述	要介護1（ 名） 要介護2（ 名） 要介護3（ 名） 要介護4（ 名）			
問2-3-10			病院・診療所など	記述	要介護1（ 名） 要介護2（ 名） 要介護3（ 名） 要介護4（ 名）			
問2-3-11			介護医療院	記述	要介護1（ 名） 要介護2（ 名） 要介護3（ 名） 要介護4（ 名）			
問2-3-12			死亡	記述	要介護1（ 名） 要介護2（ 名） 要介護3（ 名） 要介護4（ 名）			
問2-3-13			その他	記述	要介護1（ 名） 要介護2（ 名） 要介護3（ 名） 要介護4（ 名）			
3 事業所の運営に関する問題点								
問3-1-1	全部	事業所運営に関する問題点	事業所運営に関する問題点はどのようなものがありますか	複数	利用者本人・家族などとの連携および調整が難しい 人材育成が難しい 職員が定着しにくい 職員の仕事への意欲を維持するのが難しい サービス担当者会議が十分に機能していない 介護報酬が実態にそぐわない 利用者に対する情報提供が難しい 地域（町内会や民生委員など）との連携が難しい 医療との連携が難しい 計画どおりに職員の採用ができない その他（具体的に ） 特に問題はない			○
問3-1-2	全部	介護報酬が実態にそぐわない理由	【問3-1-1で「介護報酬が実態にそぐわない」の方のみ】その理由を教えてください	複数	加算の要件が厳しく、算定できない 加算取得のための作業が煩雑で報酬と見合っていない サービス提供のための経費が報酬に反映されていない サービス提供以外の業務に対する報酬がない 要支援者の報酬が低い その他（具体的に ）			○
問3-1-3	全部	新たに設置を希望する加算	【問3-1-1で「介護報酬が実態にそぐわない」の方のみ】安定したサービス提供を行うため、新たにどのような加算があるかと思うか、ご意見がありましたら具体的に <input type="text"/>	記述				新規 ☆
問3-1-3	全部	地域・医療との連携が難しい理由	【問3-1-1で「地域との連携が難しい」「医療との連携が難しい」の方のみ】その理由をできるだけ具体的に <input type="text"/>	記述				○
問3-2	全部	サービスの質の向上のためにやっている取組	サービスの質の向上のために、どのような取組を行っていますか	複数	相談窓口の設置 ケア・カンファレンスの定期的な開催 サービス利用者の満足度調査の実施 自己評価の積極的な開示 サービス提供マニュアルの作成 サービス担当者会議への参加 医療との連携 研修の実施 外部評価の導入 コンサルティングへの依頼 苦情に対する組織的な対策 その他（具体的に ） 特に何も行っていない			○
問3-3-1	全部	サービス利用に関する苦情解決の方法	サービス利用に関する苦情解決の方法はどのように行っていますか	複数	事業所の中で解決している 事業所の中で解決できない場合は他の機関を利用して解決している 弁護士などの専門家と協議して解決している 上記3つの方法を活用しても解決できない場合がある その他（具体的に ）			○
問3-3-2	全部	解決できない問題	【問3-3-1で「解決できない場合がある」の方のみ】その内容をできるだけ具体的に <input type="text"/>	記述				○
問3-4	一部	夜間勤務体制（夜勤職員の配置）	夜間の勤務体制（夜勤職員の配置）について教えてください	単一	基準どおりの人数で夜勤職員を配置 基準を超える人数で夜勤職員の配置			○
問3-5	一部	夜間の人員体制についての自由記載	ご意見などがありましたら、ご自由に <input type="text"/>	記述				○

⑰R7介護医療院調査

設問№	対象	設問趣旨	設問内容	回答形式	選択肢	見直し内容	要否	9期計画
問3-6-1	全部	災害発生の備えとして既に取り組んでいること	災害発生の備えとして、既に取り組んでいるものは何ですか	複数	災害時に備えた定期的な避難訓練などの実施 災害時における対応マニュアルの策定 事業継続計画（BCP）の策定 地域住民との協力体制の構築 災害時における職員の役割分担 夜間における緊急連絡体制の整備 災害時における備蓄・備品の用意 その他（具体的に）		○	○
問3-6-2	全部	災害発生時に備えた今後の地域との協力体制	【問3-6-1で「地域住民との協力体制の構築」を選択しなかった方のみ】 災害発生時に備えて、地域との協力体制についてどのように考えていますか	単一	現在話し合い中 今後話し合う予定 その他（具体的に） 特に考えていない		○	
問3-6-4	全部	災害発生時における対策のうち一番難しいもの	災害発生時における対策のうち、一番難しいものは何ですか	単一	避難訓練で想定する行動 対応マニュアルなどに則した行動 地域住民との協力体制 職員の役割分担 夜間における緊急連絡体制 備蓄・備品の不足 その他（具体的に）		○	
4 職員への対応について								
問4-1-1	全部	過去1年間の採用、定着状況	過去1年間における職員の採用状況と採用・離職の人数、定着状況をそれ	記述	※表形式			
問4-1-1-ア-A		採用状況、採用・退職者数	常勤職員	記述	（各職種それぞれについて） 計画どおり採用できている 計画どおり採用できていない 採用計画はない 採用人数（ 人） 退職者数（ 人）		○	○
問4-1-1-ア-B			非常勤職員	記述	※表形式		○	○
問4-1-1-イ-A		職員の定着状況	常勤職員	単一	良い 比較的良い あまり良くない 良くない		○	○
問4-1-1-イ-B			非常勤職員	単一	※表形式		○	
問4-1-2	全部	職員募集で効果があった方法	職員を募集するにあたり、効果があった方法は何ですか（3つ以内）	複数	ハローワークの活用 求人媒体の活用 大学・専門学校への依頼 人材派遣会社への依頼 人材紹介会社の活用 自社ホームページ・SNSなどの活用 知人からの紹介 その他（具体的に）		○	
問4-1-3-ア	全部	介護サービスを提供する職員数（常勤換算）	介護サービスを提供する職員数は何人ですか。常勤換算で総数及び年代別の人数をお答えください ※ 非常勤職員を常勤換算する際は、別添Excel『職員数換算シート』をお使いください ※ 算出方法は、『非常勤職員の週あたり延べ勤務実績』÷『常勤職員が勤務すべき週あたりの勤務時間数（32時間を下回る場合は32時間）』です	記述	職員数（常勤換算）（ 名） うち29歳以下（ 名） 30～39歳（ 名） 40～49歳（ 名） 50～59歳（ 名） 60～69歳（ 名） 70歳以上（ 名）	年代別を追加	○	
問4-1-3-イ	全部	定年制度	貴事業所では、（正規雇用に係る）定年制度を設けていますか	単一	定年制度を設けている 定年制度を設けていない（年齢に関わらず働ける）	新規	☆	
問4-1-3-イ-A	全部	定年年齢	【問4-1-3-イで「設けている」の方のみ】定年年齢は何歳ですか	記載	（ 歳）	新規	☆	
問4-1-3-イ-B	全部	定年後の継続雇用制度	【問4-1-3-イで「設けている」の方のみ】定年後の継続雇用制度はありますか ※「ある（上限がある）」場合は（ ）内に上限年齢を記載	単一	ある（上限がある 歳） ある（上限はない） ない	新規	☆	
問4-1-3-ウ	全部	職員数（実人数）	介護サービスを提供する職員の常勤・非常勤の実人数はそれぞれ何人ですか	記述	常勤職員（ 名） 非常勤職員（ 名）	新規	☆	
問4-1-3-エ	全部	職員数の過不足に対する考え	現状の職員数をどのように考えますか。	単一	現状の職員数で十分である さらに職員が必要（ 名）必要⇒理由（ ）		○	◎
問4-2	全部	過去1年間の職員の退職理由として多いと感じるもの	過去1年間に、貴事業所から退職された職員の方々の主な退職理由は何が多いと考えていますか（3つ以内）	複数	給与 就労時間や休暇などの勤務条件 職場環境 職場の人間関係 利用者などとの人間関係 健康 年齢 結婚 出産・育児 転職 家族の介護 家族の転勤 その他（具体的に） 過去1年以内の退職はなかった		○	○
問4-3	全部	職員に対して行っている配慮	職員に対して、どのような配慮を行っていますか	複数	基本給以外の手当を支給している 健康診断等（定期健康診断以外）を実施している 通勤時や移動時の事故についての予防や対応策をとっている 被服や機器等の貸与を行っている 身体的負担への対応策をとっている 精神的ストレスの緩和・サポートを行っている 職場内コミュニケーションの円滑化を図っている カスタマーハラスメントへの対応策をとっている その他（具体的に） 特にない		○	
問4-4	全部	職員を取り巻く状況の変化（5年前との比較）	貴事業所では、5年前と比較して職員の状況はどのように変化していますか	複数	1人当たりの仕事量が増えている 業務遂行に必要な人材が不足している 職場でのコミュニケーションや助け合いが減っている 業務についての研修の機会や場が少なくなっている 過労気味の職員が増えている サービスの量や質が落ちている その他（具体的に）		○	
問4-5	全部	職員の給与に対する考え	職員の給与についてどのようにお考えですか	単一	職員は十分な給与が得られている 十分とはいえないが、職員は必要な給与を得られている 仕事の負担に対し、職員は給与が若干不足していると感じる 仕事の負担に対し、職員は十分な給与が得られていない		○	
問4-6	全部	全職員を対象に実施している内部研修	全職員を対象に実施している内部研修はどのようなものですか	複数	介護保険制度に関する研修 個人情報の取扱いに関する研修 リハビリテーション等に関する研修 事故防止に関する研修 認知症に関する研修 食事介助に関する研修 接遇研修 虐待に関する研修 身体拘束に関する研修 メンタルヘルスに関する研修 災害時対応に関する研修 感染症発生時対応に関する研修 ハラスメントに関する研修 ワークルールに関する研修 その他（具体的に） 何も行っていない		○	○
問4-7	全部	外部研修などへの職員の参加	外部研修などへ職員を参加させるようにしていますか	単一	している していない		○	○
問4-8	全部	外部研修などへ参加させていない理由	【問4-7で「していない」の方のみ】 外部研修などへの参加をさせていない理由は何ですか	複数	時間の余裕がない 費用が高額である 参加させたい研修がない 参加させる必要がない その他（具体的に）		○	○
問4-9	全部	職員に受けさせたい外部研修	職員に受けさせたい外部研修は何ですか	複数	介護保険制度に関する研修 個人情報の取扱いに関する研修 リハビリテーション等に関する研修 事故防止に関する研修 認知症に関する研修 食事介助に関する研修 接遇研修 虐待に関する研修 身体拘束に関する研修 メンタルヘルスに関する研修 管理者・リーダー層の養成に関する研修 災害時対応に関する研修 感染症発生時対応に関する研修 ハラスメントに関する研修 ワークルールに関する研修 その他（具体的に）		○	○
問4-10	一部	介護助手の活用	現在、介護助手（※）を活用していますか ※「介護助手」とは、原則として利用者の身体に直接触れる介助（食事、入浴、排せつ介助など）は行わず、清掃、配膳、話し相手など、介護職員の周辺業務サポートを主な業務とする職員（パート・アルバイトを含む雇用契約に基づいた職員）を指します。	単一	活用している 活用していない 介護助手が何か知らない	新規	☆	

⑰R7介護医療院調査

設問№	対象	設問趣旨	設問内容	回答形式	選択肢	見直し内容	要否	9期計画
問4-11	一部	介護助手の活用効果	【問4-10】で「活用している」の方のみ】介護助手を活用して感じられる効果を教えてください	複数	職員の負担が軽減された 研修の時間が増えた 利用者へのケアの時間が増えた 職場の雰囲気が悪くなった その他（具体的に ） あまり効果は感じられない	新規	☆	
問4-12	一部	介護助手を活用する予定	【問4-10】で「活用していない」の方のみ】今後、介護助手を活用する予定はありますか	単一	予定がある 予定がない	新規	☆	
問4-13	一部	介護助手を活用しない理由	【問4-12】で「予定がない」の方のみ】介護助手を活用しない理由を教えてください	複数	予算の制約による 適切な人材が見つからない 介護助手の役割が明確でない 活用条件や労働条件に不安がある 利用者に介護助手への抵抗感がある 職員に介護助手への抵抗感がある 必要性を感じない その他（具体的に ）	新規	☆	
問4-14	全部	スポットワークの活用	いわゆるスポットワーク（※）を活用して介護職員を雇用したことがありますか ※ スポットワークとは、アプリ等をとおして単発や短時間の仕事を依頼することをいいます	単一	活用したことがある 活用したことがない スポットワークを知らない	新規	☆	
問4-15	全部	スポットワークの活用理由	【問4-14】で「活用したことがある」の方のみ どのような理由でスポットワークを活用しましたか	複数	既存職員の急な欠勤・休暇の補填 既存職員の急な退職の補填 コスト削減 繁忙期の一時的な人員補充 正規雇用前の試用的な雇用（採用活動） その他（具体的に ）	新規	☆	
問4-16		スポットワークでの雇用回数・従事内容・職員の能力	【問4-14】で「活用したことがある」の方のみ スポットワークで雇用した回数は何回程度ですか、また、どのような業務に従事したか、その職員の能力についてどの程度満足していますか			新規	☆	
問4-16-1	全部		雇用回数	記述	雇用回数（ 回）	新規	☆	
問4-16-2	全部		従事内容	複数	入浴介助 排泄介助 食事介助（口元への介助など） 体位交換・移乗介助 医療的ケア（服薬管理、バイタル測定など） 資格不要な周辺業務（配膳・見守りなど） その他（具体的に ）	新規	☆	
問4-16-3	全部		能力	単一	非常に満足 やや満足 やや不満 非常に不満	新規	☆	
問4-17	全部	スポットワーク導入の課題	【問4-14】で「活用したことがある」「活用したことがない」の方のみ スポットワークを導入するにあたり課題は何ですか	複数	信頼性・スキルに不安がある 雇用管理が煩雑 法制度や契約面で不安がある 仕組みがよく分からない 登録・契約手続きが煩雑 マッチング精度が低い コスト面の不安 特段の課題は無い その他（具体的に ）	新規	☆	
問4-18	全部	今後のスポットワークの活用	今後、スポットワークを活用したいと思いますか	単一	ぜひ活用したい 状況に応じて活用したい あまり活用したくない 全く活用したくない	新規	☆	
5 介護支援専門員の意見について								
問5	一部	現状における事業所の過不足に対する考え	介護（予防）サービスの現状において、事業所の過不足についてどのように感じていますか	単一	※表形式		○	
問5-1			訪問介護	単一	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない			
問5-2			訪問入浴介護	単一	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない			
問5-3			訪問看護	単一	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない			
問5-4			訪問リハビリテーション	単一	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない			
問5-5			居宅療養管理指導	単一	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない			
問5-6			通所介護	単一	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない			
問5-7			通所リハビリテーション	単一	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない			
問5-8			短期入所生活介護	単一	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない			
問5-9			短期入所療養介護	単一	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない			
問5-10			特定施設入居者生活介護	単一	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない			
問5-11			福祉用具貸与	単一	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない			
問5-12			特定福祉用具販売	単一	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない			
問5-13			介護老人福祉施設	単一	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない			
問5-14			介護老人保健施設	単一	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない			
問5-15			介護医療院	単一	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない			
問5-16			定期巡回・随時対応型訪問介護看護	単一	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない			
問5-17			夜間対応型訪問介護	単一	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない			
問5-18			地域密着型通所介護	単一	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない			
問5-19			認知症対応型通所介護	単一	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない			
問5-20			小規模多機能型居宅介護	単一	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない			
問5-21			認知症対応型共同生活介護	単一	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない			
問5-22			地域密着型特定施設入居者生活介護	単一	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない			
問5-23			地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護	単一	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない			
問5-24			看護小規模多機能型居宅介護	単一	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない			
問5-25			居宅介護支援	単一	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない			
問5-26			訪問型サービス（総合事業）	単一	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない			
問5-27			通所型サービス（総合事業）	単一	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない			
問5-28			通所型サービス時間短縮型（総合事業）	単一	多い やや多い どちらともいえない やや少ない 少ない			
6 自由記載								
問6	全部	介護保険制度全般への要望・意見	介護報酬や職員体制、介護保険サービスの提供、その他介護保険制度全般のほか、今回の調査や札幌市の施策について、ご要望やご意見がありましたら、ご自由に入力してください	記述			○	

⑱R7養護老人ホーム、軽費老人ホーム、ケアハウス、有料老人ホーム（特定施設入居者生活介護）調査

設問№	対象	設問趣旨	設問内容	回答形式	選択肢	見直し内容	要否	9期計画
1 事業所について								
問1-1	一部	施設の経営形態	施設の経営形態について教えてください	単一	株式会社 医療法人 社会福祉法人 合同会社 財団法人 有限会社 NPO法人 合名会社 合資会社 その他（具体的に ）		○	
問1-2	単独	施設の種別	施設の種別について教えてください	単一	養護老人ホーム 軽費老人ホーム（A型・B型） ケアハウス 有料老人ホーム（サービス付き高齢者向け住宅を含む）		○	
問1-3	一部	施設の所在地	施設の所在地について教えてください	単一	中央区 北区 東区 白石区 厚別区 豊平区 清田区 南区 西区 手稲区		○	
問1-4	単独	特定施設入居者生活介護の事業所指定の状況	介護保険法における「特定施設入居者生活介護」の事業所指定の状況について教えてください	単一	指定を受けている 指定は受けていない		○	
問1-5	単独	特定施設入居者生活介護への転換意向の有無	【問1-4で「指定は受けていない」の方のみ】 現在の施設を特定施設入居者生活介護へ転換したい意向はありますか ※現在は公募による新設の場合のみを認めています	単一	ある ない		○	
問1-6	一部	併設する介護保険サービス事業所の有無	併設する介護保険サービス事業所の有無について教えてください	単一	ある（1～3事業所） ある（4～6事業所） ある（7～9事業所） ある（10～15事業所） ある（16事業所）		○	
問1-7	一部	併設する事業所が提供している介護保険サービス	【問1-6 併設する介護保険サービス事業所の有無で「併設あり」の方のみ】 併設する事業所が提供している介護保険サービスについて教えてください	複数	訪問介護 訪問入浴介護 訪問看護 訪問リハビリテーション 居宅療養管理指導 通所介護 通所リハビリテーション 短期入所生活介護 短期入所療養介護 特定施設入居者生活介護 福祉用具貸与 特定福祉用具販売 居宅介護支援 介護予防支援（介護予防ケアマネジメント） 介護老人福祉施設 介護老人保健施設 介護医療院 定期巡回・随時対応型訪問看護看護 夜間対応型訪問介護 地域密着型通所介護 認知症対応型通所介護 小規模多機能型居宅介護 認知症対応型共同生活介護 地域密着型特定施設入居者生活介護 地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護 看護小規模多機能型居宅介護 訪問型サービス（総合事業） 通所型サービス（総合事業） 通所型サービス時間短縮型（総合事業）		○	
2 サービスの提供状況等について								
問2-1	一部	事業所（施設）の定員、入所者の状況	令和7年11月1日現在における、事業所（施設）の定員および入所（入居）者の状況についてお答えください（短期入所生活介護分を除く） ※入所（入居）者には一時入院中の方を含みます。	記述	※表形式		○	
問2-1-1		定員	定員		全体（ 人）		○	
問2-1-2		自立	自立		全体（ 名） うち、札幌市外の介護保険被保険者（ 名）		○	
		要支援1	要支援1		全体（ 名） うち、札幌市の介護保険被保険者（ 名）		○	
		要支援2	要支援2		全体（ 名） うち、札幌市の介護保険被保険者（ 名）		○	
		要介護1	要介護1		全体（ 名） うち、札幌市の介護保険被保険者（ 名）		○	
		要介護2	要介護2		全体（ 名） うち、札幌市の介護保険被保険者（ 名）		○	
		要介護3	要介護3		全体（ 名） うち、札幌市の介護保険被保険者（ 名）		○	
		要介護4	要介護4		全体（ 名） うち、札幌市の介護保険被保険者（ 名）		○	
		要介護5	要介護5		全体（ 名） うち、札幌市の介護保険被保険者（ 名）		○	
問2-2	一部	予定時間以外の対応	【問2-1-2の「外部サービス利用者数」のうち訪問介護の利用があるの方のみ】 予定時間以外の対応をどのようにされていますか		予定時間以外の対応を必要とする方はほとんどいない 住宅のサービスとして提供している（提供メニュー）		○	
問2-1	一部	ターミナルケア（看取り）に取り組んだ経験の有無	余命が数か月～半年とみられる高齢者を介護・看護するターミナルケア（看取り）に取り組んだ経験がありますか	単一	ある ない		○	
問2-2	一部	ターミナルケア（看取り）についての考え	ターミナルケア（看取り）についてどのように考えていますか	単一	現時点では、事業所としての方針を明確にしていない 利用者の看取りまでは想定していない 制度上一定の条件が整えば、看取りの段階まで援助していきたい 現状でも条件が整うケースでは、看取りの段階まで援助している		○	
問2-3	一部	ターミナルケア（看取り）を可能とするために必要な条件	【問2-2で「援助していきたい」「援助している」の方のみ】 ターミナルケア（看取り）を可能とするためには、どのような条件が必要だと考えますか	複数	ターミナルケアについての職員の知識と技術の向上 介護職員が行える医療行為の範囲の拡大 本人の希望の確認と家族の協力 ほかの入居者・利用者（家族）の理解 訪問診療に応じてくれる医師との関わり ほかの介護サービス（訪問看護を除く）の利用 緊急時の受け入れ医療機関の存在 職員の増員 介護報酬の増額 職員の不安や疑問を気軽に相談できる人や機関 その他（具体的に ）		○	○
3 施設の運営について								
問3-1-1	全部	事業所運営に関する問題点	事業所運営に関する問題点はどのようなものがありますか	複数	利用者本人・家族などとの連携および調整が難しい 人材育成が難しい 職員が定着しにくい 職員の仕事への意欲を維持するのが難しい サービス担当者会議が十分に機能していない 介護報酬が実態にそぐわない 利用者に対する情報提供が難しい 地域（町内会や民生委員など）との連携が難しい 医療との連携が難しい 計画どおりに職員の採用ができない その他（具体的に ） 特に問題はない		○	
問3-1-2	全部	介護報酬が実態にそぐわない理由	【問3-1-1で「介護報酬が実態にそぐわない」の方のみ】 その理由を教えてください	複数	加算の要件が厳しく、算定できない 加算取得のための作業が煩雑で報酬と見合っていない サービス提供のための経費が報酬に反映されていない サービス提供以外の業務に対する報酬がない 要支援者の報酬が低い その他（具体的に ）		○	
問3-1-3	全部	新たに設置を希望する加算	【問3-1-1で「介護報酬が実態にそぐわない」の方のみ】 安定したサービス提供を行うため、新たにどのような加算があるとよいと思うか、ご意見がありましたら具体的に入力してください	記述		新規	☆	
問3-1-3	全部	地域・医療との連携が難しい理由	【問3-1-1で「地域との連携が難しい」「医療との連携が難しい」の方のみ】 その理由をできるだけ具体的に入力してください	記述			○	
問3-2	一部	介護予防サービスの問題点	※居宅介護支援のみ【問2-1で「指定を受けている」方のみ】 介護予防サービスについて、問題点はどのようなことだと思いますか	複数	報酬が低いので事業所運営をする上で不利と感じる 受け入れ体制が整っていない サービス量（需要）を		○	
問3-3	全部	サービスの質の向上のためにやっている取組	サービスの質の向上のために、どのような取組を行っていますか	複数	相談窓口の設置 ケア・カンファレンスの定期的な開催 サービス利用者の満足度調査の実施 自己評価の積極的な開示 サービス提供マニュアルの作成 サービス担当者会議への参加 医療との連携 研修の実施 外部評価の導入 コンサルティングへの依頼 苦情に対する組織的な対策 その他（具体的に ） 特に何も行っていない		○	○
問3-4-1	全部	サービス利用に関する苦情解決の方法	サービス利用に関する苦情解決の方法はどのように行っていますか	複数	事業所の中で解決している 事業所の中で解決できない場合は他の機関を利用して解決している 弁護士などの専門家と協議して解決している 上記3つの方法を活用しても解決できない場合がある その他（具体的に ）		○	
問3-4-2	全部	解決できない問題	【問3-4-1で「解決できない場合がある」の方のみ】 その内容をできるだけ具体的に入力してください	記述			○	

⑱R7養護老人ホーム、軽費老人ホーム、ケアハウス、有料老人ホーム（特定施設入居者生活介護）調査

設問№	対象	設問趣旨	設問内容	回答形式	選択肢	見直し内容	要否	9期計画
問3-5	一部	夜間勤務体制（夜勤職員の配置）	夜間の勤務体制（夜勤職員の配置）について教えてください	単一	基準どおりの人数で夜勤職員を配置 基準を超える人数で夜勤職員の配置		○	
問3-6	一部	夜間の人員体制についての自由記載	ご意見などがありましたら、ご自由に入力してください	記述			○	
問3-7	一部	利用者と地域がつながるための工夫として行っている活動	利用者と地域のつながりを確保するための工夫として、どのような活動を行っていますか	複数	行きたい場所に行ったり、会いたい人に会わせたりする機会を設けている 地域行事（盆踊り、花見、敬老会など）に参加するようにしている 幼稚園児、小学生などとの世代間交流活動を行っている 買い物や散歩など、外出の機会を設けている 地域や家族に施設開放を行い、交流事業などを行っている ほかの事業者や施設と連携して、地域と交流する機会を設けている 町内会に加入している その他（具体的に ） 特に何も行っていない		○	
問3-8-1	全部	災害発生の備えとして既に取り組んでいること	災害発生の備えとして、既に取り組んでいるものは何ですか	複数	災害時に備えた定期的な避難訓練などの実施 災害時における対応マニュアルの策定 事業継続計画（BCP）の策定 地域住民との協力体制の構築 災害時における職員の役割分担 夜間における緊急連絡体制の整備 災害時における備蓄・備品の用意 その他（具体的に ）		○	○
問3-8-2	全部	災害発生時に備えた今後の地域との協力体制	【問3-8-1で「地域住民との協力体制の構築」を選択しなかった方のみ】災害発生時に備えて、地域との協力体制についてどのように考えていますか	単一	現在話し合い中 今後話し合う予定 その他（具体的に ） 特に考えていない		○	
4 職員への対応について								
問4-1-1		過去1年間の採用、定着状況	過去1年間における職員の採用状況と採用・退職の人数、定着状況（および平均在籍年数）をそれぞれ教えてください	記述	※表形式		○	
問4-1-1-ア-A	全部	採用状況、採用・退職者数	常勤職員	記述	（各職種それぞれについて）計画どおり採用できている 計画どおり採用できていない 採用計画はない 採用人数（ 人） 退職者数（ 人）		○	○
問4-1-1-ア-B			非常勤職員	記述	※表形式		○	○
問4-1-1-イ-A	全部	職員の定着状況	常勤職員	単一	良い 比較的良い あまり良くない 良くない		○	○
問4-1-1-イ-B			非常勤職員	単一	※表形式		○	
問4-1-2	全部	職員募集で効果があった方法	職員を募集するにあたり、効果があった方法は何ですか（3つ以内）	複数	ハローワークの活用 求人媒体の活用 大学・専門学校への依頼 人材派遣会社への依頼 人材紹介会社の活用 自社ホームページ・SNSなどの活用 知人からの紹介 その他（具体的に ）		○	
問4-1-3-ア	全部	介護サービスを提供する職員数（常勤換算）	介護サービスを提供する職員数は何人ですか。常勤換算で総数及び年代別の人数をお答えください ※ 非常勤職員を常勤換算する際は、別添Excel『職員数換算シート』をお使いください ※ 算出方法は、『非常勤職員の週あたり延べ勤務実績』÷『常勤職員が勤務すべき週あたりの勤務時間数（32時間を下回る場合は32時間）』です	記述	職員数（常勤換算）（ 名） うち29歳以下（ 名） 30～39歳（ 名） 40～49歳（ 名） 50～59歳（ 名） 60～69歳（ 名） 70歳以上（ 名）	年代別を追加	○	
問4-1-3-イ	全部	定年制度	貴事業所では、（正規雇用に係る）定年制度を設けていますか	単一	定年制度を設けている 定年制度を設けていない（年齢に関わらず働ける）	新規	☆	
問4-1-3-イ-A	全部	定年年齢	【問4-1-3-イで「設けている」の方のみ】定年年齢は何歳ですか	記載	（ 歳）	新規	☆	
問4-1-3-イ-B	全部	定年後の継続雇用制度	【問4-1-3-イで「設けている」の方のみ】定年後の継続雇用制度はありますか	単一	ある（上限がある 歳） ある（上限はない） ない	新規	☆	
問4-1-3-ウ	全部	職員数（実人数）	介護サービスを提供する職員の常勤・非常勤の実人数はそれぞれ何人ですか	記述	常勤職員（ 名） 非常勤職員（ 名）	新規	☆	
問4-1-3-エ	全部	職員数の過不足に対する考え	現状の職員数をどのように考えますか。 ※「さらに職員が必要」の場合は（ ）内に人数及びその理由	単一	現状の職員数で十分である さらに職員が必要（ 名）必要⇒理由（ ）		○	◎
問4-2	全部	過去1年間の職員の退職理由として多いと感じるもの	過去1年間に、貴事業所から退職された職員の方々の主な退職理由は何が多いと考えていますか（3つ以内）	複数	給与 就労時間や休暇などの勤務条件 職場環境 職場の人間関係 利用者などとの人間関係 健康 年齢 結婚 出産・育児 転職 家族の介護 家族の転勤 その他（具体的に ） 過去1年以内の退職はなかった		○	○
問4-3	全部	職員に対して行っている配慮	職員に対して、どのような配慮を行っていますか	複数	基本給以外の手当を支給している 健康診断等（定期健康診断以外）を実施している 通勤時や移動時の事故についての予防や対応策をとっている 被服や機器等の貸与を行っている 身体的負担への対応策をとっている 精神的ストレスの緩和・サポートを行っている 職場内コミュニケーションの円滑化を図っている カスタマーハラスメントへの対応策をとっている その他（具体的に ） 特にない		○	
問4-4	全部	職員を取り巻く状況の変化（5年前との比較）	貴事業所では、5年前と比較して職員の状況はどのように変化していますか	複数	1人当たりの仕事量が増えている 業務遂行に必要な人材が不足している 職場でのコミュニケーションや助け合いが減っている 業務についての研修の機会や場が少なくなっている 過労気味の職員が増えている サービスの量や質が落ちている その他（具体的に ）		○	
問4-5	全部	職員の給与に対する考え	職員の給与についてどのようにお考えですか	単一	職員は十分な給与が得られている 十分とはいえないが、職員は必要な給与を得られている 仕事の負担に対し、職員は給与が若干不足していると感じる 仕事の負担に対し、職員は十分な給与が得られていない		○	
問4-6	全部	全職員を対象に実施している内部研修	全職員を対象に実施している内部研修はどのようなものですか	複数	介護保険制度に関する研修 個人情報の取扱いに関する研修 リハビリテーション等に関する研修 事故防止に関する研修 認知症に関する研修 食事介助に関する研修 接遇研修 虐待に関する研修 身体拘束に関する研修 メンタルヘルスに関する研修 災害時対応に関する研修 感染症発生時対応に関する研修 ハラスメントに関する研修 ワークルールに関する研修 その他（具体的に ） 何も行っていない		○	○
問4-7	全部	外部研修などへの職員の参加	外部研修などへ職員を参加させるようにしていますか	単一	している していない		○	○
問4-8	全部	外部研修などへ参加させていない理由	【問4-7で「していない」の方のみ】外部研修などへの参加をさせていない理由は何ですか	複数	時間の余裕がない 費用が高額である 参加させたい研修がない 参加させる必要がない その他（具体的に ）		○	○
問4-9	全部	職員に受けさせたい外部研修	職員に受けさせたい外部研修は何ですか	複数	介護保険制度に関する研修 個人情報の取扱いに関する研修 リハビリテーション等に関する研修 事故防止に関する研修 認知症に関する研修 食事介助に関する研修 接遇研修 虐待に関する研修 身体拘束に関する研修 メンタルヘルスに関する研修 管理者・リーダー層の養成に関する研修 災害時対応に関する研修 感染症発生時対応に関する研修 ハラスメントに関する研修 ワークルールに関する研修 その他（具体的に ）		○	○
問4-10	一部	介護助手の活用	現在、介護助手（※）を活用していますか ※「介護助手」とは、原則として利用者の身体に直接触れる介助（食事、入浴、排せつ介助など）は行わず、清掃、配膳、話し相手など、介護職員の周辺業務サポートを主な業務とする職員（パート・アルバイトを含む雇用契約に基づいた職員）を指します。	単一	活用している 活用していない 介護助手が何か知らない	新規	☆	
問4-11	一部	介護助手の活用効果	【問4-10】で「活用している」の方のみ】介護助手を活用して感じられる効果を教えてください	複数	職員の負担が軽減された 研修の時間が増えた 利用者へのケアの時間が増えた 職場の雰囲気がよくなった その他（具体的に ） あまり効果は感じられない	新規	☆	

⑱R7養護老人ホーム、軽費老人ホーム、ケアハウス、有料老人ホーム（特定施設入居者生活介護）調査

設問№	対象	設問趣旨	設問内容	回答形式	選択肢	見直し内容	要否	9期計画
問4-12	一部	介護助手を活用する予定	【問4-10】で「活用していない」の方のみ】今後、介護助手を活用する予定はありますか	単一	予定がある 予定がない	新規	☆	
問4-13	一部	介護助手を活用しない理由	【問4-12】で「予定がない」の方のみ】介護助手を活用しない理由を教えてください	複数	予算の制約による 適切な人材が見つからない 介護助手の役割が明確でない 活用条件や労働条件に不安がある 利用者に介護助手への抵抗感がある 職員に介護助手への抵抗感がある 必要性を感じない その他（具体的に ）	新規	☆	
問4-14	全部	スポットワークの活用	いわゆるスポットワーク（※）を活用して介護職員を雇用したことがありますか ※ スポットワークとは、アプリ等をとおして単発や短時間の仕事を依頼することをいいます	単一	活用したことがある 活用したことがない スポットワークを知らない	新規	☆	
問4-15	全部	スポットワークの活用理由	【問4-14】で「活用したことがある」の方のみ どのような理由でスポットワークを活用しましたか	複数	既存職員の急な欠勤・休暇の補填 既存職員の急な退職の補填 コスト削減 繁忙期の一時的な人員補充 正規雇用前の試用的な雇用（採用活動） その他（具体的に ）	新規	☆	
問4-16		スポットワークでの雇用回数・従事内容・職員の能力	【問4-14】で「活用したことがある」の方のみ スポットワークで雇用した回数は何回程度ですか、また、どのような業務に従事したか、その職員の能力についてどの程度満足していますか			新規	☆	
問4-16-1	全部		雇用回数	記述	雇用回数（ 回）	新規	☆	
問4-16-2	全部		従事内容	複数	入浴介助 排泄介助 食事介助（口元への介助など） 体位交換・移乗介助 医療的ケア（服薬管理、バイタル測定など） 資格不要な周辺業務（配膳・見守りなど） その他（具体的に ）	新規	☆	
問4-16-3	全部		能力	単一	非常に満足 やや満足 やや不満 非常に不満	新規	☆	
問4-17	全部	スポットワーク導入の課題	【問4-14】で「活用したことがある」「活用したことがない」の方のみ スポットワークを導入するにあたり課題は何ですか	複数	信頼性・スキルに不安がある 雇用管理が煩雑 法制度や契約面で不安がある 仕組みがよく分からない 登録・契約手続きが煩雑 マッチング精度が低い コスト面の不安 特段の課題は無い その他（具体的に ）	新規	☆	
問4-18	全部	今後のスポットワークの活用	今後、スポットワークを活用したいと思いますか	単一	ぜひ活用したい 状況に応じて活用したい あまり活用したくない 全く活用したくない	新規	☆	
5 自由記載								
問5	全部	介護保険制度全般への要望・意見	介護報酬や職員体制、介護保険サービスの提供、その他介護保険制度全般のほか、今回の調査や札幌市の施策について、ご要望やご意見がありましたら、ご自由に入力してください	記述			○	

【資料9】R7介護保険サービス提供事業者調査（設置法人・団体のみ：46問）

設問№	設問趣旨	設問内容	回答形式	選択肢	見直し内容	要否	計画掲載
							9期
1 設置法人・団体の形態について							
問1	設置法人・団体の経営形態	設置法人・団体の経営形態について教えてください	単一	株式会社 医療法人 社会福祉法人 合同会社 財団法人 有限会社 NPO法人 合名会社 合資会社 その他（具体的に ）		○	
2 サービスの提供状況等について							
問2	札幌市内で運営（提供）している介護保険サービス	該当するサービスの種類を選択し、対応して表示される入力欄にその事業所数をそれぞれ入力してください	複数	訪問介護（ か所） 訪問入浴介護（ か所） 訪問看護（ か所） 訪問リハビリテーション（ か所） 居宅療養管理指導（ か所） 通所介護（ か所） 通所リハビリテーション（ か所） 短期入所生活介護（ か所） 短期入所療養介護（ か所） 特定施設入居者生活介護（ か所） 福祉用具貸与（ か所） 特定福祉用具販売（ か所） 居宅介護支援（ か所） 介護予防支援（ か所） 介護老人福祉施設（ か所） 介護老人保健施設（ か所） 介護医療院（ か所） 定期巡回・随時対応型訪問介護看護（ か所） 夜間対応型訪問介護（ か所） 地域密着型通所介護（ か所） 認知症対応型通所介護（ か所） 小規模多機能型居宅介護（ か所） 認知症対応型共同生活介護（ か所） 地域密着型特定施設入居者生活介護（ か所） 地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護（ か所） 看護小規模多機能型居宅介護（ か所） 訪問型サービス（ 総合事業）（ か所） 通所型サービス（総合事業）（ か所） 通所型サービス時間短縮型（総合事業）（ か所）	選択肢修正（療養型を削除、文言を修正）	○	
3 事業の収支状況について							
問3-1	介護保険サービス事業の収支状況（令和6年度実績）	介護保険サービス事業の令和6年度実績における収支はどのような状況ですか。現在、札幌市内で提供しているサービス事業全体およびサービス種類別に教えてください ※同一サービス種類で複数の事業所を運営している場合は、それらの平均的な収支状況を教えてください	単一			○	
問3-1-A		サービス事業全体		黒字 やや黒字 ほぼ均衡 やや赤字 赤字			
問3-1-A-1		訪問介護		黒字 やや黒字 ほぼ均衡 やや赤字 赤字			
問3-1-A-2		訪問入浴介護		黒字 やや黒字 ほぼ均衡 やや赤字 赤字			
問3-1-A-3		訪問看護		黒字 やや黒字 ほぼ均衡 やや赤字 赤字			
問3-1-A-4		訪問リハビリテーション		黒字 やや黒字 ほぼ均衡 やや赤字 赤字			
問3-1-A-5		居宅療養管理指導		黒字 やや黒字 ほぼ均衡 やや赤字 赤字			
問3-1-A-6		通所介護		黒字 やや黒字 ほぼ均衡 やや赤字 赤字			
問3-1-A-7		通所リハビリテーション		黒字 やや黒字 ほぼ均衡 やや赤字 赤字			
問3-1-A-8		短期入所生活介護		黒字 やや黒字 ほぼ均衡 やや赤字 赤字			
問3-1-A-9		短期入所療養介護		黒字 やや黒字 ほぼ均衡 やや赤字 赤字			
問3-1-A-10		特定施設入居者生活介護		黒字 やや黒字 ほぼ均衡 やや赤字 赤字			
問3-1-A-11		福祉用具貸与		黒字 やや黒字 ほぼ均衡 やや赤字 赤字			
問3-1-A-12		特定福祉用具販売		黒字 やや黒字 ほぼ均衡 やや赤字 赤字			
問3-1-A-13		居宅介護支援		黒字 やや黒字 ほぼ均衡 やや赤字 赤字			
問3-1-A-14		介護予防支援		黒字 やや黒字 ほぼ均衡 やや赤字 赤字			
問3-1-A-15		介護老人福祉施設		黒字 やや黒字 ほぼ均衡 やや赤字 赤字			
問3-1-A-16		介護老人保健施設		黒字 やや黒字 ほぼ均衡 やや赤字 赤字			
問3-1-A-17		介護医療院		黒字 やや黒字 ほぼ均衡 やや赤字 赤字			
問3-1-A-18		定期巡回・随時対応型訪問介護看護		黒字 やや黒字 ほぼ均衡 やや赤字 赤字			
問3-1-A-19		夜間対応型訪問介護		黒字 やや黒字 ほぼ均衡 やや赤字 赤字			
問3-1-A-20		地域密着型通所介護		黒字 やや黒字 ほぼ均衡 やや赤字 赤字			
問3-1-A-21		認知症対応型通所介護		黒字 やや黒字 ほぼ均衡 やや赤字 赤字			
問3-1-A-22		小規模多機能型居宅介護		黒字 やや黒字 ほぼ均衡 やや赤字 赤字			
問3-1-A-23		認知症対応型共同生活介護		黒字 やや黒字 ほぼ均衡 やや赤字 赤字			
問3-1-A-24		地域密着型特定施設入居者生活介護		黒字 やや黒字 ほぼ均衡 やや赤字 赤字			
問3-1-A-25		地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護		黒字 やや黒字 ほぼ均衡 やや赤字 赤字			
問3-1-A-26		看護小規模多機能型居宅介護		黒字 やや黒字 ほぼ均衡 やや赤字 赤字			
問3-1-A-27		訪問型サービス（訪問介護相当型）		黒字 やや黒字 ほぼ均衡 やや赤字 赤字			
問3-1-A-28		通所型サービス（通所介護相当型）		黒字 やや黒字 ほぼ均衡 やや赤字 赤字			
問3-1-A-29		通所型サービス（時間短縮型）		黒字 やや黒字 ほぼ均衡 やや赤字 赤字			
問3-2	介護保険サービス事業の収支状況（令和7年度見通し）	介護保険サービス事業の令和7年度における収支の見通しはどのような状況ですか。現在、札幌市内で提供しているサービス事業全体およびサービス種類別に教えてください ※同一サービス種類で複数の事業所を運営している場合は、それらの平均的な収支状況を教えてください	単一			○	
問3-2-0		サービス事業全体		黒字 やや黒字 ほぼ均衡 やや赤字 赤字			
問3-2-1		訪問介護		黒字 やや黒字 ほぼ均衡 やや赤字 赤字			
問3-2-2		訪問入浴介護		黒字 やや黒字 ほぼ均衡 やや赤字 赤字			
問3-2-3		訪問看護		黒字 やや黒字 ほぼ均衡 やや赤字 赤字			
問3-2-4		訪問リハビリテーション		黒字 やや黒字 ほぼ均衡 やや赤字 赤字			
問3-2-5		居宅療養管理指導		黒字 やや黒字 ほぼ均衡 やや赤字 赤字			
問3-2-6		通所介護		黒字 やや黒字 ほぼ均衡 やや赤字 赤字			
問3-2-7		通所リハビリテーション		黒字 やや黒字 ほぼ均衡 やや赤字 赤字			
問3-2-8		短期入所生活介護		黒字 やや黒字 ほぼ均衡 やや赤字 赤字			
問3-2-9		短期入所療養介護		黒字 やや黒字 ほぼ均衡 やや赤字 赤字			
問3-2-10		特定施設入居者生活介護		黒字 やや黒字 ほぼ均衡 やや赤字 赤字			
問3-2-11		福祉用具貸与		黒字 やや黒字 ほぼ均衡 やや赤字 赤字			

【資料9】R7介護保険サービス提供事業者調査

(設置法人・団体のみ：46問)

設問№	設問趣旨	設問内容	回答形式	選択肢	見直し内容	要否	計画掲載
問3-2-12		特定福祉用具販売		黒字 やや黒字 ほぼ均衡 やや赤字 赤字			
問3-2-13		居宅介護支援		黒字 やや黒字 ほぼ均衡 やや赤字 赤字			
問3-2-14		介護予防支援		黒字 やや黒字 ほぼ均衡 やや赤字 赤字			
問3-2-15		介護老人福祉施設		黒字 やや黒字 ほぼ均衡 やや赤字 赤字			
問3-2-16		介護老人保健施設		黒字 やや黒字 ほぼ均衡 やや赤字 赤字			
問3-2-17		介護医療院		黒字 やや黒字 ほぼ均衡 やや赤字 赤字			
問3-2-18		定期巡回・随時対応型訪問介護看護		黒字 やや黒字 ほぼ均衡 やや赤字 赤字			
問3-2-19		夜間対応型訪問介護		黒字 やや黒字 ほぼ均衡 やや赤字 赤字			
問3-2-20		地域密着型通所介護		黒字 やや黒字 ほぼ均衡 やや赤字 赤字			
問3-2-21		認知症対応型通所介護		黒字 やや黒字 ほぼ均衡 やや赤字 赤字			
問3-2-22		小規模多機能型居宅介護		黒字 やや黒字 ほぼ均衡 やや赤字 赤字			
問3-2-23		認知症対応型共同生活介護		黒字 やや黒字 ほぼ均衡 やや赤字 赤字			
問3-2-24		地域密着型特定施設入居者生活介護		黒字 やや黒字 ほぼ均衡 やや赤字 赤字			
問3-2-25		地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護		黒字 やや黒字 ほぼ均衡 やや赤字 赤字			
問3-2-26		看護小規模多機能型居宅介護		黒字 やや黒字 ほぼ均衡 やや赤字 赤字			
問3-2-27		訪問型サービス（総合事業）		黒字 やや黒字 ほぼ均衡 やや赤字 赤字			
問3-2-28		通所型サービス（総合事業）		黒字 やや黒字 ほぼ均衡 やや赤字 赤字			
問3-2-29		通所型サービス時間短縮型（総合事業）		黒字 やや黒字 ほぼ均衡 やや赤字 赤字			
4 事業所の運営について							
問4-1	事業所運営に関する問題点	現在運営している事業所について、運営に関する問題点はどのようなものがありますか	複数	介護従事者（ヘルパーなど）の確保が難しい 専門職（看護師、理学療法士など）の確保が難しい 人材育成が難しい 職員が定着しにくい 経営経費・活動資金が不足している 介護報酬が実態にそぐわない 利用者の継続的な確保が難しい その他（具体的に ） 特に問題はない		○	
問4-2	従事者確保が難しい主な原因	【問4-1で「介護従事者の確保が難しい」の方のみ】 主な原因をどのように考えていますか	複数	仕事に見合わない給与 重労働 不規則勤務がある 職場の人間関係の難しさ その他（具体的に ）		○	
問4-3	介護報酬の設定金額に対する考え	【問4-1で「介護報酬が実態にそぐわない」の方のみ】 介護報酬の設定金額について、現在生じている課題とどのような改善が必要と思うか教えてください	記述				
問4-4	経営に関する問題を解決する際の相談先	【問4-1で「特に問題はない」以外の方のみ】 運営に関する問題点を解決するために、どのようなところに相談していますか	複数	関連法人・事業所 他の介護保険サービス運営法人・事業所 公の経営相談窓口 民間の経営コンサルタント、公認会計士・中小企業診断士などの専門家 その他（具体的に ） 特に相談はしていない		○	
問4-5-1	人材確保のために現在行っている取組	人材の確保のために、現在どのような取組を行っていますか	複数	職員に対して、給与面の待遇を手厚くする 職員に対して、福利厚生など給与面以外の待遇を手厚くする 短時間での柔軟な勤務など、多様な勤務条件を設定する 十分な研修の機会を設けるなど、介護職未経験者でも働きやすい取組を実施する ハローワークや人材派遣会社などが開催する合同就職相談説明会などに積極的に参加する 介護職の養成施設・福祉系学校などに対して、就職希望者を紹介してもらえるよう積極的に働きかける ホームページやSNSなどの活用により事業所の情報を発信する 現場体験の機会を設けるなど、就職希望者に介護の現場を知ってもらう取組を進める 事業所の地域開放や地域行事への参加を通じて、事業所の取組を知ってもらう 志望者を増やすため、中学・高校生や就職前の学生など若年層に対する啓発・PR活動などに取り組む その他（具体的に ） 特にない		○	
問4-5-2	人材確保のために今後取り組んでいきたいもの	人材の確保のために、今後取り組んでいきたいものはありますか	複数	職員に対して、給与面の待遇を手厚くする 職員に対して、福利厚生など給与面以外の待遇を手厚くする 短時間での柔軟な勤務など、多様な勤務条件を設定する 十分な研修の機会を設けるなど、介護職未経験者でも働きやすい取組を実施する ハローワークや人材派遣会社などが開催する合同就職相談説明会などに積極的に参加する 介護職の養成施設・福祉系学校などに対して、就職希望者を紹介してもらえるよう積極的に働きかける ホームページやSNSなどの活用により事業所の情報を発信する 現場体験の機会を設けるなど、就職希望者に介護の現場を知ってもらう取組を進める 事業所の地域開放や地域行事への参加を通じて、事業所の取組を知ってもらう 志望者を増やすため、中学・高校生や就職前の学生など若年層に対する啓発・PR活動などに取り組む その他（具体的に ） 特にない		○	
問4-6-1	人材の定着化のために現在行っている取組	採用した人材の定着化を図るために、現在どのような取組を行っていますか	複数	残業を少なくする・本人の希望に応じた勤務体制にするなどの労働条件の改善 賃金水準の向上 能力や仕事ぶりを評価し、賃金などの処遇に反映 職員の仕事内容と必要な能力などを明示 キャリアに応じた給与体系を整備 有期雇用職員から無期雇用職員への転換の機会を設ける 新人の指導担当・アドバイザーを置く 能力開発の充実（社内研修実施、社外講習等の受講・支援など） 仕事内容の希望を聞いて配置 悩み・不満・不安などの相談窓口を設ける 健康対策や健康管理に力を入れる 定期的なミーティングなど、職場内の仕事上のコミュニケーションの円滑化 経営者・管理者と従業員が経営方針・ケア方針を共有する機会を設ける 業務改善や効率化などによる働きやすい職場作り 介護ロボットやICTなどの導入による働きやすい職場作り 福利厚生を充実 職場環境を整える（休憩室、談話室、出社時に座れる席の確保など） 子育て支援を行う（子ども預かり所を設ける、保育費用支援など） その他（具体的に ） 特にない		○	
問4-6-2	人材の定着化のために今後行いたい取組	採用した人材の定着化を図るために、今後取り組んでいきたいものはありますか	複数	残業を少なくする・本人の希望に応じた勤務体制にするなどの労働条件の改善 賃金水準の向上 能力や仕事ぶりを評価し、賃金などの処遇に反映 職員の仕事内容と必要な能力などを明示 キャリアに応じた給与体系を整備 有期雇用職員から無期雇用職員への転換の機会を設ける 新人の指導担当・アドバイザーを置く 能力開発の充実（社内研修実施、社外講習等の受講・支援など） 仕事内容の希望を聞いて配置 悩み・不満・不安などの相談窓口を設ける 健康対策や健康管理に力を入れる 定期的なミーティングなど、職場内の仕事上のコミュニケーションの円滑化 経営者・管理者と従業員が経営方針・ケア方針を共有する機会を設ける 業務改善や効率化などによる働きやすい職場作り 介護ロボットやICTなどの導入による働きやすい職場作り 福利厚生を充実 職場環境を整える（休憩室、談話室、出社時に座れる席の確保など） 子育て支援を行う（子ども預かり所を設ける、保育費用支援など） その他（具体的に ） 特にない		○	
問4-7-1	外国人介護人材の採用実績	外国人介護人材の採用実績について教えてください	単一	現在採用している 過去に採用していた これまで採用したことはない	選択肢修正（文言）	○	
問4-7-2	採用した外国人介護人材の状況	【問4-7-1で「採用している（していた）」の方のみ】 概ねここ3年間で採用した人数（うち転職者数）、国籍、従事した介護サービス種類について教えてください。また、在留資格について該当するものを選択し、それぞれの人数を教えてください	記述	採用人数（ 人） うち転職者数（介護業界からの転職（ 人） 他業界からの転職（ 人）） 国籍（ ） 従事した介護サービスの種類（ ） 在留資格（EPA（経済連携協定）（ 人） 技能実習（ 人） 在留資格「介護」（ 人） 特定技能（ 人） その他（具体的に ））※選択した在留資格のみ人数入力	選択肢修正 転職者数、在留資格	○	

【資料9】R7介護保険サービス提供事業者調査（設置法人・団体のみ：46問）

設問№	設問趣旨	設問内容	回答形式	選択肢	見直し内容	要否	計画掲載
問4-7-3	今後の外国人介護人材の採用予定とその理由	今後の外国人介護人材の採用予定とその理由を教えてください	単一	採用したいと考えている（理由： ） 検討中 当面はない	設問文修正（文言）	○	
問4-7-4	採用を検討している外国人介護人材の在留資格	【問4-7-3で「当面はない」以外の方のみ】 どのような在留資格の外国人介護人材について採用を検討していますか	複数	EPA（経済連携協定） 技能実習 在留資格「介護」 特定技能 その他（具体的に ）		○	
問4-7-5	外国人介護人材の採用・受け入れの不安や負担	外国人介護人材の採用・受け入れにあたり、不安や負担を感じていることはありますか	複数	採用コスト（紹介料、渡航費など） 教育・研修にかかる時間と人員の確保 日本語能力の不足 文化・宗教・生活習慣の違いへの対応 日常生活の支援（住居・被服など） 職場内のコミュニケーション 利用者とのコミュニケーション 離職率の高さ その他（具体的に ） 特に不安や負担を感じていることはない	選択肢修正 文言修正、生活支援	○	
問4-7-6	外国人介護人材の退職の有無	【問4-7-1で「採用している（していた）」の方のみ】 概ねここ3年間で退職した外国人介護人材はいいますか	単一	いる いない	新規	☆	
問4-7-7	外国人介護人材の退職人数	【問4-7-6で「いる」の方のみ】 概ねここ3年間で退職した外国人介護人材の人数を教えてください	記述	（ ）人	新規	☆	
問4-7-8	外国人介護人材の退職後の進路	【問4-7-6で「いる」の方のみ】 外国人介護人材の退職後の進路について該当するものを全て選択し、それぞれの人数を教えてください	複数	在留期間満了による帰国（ ）人 在留期間中の自主帰国（ ）人 札幌市内介護事業所への転職（ ）人 道内（札幌市除く）介護事業所への転職（ ）人 道外介護事業所への転職（ ）人 介護業界以外への転職（ ）人 不明（ ）人 ※選択した進路のみ人数入力	新規	☆	
問4-7-9	外国人介護人材の退職の要因	【問4-7-8で「在留期間満了による帰国」以外の方のみ】 「在留期間満了による帰国」以外の外国人介護人材の退職について、その背景と考えられる要因を教えてください ※3つまで選択	複数	給与・待遇への不満 職場の人間関係 業務のサポート体制の不足 日本語・コミュニケーションの難しさ 私的な生活面の困難（生活費や友人など） 地域の実生活環境の不便さ（交通・買い物など） 気候や地域特性が合わない 他事業所からの引き抜き その他（具体的に ）	新規	☆	
問4-7-10	外国人介護人材の採用に関する要望・意見	外国人介護人材の採用に関して、知りたいこと、望むこと、札幌市に対してのご意見やご要望がありましたら、ご自由に入力してください	記述			○	
問4-8-1	一般事務以外で受け入れている派遣労働者の有無	貴法人では一般事務以外で派遣労働者を受け入れていますか	単一	いる いない		○	
問4-8-2	受け入れている派遣労働者の職種と人数	【問4-8-1で「受け入れている」の方のみ】 ※該当する派遣労働者の職種を選択し、対応して表示される入力欄にその受入人数をそれぞれ入力してください	記述	訪問介護員（ ）人 介護職員（ ）人 看護職員（ ）人 介護報酬請求事務（ ）人 その他（ ）人		○	
問4-8-3	直近1年間の介護事業収入に占める割合	直近1年間の介護事業収入に占める人件費の割合（労働保険、社会保険料を含む）と派遣料金の割合をそれぞれ教えてください	記述	人件費の割合（派遣料金を含まない）（ ）％ 派遣料金の割合（派遣労働者を受け入れていない場合は0）（ ）％		○	
問4-9-1	一般事務以外の採用における人材紹介会社の利用状況	貴法人・団体での一般事務以外の採用における民間職業紹介事業者（人材紹介）の利用状況について伺います	単一	直近1年間で利用した 過去に利用したことがある 利用したことはない		○	
問4-9-2	人材紹介会社を利用して採用した職員の職種と人数	【問4-9-1で「直近1年間で利用した」の方のみ】 該当する人材紹介会社を利用して採用職員の職種を選択し、対応して表示される入力欄にその採用人数をそれぞれ入力してください	記述	訪問介護員（ ）人 介護職員（ ）人 看護職員（ ）人 介護報酬請求事務（ ）人 その他（ ）人		○	
問4-9-3	直近1年間に人材紹介会社に支払ったおおよその手数料	【問4-9-1で「直近1年間で利用した」の方のみ】 直近1年間で貴法人が採用にあたり民間職業紹介事業者に支払ったおおよその手数料を教えてください	記述	（約 ）万円		○	
問4-10-1	生産性向上や業務効率化のために現在行っている取組	生産性向上や業務効率化を図るために、現在どのような取組を行っていますか	複数	介護ロボットの活用（移乗介助・移動支援・排泄支援・入浴支援などに関するもの） 介護ロボットの活用（見守りコミュニケーション・介護業務支援などに関するもの） 介護記録、ケアプラン作成等にA I ・ I C T 機器(介護ソフトが入ったタブレット端末など)の活用 介護助手の活用 ボランティアの活用 その他（具体的に ） 特にない		○	○
問4-10-2	生産性向上や業務効率化のために今後行いたい取組	生産性向上や業務効率化を図るために、今後取り組んでいきたいものはありますか	複数	介護ロボットの活用（移乗介助・移動支援・排泄支援・入浴支援などに関するもの） 介護ロボットの活用（見守りコミュニケーション・介護業務支援などに関するもの） 介護記録、ケアプラン作成等にA I ・ I C T 機器(介護ソフトが入ったタブレット端末など)の活用 介護助手の活用 ボランティアの活用 その他（具体的に ） 特にない		○	○
問4-11	人材確保・定着に向けた行政の取組に対する要望・意見	人材の確保・定着のために行政に取り組んでほしいことがありましたら、ご自由に入力してください	記述			○	
5 今後のサービスについて							
問5-1	事業所の増設・参入予定	現在、札幌市内で提供している介護保険サービスについて、今後、事業所を増やす予定や、新たなサービスに参入する予定はありますか	単一	ある ない		○	
問5-2	増設・参入予定の介護保険サービス提供事業所	【問5-1で「ある」の方のみ】 該当するサービスの種類を選択し、対応して表示される入力欄にその開設予定事業所数と時期、開設予定エリアをそれぞれ入力・選択してください（※「27.」～「29.」は、介護予防・日常生活支援総合事業のサービス類型です）	記述			○	
問5-2-1		訪問介護		開設予定事業所数と時期（ ）か所程度（令和 ）年度頃） 開設エリア（中央区 北区 東区 白石区 厚別区 豊平区 清田区 南区 西区 手稲区 札幌市以外）			
問5-2-2		訪問入浴介護		開設予定事業所数と時期（ ）か所程度（令和 ）年度頃） 開設エリア（中央区 北区 東区 白石区 厚別区 豊平区 清田区 南区 西区 手稲区 札幌市以外）			
問5-2-3		訪問看護		開設予定事業所数と時期（ ）か所程度（令和 ）年度頃） 開設エリア（中央区 北区 東区 白石区 厚別区 豊平区 清田区 南区 西区 手稲区 札幌市以外）			
問5-2-4		訪問リハビリテーション		開設予定事業所数と時期（ ）か所程度（令和 ）年度頃） 開設エリア（中央区 北区 東区 白石区 厚別区 豊平区 清田区 南区 西区 手稲区 札幌市以外）			
問5-2-5		居宅療養管理指導		開設予定事業所数と時期（ ）か所程度（令和 ）年度頃） 開設エリア（中央区 北区 東区 白石区 厚別区 豊平区 清田区 南区 西区 手稲区 札幌市以外）			
問5-2-6		通所介護		開設予定事業所数と時期（ ）か所程度（令和 ）年度頃） 開設エリア（中央区 北区 東区 白石区 厚別区 豊平区 清田区 南区 西区 手稲区 札幌市以外）			
問5-2-7		通所リハビリテーション		開設予定事業所数と時期（ ）か所程度（令和 ）年度頃） 開設エリア（中央区 北区 東区 白石区 厚別区 豊平区 清田区 南区 西区 手稲区 札幌市以外）			

設問№	設問趣旨	設問内容	回答形式	選択肢	見直し内容	要否	計画掲載
問5-2-8		短期入所生活介護		開設予定事業所数と時期（ 開設エリア（中央区 北区 東区 白石区 厚別区 か所程度（令和 年度頃） 豊平区 清田区 南区 西区 手稲区 札幌市以外）			
問5-2-9		短期入所療養介護		開設予定事業所数と時期（ 開設エリア（中央区 北区 東区 白石区 厚別区 か所程度（令和 年度頃） 豊平区 清田区 南区 西区 手稲区 札幌市以外）			
問5-2-10		特定施設入居者生活介護		開設予定事業所数と時期（ 開設エリア（中央区 北区 東区 白石区 厚別区 か所程度（令和 年度頃） 豊平区 清田区 南区 西区 手稲区 札幌市以外）			
問5-2-11		福祉用具貸与		開設予定事業所数と時期（ 開設エリア（中央区 北区 東区 白石区 厚別区 か所程度（令和 年度頃） 豊平区 清田区 南区 西区 手稲区 札幌市以外）			
問5-2-12		特定福祉用具販売		開設予定事業所数と時期（ 開設エリア（中央区 北区 東区 白石区 厚別区 か所程度（令和 年度頃） 豊平区 清田区 南区 西区 手稲区 札幌市以外）			
問5-2-13		居宅介護支援		開設予定事業所数と時期（ 開設エリア（中央区 北区 東区 白石区 厚別区 か所程度（令和 年度頃） 豊平区 清田区 南区 西区 手稲区 札幌市以外）			
問5-2-14		介護予防支援		開設予定事業所数と時期（ 開設エリア（中央区 北区 東区 白石区 厚別区 か所程度（令和 年度頃） 豊平区 清田区 南区 西区 手稲区 札幌市以外）	追加		
問5-2-15		介護老人福祉施設		開設予定事業所数と時期（ 開設エリア（中央区 北区 東区 白石区 厚別区 か所程度（令和 年度頃） 豊平区 清田区 南区 西区 手稲区 札幌市以外）			
問5-2-16		介護老人保健施設		開設予定事業所数と時期（ 開設エリア（中央区 北区 東区 白石区 厚別区 か所程度（令和 年度頃） 豊平区 清田区 南区 西区 手稲区 札幌市以外）			
問5-2-17		介護医療院		開設予定事業所数と時期（ 開設エリア（中央区 北区 東区 白石区 厚別区 か所程度（令和 年度頃） 豊平区 清田区 南区 西区 手稲区 札幌市以外）			
問5-2-18		定期巡回・随時対応型訪問介護看護		開設予定事業所数と時期（ 開設エリア（中央区 北区 東区 白石区 厚別区 か所程度（令和 年度頃） 豊平区 清田区 南区 西区 手稲区 札幌市以外）			
問5-2-19		夜間対応型訪問介護		開設予定事業所数と時期（ 開設エリア（中央区 北区 東区 白石区 厚別区 か所程度（令和 年度頃） 豊平区 清田区 南区 西区 手稲区 札幌市以外）			
問5-2-20		地域密着型通所介護		開設予定事業所数と時期（ 開設エリア（中央区 北区 東区 白石区 厚別区 か所程度（令和 年度頃） 豊平区 清田区 南区 西区 手稲区 札幌市以外）			
問5-2-21		認知症対応型通所介護		開設予定事業所数と時期（ 開設エリア（中央区 北区 東区 白石区 厚別区 か所程度（令和 年度頃） 豊平区 清田区 南区 西区 手稲区 札幌市以外）			
問5-2-22		小規模多機能型居宅介護		開設予定事業所数と時期（ 開設エリア（中央区 北区 東区 白石区 厚別区 か所程度（令和 年度頃） 豊平区 清田区 南区 西区 手稲区 札幌市以外）			
問5-2-23		認知症対応型共同生活介護		開設予定事業所数と時期（ 開設エリア（中央区 北区 東区 白石区 厚別区 か所程度（令和 年度頃） 豊平区 清田区 南区 西区 手稲区 札幌市以外）			
問5-2-24		地域密着型特定施設入居者生活介護		開設予定事業所数と時期（ 開設エリア（中央区 北区 東区 白石区 厚別区 か所程度（令和 年度頃） 豊平区 清田区 南区 西区 手稲区 札幌市以外）			
問5-2-25		地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護		開設予定事業所数と時期（ 開設エリア（中央区 北区 東区 白石区 厚別区 か所程度（令和 年度頃） 豊平区 清田区 南区 西区 手稲区 札幌市以外）			
問5-2-26		看護小規模多機能型居宅介護		開設予定事業所数と時期（ 開設エリア（中央区 北区 東区 白石区 厚別区 か所程度（令和 年度頃） 豊平区 清田区 南区 西区 手稲区 札幌市以外）			
問5-2-27		訪問型サービス（総合事業）		開設予定事業所数と時期（ 開設エリア（中央区 北区 東区 白石区 厚別区 か所程度（令和 年度頃） 豊平区 清田区 南区 西区 手稲区 札幌市以外）			
問5-2-28		通所型サービス（総合事業）		開設予定事業所数と時期（ 開設エリア（中央区 北区 東区 白石区 厚別区 か所程度（令和 年度頃） 豊平区 清田区 南区 西区 手稲区 札幌市以外）			
問5-2-29		通所型サービス時間短縮型（総合事業）		開設予定事業所数と時期（ 開設エリア（中央区 北区 東区 白石区 厚別区 か所程度（令和 年度頃） 豊平区 清田区 南区 西区 手稲区 札幌市以外）			
問5-3	総合事業の基準緩和	札幌市が、総合事業において訪問型サービス・通所型サービスの基準緩和を導入するとした場合に、現行の基準の中で、緩和を望むのはどの項目ですか					
問5-3-1	総合事業訪問型サービスが基準緩和されるなら望むこと	人員基準	複数	管理者（訪問）の配置基準の緩和 訪問介護員の配置基準の緩和 サービス提供責任者の配置基準の緩和 その他（具体的に ） 特に望むことはない		○	
問5-3-2	総合事業通所型サービスが基準緩和されるなら望むこと	人員基準	複数	管理者（通所）の配置基準の緩和 生活相談員の配置基準の緩和 看護職員の配置基準の緩和 介護職員の配置基準の緩和 機能訓練指導員の配置基準の緩和 その他（具体的に ） 特に望むことはない		○	
		施設基準	複数	食堂及び機能訓練室の設置基準の緩和 静養室の設置基準の緩和 相談室の設置基準の緩和 事務室の設置基準の緩和 その他（具体的に ） 特に望むことはない		○	
問5-4	事業所の削減予定の有無	現在、札幌市内で提供している介護保険サービスについて、今後、事業所の数を削減する予定はありますか	単一	ある ない		○	
問5-5	事業所を削減する理由	【問5-4で「ある」の方のみ】 削減する理由は何ですか	複数	必要な従業員を確保できない 採算が合わない 事業所を譲渡するから 他のサービス種類へ変更するから その他（具体的に ）		○	
問5-6	削減予定の介護保険サービス提供事業所	【問5-4で「ある」の方のみ】 該当するサービスの種類を選択し、対応して表示される入力欄にその削減予定事業所数と時期、削減予定エリアをそれぞれ入力・選択してください（※ 介護予防・日常生活支援総合事業のみを廃止する場合は「27.」～「29.」を選択してください）	記述			○	
問5-6-1		訪問介護		開設予定事業所数と時期（ 開設エリア（中央区 北区 東区 白石区 厚別区 か所程度（令和 年度頃） 豊平区 清田区 南区 西区 手稲区 札幌市以外）			
問5-6-2		訪問入浴介護		開設予定事業所数と時期（ 開設エリア（中央区 北区 東区 白石区 厚別区 か所程度（令和 年度頃） 豊平区 清田区 南区 西区 手稲区 札幌市以外）			
問5-6-3		訪問看護		開設予定事業所数と時期（ 開設エリア（中央区 北区 東区 白石区 厚別区 か所程度（令和 年度頃） 豊平区 清田区 南区 西区 手稲区 札幌市以外）			
問5-6-4		訪問リハビリテーション		開設予定事業所数と時期（ 開設エリア（中央区 北区 東区 白石区 厚別区 か所程度（令和 年度頃） 豊平区 清田区 南区 西区 手稲区 札幌市以外）			

設問№	設問趣旨	設問内容	回答形式	選択肢	見直し内容	要否	計画掲載
問5-6-5		居宅療養管理指導		開設予定事業所数と時期（ 開設エリア（中央区 北区 東区 白石区 厚別区 か所程度（令和 年度頃） 豊平区 清田区 南区 西区 手稲区 札幌市以外）			
問5-6-6		通所介護		開設予定事業所数と時期（ 開設エリア（中央区 北区 東区 白石区 厚別区 か所程度（令和 年度頃） 豊平区 清田区 南区 西区 手稲区 札幌市以外）			
問5-6-7		通所リハビリテーション		開設予定事業所数と時期（ 開設エリア（中央区 北区 東区 白石区 厚別区 か所程度（令和 年度頃） 豊平区 清田区 南区 西区 手稲区 札幌市以外）			
問5-6-8		短期入所生活介護		開設予定事業所数と時期（ 開設エリア（中央区 北区 東区 白石区 厚別区 か所程度（令和 年度頃） 豊平区 清田区 南区 西区 手稲区 札幌市以外）			
問5-6-9		短期入所療養介護		開設予定事業所数と時期（ 開設エリア（中央区 北区 東区 白石区 厚別区 か所程度（令和 年度頃） 豊平区 清田区 南区 西区 手稲区 札幌市以外）			
問5-6-10		特定施設入居者生活介護		開設予定事業所数と時期（ 開設エリア（中央区 北区 東区 白石区 厚別区 か所程度（令和 年度頃） 豊平区 清田区 南区 西区 手稲区 札幌市以外）			
問5-6-11		福祉用具貸与		開設予定事業所数と時期（ 開設エリア（中央区 北区 東区 白石区 厚別区 か所程度（令和 年度頃） 豊平区 清田区 南区 西区 手稲区 札幌市以外）			
問5-6-12		特定福祉用具販売		開設予定事業所数と時期（ 開設エリア（中央区 北区 東区 白石区 厚別区 か所程度（令和 年度頃） 豊平区 清田区 南区 西区 手稲区 札幌市以外）			
問5-6-13		居宅介護支援		開設予定事業所数と時期（ 開設エリア（中央区 北区 東区 白石区 厚別区 か所程度（令和 年度頃） 豊平区 清田区 南区 西区 手稲区 札幌市以外）			
問5-6-14		介護予防支援		開設予定事業所数と時期（ 開設エリア（中央区 北区 東区 白石区 厚別区 か所程度（令和 年度頃） 豊平区 清田区 南区 西区 手稲区 札幌市以外）	追加		
問5-6-15		介護老人福祉施設		開設予定事業所数と時期（ 開設エリア（中央区 北区 東区 白石区 厚別区 か所程度（令和 年度頃） 豊平区 清田区 南区 西区 手稲区 札幌市以外）			
問5-6-16		介護老人保健施設		開設予定事業所数と時期（ 開設エリア（中央区 北区 東区 白石区 厚別区 か所程度（令和 年度頃） 豊平区 清田区 南区 西区 手稲区 札幌市以外）			
問5-6-17		介護医療院		開設予定事業所数と時期（ 開設エリア（中央区 北区 東区 白石区 厚別区 か所程度（令和 年度頃） 豊平区 清田区 南区 西区 手稲区 札幌市以外）			
問5-6-18		定期巡回・随時対応型訪問介護看護		開設予定事業所数と時期（ 開設エリア（中央区 北区 東区 白石区 厚別区 か所程度（令和 年度頃） 豊平区 清田区 南区 西区 手稲区 札幌市以外）			
問5-6-19		夜間対応型訪問介護		開設予定事業所数と時期（ 開設エリア（中央区 北区 東区 白石区 厚別区 か所程度（令和 年度頃） 豊平区 清田区 南区 西区 手稲区 札幌市以外）			
問5-6-20		地域密着型通所介護		開設予定事業所数と時期（ 開設エリア（中央区 北区 東区 白石区 厚別区 か所程度（令和 年度頃） 豊平区 清田区 南区 西区 手稲区 札幌市以外）			
問5-6-21		認知症対応型通所介護		開設予定事業所数と時期（ 開設エリア（中央区 北区 東区 白石区 厚別区 か所程度（令和 年度頃） 豊平区 清田区 南区 西区 手稲区 札幌市以外）			
問5-6-22		小規模多機能型居宅介護		開設予定事業所数と時期（ 開設エリア（中央区 北区 東区 白石区 厚別区 か所程度（令和 年度頃） 豊平区 清田区 南区 西区 手稲区 札幌市以外）			
問5-6-23		認知症対応型共同生活介護		開設予定事業所数と時期（ 開設エリア（中央区 北区 東区 白石区 厚別区 か所程度（令和 年度頃） 豊平区 清田区 南区 西区 手稲区 札幌市以外）			
問5-6-24		地域密着型特定施設入居者生活介護		開設予定事業所数と時期（ 開設エリア（中央区 北区 東区 白石区 厚別区 か所程度（令和 年度頃） 豊平区 清田区 南区 西区 手稲区 札幌市以外）			
問5-6-25		地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護		開設予定事業所数と時期（ 開設エリア（中央区 北区 東区 白石区 厚別区 か所程度（令和 年度頃） 豊平区 清田区 南区 西区 手稲区 札幌市以外）			
問5-6-26		看護小規模多機能型居宅介護		開設予定事業所数と時期（ 開設エリア（中央区 北区 東区 白石区 厚別区 か所程度（令和 年度頃） 豊平区 清田区 南区 西区 手稲区 札幌市以外）			
問5-6-27		訪問型サービス（訪問介護相当型）		開設予定事業所数と時期（ 開設エリア（中央区 北区 東区 白石区 厚別区 か所程度（令和 年度頃） 豊平区 清田区 南区 西区 手稲区 札幌市以外）			
問5-6-28		通所型サービス（通所介護相当型）		開設予定事業所数と時期（ 開設エリア（中央区 北区 東区 白石区 厚別区 か所程度（令和 年度頃） 豊平区 清田区 南区 西区 手稲区 札幌市以外）			
問5-6-29		通所型サービス（時間短縮型）		開設予定事業所数と時期（ 開設エリア（中央区 北区 東区 白石区 厚別区 か所程度（令和 年度頃） 豊平区 清田区 南区 西区 手稲区 札幌市以外）			
6 自由記載							
問6	介護保険制度全般への要望・意見	介護報酬や職員体制、介護保険サービスの提供、その他介護保険制度全般のほか、今回の調査や札幌市の施策について、ご要望やご意見がありましたら、ご自由に入力してください	記述			○	